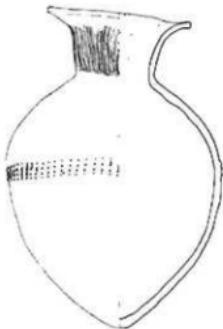


熊本大学構内遺跡発掘調査報告VI

(1999・2000・2001年度)



2010

熊本大学埋蔵文化財調査室

熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅵ

(1999・2000・2001年度)

2010

熊本大学埋蔵文化財調査室

卷頭図版（1）



1. 本庄遺跡0101調査地点調査区遠景



2. 本庄遺跡0104調査地点30号溝

卷頭圖版（2）



1. 本庄遺跡0104調查地點144柱穴地鎮具



2. 本庄遺跡0119調查地點1號溝遺物群

序 文

本書は、1999年度・2000年度・2001年度の3年間に実施した発掘調査の報告である。

1999年度の調査は、1998年度末の補正予算による事業調整により先送りされた西病棟建設に伴う発掘調査で始まった。2名の調査員が調査にあたったが、半年を要する調査であった。また、この年の年度末にも、補正予算によって急遽、発掘調査を実施せねばならず、立会調査及び調査室年報の作成と並行しての調査であった。2000年は病棟新築に伴う関連設備と周辺環境の整備の年であり、その他の地区でも開発事業は緩やかであったが、調査面積に比して、遺構密度や遺物の出土量が多い地点の調査となつた。また立会調査から本調査へ

切り替えた事案は、調査期間・体制確保に苦慮する場面もあった。2001年は、黒髪地区・本荘地区で建物建築に間わる発掘調査が4件あり、年度末まで多忙の年であった。

黒髪南地区での発掘調査の成果は、これまでに実施してきた発掘調査で得られた成果とは異なつた。大きな要因として、調査地点の立地があげられる。3か所のうち2か所の調査地点は、黒髪南地区的南端である白川沿いであったため、これまで調査を行ってきた古代の集落址ではなく、近世・近代の畠址と墓地が検出され、近世・近代における白川河川敷の様子が明らかとなった。これにより、古代の集落址の範囲も、ある程度推定できるようになった。別の調査地点では、旧制熊本高等工業学校時代の遺構が検出され、黒髪南地区の西側は旧制熊本高等工業学校時代に運動場として削平されていることを追認した。

本荘北地区では、医学部総合研究棟・西病棟及び関連設備・共同溝の建設工事により発掘調査を行つた。古墳時代・古代の集落址を検出し、膨大な量の遺構と遺物を検出した。また、本地区では初めてとなる弥生時代の遺構を検出し、構造物による土地利用が弥生時代まで遡つて確認された。一連の調査により、敷地の西側ほど旧地形が低くなつており、遺構の密度も非常に高く、保存状態も良いなど、遺跡の分布状況について、広範囲にわたつて把握することができた。

本学における再開発に伴う埋蔵文化財に対する取り組みは、今年で16年目を迎える。本年度、埋蔵文化財調査室は移転し、展示スペースを設けた。これまでに得た資料の展示公開に向けて準備を進めている。本書とともに、構内で実施された発掘調査の成果が、広く活用されることを切望するとともに、今後とも文化財の保護と普及啓蒙に努めていきたい。

構内遺跡の発掘調査にご協力を惜しまれなかつた熊本市教育委員会、熊本県教育庁および周辺市町村の文化財ご担当各位には、深く感謝申し上げます。

平成22年3月24日

国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査委員会

委員長 伊藤 重剛

例　　言

1. 本報告書は、熊本大学再開発計画によって熊本大学敷地内において実施された各種建築工事に伴い、熊本大学埋蔵文化財調査室が1999～2001年度に実施した発掘調査に関するものである。
2. 本書に収録した成果報告は、1999～2001年度に埋蔵文化財調査室が実施した発掘調査報告とそれに関連する立会調査などの成果のうち、黒髪北9907・9909・0102調査地点、(本荘北) 0006・0101・0104・0119調査地点7つの発掘調査に関する成果である。
3. 上記調査地点の報告にあたっては、下記のように地区ごとに分けて報告する。
II章：黒髪南地区 9907調査地点・9909調査地点・0102調査地点
III章：本荘北地区 0006調査地点・0101調査地点・0104調査地点・0119調査地点
4. 以上の調査を実施した1999年度～2001年度の埋蔵文化財調査室の組織と調査体制は以下のとおりである。

1999年度　　室　　長：甲元眞之（文学部教授）
　　　　　　調　　査　員：小畠弘己（文学部助教授）
　　　　　　　　大坪志子（文学部助手）
　　　　　　事務補佐員：松崎木緑子
2000・2001年度　室　　長：甲元眞之（文学部教授）
　　　　　　調　　査　員：小畠弘己（文学部助教授）
　　　　　　　　大坪志子（文学部助手）
　　　　　　事務補佐員：富永明子

5. 遺物番号は地区ごとに1から番号を付けている。写真図版中の番号はこれに一致する。
6. 本文は、小畠弘己、大坪志子が執筆した。
7. 本書に使用した遺構実測図に関しては、小畠弘己をはじめとする調査に参加した熊本大学考古学研究室学生諸氏、および埋蔵文化財サポートシステムの手によるものである。
8. 本書に使用した遺物実測図は、神川めぐみ、田上慶、高濱美來、谷川優子、長谷智子、山岸早苗、小畠、大坪志子が製作した。
9. 本書に使用した図版の製図は小畠、大坪、増井弘子、鬼塚美枝、早川翔が行った。
10. 遺構実測及び製図には手描による記録とともに遺跡調査汎用システム（カタタ Ver.3-アーケオテクノ社）、アイシン精機株式会社の遺跡実測支援システム「遺傳くん」及び製図システム「トレース3Dくん」を使用した。
11. 本書に使用した現場写真是小畠・大坪が、遺物写真是小山正子、末吉美紀がこれを撮影した。
12. 本書で使用した遺物観察表は、江口路、首藤優子、山岸、神川、田上、高濱、小畠、大坪が作成した。
13. 本書に掲載した出土遺物および記録類は、すべて熊本大学埋蔵文化財調査室が保管している。
14. 本書の編集は大坪が行った。

本文目次

I 構内遺跡と調査の概要	
1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要	1
2. 調査に至る経緯	4
3. これまでの調査と本書収録の遺跡	5
II 黒髪南地区の調査	
1. 工学部実験用プレハブ新築工事に伴う発掘調査（9907調査地点）	19
(1) 調査の目的と経過	19
(2) 調査区の基本層序	19
(3) 検出遺構	23
(4) 出土遺物	23
(5) まとめ	23
2. 工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリ－棟新営工事に伴う発掘調査（9909調査地点）	25
(1) 調査の目的と経過	25
(2) 調査区の基本層序	25
(3) 検出遺構	27
(4) 出土遺物	27
(5) まとめ	28
3. 黒髪団地南地区基幹・環境整備に伴う発掘調査（0102調査地点）	33
(1) 調査の目的と経過	33
(2) 調査区の基本層序	33
(3) 検出遺構	33
(4) 出土遺物	35
(5) まとめ	35
III 本荘北地区の調査	
1. (医病) 基幹・環境整備に伴う発掘調査（0006調査地点）	37
(1) 調査の目的と経過	37
(2) 調査区の基本層序	43
(3) 検出遺構	44
(4) 出土遺物	48
(5) まとめ	55
2. (医病) 医学部総合研究棟新営工事に伴う発掘調査（0101調査地点）	61
(1) 調査の目的と経過	61
(2) 調査区の基本層序	62
(3) 検出遺構	62
(4) 出土遺物	73
(5) まとめ	74

3. (医病) 基幹・環境整備(共同溝設置)に伴う発掘調査(0104調査地点)	79
(1) 調査の目的と経過	79
(2) 調査区の基本層序	81
(3) 検出遺構	81
(4) 出土遺物	101
(5) まとめ	113
4. (医病) 医療用ガス供給設備工事に伴う発掘調査(0119調査地点)	123
(1) 調査の目的と経過	123
(2) 調査区の基本層序	123
(3) 検出遺構	123
(4) 出土遺物	130
(5) まとめ	130

挿 図 目 次

図1 黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡 の分布図(1/25000)	2
図2 黒髪南地区における調査地点位置図 (1/2000)	20
図3 9907調査地点遺構配置実測図・壁土層断面実測図(1/150・1/100)	21
図4 9907調査地点出土遺物実測図(1/3)	22
図5 黒髪南地区における調査地点位置図 (1/2000)	26
図6 調査区北壁土層断面実測図 (1/100)	27
図7 9909調査地点遺構配置実測図 (1/300)	29
図8 『熊本之図』文化二年(1805)に見る調 査地点の位置(アミは熊本大学、黒ベタ が調査地点)	32
図9 0102調査地点遺構配置実測図(1/200)	34
図10 1号風倒木痕および各遺構出土遺物実測 図(1/50・1/3)	35
図11 本荘北地区における調査地点位置図 (1/2000)	38
図12 0006調査地点Ⅰ区遺構配置実測図 (1/80)	39
図13 0006調査地点Ⅱ区遺構配置実測図 (1/50)	40
図14 0006調査地点Ⅲ区遺構配置実測図 (1/50)	41
図15 0006調査地点Ⅰ区西壁・Ⅱ区南壁・Ⅱ区 2号土坑・Ⅲ区東壁土層断面実測図 (1/30・1/50)	42
図16 0006調査地点Ⅱ区南壁土層断面実測図 (1/50)	43
図17 9・22号竪穴住居址実測図(1/50)	45
図18 28・29号竪穴住居址実測図(1/50)	47
図19 0006調査地点出土遺物実測図1 (1/4)	49
図20 0006調査地点出土遺物実測図2 (1/4)	50
図21 0006調査地点出土遺物実測図3 (1/4・1/3)	51
図22 0006調査地点出土遺物実測図4 (1/4)	52
図23 0006調査地点出土遺物実測図5 (1/4)	53
図24 0006調査地点出土遺物実測図6 (1/4・1/3・2/3・1/1)	54

図25	基本層序および13・15号溝土層断面実測図 (1 / 100・1 / 50)	63
図26	0101調査地点Ⅰ面遺構配置実測図 (1 / 250)	64
図27	0101調査地点Ⅱ面遺構配置実測図 (1 / 250)	65
図28	0101調査地点Ⅲ面遺構配置実測図 (1 / 250)	66
図29	23・27号土塙墓・31号掘立柱建物址・20号竪穴住居址実測図 (1 / 25・1 / 100・1 / 50)	67
図30	19・21号竪穴住居址実測図 (1 / 50)	69
図31	0101調査地点出土遺物実測図 1 (1 / 4・1 / 3)	70
図32	0101調査地点出土遺物実測図 2 (1 / 4・1 / 3)	71
図33	0101調査地点出土遺物実測図 3 (1 / 4)	72
図34	0101調査地点出土遺物実測図 4 (1 / 4・1 / 3)	73
図35	0104調査地点遺構配置実測図 (1 / 400)	80
図36	I区南壁・V区南壁・IV区(400号竪穴住居址付近)北壁土層断面実測図 (1 / 50・1 / 100)	82
図37	125号溝・30号溝・222号溝土層断面・出土遺物実測図 (1 / 50)	84
図38	365・319号溝・14・208号竪穴住居址実測図・土層断面実測図 (1 / 50)	86
図39	223号竪穴住居址実測図 (1 / 50)	87
図40	378・443号竪穴住居址実測図 (1 / 50)	88
図41	384・392・404号竪穴住居址実測図・土層断面実測図 (1 / 50)	90
図42	216・16・32号竪穴住居址実測図 (1 / 50)	91
図43	9号竪穴住居址実測図 (1 / 50)	92
図44	31・10・221号竪穴住居址実測図 (1 / 50)	94
図45	361・15・29号竪穴住居址実測図 (1 / 50)	95
図46	318・307・377・368・386号竪穴住居址実測図 (1 / 50)	97
図47	99 (161)・256・276号竪穴住居址実測図 (1 / 50)	98
図48	294・13・61号竪穴住居址実測図 (1 / 50)	99
図49	400号竪穴住居址・1号掘立柱建物址・144号柱穴実測図 (1 / 50・1 / 100・1 / 20)	102
図50	2・3号掘立柱建物址・41・42号土坑実測図 (1 / 100・1 / 50)	103
図51	379号井戸実測図 (1 / 40)	104
図52	0104調査地点出土遺物実測図 1 (1 / 4・1 / 3)	105
図53	0104調査地点出土遺物実測図 2 (1 / 4)	106
図54	0104調査地点出土遺物実測図 3 (1 / 4)	107
図55	0104調査地点出土遺物実測図 4 (1 / 4)	108
図56	0104調査地点出土遺物実測図 5 (1 / 4)	109
図57	0104調査地点出土遺物実測図 6 (1 / 4)	110
図58	0104調査地点出土遺物実測図 7 (1 / 4)	111
図59	0119調査地点遺構配置実測図・調査区北壁土層断面実測図 (1 / 100)	124
図60	1号溝出土遺物実測図・土層断面実測図 (1 / 50)	126
図61	19号竪穴住居址実測図 (1 / 50)	127
図62	25・18・26・34・5・4号竪穴住居址実測図 (1 / 50)	128
図63	2・3号竪穴住居址・掘立柱建物址実測図 (1 / 50・1 / 100)	129
図64	0119調査地点出土遺物実測図 1 (1 / 4)	131

図版1 0119調査地点出土遺物実測図2

(1 / 4)132

図版6 0119調査地点出土遺物実測図3

(1 / 4)133

図 版 目 次

図版1	9907調査地点	137
写真1	調査区全景（南より）	
写真2	調査区南隅傾斜部分（北より）	
写真3	縄文土器出土状況（北西より）	
写真4	遺物出土状況（西より）	
写真5	縄文土器出土状況	
図版2	9907調査地点	138
写真6	遺物出土状況（南西部）（西より）	
写真7	縄文土器出土状況（北より）	
写真8	遺物出土状況（南西部）（西より）	
写真9	遺物出土状況（北西部）（西より）	
写真10	遺物出土状況（南西部）（北より）	
写真11	遺物出土状況（南西部）（西より）	
写真12	遺物出土状況（南西部）（南より）	
写真13	遺物出土状況（南西部）（南より）	
図版3	9907調査土地点出土遺物1	139
図版4	9907調査土地点出土遺物2	140
図版5	9909調査地点	141
写真14	調査区全景（北東より）	
写真15	調査風景（北東より）	
図版6	9909調査地点	142
写真16	I 区全景（東より）	
写真17	II 区全景（南より）	
写真18	II 区全景（東より）	
写真19	II 区全景（北より）	
写真20	II 区北壁土層断面（南より）	
写真21	鉄錢・銅錢出土状況（東より）	
写真22	錢（うね入り）近攝（東より）	
写真23	トレンチ1 土層（西より）	
図版7	0102調査地点	143
写真24	調査区全景（上空より）	
写真25	調査区東壁土層断面（西より）	
写真26	風倒木痕1 遺物出土状況（東より）	
写真27	風倒木痕4（西より）	
写真28	風倒木痕5 完掘状況（南より）	

図版8	0102調査地点出土遺物	144
図版9	0006調査地点	145
写真29	I 区全景（東より）	
写真30	調査区全景（東半）（西より）	
写真31	9号竪穴住居址遺物出土状況（南より）	
写真32	9号竪穴住居址遺物出土状況（南より）	
写真33	9号竪穴住居址遺物出土状況（北より）	
図版10	0006調査地点	146
写真34	9号竪穴住居址土層断面（西より）	
写真35	9号竪穴住居址（南より）	
写真36	22号竪穴住居址（北より）	
写真37	22号竪穴住居址遺物出土状況（北東より）	
写真38	28号竪穴住居址（北より）	
写真39	29号竪穴住居址（北西より）	
写真40	II 区 1号土坑遺物出土状況（北より）	
写真41	II 区 2号土坑遺物出土状況（東より）	
図版11	0006調査地点	147
写真42	2号土坑遺物出土状況（北より）	
写真43	2号土坑遺物出土状況（西より）	
写真44	2号土坑遺物出土状況（北より）	
写真45	2号土坑遺物出土状況（北より）	
写真46	2号土坑遺物出土状況（西より）	
写真47	2号土坑遺物出土状況（東より）	
写真48	2号土坑遺物出土状況（東より）	
写真49	2号土坑土層断面（西より）	
図版12	0006調査地点	148
写真50	II 区遺物出土状況・土器群1（北東より）	
写真51	II 区遺物出土状況・土器群2（西よ	

り)	
写真52 II区遺物出土状況・土器群3（北より）	
写真53 鉄鏃出土状況（南より）	
写真54 III区全景（北より）	
写真55 遷構完掘状況（南より）	
図版13 0006調査地点出土遺物1	149
図版14 0006調査地点出土遺物2	150
図版15 0006調査地点出土遺物3	151
図版16 0006調査地点出土遺物4	152
図版17 0006調査地点出土遺物5	153
図版18 0101調査地点	154
写真56 I面全景（東より）	
写真57 I面全景（南西より）	
写真58 I面全景（北東より）	
写真59 I面全景（西より）	
写真60 I面烟（西より）	
図版19 0101調査地点	155
写真61 I面烟（北東より）	
写真62 II面烟址（西より）	
写真63 III面全景（上空より）	
写真64 西トレニチ土層断面（西より）	
写真65 東壁土層断面（西より）	
写真66 東壁南部土層（西より）	
写真67 72号土壤墓（北より）	
写真68 23号土壤墓（南より）	
図版20 0101調査地点	156
写真69 23号土壤墓出土人骨および副葬品（南東より）	
写真70 20号竪穴住居址全景（南東より）	
写真71 20号竪穴住居址（西より）	
写真72 20号竪穴住居址土層断面（西より）	
写真73 20号竪穴住居址遺物出土状況（東より）	
写真74 20号竪穴住居址遺物出土状況（西より）	
写真75 19号竪穴住居址焼土炭出土状況（北西より）	
写真76 19号竪穴住居址鉄鏃出土状況	
図版21 0101調査地点	157
写真77 21号竪穴住居址（南より）	
写真78 21号竪穴住居址遺物出土状況（南より）	
写真79 21号竪穴住居址遺物出土状況（南より）	
写真80 21号竪穴住居址遺物出土状況（南より）	
写真81 13号溝土層（西より）	
写真82 15号溝土層（西より）	
写真83 17号溝（南西より）	
写真84 22号水溜状遷構遺物出土状況（東より）	
図版22 0101調査地点	158
写真85 22号水溜状遷構遺物出土状況（東より）	
写真86 38号焼土平面（東より）	
写真87 38号焼土ベルト（西より）	
写真88 調査風景（北西より）	
写真89 作業風景（東より）	
図版23 0101調査地点出土遺物1	159
図版24 0101調査地点出土遺物2	160
図版25 0101調査地点出土遺物3	161
図版26 0101調査地点出土遺物4	162
図版27 0104調査地点	163
写真90 I区完掘状況（北東より）	
写真91 II区完掘状況（西部）（南西より）	
写真92 II区完掘状況（東部）（南より）	
写真93 III区東部全景（南より）	
写真94 III区西半（南より）	
写真95 III区東半（南より）	
写真96 IV区全景（南より）	
写真97 V区中部全景（東より）	
図版28 0104調査地点	164
写真98 V区南部全景（東より）	
写真99 125号溝（南東より）	
写真100 125号溝土層（北より）	
写真101 30号溝上面遺物出土状況（北東より）	
写真102 30号溝上面南側（南より）	
写真103 30号溝上面南側アップ（西より）	

- 写真104 30号溝掘り上げ状況（南より）
写真105 30号溝土層断面（南より）
- 図版29 0104調査地点 165
写真106 222号溝土層断面（北西より）
写真107 222号溝遺物出土状況（北西より）
写真108 222号溝遺物出土状況（西より）
写真109 222号溝遺物出土状況（西より）
写真110 222号溝遺物出土状況（南西より）
写真111 222号溝遺物出土状況（北西より）
写真112 222号溝遺物出土状況（南西より）
写真113 222号溝（北西より）
- 図版30 0104調査地点 166
写真114 319号溝全景（北より）
写真115 365号溝（東より）
写真116 365号溝土層断面（北より）
写真117 14号溝（北西より）
写真118 208号竪穴住居址遺物出土状況（南東より）
写真119 208号竪穴住居址近景（北より）
写真120 208号竪穴住居址完掘状況（南東より）
写真121 223号竪穴住居址遺物出土状況（北東より）
- 図版31 0104調査地点 167
写真122 223号竪穴住居址遺物出土状況（北西より）
写真123 223号竪穴住居址床検出状況（南東より）
写真124 223号竪穴住居址炉断面（南西より）
写真125 223号竪穴住居址掘り方完掘状況（南より）
写真126 378号竪穴住居址（東より）
写真127 378号竪穴住居址土層断面（北より）
写真128 385・384号竪穴住居址付近遺物（東より）
写真129 385・384号竪穴住居址付近遺物（北より）
- 図版32 0104調査地点 168
写真130 404号竪穴住居址遺物出土状況（北東より）
写真131 404号竪穴住居址土層断面（南より）
写真132 443号床検出状況（東より）
写真133 216号竪穴住居址（南西より）
写真134 216号竪穴住居址完掘状況（東より）
写真135 276号竪穴住居址完掘状況（南東より）
写真136 32号竪穴住居址（南西より）
写真137 32号竪穴住居址掘り上げ状況（南より）
- 図版33 0104調査地点 169
写真138 32号竪穴住居址竪土層断面（南より）
写真139 32号竪穴住居址竪掘り上げ状況（南より）
写真140 9号竪穴住居址遺物出土状況（南より）
写真141 9号竪穴住居址床検出状況（南より）
写真142 9号竪穴住居址竪土層断面（東より）
写真143 9号竪穴住居址内破鏡出土状況（南より）
写真144 31号竪穴住居址（南東より）
写真145 31号竪穴住居址堀り上げ状況（南西より）
- 図版34 0104調査地点 170
写真146 31号竪穴住居址竪土層断面（西より）
写真147 31号竪穴住居址コーナー遺物出土状況（南より）
写真148 10号竪穴住居址硬面検出状況
写真149 10号竪穴住居址竪燒土土層断面（西より）
写真150 361号竪穴住居址・379号井戸（北より）
写真151 15号竪穴住居址完掘状況（北西よ

り)	り)
写真152 29号竪穴住居址床面検出状況（東より）	写真174 400号竪穴住居址床検出状況（東より）
写真153 29号竪穴住居址焼土遺物出土状況（西より）	写真175 400号竪穴住居址完掘状況（東より）
図版35 0104調査地点 171	写真176 448号竪穴住居址焼土（東より）
写真154 29号竪穴住居址（西より）	写真177 448号完掘状況（東より）
写真155 307号竪穴住居址完掘状況（東より）	図版38 0104調査地点 174
写真156 377号竪穴住居址遺物出土状況（南より）	写真178 1号掘立柱建物址（南より）
写真157 386号竪穴住居址籠袖石（東より）	写真179 144号柱穴内遺物出土状況（南より）
写真158 386号竪穴住居址完掘状況（南西より）	写真180 144号柱穴内地鎮具（北より）
写真159 161号竪穴住居址（南東より）	写真181 144号柱穴内土器の中（北より）
写真160 161号竪穴住居址竈土層断面（西より）	写真182 41・42号土壙（東より）
写真161 368号竪穴住居址硬化面遺物検出状況（東より）	写真183 379号井戸貝層と遺物（東より）
図版36 0104調査地点 172	写真184 379号井戸遺物出土状況（北東より）
写真162 368号竪穴住居址完掘状況（東より）	写真185 379号井戸貝層と遺物（東より）
写真163 256号竪穴住居址床検出状況（北東より）	図版39 0104調査地点 175
写真164 311号硬化面検出状況（北より）	写真186 379号井戸土層断面（東より）
写真165 321・323号竪穴住居址完掘状況（北より）	写真187 204（253）号ピット内土錐出土状況（東より）
写真166 294号竪穴住居址（南より）	写真188 鋼帶出土状況
写真167 13号竪穴住居址（南東より）	写真189 鉄・鎌出土状況（東より）
写真168 61号竪穴住居址下面（北より）	写真190 作業風景（南より）
写真169 322号竪穴住居址完掘状況（北東より）	図版40 0104調査地点出土遺物 1 176
図版37 0104調査地点 173	図版41 0104調査地点出土遺物 2 177
写真170 159号竪穴住居址と周辺遺物（北より）	図版42 0104調査地点出土遺物 3 178
写真171 207号竪穴住居址掘り上げ状況（東より）	図版43 0104調査地点出土遺物 4 179
写真172 318号竪穴住居址土層断面（南より）	図版44 0104調査地点出土遺物 5 180
写真173 318号竪穴住居址完掘状況（南よ	図版45 0104調査地点出土遺物 6 181

写真195	1号溝完掘状況（北より）		写真203	2号竪穴住居址遺物検出状況（西より）	
図版51	0119調査地点	187	図版52	0119調査地点	188
写真196	19号竪穴住居址遺物出土状況（西より）		写真204	3号竪穴住居址遺物検出状況（南より）	
写真197	19号竪穴住居址遺物出土状況（近景）		写真205	18号竪穴住居址遺物出土状況（東より）	
写真198	19号竪穴住居址遺物出土状況（北西より）		写真206	26号竪穴住居址遺物出土状況（東より）	
写真199	19号竪穴住居址遺物出土状況（南より）		写真207	掘立柱建物址（西より）	
写真200	19号竪穴住居址完掘状況（西より）		写真208	調査区北壁土層断面（東より）	
写真201	25号竪穴住居址掘削状況（西より）		写真209	作業風景	
写真202	4号竪穴住居址床検出状況（南東より）		図版53	0119調査地点出土遺物1	189
			図版54	0119調査地点出土遺物2	190
			図版55	0119調査地点出土遺物3	191

表 目 次

表1	熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧表	1	表5	0102調査地点出土遺物一覧表	36
表2	既往調査地点と本書収録調査地点一覧表	5	表6	0006調査地点出土遺物一覧表	56
表3	9907調査地点出土遺物一覧表	24	表7	0101調査地点出土遺物一覧表	75
表4	肥後における江戸中期～後期（元禄～嘉永年間）の水書記事	30	表8	0104調査地点出土遺物一覧表	115
			表9	0119調査地点出土遺物一覧表	134

I 構内遺跡と調査の概要

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要

熊本大学が保有する敷地は、熊本市内の黒髪地区・本荘地区・九品寺地区・大江地区・宇留毛地区・京町地区・城東地区及び下南部地区的8区、市外の合津地区・阿蘇地区的2地区に分散しており、それぞれ埋蔵文化財の包蔵地となっている（表1）。

法・文・教育・工学・理学部の校舎が設置されている黒髪地区は黒髪町遺跡（熊本市埋蔵文化財地図No 8-88）に含まれる。本遺跡は熊本市中心部のほぼ北東端に位置する立田山（標高151.6m）の南西部の緩斜面が、西を坪井川の作る沖積面と南を白川河岸の低位段丘によって囲まれる東西900m、南北1000mの遺跡群であり、縄文時代から歴史時代に至る遺構・遺物を包蔵している。遺跡発見の経緯は昭和11年に遡り、大学に隣接する熊本県立中学済々賛（現済々賛高校）の校庭から甕棺2基が発見されたことに始まる。また昭和40年には隣接する九州女学院敷地においてやはり弥生時代中期の甕棺や古墳時代の須恵器などが発見するに至り、その重要性が認識されるに至った。黒髪町式土器の指標遺跡である。このように弥生時代を中心とした遺跡としての認識が高いが、1983年に実施された済々賛高校内における新たな調査によって古代の堅穴住居址と土師器・須恵器・黑色土器などの関連遺物が出土し、その中には「寺門」銘の墨書き土器が含まれているなど古代飽田郡における拠点的な性格をもつた遺跡であることが予想された（『新熊本市史料編第1巻考古資料』新熊本市史編纂室1996）。古代官道や駅伝制の研究上、文献で推定されていた延喜式にみる「養蚕駅」、旧飽田郡家の推定地としても注目を集めてきた（木下1975・1995）が、近年ではこれまでの周辺遺跡での発掘成果および文献資料の検討、そして本調査室による発掘成果を受けて、済々賛高校から本学黒髪地区周辺が飽田郡司都建部公の居所であり、飽田郡家として比定するなどの積極的な意見が展開されている（鶴嶋1997）。このように、本遺跡は先史時代のみならず、古代律令制下の駅伝制を考える上できわめて重要なものである。本報告において3地点の発掘調査記録を収録している。

表1 熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧表

No	地区名（学部名）	所在地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備考
1	黒髪北地区（法・文・教・大学センター）	熊本市黒髪2丁目40-1	黒髪町遺跡 集落址	縄文・弥生・奈良・平安		
	黒髪北地区（教育学部附属幼稚園）	熊本市黒髪5丁目17-1				
2	黒髪南地区（工・理）	熊本市黒髪2丁目39-1	黒髪町遺跡 集落址	縄文・弥生・奈良・平安		
3	京町地区（教育学部附属小・中学校）	熊本市京町本丁5-12	京町台遺跡 集落址	弥生・近世		
4	城東地区（教育学部附属幼稚園）	熊本市城東5-9	熊本城址 城館址・熊本城	近世		
5	教育学部新南部農場	熊本市新南部屋屋敷240-1	新南部遺跡 敷布地	縄文・弥生		
6	合津マリンステーション	上天草市松島町大字合津6061	前島貝塚 集落址	縄文・弥生	1985年度の調査によって貝塚でないことが判明	
7	本荘中地区（医学部）	熊本市本荘2丁目2-1	本荘遺跡 敷布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世		
8	本荘北地区（医学部附属病院）	熊本市本荘1丁目1-1	本荘遺跡（北大病院敷地遺跡） 敷地遺跡	散布地・集落址 基地	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・近代	
9	本荘南地区（保健学科）	熊本市九品寺4丁目24-1	本荘遺跡 敷布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・周辺遺跡		
10	薬学部	熊本市大江本町5-1	大江遺跡群 官衛址	奈良・平安	周辺遺跡	
11	大江地区	熊本市渡鹿4丁目1-1	大江遺跡 集落址	奈良・平安		
12	宇留毛地区（職員宿舎）	熊本市黒髪7丁目	宇留毛神社 周辺遺跡群	散布地	縄文・奈良・平安	

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要



図1 黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図（1/25000）

医学部附属病院および医学部がある本庄地区は、本庄遺跡（熊本大学病院敷地遺跡）（熊本市埋蔵文化財地図No.8-95）を包括する。本遺跡は黒髪町遺跡と同じく熊本平野を形成する扇状地形の中央を流れる白川の河岸堤防上に位置する遺跡であり、標高は13~12mである。附属病院の所在する白川寄りの地点が標高が高く、南東部（医学部側）へと緩やかに傾斜する地勢である。敷地内を白川より分岐した小河川が暗渠として流れしており、古来この一帯は流道を変えながら幾本もの小河川が流れていた可能性が高い。「熊本中央北地区文化財調査報告書」（熊本市教育委員会1980）によれば、1963年ごろ本大学医学部附属病院の敷地内から須恵器、土師器、布目瓦片類が採集されており、遺跡の存在が確実であるとされ、遺跡としての認定を受けている。しかし、その後本敷地内において学術的な発掘調査は一度も実施されておらず、遺跡の詳細な内容に関しては本調査室における調査が実施されるまで不明であった。しかし、先の報告の中では、東側に隣接する仙崇寺小松原墓地（現在の小松原公園）内においても須恵器群が採集され、遺跡の包含地がより広いことが想定されていた。このため、1995年に道路を挟んで隣接する医学部敷地内において計画されたRI総合センター遺伝子実験施設の建築に先立ち試掘調査を実施したところ、良好な状態で古代の造構群が検出され、遺跡の広がりを確認することができた。よって、遺跡の範囲は東西500m、南北500mを超えるものと推定される。なお、本報告は本大学附属病院内で実施した発掘調査の記録を収録した。医学部保健学科の位置する九品寺地区は、この遺跡の範囲に入る。本格的な発掘調査が実施されていないため、詳細は不明であるが、敷地中央部における立会調査において古代の遺物包含層が確認されている。今回は附属病院敷地内で実施した発掘調査4件分の成果を収録した。

薬学部が所在する薬学部地区は、大江遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図No.8-93）の南西端に位置する。また、本学大江総合運動場は本遺跡群の北東端に位置している。地形は本庄遺跡とはほぼ同じで、白川河岸に隣接し、標高は13~20mである。本遺跡群は詫間郡家および渡鹿寺などの推定地を含む熊本市内でも有数の大規模（東西1.8km、南北1.7km）かつ貴重な古代を中心とした遺跡群であり、これまで60次にわたる調査が実施され、各種遺物を伴って、8・9世紀代を中心とした古代堅穴住居址群、掘立柱建物址、道路址、溝址などが検出されている（新熊本市史編纂室1996）。本学が実施した調査においては、大江総合運動場整備に伴う調査によって古代関連の遺物・造構群が発見された他は、薬学部敷地の北西部において古代包含層の一部を確認しているにすぎない。薬学部敷地内においては大規模な建替えが最近実施されたが、この際の試掘によって、構内の東側では造構や包含層は存在せず、北西部に絞られる様相が明らかになってきた。

附属中学校・小学校の所在する京町地区は京町台遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図No.8-45）（東西400m、南北350m）に包括され、同遺跡群内には熊本市立京陵中学校と熊本営林局も含まれる。本台地は熊本平野の北部にある阿蘇4火砕流（凝灰岩）が形成した標高30~40mの平坦な台地であり、東西両側はそれぞれ坪井川と井芹川が流れ急峻な崖地を形成している。この天然の要害ともいべき地の利を活かして台地の南端には熊本城が築かれており、周辺の台地上には武家屋敷が築かれていた。本遺跡における発掘調査の嚆矢は、1966年、営林署内の宿舎改築工事の際、造構は検出されなかつたが、重強文をもつ弥生式土器、土師器、瓦器片が少量出土したことであり、現在では弥生時代遺跡として認定されている（熊本文化財調査会1971）。これまでの発掘成果によると、構内の西側を中心として弥生時代~近世の遺構・遺物が確認されている。

理学部附属臨海実験所の占地する合津地区は、熊本県上天草市松島町合津に所在する。遺跡は本地区のある松島の南西部端、標高12mの丘陵端部に位置する。この松島を含めた一帯は有明海から不知火海へ抜ける海上交通の要衝にあたり、天草で唯一の形象埴輪を出土したカミノハナ古墳群や長沙連

2. 調査に至る経緯

古墳、大戸鼻古墳群など重要な古墳が密集しているように、古来より重要な拠点として意識されていたところでもある。また、縄文時代にはカルワ島遺跡や柳遺跡のように海岸部や海底に位置する遺跡群が数多く発見されている。理学部の臨海実験所は、1956年に天草で初めて発見された縄文時代遺跡として著名な前島貝塚（熊本県遺跡地図57-013）とその東部にある梅殿古墳（同014）の隣接地にあたり、同貝塚の広がりが実験所敷地内に残存する可能性も大きく、古墳関連の遺構の存在も予想されるような位置にある（熊本県教育委員会1968）。実際、1996年に実験所の北部丘陵斜面にある宿舎が建設された際、建設業者によって7本の石斧が発見されているし、実験所の船着場南側の海岸では本学考古学研究室の学生諸氏によって縄文時代早期～前期を中心とした土器や石器が採集されている。よって実験所内とその周辺は縄文時代の遺跡・遺構が存在する可能性がきわめて高いところとして周知されていたところであった。本地区においては、1995年に臨界実験所実験棟改築工事に伴う発掘調査によって、前島貝塚が貝塚ではなく、本丘陵上には縄文時代早期の縄文時代早期の遺物包含層や遺構群が存在することが明らかになった（熊本大学埋蔵文化財調査室1996・小畠2001）。

2. 調査に至る経緯

熊本大学の校地は先に示したように8地区に分散しており、どの校地も狹隘化してきているため、かねてから校地の移転などが議論されてきた。昭和60年に当時の熊本県知事から校地移転を検討する旨の申し出があり、その件について学内で議論され、本荘地区の医学部・附属病院を除き他の地区は現地再開発が決定された。本荘地区も平成5年に現地再開発することが決定されたので、全学が現地再開発で取り組むこととなった。その後それぞれの地区での再開発構想が検討され、基本的な計画が出来上がった地区から文教施設費を概算要求し、それらが認められたところから再開発事業が始まった。一方、黒髪地区などにおいては、従来から建設工事などによって古代や先史時代の遺物が発見されていたにもかかわらず、埋蔵文化財包蔵地としては周知されていなかった。

平成5年10月から黒髪南地区において情報処理センターの建設工事が始まったところ、熊本市教育委員会文化課から工事前に埋蔵文化財の発掘調査が必要である旨の連絡があり、同課へ出向き確認したところ、平成5年4月1日から熊本市文化財保護審議会において黒髪地区などが埋蔵文化財の包蔵地として追加指定されていることが判明した。そこで大学が計画している建設工事の予定地に係わる試掘調査の届を同課に提出して、調査を依頼した。試掘調査の結果では、ほとんどの建設工事に先立ち発掘調査が必要であるということになった。

今後の発掘調査について同課に相談したところ、以下の回答があった。

①国機関（大学等）は考古学研究室などがあって専門のスタッフを擁していることでもあり、熊本大学においてもそのような機関を設け、そこが実施機関として発掘調査を担当願いたい。

②熊本市が平成6年度発掘調査の依頼を受けたとしても、それを実施する場合、既に他の発掘調査予定が半年分はあるので、急いで9月または10月頃から調査を始めることとなる。

以上のことから、熊本大学の再開発事業には事前の試掘および発掘調査を行うことが必須条件であり、そのためには大学独自の調査組織を早急に設けることが必要となった。まずは発掘調査組織の中心となってもらうべく、文学部考古学研究室に協力を依頼し、このことについて承諾を得た後、急ぎ委員会などの組織作りを行い、責任体制を確立するための作業が始められた。本学の状況および他大学に既に設置されている同種組織の内容を勘案しながら検討した結果、熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「調査委員会」と略す）を設けることとなった。また、この調査委員会の下に熊本大学埋

蔵文化財調査室（以下「調査室」と略する）を置き、発掘調査の実務を担当することとした。

平成6年4月7日をもって熊本大学埋蔵文化財委員会規則が定められ、調査委員会が設置され、委員会内に調査室が置かれ、平成6年5月16日、委員会委員の委嘱、調査室長および調査員・事務補佐員が就任し、正式に調査室業務が始動した。調査室発足後は、文学部考古学研究室の元甲真之教授をはじめとしたスタッフの多大なる協力のもと平成6年度建設予定地の調査を中心に発掘調査が実施された。以下の経緯については『熊本大学埋蔵文化財調査室年報』を参照されたい。

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

以後平成22年3月末日現在まで、再開発計画に則り行われた事業の事前調査として、表2のような調査が実施されてきた。本書はこの中から1999~2001年度に実施した発掘調査の成果を報告する。試掘・立会調査などについては年報において既報告であるので、本書からは除外した。黒髪南地区においては、工学部実験プレハブ建設に伴う発掘調査（9907調査地点）、衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリ新営に伴う発掘調査（9909調査地点）、黒髪団地南地区基幹・環境整備に伴う発掘調査（0102調査地点）の3箇所の成果を、本荘北地区においては、基幹・環境整備に伴う発掘調査（0006調査地点）、医学部総合研究棟新営工事に伴う発掘調査（0101調査地点）、基幹・環境整備（共同溝設置）に伴う発掘調査（0104調査地点）、医療用ガス供給設備室取扱工事に伴う発掘調査（0119調査地点）の4箇所の成果を収録した。なお、本荘北地区においては1999年に西病棟新営工事に伴う発掘調査（9901調査地点）を実施しているが、今回は0006・0104・0119調査地点において濃密な遺構分布が認められ十分な整理の時間を費やすことができなかつたため、次年度以降の報告とする。

表2 既往調査地点と本書収録調査地点一覧表

1994年度						
94・4・15~17	9401	（鹿児）運動場整備（鹿明等建設）工事	発掘調査	128㎡	古代	古代土器群・瓦器群 年報1
94・4・21	9402	（鹿児・山）馬場整備（教育学部エレベーター新設）工事	発掘調査	47.5㎡	現代	ガラス・陶器片 年報1
94・4・25	9403	（鹿児・山）地区墓群整備（工学部エレベーター新設）工事	発掘調査	48㎡	包含墓群・土器片 年報1	
94・5・13~14	9404	（鹿児）南側施設敷地予定期の樹木修繕	立会調査	30㎡	古代	年報1
94・5・17~	9405	（京町）附属中学校舎建設工事	発掘調査	400㎡	近代 鉄文土器・生土器・環状器・土師 器・近世陶器群・瓦・銅鏡・瓦・ガ ラス瓶 年報合1	
6・25						
94・5・20/23/24	9406	（鹿児）民友原運動場整備（集水井板塀）工事	発掘調査	100㎡	古代	年報1
94・5・23~	9407	（鹿児）福利施設建設工事	発掘調査	1200㎡	古代	本報合1
7・28						
94・8・1~8・10	9408	（鹿児）グランド施設整備工事	発掘調査	404㎡	古代	土器群 年報1
			立会調査	234㎡	包含器に達せず遺物なし・土器群 片 年報1	
94・8・11	9409	（鹿児）武大附属具附属新工事・外灯基盤工事	立会調査	234㎡	包含器に達せず遺物なし・土器群 片 年報1	
94・8・12	9410	（京町）附属中学校電気引き込み配線工事	立会調査	12㎡	遺物・遺物なし 年報1	
94・8・22	9411	（鹿児）幕張宿（鹿児島街道スロープ取扱）工事	立会調査	25.5㎡	包含器に達せず・遺物・遺物なし 年報1	
94・9・12~ 10・31	9412	（鹿児）工学部実験棟新営工事	発掘調査	743.6㎡	古代 古代墳丘・古墳・土器群・環状器・瓦 等・瓦・土器印・灰褐色・鐵文土器 等 年報合1	
94・11・14~ 12・22	9413	（鹿児）グランド整備工事	発掘調査	200㎡	韓文・古代 古代墳丘・古墳・土器群・環状器・瓦 等・鐵文土器・石器 年報合1	
95・1・17~21	9414	（鹿児）福利施設建設工事	立会調査	169㎡	遺物・遺物なし 年報1	
95・1・9~11. 1・26~2・1	9415	（鹿児）工学部実験棟新営工事	立会調査	50㎡	遺物・遺物なし 年報1	
95・2・27	9416	（京町）附属幼稚園排水管敷工事新工事	立会調査	129.7㎡	遺物・遺物なし 年報1	
95・3・15~23	9417	（鹿児）福利施設建設工事	立会調査			

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

1995年度							
95・4・25～5・2	9501	(滋賀) 工学部研究実験施設新工間に伴う構造工事	立会調査	90m ²	古代～近世	古代堅穴住居址・柱穴・廻文瓦 土器片・古代土器器・鐵器	本報告1
95・5・9～10	9502	(滋賀) 工学部新実験工学棟セントラル新工事	立会調査	20m ²	古代	包含帶繩器・古代土器器・鐵器	年報2
95・5・15～16	9503	(滋賀) 工学部RJ研究実験棟建設及び新宿舎	立会調査	20m ²	古代	集石・古代土器器・鐵器	年報2
95・5・29/30	9504～06	(滋賀) 工学部研究実験施設新電気設備(その2)に伴う高立会調査	立会調査	38m ²	近世	遺構・遺物なし	年報2
95・6・1		立会調査					
95・6・21		立会調査					
95・6・22	9505	(滋賀) 実験施設新電気設備改修	立会調査	10m ²	近世	遺構・遺物なし	年報2
95・9・8～10・12	9509	(合併) 理学部新宿舎海浜路実験施設改修工事	立会調査	200m ²	縄文	集石・廻文瓦土器・石器	年報2
95・11・2	9510	(滋賀) 工学部研究実験施設新工間に伴うガス配管	立会調査		古代	古代包含帶繩器・古代土器器	年報2
95・11・6～8	9511	(本庄北) 医学部RJ総合センター遺伝子実験施設建設及び外壁清掃工事	立会調査	200m ²	古代	古代包含帶繩器・堅穴住居址・古 代土器器・鐵器	本報告1
95・11・13～16	9512	(滋賀) 工学部研究実験施設新工間に伴う排水施設改修	立会調査	60m ²	古代	古代堅穴住居址・柱穴・住居址・廻 文瓦土器片・古代土器器・鐵器	本報告1
95・11・17	9513	(滋賀) 工学部研究実験施設新工間に伴う外壁	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95・11・17	9514	(滋賀) 工学部研究実験施設新工間に伴う外壁	立会調査		古代	古代土器器・鐵器片	年報2
95・11・21～22	9503	(滋賀) 工学部研究実験施設新工間に伴う基礎削除	立会調査		古代	古代土器器・鐵器	年報2
95・11・22	9515	(滋賀) 工学部研究実験施設新工間に伴う外壁	立会調査		古代	包含帶繩器・古代土器器	年報2
95・11・24	9511	(本庄北) 医学部RJ総合センター遺伝子実験施設建設工事	立会調査			一部包含帶繩器・遺構・遺物なし	年報2
95・11・28～29	9516	(滋賀) 工学部研究実験施設新工間に伴う外壁	立会調査	72m ²	縄文～古代	包含帶・柱穴・廻文瓦土器片・古代 土器器	本報告1
95・12・1	9511	(本庄北) 医学部RJ総合センター遺伝子実験施設建設工事に伴う外壁切削	立会調査			包含帶繩器・遺構・遺物なし	年報2
95・12・4	9517	(本庄北) 医学部RJ総合センター遺伝子実験施設建設工事に伴う外壁修繕	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95・12・5	9518	(滋賀) 工学部研究実験施設新工間に伴う外壁工事	立会調査	10m ²	近世	遺構・遺物なし	年報2
95・12・12～14	9519	(滋賀) 工学部研究実験施設新工間に伴うガス配管	立会調査		古代	古代柱穴・廻.古代土器器・鐵器	年報2
95・12・18	9520	(滋賀) 教務課外道路改修	立会調査	10m ²	近世	遺構・遺物なし	年報2
95・12・25	9501	(本庄北) 医学部RJ総合センター遺伝子実験施設建設	立会調査	976.9m ²	縄文・古代	古代堅穴住居址・堅立柱施設・周 道跡・方形堅穴施設・土器・陶土器 器・石器・古代土器器・鐵器・灰器	本報告1
95・2・22							
95・3・1	9521	(滋賀) 工学部校舎各研究室	立会調査		弥生	弥生土器・ビット・佐先中鼎土器	年報2
95・3・8	9522	(滋賀) 文化学部・県立五高校記念図書館新工事	立会調査		古代	包含帶繩器・古代土器器	年報2
95・3・21	9523	(城北) 教務課新図書館新工事(城北)	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95・3・25～26	9524	(京司) 教育相談室新校舎納涼水管敷設工事	立会調査	27.6m ²		遺構・遺物なし	年報2
1996年度							
96・4・19	9601	(本庄北) 医学部校舎接続	立会調査	33m ²	古代	古代包含帶・廻.古代土器器・城	本報告1
96・5・10	9602	(滋賀) 法文学部記念講堂	立会調査	1m ²		遺構・遺物なし	年報3
96・5・10～6・24	9603	(滋賀) 工学部校舎建設	立会調査	1000m ²	縄文・佐先・古代	縄文後期包含層・古代堅穴住居 址・廻.堅立柱施設・土壤・往. 縄文後期土器・常先中鼎土器・古 代土器器・鐵器・灰器・瓦	本報告1
96・5・13	9604	(滋賀) 育教学生ATMネットワーク付設工事	立会調査	40m ²	近世	遺構・遺物なし	年報3
96・5・14	9605	(京町) 教育部附属小学校ATMネットワーク付設工事	立会調査	14m ²	近代	近代鐵器	年報3
96・5・15	9606	(大竹) 塩業部ATMネットワーク付設工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報3
96・6・17	9607	(滋賀) 教務課新校舎設建工事	立会調査	4m ²	古代	一部包含帶繩器・古代鐵器	年報3
96・6・19	9608	(滋賀) 工学部RJ実験施設新工事	立会調査	21m ²	近世	遺構・遺物なし	年報3
96・8・5	9609	(滋賀) 入院患者寮改築工事(城北)	立会調査	4m ²	近世	遺構・遺物なし	年報3
96・8・6～9	9601	(本庄北) 医学部校舎建設に伴う側木移設・跨木構築工事(1・2・3区)	立会調査	45.7m ²	古墳・古墳	古墳時代前中期堅穴住居址・古代堅 穴住居址・古時代土器器・古代 土器器・鐵器	本報告1
96・8・22～27	9601	(本庄北) 医学部校舎接続に伴う作り替え道路建設(4区)	立会調査	374m ²	古代	堅穴住居址・廻.古代土器器・城	本報告1
96・8・29～30	9601	(本庄北) 医学部校舎接続に伴う作り替え道路建設(5区)	立会調査	282m ²	古代	堅址・古代土器器・鐵器	本報告1
96・9・6	9610	(滋賀) 教務課新校舎建設	立会調査	9m ²	近世	遺構・遺物なし	年報3
96・10・1～9	9601	(本庄北) 医学部校舎接続に伴う側木切り替え工事(6区)	立会調査	104.3m ²	古代	古代遺構・堅穴住居址・古代土器 器・鐵器	本報告1
96・10・11～97・1・17	9601	(本庄北) 医学部校舎本体工事(本調査区)	立会調査	1686m ²	縄文・古墳・ 古代	縄文後期・古墳・古土器・古 代土器器・鐵器	本報告1
96・10・21～29	9601	(本庄北) 医学部校舎接続に伴う排水管切り替え工事(8・9・10区)	立会調査	625m ²	古代	古代堅穴住居址・廻.古代土器 器・鐵器	本報告1
96・11・12～13	9601	(本庄北) 医学部校舎接続に伴う排水管切り替え工事(10区)	立会調査	218m ²	古代	古代堅穴住居址・古代土器器・城 里器	本報告1
96・11・12	9611	(滋賀) 工学部外付設工事	立会調査	0.4m ²		遺構・遺物なし	年報3
96・12・18	9612	(滋賀) 工学部実験施設工事	立会調査	74m ²		遺構・遺物なし	年報3
97・3・3～31	9613	(滋賀) 工学部研究実験施設新設改修工事	立会調査	175m ²		遺構・遺物なし	年報3
97・3・7	9614	(滋賀) 工学部衝突エキシマ実験施設取扱工事	立会調査	10m ²		遺構・遺物なし	年報3

1997年度						
97・4・8	9701	(本庄北) 医学部総合リテラシー教育施設電気設備その他の改修工事	立会調査	21nd	一部包含層を確認、遺物なし。吉 代土器片	年報4
97・5・7	9702	(京北) 理学部ヘリコム増築・ヘルリウム管路設工事	立会調査	126nd	遺物・遺物なし	年報4
97・5・26	9703	(本庄北) 医学部外臨床研究施設改修計画修改工事	立会調査	4nd	遺物・遺物なし	年報4
97・7・25~ 11・4	9704	(京北) 工学部校舎新設工事	立会調査	1783.3nd	古代・古代・古文書・古文書・古文書・ 近代 先史・縄文・土器・柱・土器・土器・ 先史・縄文・土器・柱・土器・土器・ 先史・縄文・土器・柱・土器・土器	本報告
97・10・28	9705	(京北) 教育学部附属中学校女性文化建室	立会調査	26nd	遺物・遺物なし	年報4
97・10・22	9706	(京北) 教育学部附属中学校女性文化建室	立会調査	12nd	遺物・遺物なし	年報4
97・11・11~	9707	(本庄北) 医学部外臨床研究施設改修計画改修工事	立会調査	320nd	近代・遺物・古代土器・往六・愛・ 人骨・墓石等・古代土器	年報4
98・3・31	9708	(京北) 法・文・教育学部外灯篭蔵増築工事	立会調査	619nd	古代 房	年報4
98・1・30~ 2・12	9709	(京北) 舌音振退室6号密室取り壇し工事	立会調査	116nd	古代 一部包含層を確認、遺物なし。若 純した古代土器	年報4
1998年度						
98・4・14	9801	(京北) 工学部校舎建設に伴う排水管敷工事	立会調査	10nd	開削により遺物なし	年報5
98・6・26~7・2	9801	(本庄北) 医学部バイオイズ学研究センターリ・動物資源開発センターリ・植物資源開発センターリ・植物資源開発センターリ	立会調査	24nd	遺物・遺物のみならず	年報5
98・7・6	9801	(京北) 木曽木作業工事	立会調査	立会調査	遺物・遺物なし	年報5
98・7・13	9800	(京北) 工学部3号施設電気設備工事	立会調査	3nd	遺物・遺物なし	年報5
98・7・26~ 9・10	9801	(本庄北) 医学部バイオイズ学研究センターリ・動物資源開発センターリ・植物資源開発センターリ	立会調査	972nd	古文・古文・愛媛県別紙・既立往物・諸・土 境状	本報告V
98・9・21~22	9803	(京北) 文化部新設工事に伴う木製工事	立会調査	9nd	遺物・遺物なし	年報5
98・9・25~ 11・6	9802	(京北) 文化部新設工事に伴う木製工事	立会調査	575nd	古文・古文・諸・土器・石器等・土 境状	本報告V
98・9・26	9805	(本庄北) 大学病院新設診療工事	立会調査	10nd	古文・古文・古文・古文・古文・古文	年報5
98・9・29	9806	(本庄北) 大学病院中央診療新設工事	立会調査	5nd	河原町埋蔵品を除く、遺物・遺物な し	年報5
98・9・30	9807	(本庄北) 大学病院新設診療新設工事者セッタ支給室等取扱工事	立会調査	2nd	遺物・遺物なし	年報5
98・10・6	9806	(京北) 工学部1・9号施設電気設備工事	立会調査	30nd	遺物なし	年報5
98・10・26~ 11・20	9807	(本庄北) 大学病院新設診療新設工事者セッタ支給室等取扱工事	立会調査	175nd	場文・土器・石器等 古代遺物・往六・土器・諸・近代 度	本報告V
98・11・2	9801	医学部エコ学研究センター・動物資源開発研究センター・國 際農芸研究センター	立会調査	130nd	軒下のため存在せず	本報告V
98・12・14~ 12・15	9810	(京北) 理学部自然科學等結合実験施設新設改修替工事	立会調査	35nd	遺物・遺物・柱穴検出・古代土器 片	年報5
98・12・16	9805	(京北) 文化部新設排水水管設工事	立会調査	25nd	遺構・遺構・遺物・遺物なし	年報5
98・12・17~ 99・1・10	9805	(本庄北) 大学病院新設診療新設に伴う支給記賛工事	立会調査	333nd	遺穴・柱基址・古代土器片	年報5
99・1・12	9811	(京北) 工学部実験改修工事	試掘調査	1nd	古文・古文	年報5
99・1・21~ 3・25	9810	(京北) 理学部自然科學等結合実験施設新設改修替工事	立会調査	1,088nd	古文・古文・古文・古文・古文・古文 時代	本報告V
99・2・2	9802	(京北) 地球環境科学に伴う文化部新設改修工事	立会調査	26nd	遺物・遺物なし	年報5
99・2・10~ 99・2・18	9802	(京北) 地球環境科学に伴う改修工事	立会調査	40nd	遺構には遺物なし、遺物なし 地表下2mまで水質時代遺物含 有、遺闇面を確認、遺物・遺物な し	年報5
99・2・9~ 3・9	9802	(京北) 地球環境科学に伴う改修工事	立会調査	4nd	地表下90cmまで水質上を後退、遺 物・遺物なし	年報5
99・3・11~12	9812	(大江) 黄連園地東側ブロック改修工事	立会調査	70nd	混合帶・遺物・遺物・遺物・遺 物なし	年報5
99・3・10~31	9801	(本庄北) 医学部バイオイズ学研究センター・動物資源開発研究 センター新設に係る改修替工事	立会調査	57.5nd	古代 一部包含層・遺物・遺物(ビット ト)・遺物なし	年報5
1999年度						
99・4・5~8・31	9901	(本庄北) 病院(端) 病院工事	立会調査	2,405nd	古文・古文・古文・古文・古文・古文 時代石器・玉・古墳時代花器 片・土器・土器片・古墳時代灰陶・住 火器・土器・土器・灰陶・灰陶・ 灰陶・灰陶・土器・土器・土器 古代船穴・漆・漆物を少量検出	年報6
99・6・14~ 7・14	9902	(本庄北) 医学部エコ学研究センター・動物資源開発研究 センターリ・新設電気工事立会	立会調査	40nd	古代 立会調査	年報6
99・6・17	9903	(京北) 工学部研究実験棟2・新設工事に伴う改修立会	立会調査	10nd	遺構・遺物なし	年報6
99・7・19/26	9904	(本庄北) 医学部エコ学研究センター・動物資源開発研究 センターリ・新設電気工事立会	立会調査	2nd	遺構・遺物なし	年報6
99・7・29~ 7・30	9905	(京北) 自然科学研究科・理学部結合研究施設新設改修工事 立会調査	立会調査	50nd	遺物・遺物なし	年報6
99・7・2~8・7	9906	(京北) 自然科学研究科・理学部結合研究施設新設改修工事 立会調査	立会調査	200nd	古代漢6角・住火2室・古代土器 片少量を検出	年報6
99・9・2~22~ 10・5	9907	(京北) 工学部可動用プレハブ施設工事	立会調査	138.5nd	古文・古文・ビット器・陶土器片出土 陶器	本報告
99・11・24~ 11・25	9908	(京北) 国際農芸植物改良改修工事	立会調査	42nd	近代以降 遺物なし・近代磁器	年報6
00・2・14~ 3・24	9909	(京北) 地球環境科学改修工事	立会調査	1,055nd	トレンチ2半確定して検索したが、 遺物なし・近代磁器	本報告
00・1・25	9910	(本庄北) 血液検査装置改修工事	立会調査	2nd	埋瓦若干・遺物・遺物とともに複 数であります	年報6

3. これまでの調査と本音収録の進路

00・3・6～14	9911	(滋賀) 水生植物育成合意推進工事	発掘調査	70.9af	純文土器、古代土器類、鹿忠器	年報7
00・3・14	9912	(滋賀・京) 井戸取扱工事会合	立会調査	3af	遺物、遺構とともに堆疊できず	年報6
00・3・2	9913	医学部就業系実験施設建設工事会合	立会調査	7.84af	遺構、遺物なし	年報6
00・3・16～17	9914	(本庄) さく井鉢窯建設工事会合	立会調査	25af	遺構、遺物なし	年報6
2009年度						
00・4・7	0001	(滋賀) 水生植物育成合意推進工事	立会調査	61af	遺構、遺物なし	年報7
00・4・11	0002	(滋賀) 水生植物育成合意推進工事	立会調査	41af	遺構、遺物なし	年報7
00・4・17	0003	(本庄) 電気機器施設修理整備工事	試掘調査	58af	遺構、遺物なし	年報7
00・10・23	0004	(滋賀) 工学部施設改修工事	立会調査	18af	遺構、遺物なし	年報7
00・10・30	0005	(滋賀) 工学部施設改修工事	立会調査	63af	遺構、遺物なし	年報7
00・11・6～22	0006	(本庄) 開発研究施設、環境監査室3番戸入水槽監査工事(Ⅰ区)	発掘調査	119.4af	純文・古墳時代石器、古墳時代柱穴、住居跡、土器類、鹿忠器	本音
00・11・22	0008	(本庄) 開発研究施設、環境監査室3番戸入水槽監査工事(Ⅱ区)	試掘調査	4af	近・現代墓・近・現代墓石、墓環、遺骨	年報7
00・11・27～29	0009	(本庄) 知恵萌高石碑、環境監査室水槽配管工事	立会調査	85.5af	遺構、遺物なし	年報7
00・12・4～13	0006	(本庄) 知恵萌高石碑、環境監査室水槽配管工事(Ⅱ区)	発掘調査	32af	純文、古代土器状伏石、鐵器、灰陶器、ガラス玉、食器、瓶型器	本音
00・12・8～	0006	(本庄) 知恵萌高石碑、環境監査室電気設備工事(W区)	立会調査	31.5af	古代遺構なし、土器段数少	年報7
01・1・10	0006	(本庄) 開発研究施設、環境監査室水槽配管工事(Ⅲ区)	発掘調査	20.4af	古代住居址、土器類	本音
00・12・26～28	0006	(本庄) 開発研究施設、環境監査室水槽配管工事	立会調査	100.7af	近・現代墓・近・現代墓石、墓環、遺骨	年報7
01・1・29	0006	(本庄) 知恵萌高石碑、環境監査室水槽配管工事(V区)	立会調査	7af	遺構、遺物なし	年報7
01・1・22～30	0007	(本庄) 開発研究施設、環境監査室水槽配管工事	発掘調査	119.4af	住居・古代住居址、土器類、鐵器、土製馬糞堆	年報7
01・2・5	0008	(滋賀) 生息地地域研究センター「スコーププロジェクト」改修工事	立会調査	26af	既存のもの遺物、遺構なし	年報7
01・2・6～9	0008	(黒川) 地理学1・2号棟体育障害者用施設整備工事	立会調査	70af	住居財物、古墳時代土器類、古代土器類、相思	年報7
01・2・15～19	0010	(東北) 体育系施設改修工事	立会調査	372af	遺物、遺構なし	年報7
01・2・22	0011	(大口) 日川駅舎改修工事・旧ボイラー解体撤去工事	立会調査	132af	遺物、遺構なし	年報7
01・3・5～6	0012	外灯耐候性工事	立会調査	3af	遺物、遺構なし	年報7
01・3・6	0013	(大口) 屋内駅舎同様「武道館」取り壇し工事	立会調査	500af	遺物、遺構なし	年報7
01・3・22	0014	(大口) 屋内駅舎同様「武道館」取り壇し工事	立会調査	66af	遺物、遺構なし	年報7
2010年度						
01・4・9～7・3	0101	(本庄) 肺癌研究部等組合研究施設新設工事	発掘調査	1733.75af	古墳・古代・住居址、唐・朝代・墓葬類、土器・瓦片・近代・移・軽金属	本音
01・5・14	0102	(滋賀) 基幹・環境技術	試掘調査	4.8af		本音
01・5・14	0103	京町畠山町西ケーブル改修工事	立会調査	59.5af	遺構、遺物なし	年報8
01・7・9～26	0102	(滋賀) 基幹・環境監査	発掘調査	418.5af	純文土器・窓・瓦・水道宝・風呂木板・防空壕	本音
01・7・4～10・29	0104	(本庄) 開発研究施設・環境監査(共同開設)	発掘調査	1023.8af	古墳・古代・住居址・唐・朝代・墓葬類・土器・瓦片・古代・土器類・旗石・箭筒・青銅器	本音
01・7・13	0105	(京町) 正門改修工事	立会調査	7.12af	遺構、遺物なし	年報8
01・7・30～11・14	0106	(黒川) 大学教育研究センター等改修工事	立会調査	350.0af	遺構、遺物なし	年報8
01・7・31	0107	(大口) 常葉学園共同実験改修工事	立会調査	97.84af	遺構、遺物なし	年報8
01・8・1・12	0108	(京町) キャンパス情報ネットワークその他の工事	立会調査	25af	遺構、遺物なし	年報8
01・8・2・21	0109	(黒川) キャンパス情報ネットワークその他の工事	立会調査	58af	遺構、遺物なし	年報8
01・8・27	0110	(大口) 常葉学園キャンパス情報ネットワークその他の工事	立会調査	20af	遺構、遺物なし	年報8
01・9・4	0111	(本庄) 医学生キャンパス情報ネットワークその他の工事	立会調査	27af	遺構、遺物なし	年報8
01・8・22～9・4	0112	(黒川) 畜産施設ラステーション工事	立会調査	662af	遺構、遺物なし	年報8
01・9・14～10・1	0113	(本庄) 医療技術短期研修センターキャンパス情報ネットワークその他の工事	立会調査	105af	立会調査	年報8
01・9・17	0114	(本庄) 新城研究センターキャンパス情報ネットワークその他の工事	立会調査	38af	遺構、遺物なし	年報8
01・10・19	0115	(周南) 周南2号給排水構造工事	立会調査	8.4af	遺構、遺物なし	年報8
01・10・22～02・19	0116	(本庄) 施設部品販売、環境監査(A～D 地区・ボイラー取扱評査)	立会調査	426.4af	遺構、遺物なし	年報8
01・12・8～17	0117	(本庄) 医学部総合研究施設新機械設備工事	立会調査	133.1af	住居址・柱基構造・土器類・鹿忠器	年報8
01・12・22～24	0118	(京町) 基幹・環境技術(特に実験施設等・施設その他)	立会調査	111.7af	遺構、遺物なし	年報8
02・2・25～3・20	0119	(本庄) 地盤用ガス機器設備室改修工事	発掘調査	205.8af	純文・古墳・古・住居址・唐・朝代・墓葬類・土器・瓦片・古代・旗石・鹿忠器	本音
02・3・18	0120	(本庄) 総合研究施設周辺環境整備工事	立会調査	1482.7af	遺構、遺物なし	年報8
02・3・22	0121	(本庄) 新城研究施設西側(上庄) 施設工事	立会調査	1074af	？・遺物なし	年報8
02・3・22	0122	(本庄) 新城研究施設西側電気設備工事(上庄)	立会調査	54af	遺構、遺物なし	年報8
2011年度						
02・4・3～4	0201	(京町) 大学教育研究センターC棟空調機取扱工事給排水及立会調査	立会調査	29.3af	遺構、遺物なし	年報9
02・4・15～16	0202	(京町) 外灯耐候性工事	立会調査	199af	遺構、遺物なし	年報9
02・4・17	0203	(京町) インシューベーション施設新設工事	試掘調査	3af		年報9
02・4・17	0204	(京町) 航合研究施設新設工事	試掘調査	4af		年報9
02・4・24	0205	(京町) 食堂改エコリーンソイル工事	立会調査	673af	遺構、遺物なし	年報9

02・5・30～29	0206	(鹿児) 総合研究研究者に伴う脚本作成工事	発掘調査	28m ²	受持	年報 9
02・5・30～8・2	0203	(鹿児) インキュベーション施設新築工事	発掘調査	810m ²	近世	年報 9
02・6・3	0207	(鹿児) 研究開発研究者一時滞留に伴う電気工事	立会調査	32m ²	遺構・遺物なし	年報 9
02・6・12～8・14	0204	(鹿児) 総合研究研究者工事	発掘調査	2,800m ²	縄文・古墳 住居跡・猪・火葬墓・绳文土器・土器群・須恵器	年報 9
02・7・2	0208	(鹿児) 国際都市学生就寝草場整備工事	立会調査	24m ²	遺構・遺物なし	年報 9
02・8・29	0209	(石川) 教育小学校ロープ取扱工事	立会調査	13m ²	遺構・遺物なし	年報 9
02・10・1～10・3	0210	(鹿児) 工学部第1水槽建工事	発掘調査	61.19m ²	社宅跡・陶器土器・石器	年報 9
02・11・16						
02・10・7	0211	(本庄北) 医学部総合研究研究者工事(通り下部分)	立会調査	32m ²	遺構・遺物なし	年報 9
02・12・3/5/11	0212	(鹿児) 通学門駅構工事	立会調査	480m ²	遺構・遺物なし	年報 9
	0213	(本庄北) 総合研究研究者気象監視工事	立会調査	216m ²	遺構・遺物なし	年報 9
03・2・7	0214	(本庄北) 高峰環境整備外理工事	立会調査	216m ²	遺構・遺物なし	年報 9
03・2・18	0215	(本庄北) 教育施設新築工事	立会調査	34m ²	遺構・遺物なし	年報 9
03・2・21	0216	(鹿児) 外灯設置工事	立会調査	185m ²	遺構・遺物なし	年報 9
03・3・7	0217	(本庄北) 舞台装置(プレハブ)新設工事	立会調査	3m ²	遺構・遺物なし	年報 9
03・3・10	0218	(本庄北) 体育館改修工事	立会調査	27m ²	古代 住居跡・土器群・摸造窓・砾石	年報 9
03・3・11	0219	(本庄北) 新設校舎工事	立会調査	36m ²	遺構・遺物なし	年報 9
03・3・26	0220	(新宿) 学校教育局由紀橋作業場・細地境界取り	立会調査	40m ²	古代 住居跡・柱穴・床・古代土葬器・須恵器	年報 9

2003年度

03・4・10	0301	(鹿児) 工学部基礎品質監修工事	立会調査	2m ²	遺構・遺物なし	年報 10
03・4・10	0302	(鹿児) 研究開拓研究共同講義修理工事	試掘調査	9.6m ²	土器群	年報 10
03・5・20	0303	(鹿児) 教育研究開拓修理工事	立会調査	16.8m ²	遺構・遺物なし	年報 10
03・6・2～7・2	0304	(本庄北) 廉農委員会農業	発掘調査	333.5m ²	縄文・古墳 住居跡・猪・縄文土器・生糞土 等・土器群・近代密室	年報 10
03・7・18	0302	(鹿児) 研究開拓研究共同講義修理工事	立会調査	296m ²	遺構・遺物なし	年報 10
03・8・19	0303	(京町) 施設小中学校フランス教習工事	立会調査	44.3m ²	遺構・遺物なし	年報 10
03・8・5～9・12	0302	(鹿児) 総合研究研究開拓講義修理工事(1回)	発掘調査	168.2m ²	遺構・遺物なし	年報 10
03・9・4～9・8	0302	(本庄北) 研究開拓研究会北郷地区草場環境整備工事	立会調査	539.2m ²	遺構・遺物なし	年報 10
03・9・5	0307	(本庄北) 研究開拓研究会北郷地区草場環境整備工事(2回)	立会調査	754m ²	遺構・遺物なし	年報 10
03・9・29	0308	(牛留山) 小宿場跡 桑原・曾根木屋修理工事	立会調査	364m ²	遺構・遺物なし	年報 10
03・10・2	0309	(本庄北) 物語懇親会第2回	立会調査	402m ²	遺構・遺物なし	年報 10
03・10・1～10・10	0302	(鹿児) 研究開拓研究共同講義修理工事	発掘調査	253.5m ²	近代・古代 猪・ピット・陶器群・土器群・仰身土坑	年報 10
03・10・27						
03・11・6	0310	(本庄北) 建設新築工事	試掘調査	137.5m ²	遺構・遺物なし	年報 10
03・11・17～28	0310	(本庄北) 生活文化研究センター施設整備事業	試掘調査	7.4m ²	古代 土器群	年報 10
03・11・26	0302	(鹿児) 研究開拓研究共同講義修理工事(ガス管)	立会調査	557m ²	遺構・遺物なし	年報 10
03・12・9						
(本庄北) 発生研究研究センター施設整備事業工事	立会調査	3.6m ²	遺構・遺物なし	年報 10		
03・12・10	0311	(本庄北) 中央図書館建替(鉛)設営工事	立会調査	4m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・1・1・14	0307	(都) 大江戸埋蔵研究給排水雨水及び電気工事	立会調査	45.5m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・1・15～19	0313	(本庄北) 教室新築工事	立会調査	398.8m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・1・23～27	0314	(本庄北) 医学部附属病院・E棟・R・I・旧助産院等修理工事	立会調査	1,567m ²	古代 猪・ピット・土器群	年報 10
04・1・30	0315	(本庄北) 双葉駅駅舎整備工事	立会調査	30.7m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・2・9～2・16	0316	(鹿児) 墓地4号地相田門下部ハゲ等設置工事	立会調査	83m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・2・23	0317	(本庄北) 備後市墓地	立会調査	16m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・3・4	0318	(本庄北) 朝鮮半島門前橋水道木造水修理工事	立会調査	2m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・3・5～9	0314	(本庄北) 医学部附属病院・E・R・I・旧助産院等修理工事	発掘調査	1,567m ²	中世・古代 猪・ピット・陶器群・土器群	年報 10
04・3・9	0319	(本庄北) 併用改修工事	立会調査	23m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・3・9	0320	(鹿児) 基盤強化施設改修工事	立会調査	131.9m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・3・10	0321	(鹿児) 基盤強化施設改修工事	立会調査	34m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・3・10	0322	(鹿児) 建設新築工事	立会調査	4m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・3・10	0313	(鹿児) 建設新築工事	立会調査	10m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・3・10	0323	(鹿児) 建設新築工事(空調機取扱)	立会調査	44m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・3・11	0324	(本庄北) 外灯設置工事	立会調査	4m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・3・11	0325	(本庄北) 外灯設置工事	立会調査	11.2m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・3・15	0326	(鹿児) 外灯設置工事	立会調査	354m ²	绳文土器片	年報 10
04・3・16	0327	(鹿児) 外灯設置工事	立会調査	11.8m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・3・17	0323	(鹿児) 建設新築工事(猪我)	立会調査	832m ²	古代 土器群・绳文土器片	年報 10
04・3・22	0328	(京町) 教育部部長就任式中学校創始點灯設置工事	立会調査	7m ²	遺構・遺物なし	年報 10
04・3・19	0329	(鹿児) 前大衛忠參處置	立会調査	10.0m ²	遺構・遺物なし	年報 10

2004年度

04・4・7	0401	(那賀) 国地北地区救急室整備工事(遠隔下園)	立会調査	33.8m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・4・9						
04・4・9	0402	(本庄北) 地区中央診療所(鉛)設営工事	立会調査	10.44m ²	古代 猪・ピット・土器群	年報 11
04・4・13～5・31						
04・5・26	0403	(那賀) 地区中央診療所(鉛)設営工事	発掘調査	7.76m ²	古代 ピット・土器群	年報 11
04・5・14	0403	(本庄北) 地区中央診療所(鉛)設営工事	立会調査	150m ²	古代 土器群	年報 11
04・10・14						
04・5・21	0404	(那賀) 郡部地区植物園整理工事	立会調査	33m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・6・25	0405	(那賀) 郡部地区官記念植樹行式及樹脂貼及びその他工事	立会調査	68.48m ²	遺構・遺物なし	年報 11

3. これまでの調査と本番収録の進捗

04・6・26		本庄地区北地区(医病) 基幹・環境整備工事	立会調査	10m ²	古代・純文 土器群・焼土層・土壤	年報 11
04・5・24	0406	衛生施設地区官本堂北館(医病) 清掃工事(建物除去・樹木除去・電線配管・雨水管配管・ガス管配管・排水管配管)	立会調査	1332.4m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・5・26						
04・5・4						
04・10・15 ~ 26						
04・11・12						
04・11・29						
04・7・26	0408	中野毛地区小学校保水蓄水池改修工事	立会調査	26.2m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・7・29	0409	尾張田地区北地区念寺校廻工事	立会調査	72m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・8・5						
04・8・20						
04・8・23		尾張田地区地区管理部駐勤場改修工事	立会調査	11m ²	古代 住居・祭祀器・土師器	年報 11
04・8・9	0410	尾張田地区地区研究大学大学文化社会文化科学研究所新築工事	立会調査	370m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・8・10 ~ 11						
04・11・8						
04・11・11						
04・8・17 ~ 19	0411	本庄地区北地区(医病) 基幹・環境整備(ポンプ室・R.I.実験施設改修・ガス切替・水正ラグダル・周辺設置箇所) 工事	立会調査	420m ²	土師器・陶器群・焼土層・塗穴 住居址・井・ピット	年報 11
04・9・3						
04・9・14 ~ 22						
05・1・27 ~						
04・9・16	0412	本庄地区北地区西地区高須町高須山ガス配管保修理工事	立会調査	57m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・9・16	0413	京町地区保養所中学校区段高須山による倒木出し	立会調査	8m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・9・16	0414	尾張田地区工事終了後倒木による倒木出し	立会調査	4m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・9・21	0415	尾張田地区官本堂保水蓄水池改修工事及びその他の工事	立会調査	10m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・9・21	0416	本庄地区北地区東地区病院改修工事による倒木出し	立会調査	8m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・9・21	0416	本庄地区北地区東地区病院改修工事による倒木出し	立会調査	1.5m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・10・12	0417	尾張田地区北地区東地区文化室内施設改修工事	立会調査	0.6m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・10・12	0417	尾張田地区北地区東地区文化室内施設改修工事	立会調査	0.5m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・10・19	0418	尾張田地区北地区夏目漱石記念館改修工事	立会調査	0.3m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・10・22	0419	本庄地区北地区西地区高須町保育園改修工事	立会調査	223m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・11・1 ~ 26	0411	本庄地区北地区(医病) 基幹・環境整備	立会調査	561m ²	純文・古墳・ 古代 烧穴・祭祀址・出土物・住居址・井・土器群・ 鐵爐・勾玉・石器	年報 11
04・11・26	0420	南郷地区テニスコート整備工事	立会調査	605m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・11・29	0421	尾張田地区北地区(医病) 井戸設置工事	立会調査	43m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・12・6	0422	本庄地区北地区東地区中央停車場(外) 工事	立会調査	60.3m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・12・15	0423	尾張田地区西地区停車場ネットワーク施設改修工事	立会調査	18m ²	古代 住居址・柱穴・祭祀器・土師器	年報 11
04・12・24	0423	尾張田地区北地区(医病) 取締工事	立会調査	784m ²	遺構・遺物なし	年報 11
04・1・11	0424	本庄地区北地区東地区(医病) 環境整備工事	立会調査	14.5m ²	遺構・遺物なし	年報 11
05・2・1 ~ 2・7	0426	尾張田地区北地区改修情報ネットワーク施設改修工事(配管工事)	立会調査	160.08m ²	古代 土師器・瓦器群	本報付
05・2・21 ~ 3・1	0426	尾張田地区北地区防火水槽取扱工事	発掘調査	1170.4m ²	古代 土師器・瓦器群	本報付
30・5・9 ~ 10						
05・2・4 ~ 8・9	0426	本庄地区北地区防火水槽取扱工事	試掘・発掘	84m ²	中~近世 土師器・瓦器・網鉄	年報 11
05・2・4	0427	尾張田地区北地区官本堂保水蓄水池改修工事	立会調査	1.5m ²	遺構・遺物なし	年報 11
05・2・22	0428	尾張田地区保養所中学校区段改修工事	立会調査	18m ²	遺構・遺物なし	年報 11
05・2・21	0428	尾張田地区保養所中学校区段改修工事	立会調査	42m ²	遺構・遺物なし	年報 11
05・2・25・3・14・4・1	0428	本庄地区北地区東地区保養所改修工事	立会調査	1,046m ²	遺構・遺物なし	本報付
05・3・1	0431	尾張田地区作業場看守舎改修工事	立会調査	12m ²	遺構・遺物なし	
05・3・1	0432	教育学部附属幼稚園附属小学校不審木改修工事	立会調査	0.95m ²	遺構・遺物なし	
05・3・1	0433	教育学部附属幼稚園附属小学校改修工事	立会調査	0.81m ²	遺構・遺物なし	
05・3・2	0434	尾張田地区東地区保育園改修施設改修工事(医病)	立会調査	192.5m ²	遺構・遺物なし	
05・3・9	0435	尾張田地区北地区(医病) 施設改修工事(追加)	立会調査	5.6m ²	遺構・土師器	
05・3・10・15・16	0436	尾張田地区平賀作業場看守舎改修工事	立会調査	62.14m ²	遺構なし	
05・3・14・16	0427	大江地区巡回部外灯設置工事	立会調査	8.1m ²	遺構・遺物なし	
05・3・22	0438	教育学部附属幼稚園附属小学校具取扱工事	立会調査	4.14m ²	遺構・遺物なし	
05・3・23	0438	高須地区保養所中学校改修工事	立会調査	6m ²	遺構・遺物なし	
05・3・24	0440	教育学部附属幼稚園附属小学校改修工事	立会調査	遺構・遺物なし		
05・3・24	0442	(半井北) 中学校改修施設改修工事	立会調査	9.18m ²	遺構・遺物なし	
05・3・24	0443	(半井北) 中学校改修施設改修工事	立会調査	0.8m ²	遺構・遺物なし	
05・3・25	0444	尾張田地区教育学部附属高須中学校木質排水改修工事	立会調査	1.74m ²	遺構・遺物なし	
05・3・26	0445	尾張田地区作業場看守舎改修工事	立会調査	3,355m ²	遺構・遺物なし	
2005年度						
05・4・15 ~ 4・20	0501	本庄地区北地区(医病) 作業場改修工事(追加)	立会調査	28m ²	古代 土器群	年報 12
05・4・27	0502	尾張田地区保水蓄水池改修ガスパイプ接合部修理	立会調査	4m ²	遺構・遺物なし	年報 12
05・2・4 ~ 8・10	0425	(医病) 請願ネットワークシステム本部工事	発掘調査	1063.6m ²	純文・古代 烧穴・祭祀場・施設物・陶土器・土器群・瓦器・黑色土器	本報付
05・5・20 ~ 5・25	0503	(本報) 教育振興センター施設整備事業(外縁)	立会調査	2337.2m ²	遺構・遺物なし	年報 12
5・5・14						
05・6・7 ~ 6・10	0504	小堀宿宿帳改修ガス配管改修・新設工事	立会調査	7m ²	遺構・遺物なし	年報 12

05 - 6 - 9 ~ 6 - 10 6 - 12	0505 (医療) 基幹・環境整備(就寝・食事室)	立会調査	55.96mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 6 - 20	(大口) 基幹部ニスコートフェンス取扱	立会調査	2.26mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 6 - 21	(本邦) 教育機関界プロック改修工事	立会調査	10.5mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 7 - 8	0508 (医療) 携持キットワーク設置改修工事	立会調査	40.9mf	古代	土師器・頃窓器
05 - 7 - 13 ~ 7 - 14 7 - 19 ~ 9 - 30	0509 (医療) 基幹・環境整備(就寝室・移動室)	立会調査	114.7mf	縄文・弥生・住居址・唐・土師器・頃窓器 古墳・古代	年報 12
05 - 7 - 19	0511 本邦地区北地区雨水配管修理	立会調査	7.6mf	古代	住居址・土師器・頃窓器
05 - 8 - 1	0512 教育施設裏庭活動施設改修工事	立会調査	0.96mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 8 - 2 ~ 8 - 3	0513 (医療) 工事部地区改修改修施設整備等事業 - 1 工事	立会調査	9.7mf	古代	土師器・頃窓器
05 - 8 - 2 ~ 8 - 25	0513 (医療) 工事部地区改修改修施設整備等事業 - 2 工事	立会調査	196.75mf	古代	土師器・頃窓器
05 - 8 - 5	0514 医学部地区ニスコート内給水設備工事	立会調査	19.9mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 8 - 5 ~ 8 - 10	0515 (医療) 工事部地区校改修改修施設整備等事業 - 1 工事	立会調査	17.8mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 8 - 8 ~ 8 - 18	0515 (医療) 工事部地区校改修改修施設整備等事業 - 2 工事	立会調査	80.88mf	古代	住居址・土師器・頃窓器
05 - 8 - 16	0515 本邦地区(南地区) 施工場環境整備工事(その2) 追加更変	立会調査	235.98mf	古代	住居址・土師器・頃窓器
05 - 8 - 18 ~ 8 - 23	0515 (医療) 工事部地区改修改修施設整備等事業 - 2 工事	立会調査	14.7mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 8 - 19 ~ 8 - 29	0515 (医療) 工事部地区改修改修施設整備等事業 - 4 工事	立会調査	25.0mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 8 - 24	0516 本邦地区中地区外灯設備工事	立会調査	11.4mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 8 - 23 ~ 8 - 29	0516 (医療) 工事部地区改修改修施設整備等事業 - 2 工事	立会調査	17.2mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 8 - 25	0516 (医療) 工事部地区校改修改修施設整備等事業 - 1 工事	立会調査	14.7mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 8 - 25	0517 (医療) 工事部地区校改修改修施設整備等事業 - 2 工事	立会調査	86.1mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 8 - 25	0518 (医療) 工事部地区校改修改修施設整備等事業 - 1 工事	立会調査	65.0mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 8 - 25	0518 (医療) 工事部地区校改修改修施設整備等事業 - 1 工事	立会調査	120.25mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 8 - 29 ~ 8 - 30	0518 (医療) 工事部地区校改修改修施設整備等事業 - 2 工事	立会調査	24.6mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 8 - 30 ~ 9 - 1	0518 (医療) 工事部地区校改修改修施設整備等事業 - 2 工事	立会調査	20.4mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 9 - 1 ~ 9 - 13	0518 (医療) 工事部地区校改修改修施設整備等事業 - 1 工事	立会調査	67.6mf	縄文・古代	窓穴・住居址・縄文土器・土師器・ 頃窓器
05 - 9 - 1 ~ 9 - 20	0517 (医療) 基幹・環境整備(丸の家・現化室)	立会調査	133.0mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 9 - 4 ~ 9 - 5	0518 (医療) 工事部地区校改修改修施設整備等事業 - 1 工事	立会調査	48.75mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 9 - 12 ~ 9 - 27	0518 (医療) 工事部地区校改修改修施設整備等事業 - 2 工事	立会調査	43.9mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 9 - 13	0518 看護病院都市ガス設備改修工事	立会調査	29mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 9 - 14	0518 (医療) 住居部屋設置取扱工事	立会調査	157.76mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 9 - 15	0518 (医療) 工事部地区校改修改修施設整備等事業 - 5 工事	立会調査	0.79mf	住居址・ピット	年報 12
05 - 9 - 15	0518 (医療) 工事部地区校改修改修施設整備等事業 - 1 工事	立会調査	49.05mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 9 - 15	0520 本邦地区北地区入浴施設ストーブ取扱工事	立会調査	17.88mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 9 - 15	0521 本革部屋(北地区) 台風剥引引起し	立会調査	2.25mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 9 - 16 ~ 10 - 2	0518 (医療) 工事部地区校改修改修施設整備等事業 - 2 工事	立会調査	97.342mf	古代	土師器・頃窓器
05 - 9 - 16	0522 医学部附属病院管理複数外給水バーバー取扱工事	立会調査	2.25mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 9 - 27	0522 (医療) 中央病棟(住居)	立会調査	57.6mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 10 - 11 ~ 11 - 7	0518 (医療) 工事部地区校改修改修施設整備等事業 - 2, 3 工事	立会調査	150mf	古代	住居址・床・土師器・頃窓器
05 - 10 - 11	0524 本邦地区(北地区) 駐車ゲート整備工事	立会調査	261.33mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 10 - 13 ~ 10 - 14 10 - 17 ~ 10 - 18	0525 (医療) 携持キットワーク設置工事	立会調査	72.6mf	古代	住居址・土師器・頃窓器
05 - 10 - 14	0526 理容室更衣部改修施設整備工事	立会調査	2.0mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 10 - 19 ~ 10 - 20	0527 (医療) 文化部書類ストーブ整備工事	立会調査	44mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 10 - 21	0528 工事部のづくり実習新築工事	立会調査	810mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 10 - 25	0529 (医療) 外壁面層研究施設改修改修施設整備工事	立会調査	381.12mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 10 - 26	0530 畜産部畜産施設改修改修施設整備工事	立会調査	5.6mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 11 - 4	0531 教育施設及び職員宿舎新築工事	立会調査	9mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 11 - 7	0532 (医療) パークレーン新設導入工事	立会調査	35mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 11 - 7	0533 (医療) パークレーン新設導入工事	立会調査	1.1mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 11 - 16 ~ 11 - 21	0534 黒巣地区施設改修工事	立会調査	124.3mf	遺構・遺物なし	年報 12
05 - 11 - 29 ~ 12 - 15	0513 (医療) 工事部地区校改修改修施設整備等事業 - 2 工事	立会調査	48mf	古代	住居址・往穴

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

05・11・29～ 12・5	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 2</small>	発掘調査	24nd 古代	住居址・傳・ピット・土器器・須 里器	年報 12
05・12・4	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 2</small>	立会調査	1174nd 古代	土器器	年報 12
05・12・7	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 2</small>	立会調査	87nd 古代	ピット・土器器・須里器	年報 12
05・12・9	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 2</small>	立会調査	23nd 古代	包含層・土器器・須里器	年報 12
05・12・12	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 2. 5</small>	立会調査	nd	遺構・遺物なし	年報 12
05・12・12	0535 <small>教育学部附属農場竹林地敷地</small>	立会調査	4557nd	柱穴	年報 12
05・12・13	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 1</small>	立会調査	05nd	遺構・遺物なし	年報 12
1. 21					
05・12・13	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 2</small>	立会調査	3nd	遺構・遺物なし	年報 12
1. 22					
05・12・13	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 1</small>	立会調査	875nd	遺構・遺物なし	年報 12
1. 23					
05・12・13	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 2</small>	立会調査	18nd	遺構・遺物なし	年報 12
1. 24					
05・12・14	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 2</small>	立会調査	866nd	遺構・遺物なし	年報 12
1. 25					
05・12・14	0536 <small>理学院弓道場改修工事</small>	立会調査	8273nd	遺構・遺物なし	年報 12
05・12・15	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - L. 2</small>	立会調査	2865nd	遺構・遺物なし	年報 12
1. 26					
05・12・16	0537 <small>理学部プレハブ倉庫改修工事</small>	立会調査	167nd	遺構・遺物なし	年報 12
05・12・19～ 1. 21.	0538 <small>(黒壁) 情報ネットワークケーブル敷工事 (追加)</small>	立会調査	70235nd 古代	土器器・須里器	年報 12
06・1・6～ 1・11. 2・24 3・2					
06・1・6～ 1・11. 2・24 3・2	0539 <small>本花園地 (中地区) ゴミ場取扱</small>	立会調査	4851nd	遺構・遺物なし	年報 12
05・12・26	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 2</small>	立会調査	10nd	遺構・遺物なし	年報 12
0513					
06・1・4～ 1・19	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 2</small>	立会調査	89nd 古代	住居址・土器器・須里器	年報 12
06・1・5	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 2</small>	立会調査	70nd	遺構・遺物なし	年報 12
06・1・10. 1・25	0540 <small>本花園地 (中地区) 塩田ガス管改修工事</small>	立会調査	618nd	遺構・遺物なし	年報 12
06・1・17	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 7</small>	立会調査	1nd	遺構・遺物なし	年報 12
06・1・20	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 7</small>	立会調査	708nd	遺構・遺物なし	年報 12
06・1・26. 2・2 2・10 2・27	0541 <small>(黒壁北) 理学部職場整備工事 (追加・再追加含む)</small>	立会調査	11105nd 古代	土器器・須里器	年報 12
06・1・23	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 7</small>	立会調査	454nd	遺構・遺物なし	年報 12
06・1・24	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 2</small>	立会調査	12nd	遺構・遺物なし	年報 12
06・1・26	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 1</small>	立会調査	40nd	遺構・遺物なし	年報 12
06・1・29	0542 <small>(昭和) 基幹・造瓦整備 (曳き家・移転経路)</small>	立会調査	1464nd	遺構・遺物なし	年報 12
06・1・30	0513 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 3</small>	立会調査	6561nd	遺構・遺物なし	年報 12
1. 30					
06・2・13	0543 <small>町医院職員厚生施設開拓整備</small>	立会調査	3389nd	遺構・遺物なし	年報 12
06・2・16	0544 <small>(昭和) 基幹・造瓦整備 (曳き・支家段)</small>	立会調査	30nd	遺構・遺物なし	年報 12
3・13					
06・2・17	0545 <small>教育学部附属幼稚園ブランコ用ゴムマット敷設</small>	立会調査	12nd	遺構・遺物なし	年報 12
06・2・24	0546 <small>(黒壁) 情報ネットワークケーブル敷工事に伴う外構工事</small>	立会調査	1837nd 古代	住居址・土器器・須里器	年報 12
3・7～ 3・8. 3・13. 3・16～ 3・17					
06・3・10	0547 <small>(黒壁) 北地区学生会館西側パーキング場設置工事</small>	立会調査	48nd	遺構・遺物なし	年報 12
06・3・13	0548 <small>本花園地 (中地区) 延り廊下設置</small>	立会調査	55nd	遺構・遺物なし	年報 12
06・3・24	0549 <small>(黒壁) 外来化学療法センター屋外冰水配管工事</small>	立会調査	192nd	遺構・遺物なし	年報 12
06・3・30	0550 <small>若木樹齢工事</small>	立会調査	091nd	遺構・遺物なし	年報 12
2006年度					
06・4・11	0601 <small>教育学部附属中学校テニスコート移設</small>	立会調査	594nd	遺構・遺物なし	年報 13
06・4・11	0602 <small>(黒壁南) 畜糞工事</small>	立会調査	6nd	遺構・遺物なし	年報 13
06・4・11	0603 <small>(黒壁) 資料館改修工事</small>	立会調査	321nd 古代	土器器	年報 13
06・4・11～ 4・12	0604 <small>(黒壁) 資料館改修工事 (屋外排水)</small>	立会調査	2512nd 古代	土器器	年報 13
06・4・12	0605 <small>工学部研究実験用車庫取扱工事</small>	立会調査	4905nd	遺構・遺物なし	年報 13
06・4・13	0606 <small>款送大通室内復設工事</small>	立会調査	15nd	遺構・遺物なし	年報 13
06・4・18～ 4・19	0607 <small>(黒壁南) 工学部施設改修施設整備等事業</small>	立会調査	52nd	遺構・遺物なし	年報 13

06・4・21	0606 (黒塗北) 工事歩道配管接続工事	立会調査	13mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・4・24	0609 教育学部施設小学校施設改修工事	立会調査	17mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・5・2	0610 教育学部施設小学校施設改修工事	立会調査	0.98mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・5・11	0611 ① (黒塗南) 工学部施設改修施設整備等事業-1	立会調査	32mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・5・22	0611 ② (黒塗南) 工学部施設改修施設整備等事業-2	立会調査	129mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・5・25	0611 ③ (黒塗南) 工学部施設改修施設整備等事業-3	立会調査	129mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・5・22	0612 ① (黒塗南) 工学部施設改修施設整備等事業-4	発掘調査	11mf 古代	柱穴・土師器	年報 13
06・5・22~	0612 ② (黒塗南) 工学部施設改修施設整備等事業-5	発掘調査	24mf 古代	柱穴・土師器・焼瓦	年報 13
06・5・24					
06・6・12	0614 (黒塗) 環境安全センター給水配管接続	立会調査	0.57mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・6・19	0615 病院附属中央保健所改修施設改修工事	立会調査	724mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・6・22	0615 病院附属中央保健所改修施設改修工事(衛生) 工事	立会調査	153mf	土師器・瓦	年報 13
6・28					
7・3					
06・6・27	0616 ③ (黒塗南) 工学部施設改修施設整備等事業-4	立会調査	21.98mf 古代	土師器・須恵器	年報 13
7・7					
06・8・7	0616 教育学部施設小学校給水管接続工事	立会調査	17mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・8・11	0617 (黒塗) ブルーム教室改修施設改修工事	立会調査	0.59mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・8・11	0618 医学院附属病院附属施設改修工事	立会調査	875mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・8・21	0619 教育学部施設改修施設改修工事(衛生) 工事	立会調査	420.51mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・8・24~	0611 ④ (黒塗南) 工学部施設改修施設整備等事業-3	立会調査	207mf	遺構・遺物なし	年報 13
8・25					
06・8・31~	0611 ⑤ (黒塗南) 工学部施設改修施設整備等事業-2	立会調査	641mf 古代	傳・土加器	年報 13
9・1					
06・9・7	0620 教育学部施設小学校ブルーム系統給水配管接続工事	立会調査	28mf		年報 13
06・9・11	0611 ⑥ (黒塗南) 工学部施設改修施設整備等事業-10	立会調査	40.64mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・9・12	0611 ⑦ (黒塗南) 工学部施設改修施設整備等事業-10	立会調査	140mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・9・14~	0611 ⑧ (黒塗南) 工学部施設改修施設整備等事業-10	立会調査	3296mf	遺構・遺物なし	年報 13
9・15					
06・9・20~	0611 ⑨ (黒塗南) 工学部施設改修施設整備等事業-10	立会調査	551mf		年報 13
9・21					
06・10・2	0611 ⑩ (黒塗南) 工学部施設改修施設整備等事業-2	立会調査	105mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・10・2	0621 (黒塗) ブルーム教室改修施設改修工事(アスベスト処理) 工事その2	立会調査	44mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・10・2	0622 (黒塗) 廊腰壁(西側校舎事務室) 工事	発掘調査	8077.5mf 古代 (50.686m)	土師器・須恵器	年報 13
10・27					
10・30					
11・13					
06・10・10	0623 黒塗地外灯取付その施工事	立会調査	36.79mf	遺構・遺物なし	年報 13
10・12					
06・10・13	0624 附属病院施設管理施設キュームーレータードレン管漏れ修理	立会調査	2.16mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・10・16	0625 (医病) 基幹・準基幹 (外) 工事	立会調査	296.4mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・10・19	0626 (医病) 基幹整備 (ボイラーアクセス更新) 工事	立会調査	106.7mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・10・25	0627 (大江地区) 露天排水工事	立会調査	0.24mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・11・2	0628 医学院附属病院施設管理施設外廊下露天工事	立会調査	28mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・11・17	0629 (半田) 医学院附属病院施設改修施設改修工事	立会調査	230mf 古代	土師器	年報 13
11・27					
12・4					
06・11・20	0630 黒塗地区工学部通用門周辺接続工事	立会調査	15mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・11・30	0631 施設改修工事(東北水道工事)	立会調査	56.93mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・12・1	0632 事務室正門前木植栽	立会調査	3.36mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・12・15	0612 ⑪ (黒塗南) 工学部施設改修施設整備等事業-6	発掘調査	1627mf 古代	土師器・須恵器・植物骨	年報 13
12・18~					
12・25					
12・27					
12・28					
07・1・4~					
1・9					
06・12・19	0633 本花地区南角駐車場手造陶器埋蔵工事	立会調査	2943.79mf	遺構・遺物なし	年報 13
06・12・25	0634 (半田) 医学院附属病院施設改修機械敷設工事	立会調査	11336mf	遺構・遺物なし	年報 13
07・4・2					
07・1・10~	0635 附属農業技術ガズボルタ電気立会	立会調査	1345mf	遺構・遺物なし	年報 13
1・11					
1・19					
07・1・16	0636 理學器4号館外脚踏取替工事	発掘調査	3035mf 古代	土師器・須恵器・椎	年報 13
1・22~					
1・23					
07・1・30	0637 (本庄) 医学院附属病院施設改修工事	立会調査	341.2mf	遺構・遺物なし	年報 13
07・2・1	0638 (宇留毛) ゴミ収集場取替工事	立会調査	35mf	遺構・遺物なし	年報 13
07・2・20	0639 (本庄) 医学院附属病院施設改修機械敷設工事	立会調査	425mf	遺構・遺物なし	年報 13
07・2・26	0640 黒塗地区北地外灯付電気立会ガス漏れ調査	立会調査	152mf	遺構・遺物なし	年報 13
07・3・1	0641 (半田) 医学院附属門前町取り壇工事	立会調査	52.42mf	遺構・遺物なし	年報 13
07・3・6	0642 宇留毛地区北地外灯付工事	立会調査	134.82mf	遺構・遺物なし	年報 13
07・3・8	0643 (黒塗南) 球磨瓦屋根取り壇等工事	立会調査	101.7mf 古代	土師器	年報 13
07・3・8	0644 (南地区) 西側道路改修工事	立会調査	55.28mf	遺構・遺物なし	年報 13
07・3・12	0645 本花地区南北コースト路改修工事(管渠接続工事)	立会調査	763mf	遺構・遺物なし	年報 13
07・3・20	0646 (医病) 病院整備(救急検査) 施設設置工事	立会調査	5.77mf	遺構・遺物なし	年報 13
07・3・22	0647 (医病) 病院施設解体改修工事	立会調査	25.7mf	遺構・遺物なし	年報 13
07・3・26	0648 (医病) 病院整備(山崎紀念外野改修) 工事	立会調査	1.15mf	遺構・遺物なし	年報 13

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

2007年度							
07・4・10	0701 (教) 寺賀養護学校東門等改修工事	立会調査	2nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・4・12	(本庄) 医学部図書館改修整備新古工事	試掘調査	古代	清・柱穴・土器	年報14		
07・4・13	教育学系附属施設改修小屋新設工事	立会調査	18.21m ²	遺構・遺物なし	年報14		
07・4・16	0703① (黒瀬南) 工学部他校舎改修施設整備等事業6	立会調査	61nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・4・20							
07・5・7~ 5・8	0704 (黒瀬南) 新宿工事に伴う排水移工事	立会調査	44nd	古代	土器器・磁器器	年報14	
07・6・7	(医歯) 東洋館新工事	試掘調査					
07・6・13	0705 (医歯) 東洋館新工事に伴う支障配線修正工事(電気設備)	立会調査	7nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・6・19	0703② (黒瀬南) 工学部他校舎改修施設整備等事業13	立会調査	469.2nd	遺構・遺物なし	年報14		
6・21							
6・27							
07・6・20	0706 本庄地区保育学科用通用施設	立会調査	174nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・6・20	豊島北地区総合研究施設新古工事	試掘調査		柱穴・土器	年報14		
07・6・25	0703③ (黒瀬南) 工学部他校舎改修施設整備等事業13	立会調査	31.4nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・6・26	0707 (本庄) 医学部図書館改修新古工事	立会調査		(一次探査立会)	年報14		
6・29							
7・10							
7・18~ 7・19							
07・6・28	0708 大教センター南館西脇修理	立会調査	130nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・6・29	0709 (本庄北) 水道渠引手取設工事	立会調査	435nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・7・3	0703④ (黒瀬南) 土地部他校舎改修施設整備等事業6.14	立会調査	36nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・7・4	0710 (京司) 教育学部附属小中学校改修施設新古工事(実況)	立会調査	40nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・7・9~ 7・10	0703⑤ (黒瀬南) 工学部他校舎改修施設整備等事業6	立会調査	58.75nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・7・17	0711 (医歯) 基幹・環境施設(田中少委被覆取り壇しに伴う実況) 改修工事	立会調査	534nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・7・17	0703⑥-1 (黒瀬南) 工学部他校舎改修施設整備等事業13	立会調査	1,576.6nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・7・19	0703⑥-2 (黒瀬南) 工学部他校舎改修施設整備等事業13	立会調査	300.08nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・7・30~ 9・3	0707 (本庄) 医学部図書館改修新古工事	発掘調査	1,590nd	縄文・古墳・古代 器・須恵器・古代鉄器	年報14		
07・8・7	0712 (医歯) 東洋館新工事	立会調査	24nd	(一次探査)	本報告V		
07・8・10	0713 藥學部附属水道渠渠水排水設工事	立会調査	1nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・8・22	0714 (黒瀬南) 理学部12号館被覆取設工事	立会調査	15.7nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・8・23	0715 (黒瀬南) 工学部他校舎改修施設整備等事業19	立会調査	20.09nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・8・27~ 10・25	0712 (医歯) 東洋館新工事	発掘調査	569.29nd	縄文・古墳・ 古代土器・土器器・組紐器・石 器・古代鉄器・鍔製帶・馬具・ 朱鉛	本報告V		
07・9・3	0716 本庄地区駅舎東入り口整備	立会調査	294.5nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・9・14	0717 (医歯) 基幹・環境施設(田中少委被覆取り壇しに伴う機械 設置) 工事	立会調査	93nd	遺構・遺物なし	年報14		
10・3							
07・9・25~ 9・27	0703⑦ (戸塚南) 工学部他校舎改修施設整備等事業6.16	発掘調査	275.5nd	古代	住居土・ピット・土器器・組紐器	年報14	
10・2							
07・9・27	0718 (大教) 草学部本館附設改修工事	発掘調査	264.32nd	古代	土・埴輪器	年報14	
10・1~ 10・2							
07・10・4	0719 (京司) 教育学部附属小中学校校舎等改修工事	立会調査	306.68nd	先史・古代 ピット・先史土器・土器器	本報告V		
10・15~ 10・16							
10・22							
10・25							
08・1・30~ 1・31							
2・13							
07・10・19	0720 事務局内荷物屋外給水管鋪設工事	立会調査	25nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・10・26~ 11・28	0719 (京司) 教育学部附属小中学校校舎等改修工事	発掘調査	230.3nd	先史・古代 壁穴住居・ピット・甕・先史土 器・土器器・須恵器・打削石器	本報告V		
07・12・3~ 12・12	0721 (京司附属小中) 校舎等機械設備改修	立会調査	1,309.05nd	先史・古 墳・古 墳住居・ピット・先史土器・士 器・近代・近世・紙器・組紐器 ・近代陶器	本報告V		
12・6~ 12・7							
08・1・18							
07・12・5	0722 (黒瀬) 工学部8号館内部改修その他工事	立会調査	97nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・12・5	0723 (黒瀬) 工学部8号館内改修電気設備工事	立会調査	141nd	遺構・遺物なし	年報14		
12・11							
07・12・7	0724 (本庄) 医学部基礎研究棟(C棟とりこわし) 工事	立会調査	1,000nd	古代 土坑・ピット・土器器	年報14		
12・10							
12・12							
07・12・7	0725 (京司) 教育学部附属小中・学校校舎等改修電気設備工事	立会調査	90nd	遺構・遺物なし	年報14		
07・12・10	0703⑨-5 (黒瀬南) 工学部校舎改修施設整備等事業6.18	立会調査	145.75nd	古代? ピット	年報14		
12・17~ 12・18							
08・1・16~ 1・17							
07・12・14~ 12・27	0721 (京司附属小中) 校舎等機械設備改修	発掘調査	1,126.65nd	先史・古 墳・古 墳住居・ピット・近代土坑・先 史土器・土器器・須恵器・近世・ 近代陶器	年報14		
07・12・19	0726 医学部基礎研究棟改修廻所	立会調査	1nd	遺構・遺物なし	年報14		
08・1・16	0703⑩ (黒瀬南) 工学部他校舎改修施設整備等事業20	立会調査	94.8nd	遺構・遺物なし	年報14		

06・1・22	0727 (墨井) 工学部8号館新改修施設設置工事	立会調査	12m ²	道傍・遺物なし	年報 14
06・1・22	0728 (墨井) 工学部8号館内廊下改修施設設置工事	立会調査	2m ²	道傍・遺物なし	年報 14
06・1・23	0703 第2 (墨井) 工学部施設改修施設整備等事業4.18	立会調査	89m ²	道傍・遺物なし	年報 14
06・1・25	0703 第3 (墨井) 工学部施設改修施設整備等事業4.18	立会調査	201m ²	道傍・遺物なし	年報 14
06・1・29 ~	0703 第3 (墨井) 工学部施設改修施設整備等事業4.18	立会調査	96.2m ² 古代	土師器	年報 14
06・2・1 2・4	0703 第4 (墨井) 工学部施設改修施設整備等事業4.18	立会調査	53.02m ² 古代	土師器	年報 14
06・2・14	0729 (墨井) ガイラー等歴史工事	立会調査	35.8m ²	道傍・遺物なし	年報 14
06・2・25	0730 (墨井) 教育部附属駒澤特別支援学校助太郎木綿織工事	立会調査	4 m ²	道傍・遺物なし	年報 14
06・2・27	0731 (墨井) 周辺地区瓦斯センター改修	立会調査	2.85m ²	道傍・遺物なし	年報 14
06・2・29	0732 (本郷) 特別歴史地区活用施設工事	立会調査	9 m ² 土師器	土師器	年報 14
06・3・11 3・26	0733 (墨井) 旧中央修理所とりこむし工事	立会調査	84m ²	道傍・遺物なし	年報 14
06・3・17	0734 (墨井) 清水賀原開拓施設フルス設置工事	立会調査	50.3m ²		
06・3・21	0735 (墨井) 医学部附属学科オフィス用地下油タンク撤去工事	立会調査	40m ²	道傍・遺物なし	年報 14
06・3・21	0736 (大江北) 医学部消防用水槽撤去工事	立会調査	73.3m ²	道傍・遺物なし	年報 14
06・3・25	0737 (墨井) バーチ歴史工事	立会調査	208m ²	道傍・遺物なし	年報 14
06・3・27	0738 (本郷) 附属駒澤小学校改修工事	立会調査	36.8m ²	道傍・遺物なし	年報 14
06・3・31	0739 (墨井) 出向住吉町改修工事	立会調査	10.135m ²	道傍・遺物なし	年報 14
2006年度					
06・4・2	0801 (昭和) 国中央修理所とりこむし工事(追加)	立会調査	20m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・5・7	0802 斎藤中学校改修工事	立会調査	2m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・5・20	0803 斎藤市原町地盤改良合意ガス管改修工事	立会調査	1.8m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・5・26	0804 (本郷) 脊椎腰椎取扱い工事	立会調査	11.1m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・6・5	0805 (墨井) ガラス商店耐震木質屋根修理	立会調査	2m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・6・6	0806 (墨井) 南地区桜井助支店改修替工事	立会調査	306.46m ² 古代	土師器	年報 15
6・19 6・23 6・26 7・4 7・10 7・18 7・26 7・28 7・29 7・30 12・4 12・8 12・10 12・19	0806 (墨井) 南地区桜井助支店改修替工事	発掘調査	125.2m ² 古代	漆・ピット・土師器・埴輪器・近 代陶器・石器	年報 15
7・1 7・28 7・30 12・4 12・18 12・19					
06・6・20 6・28~ 7・1 7・28~ 7・30 12・4 12・18~ 12・19	0807 (本郷) 医学部附属駒澤新宿舎改修工事	立会調査	29.7m ²	道傍・遺物なし	年報 15
6・10					
06・6・16	0808 (墨井) 有効系統処理施設改修木管取付修理	立会調査	0.3m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・6・23 7・1 7・3~ 7・4 7・15~ 7・16	0809 (墨井) 駒澤駒澤木工舎工事(追加)	立会調査 / 発掘調査	23.5m ² 古代	漆・住居址・土師器・石器	年報 15
06・7・10 6・11 06・7・14 06・7・15 06・8・18 06・8・20~ 8・22	0810 中野毛塚頭排水管替工事	立会調査	2m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・8・11	0811 (墨井) こばと桜井附壁基礎等撤去工事	立会調査	3.6m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・8・14	0812 (墨井) 墓原板敷工事	立会調査	41.1m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・8・15	0813 (本郷) 長谷寺坂改修内市街ガス配管埋入修理	立会調査	24.2m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・8・18	0814 (本郷) 宮前新宿工事	立会調査	8m ² 作生	周見瓦	年報 15
06・8・20~ 8・22	0814 (墨井) 宮前新宿工事	発掘調査	212m ² 作生・古代	作生・土器・土師器・灰燼層	年報 15
06・8・21 6・21 06・8・29 06・9・1 06・9・9~ 9・10	0815 (本郷) こばと桜井附壁基礎等撤去工事	立会調査	1m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・8・21	0816 (本郷) 原田附壁基礎等改修工事	立会調査	17.7m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・8・29	0817 中野毛塚頭排水管替工事	立会調査	0.96m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・9・1	0818 (墨井) ガンバ京都駒澤木管漏水修理	立会調査	21m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・9・9~ 9・10	0819 (墨井) 文化学部新改修工事改修物置工事	立会調査	80.2m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・9・9	0821 小坂地区(北地) 看護部宿舎改修ガス管修理	立会調査	74m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・10・6	0822 小坂地区(保健学科宿舎改修)改修	立会調査	30m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・10・9 10・20~ 11・25	0823 (墨井) 体育館南面改修その他の工事	一決算附 / 発掘調査	694.95m ² 足立・古墳・古墳時代玉・土 器群・石器・人骨	足立・古墳・古墳時代玉・土 器群・石器・人骨	年報 15
06・10・30	0823 教育部附属駒澤特別支援学校附属耐水調査補修工事	立会調査	48m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・10・31	0824 (本郷) 保健部宿舎改修耐水調査取扱工事	立会調査	0.8m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・10・30	0825 (墨井) 体力・卓球卓取扱	立会調査	120.5m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・10・30	0827 兵庫県立123周年記念式典	立会調査	44.55m ²		
06・11・4	0827 兵庫県立123周年記念式典	立会調査	0.25m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・11・6	0828 (本郷) こばと桜井改修電気設備工事	立会調査	10.7m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・11・10	0829 (墨井) 学校部ブレーブ倉庫改修後廻設施工事	立会調査	25m ²	道傍・遺物なし	年報 15
06・10・10	0830 教育部附属駒澤特別支援学校耐水調査取扱工事	立会調査	4.8m ²	道傍・遺物なし	年報 15

3. これまでの調査と本部収録の遺跡

05・10・15	0824 (本庄市) 調査部隊後物科物貯所取扱工事	立会調査	0.8af	道傍・遺物なし	年報 15
05・10・28	0825 (須崎) 電力本部自衛企	立会調査	12.05af	道傍・遺物なし	年報 15
05・10・29	0826 (須崎市) 典型被災者前本隊修・修理工事	立会調査	44.55af	道傍・遺物なし	年報 15
05・11・4	0827 (高麗川) 典型被災者前本隊修・修理工事	立会調査	0.25af	道傍・遺物なし	年報 15
05・11・6	0828 (本庄市) こばと佐々木新幹線改修電気設備工事	立会調査	10.7af	道傍・遺物なし	年報 15
05・11・10	0829 (須崎北) 舞鶴部プレハブ倉庫改修電気設備工事	立会調査	25af	道傍・遺物なし	年報 15
05・11・15	0830 (本庄市) こばと佐々木新幹線改修電気設備工事 (変更 2)	立会調査 / 監査調査 / 監査調査	5af 古代	土葬墓・石器	年報 15
11・21					
05・11・18	0831 (須崎) 体竹船頭改修機械設備工事	発掘調査	113.3af	道傍・遺物なし	年報 15
11・20					
12・24					
05・12・1	0832 文化部講習班北側水井耐水槽工事	立会調査	1.04af	道傍・遺物なし	年報 15
05・12・3	0833 (須崎北) 教育部本部東側排水井耐水槽修理工事	立会調査	1.4af	道傍・遺物なし	年報 15
05・12・10	0834 (本庄市) 典型被災者新幹線工事 (変更)	立会調査	14.13af	黒曜石	年報 15
05・12・11	0835 (須崎) 宮窓研磨新幹線設備 (向山) 工事 (変更)	一次探削 / 発掘調査	580af	ピット・住居址・土器群・須恵器・灰土層・石器・鉄器	年報 15
12・15					
12・19					
05・13・13					
1・19					
05・13・22	0836 (須崎北) 教育部本部駅・文法学部本部改修機械設備工事 一次探削 / (変更その 1, その 2)	立会調査 / 監査調査	455.54af 古代	溝・住居址・ピット・土器群・瓶 灰土層・石器	年報 15
13・25					
05・1・5~ 3・10					
05・12・24	0837 高麗川校 120 周記念樹 (追加)	立会調査	0.2af	道傍・遺物なし	年報 15
05・12・26	0838 (須崎北) 教育部本部改修機械設備工事	立会調査	60af	道傍・遺物なし	年報 15
05・1・20	0839 (須崎南) 教育部合宿改修工事	立会調査	43.85af	道傍・遺物なし	年報 15
05・1・22	0840 (須崎南) 宮窓研磨ゴーラー室改修工事	立会調査	5af	道傍・遺物なし	年報 15
05・2・2	0841 (須崎北) ものづくり実習室改修工事に伴う支障害物伐採・移・立会調査	立会調査	8af	道傍・遺物なし	年報 15
05・2・4	0842 (本庄市) 風景説明告白看板設置施設工事	立会調査	7.2af	道傍・遺物なし	年報 15
05・2・5	0843 (須崎北) ボーリング施設工事	立会調査	8af	道傍・遺物なし	年報 15
05・2・12	0844 (須崎北) 教育部本部駅・文法学部本部改修電気設備工事 (変更)	立会調査	9.6af	道傍・遺物なし	年報 15
05・2・12	0845 (須崎南) 相生社改修工事	立会調査	1.6af	道傍・遺物なし	年報 15
05・2・13	0846 (須崎町) 舞鶴防波堤北側改修工事	立会調査	1af	道傍・遺物なし	年報 15
05・2・13~ 2・19	0847-1 (須崎北) 教育部本部改修工事 (変更)	立会調査	133.8af	道傍・遺物なし	年報 15
05・2・23~ 24	0848-1 (須崎北) 文法学部本部改修 (変更) 24	立会調査 -5	130.17af	道傍・遺物なし	年報 15
2・27					
3・4~					
3・5					
3・13					
05・2・16	0849 里見園地 (北地区) 外灯埋設等の堆工事	立会調査	3af	道傍・遺物なし	年報 15
05・2・16	0850 (須崎) 体育施設要望改修機械設備工事 (追加)	発掘調査 (立会調査)	13.32af	道傍・遺物なし	年報 15
05・2・17	0851 (須崎) 水路整備改修工事	立会調査	8af	道傍・遺物なし	年報 15
05・2・18	0852 (須崎) 排水ポンプ施設工事	立会調査	1af	道傍・遺物なし	年報 15
05・2・18	0853 (須崎南) ものづくり実習室改修工事 (新幹電気設備工事)	立会調査	0.5af	道傍・遺物なし	年報 15
05・2・23	0857-3 (須崎北) ものづくり実習室改修 (変更その 2)	立会調査	244.6af	道傍・遺物なし	年報 15
05・2・24	0854 (須崎北) 北地区ボーリング改修工事	立会調査	12af	土器群・鉄道具	年報 15
05・2・26~ 3・12	0854 (須崎北) 北地区ボーリング改修工事	発掘調査	100af 古代	ピット・廃土堆放址・透状通路・土器群・電・土器群・鐵道具・土 製刷毛水	年報 15
05・2・26	0855 (須崎南) 朝日報社処理センター改修電気設備工事	立会調査	20.85af	道傍・遺物なし	年報 15
05・2・27	0856 (須崎南) ものづくり実習室改修工事	立会調査	60.39af	道傍・遺物なし	年報 15
05・3・3	0857 (須崎南) 田植機動化センタースロープ設置工事	立会調査	33.114af (40.12af)	道傍・遺物なし	年報 15
05・3・4~ 6・6					
05・3・6	0858 (須崎北) 教育部本部改修構築工事	立会調査	117af	道傍・遺物なし	年報 15
05・3・11					
05・3・6	0859 (須崎南) 共用機器室 3 階改修機械設備工事	立会調査	3.6af (0.32af)	道傍・遺物なし	年報 15
05・3・6	0860 (須崎南) ものづくり実習室改修工事	立会調査	115.54af (17.34af)	道傍・遺物なし	年報 15
05・3・9~ 3・11	0861 (須崎北) 文法学部本部改修室改修工事	立会調査	33af	道傍・遺物なし	年報 15
05・3・11					
05・3・17	0862 (須崎南) 共用機器室 3 階改修電気設備工事	立会調査	21af	道傍・遺物なし	年報 15
05・3・10~ 3・11	0863 (須崎北) ボイラー室改修機械設備工事	立会調査	98.5af (4.86af)	道傍・遺物なし	年報 15
05・3・16	0864 (須崎北) 職務室 (清水木) 工事	立会調査	119.99af	住居址・ピット・土器群	年報 15
05・3・23	0865 (須崎) 南地区ボーリング改修外構工事	立会調査	303.78af (1.12af)	道傍・遺物なし	年報 15
05・3・27	0866 (須崎北) 伊奈台北側排水工事	立会調査	1af	道傍・遺物なし	年報 15
05・3・27	0867 (須崎北) 北地区ボーリング改修外構工事	立会調査	37.24af (16.1af)	道傍・遺物なし	年報 15
05・3・31	0868 (須崎) カーボンアス放工事	立会調査	2af	道傍・遺物なし	年報 15

2009年度						
09・4・15	0901 (滋賀県) 南門改修設置移工事	立会調査	18m ²	道耕・造物なし		
4・17						
09・4・20	0902 (滋賀県) 南門改修工事	立会調査	422m ²	内部・財布袋に探し出された性質 址らしき遺物検出		
4・22				それ以外遺物・造物なし		
4・24						
4・27						
4・30						
5・1						
5・25						
5・27						
5・28						
09・5・23	0903 (本庄市) 中地区内閣カーブミラー取扱工事	立会調査	1.19m ²	道耕・造物なし		
09・5・8	0904 (中野市) 学生寄宿舎施設新設工事	立会調査	115.6m ² (16m ²)	道耕・造物なし		
09・5・8	0905 (滋賀県) 境外周辺土改修工事	立会調査	5.8m ²	道耕・造物なし		
09・5・27	0906 (大江市) 教育部有斐フロンティアセンター新設その他工事	立会調査	191.1m ² (0.6m ²)	道耕・造物なし		
09・5・28	0907 (滋賀) 基幹整備(電話交換設備更新)工事 その1 (変更)	立会調査	179.2m ² (11.4m ²)	道耕・造物なし		
09・6・5	0908 (滋賀) 基幹整備(電話交換設備更新)工事 その2	立会調査	1.6m ²	道耕・造物なし		
09・6・4	0909 (大江) 教育部新設土改修・移築工事	立会調査	42.7m ² (10.6m ²)	道耕・造物なし		
09・6・11	0910 (滋賀北) ガス配管修理	立会調査	3m ²	道耕・造物なし		
09・7・3	0911 (大江) 教育部有斐フロンティアセンター新設その他電気設 置工事	立会調査	3.34m ²	道耕・造物なし		
09・7・6	0912 能木大学附属幼稚園(東京区) インフラ敷設	立会調査	403.5m ² (1.2m ²)	道耕・造物なし		
09・7・8	0913 (滋賀北) 床面地盤改良施設外蔽き水路修理	立会調査	0.6m ²	道耕・造物なし		
09・7・8	0913 (滋賀北) 特別支援学校境外蔽き水路修理	立会調査	0.8m ²	道耕・造物なし		
09・7・13	0914 (滋賀北) 文化学部新館耐震化プレス基礎さわり工事	立会調査	7m ² (3.3m ²)	道耕・造物なし		
09・7・28	0915 (中野市) 借り地所有者新設電気設備工事(追加その5)	立会調査	2m ²	道耕・造物なし		
09・8・7	0916 (本庄市) 物質資源開拓研究施設新築外配管漏水修理	立会調査	3m ²	道耕・造物なし		
09・8・10	0917 (本庄市) 境内通路整備取扱工事	立会調査	8.06m ² (0.44m ²)	道耕・造物なし		
09・9・4	0918 (滋賀北) 教育学部本館・文化学部本館Ⅱ期改修施設改修工事	立会調査	50.37m ²	道耕・造物なし		
09・9・4	0919 (滋賀北) 大学部本館Ⅱ期改修移築工事	立会調査	464.8m ²	道耕・造物なし		
09・9・4	0920 (滋賀北) 文化学部本館Ⅱ期改修復元工事	立会調査	3.36m ²	道耕・造物なし		
10・2・24						
09・9・20	0921 (滋賀北) 教育学部本館・文化学部本館Ⅱ期改修電気設備工事	立会調査	8.25m ²	道耕・造物なし		
09・10・5	0922 (滋賀北) 工学部研究実験施設新築工事 A 便接地工事	立会調査	3.6m ²	道耕・造物なし		
09・10・13	0923 (P46) 施設新築新設取扱(新築)工事(変更)	立会調査/発掘調査	1.00m ² (0.4m ²)	ピット・柱脚 土師器耳・瓦底層Ⅳ		
10・12				(0.15m ²)		
10・13				④350m ²		
09・10・18	0924 (滋賀) 東側複数箇所設置(生産)工事(変更)	立会調査/工区 発掘調査	1.16m ²	ピット		
10・23				④320m ²		
10・27~28				④345m ²		
				④255.5m ²		
09・11・17~29	0925 (滋賀) 重耕種新設設置設備(生産)工事 追加その1	立会調査/工区 発掘調査	④9m ² 457.2m ²	房・土師器・高环 土師器・瓦底層		
11・18						
11・19						
11・24~						
11・26						
12・1~						
12・3						
09・10・13	0926 (滋賀) 基幹整備(自家発電設備更新)工事	立会調査	64m ² 古代	土師器		
10・28						
09・10・20	0927 (滋賀北) ゴミ堆放場取扱工事	立会調査	75.1m ² (0.19m ²)	土師器		
09・10・21	0928 (滋賀北) 教育学部本館・文化学部本館Ⅱ期改修廻域設置工事	立会調査	46.4m ² (3.3m ²)	道耕・造物なし		
09・10・29	0929 (滋賀) 破損箇所スロープ取扱工事	立会調査	2m ²	道耕・造物なし		
09・11・4	0930 (滋賀北) 基幹整備新築北翼ハーフ屋改修工事	立会調査	0.9m ²	砲群		
09・11・10	0931 (滋賀) 東側複数箇所設置設備取扱工事	立会調査	57.17m ² 古代後期	A・C 道耕・造物なし B 住居址・焼成窯跡土壺・古代土 師器・瓦底層		
11・16				古代		
09・11・10~30~	0932 (滋賀南) 田園害蟲施設部分改修工事	立会調査/発掘調査	地中調査 古代 附・ピッ ト瓦罐 0.96m ²	附		
12・3				外構工事 230m ²	古代上耕器・瓦底層	
12・14						
09・12・9	0933 (京) 小学校プール改修機械設備工事	立会調査	62.04m ² (1.8m ²)	道耕・造物なし		
09・12・9	0934 (滋賀南) 田園害蟲施設部分改修電気設備工事	立会調査	14.64m ²	道耕・造物なし		

10 - 1 - 7	0035	(福島北) 体育館改修電気設備工事	立会開設 ／発送時空	433.21m ²	ピット 土間剥離・坪・床剥離 摩耗した瓦・底面
1 - 12					
1 - 19					
1 - 22					
1 - 28					
2 - 2					
10 - 1 - 12	0036	(福島) 日ごろ市役所西蔵式場整備	立会開設	12m ²	現象
10 - 1 - 13	0037	(福島南) 市役所施工作部分空地改修機械設備工事	立会開設	56m ²	遺構・遺物なし
2 - 23					
10 - 1 - 14	0038	(福島南) エコロジーシステム実験室施設工事	立会開設／ 監視時空	10m ²	現象
2 - 17					
2 - 19					
10 - 1 - 15	0039	(福島北) 教育学部本館Ⅲ期改修西側外壁工事	立会開設	12m ²	遺構・遺物なし
10 - 1 - 26	0040	(福島南) 生徒生食堂喫食室新設窓折戸工事	立会開設	1 m ²	遺構・遺物なし
10 - 1 - 28	0041	(福島北) 令和館屋外階段改修工事	立会開設	1 m ²	遺構・遺物なし
10 - 1 - 29	0042	(福島北) 令和館屋外配水管改修	立会開設	1 m ²	遺構・遺物なし
10 - 2 - 2	0043	(福島南) 市役所施工作部分外壁工事	立会開設	7 m ²	U字型遺構（済？）
10 - 2 - 8	0044	(福島北) 教育学部本館Ⅲ期改修東側外壁工事	立会開設	1 m ²	遺構・遺物なし
10 - 2 - 8	0045	(福島北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事 立会開設 (立原)	立会開設	3 m ²	遺構・遺物なし
10 - 2 - 8	0046	(福島北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事 立会開設 (立原) 道則	立会開設	7.2m ²	遺構・遺物なし
10 - 2 - 12	0047	(大江) 落下転倒防止外灯工事	立会開設	2 m ²	遺構・遺物なし
10 - 2 - 15	0048	(福島北) 教育学部改修監視装置取付・新設地工事	立会開設	48m ²	遺構・遺物なし
10 - 2 - 15	0049	(福島北) 教育学部改修監視装置取付工事	立会開設	0.5m ²	遺構・遺物なし
10 - 2 - 15	0050	(福島北) 教育学部改修監視装置取付工事	立会開設	4 m ²	遺構・遺物なし
10 - 2 - 15	0051	(福島北) 教育学部改修監視装置取付工事	立会開設	0.5m ²	遺構・遺物なし
10 - 2 - 22	0052	(福島南) 生徒生品嚢合宿新設新設新設地工事	立会開設	1.5m ²	遺構・遺物なし
10 - 2 - 22	0053	(福島南) 生徒生品嚢合宿新設新設新設地工事	立会開設	1 m ²	遺構・遺物なし

II 黒髪南地区の調査

1. 工学部実験用プレハブ新築工事に伴う発掘調査（9907調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本学の文学部・法学部・教育学部・大学教育センター（旧教養部）・工学部・理学部の所在する黒髪地区は、周知の黒髪町遺跡群（熊本市遺跡地図 No. 8 - 88）内にある。阿蘇南郷谷に発した白川は水年（土砂運搬と増水・氾濫を繰り返して熊本平野を形成し、中流域では両岸に河岸段丘を発達させている。白川は大学付近で小刻みに蛇行しやがて穏やかに下流域へと下る。本遺跡は白川右岸に展開する河岸低位段丘上（標高18~25m）、立田山（標高151.6m）の南山麓部に位置する。周辺遺跡としては、小峰遺跡、黒髪町下立田遺跡群、カブト山遺跡、龍田陣内遺跡などが、白川を挟んだ対岸には渡鹿遺跡群や新屋敷遺跡、大江遺跡群が所在している（図1）。

本工事は、年度当初には計画されていない事業であった。前年の平成10年11月初めに工学部より、実験用プレハブを取設したいと依頼があった。しかし、年度末についた補正予算により1月～3月の間に急遽理学部自然科学等総合実験棟新営に係る調査（9810）を優先して行い、この調査終了後には医学部附属病院病棟新営工事に係る調査（9901）を実施することとなった。理学部の調査は年次報告書の作成期間中であったため一部の業務を委託して小畠が調査にあたり、また病棟新営工事は調査面積から推して調査員一人では半年以上かかると予測され、調査期間短縮のため小畠・大坪が二人で現場に係らなければならず、プレハブ取設に伴う調査は上記の調査が終了するのを待って実施された。

9月17・20日両日で一次掘削を終了し、9月22日より作業を開始した。期間中、大きな被害をもたらした台風の通過があった。そのような困難のなか参加して頂いた作業員の皆様には感謝いたします。

b. 調査の経過

1999年9月22日 作業開始。擾乱撤去、包含層掘削。

1999年10月5日 調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：松嶋木綿子

発掘作業員：岡田イツ代・押方富江・河野義勝・小畠洋子・白石亞紀・白石美智子・高松北子・溜瀬俊子・番山明子・福田久美子・堀川貞子・松井昭子・水上順子・村上幸子・森田ミドリ

整理作業員：江口路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・土田ちえみ・長谷智子・林田恵子・増井弘子・山崎早苗・早川翔

（2）調査区の基本層序

今回調査したのは、白川右岸の標高19m前後の地点にあたる。調査地点は、熊本高等工業学校（前第五高等学校工手部）の寄宿舎「工友寮」があった場所である。工友寮は昭和55年3月31日に、建物の老朽化と白川河川敷拡幅工事のため閉鎖となった。南側には堤防が控え、すぐに白川の流れとなる。基本層序は以下のとおりである（図3）。

東壁では、1層（黒褐色10YR 2 / 3）・2層（黒褐色10YR 2 / 2）は現代埋土および跡地整備時

1. 工学部実験用プレハブ新築工事に伴う発掘調査（9907調査地点）

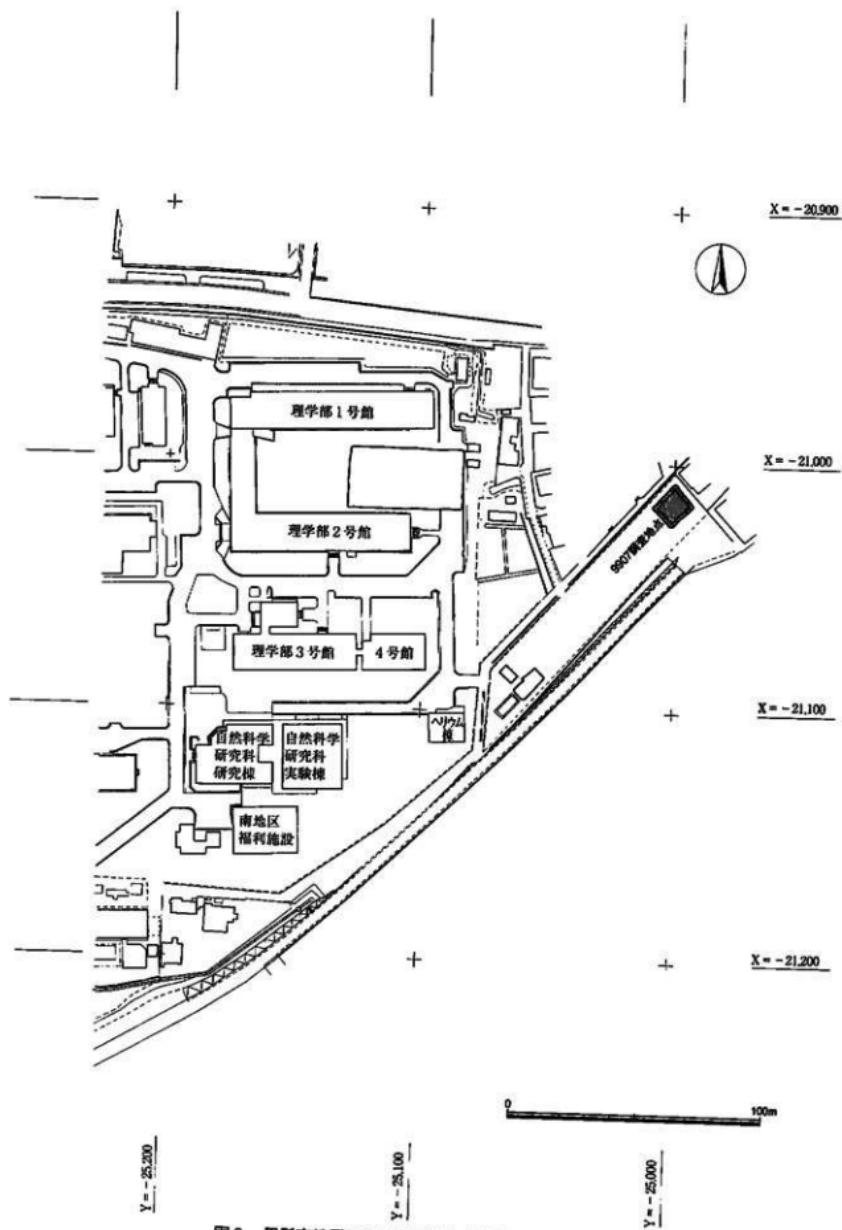


図2 黒髪南地区における調査地点位置図 (1/2000)

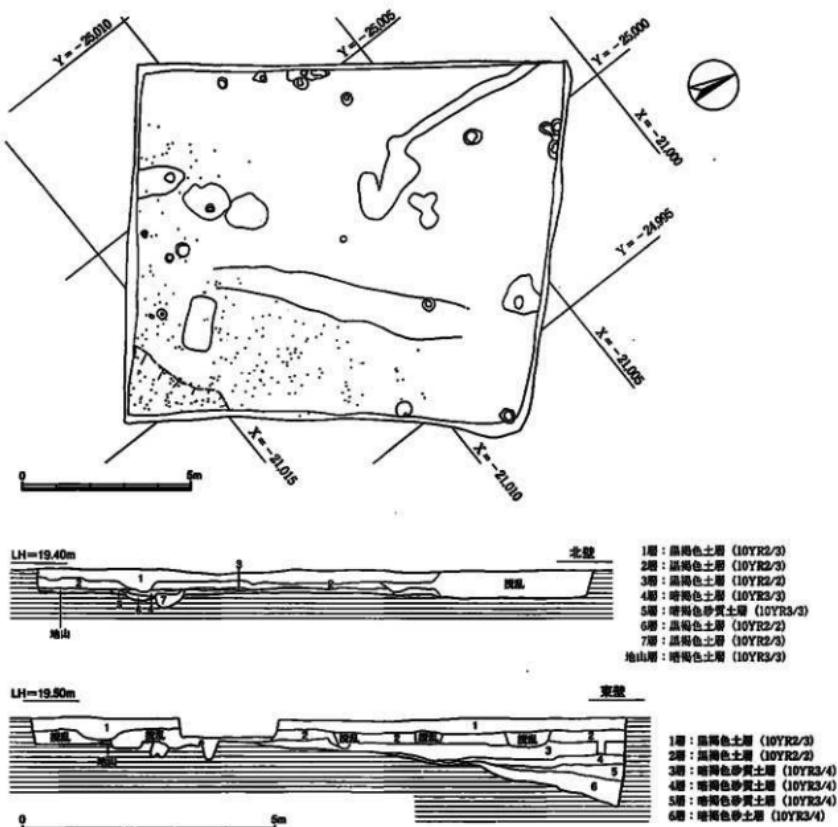


図3 9907調査地点遺構配置実測図・壁土層断面実測図(1/150・1/100)

の客土であろう。3層(暗褐色10YR 3 / 4・厚さ30cm)は他の調査地点において通常地山層と呼称している遺構が埋込まれる層である。きめ細かく粘性の少ないきれいな土である。縄文時代の遺物包含層でもある。4層(暗褐色10YR 3 / 4・厚さ20cm)は土の質は3層と同じである。色調の表現では同一となるが、3層と比べると赤味が強く鮮やかなオレンジ色という感じである。縄文時代の遺物も若干含まれていた。5層(暗褐色10YR 3 / 4・厚さ30cm)は3・4層に似た土に砂岩ブロック(にぶい黄褐色10YR 4 / 3・厚さ10~30cm)が入る。遺物は含まれない。6層は5層の土に多量の川砂が入る。

地山はV層に入るブロックが基盤となる土で、黒髪北地区の9802地点において、調査区の南側半分で検出された地山(遺構面)と同じである。9802調査地点では、この地山直上で縄文時代早期の押型文土器が多く出土した。

1. 工学部実験用プレハブ新築工事に伴う発掘調査（9907調査地点）

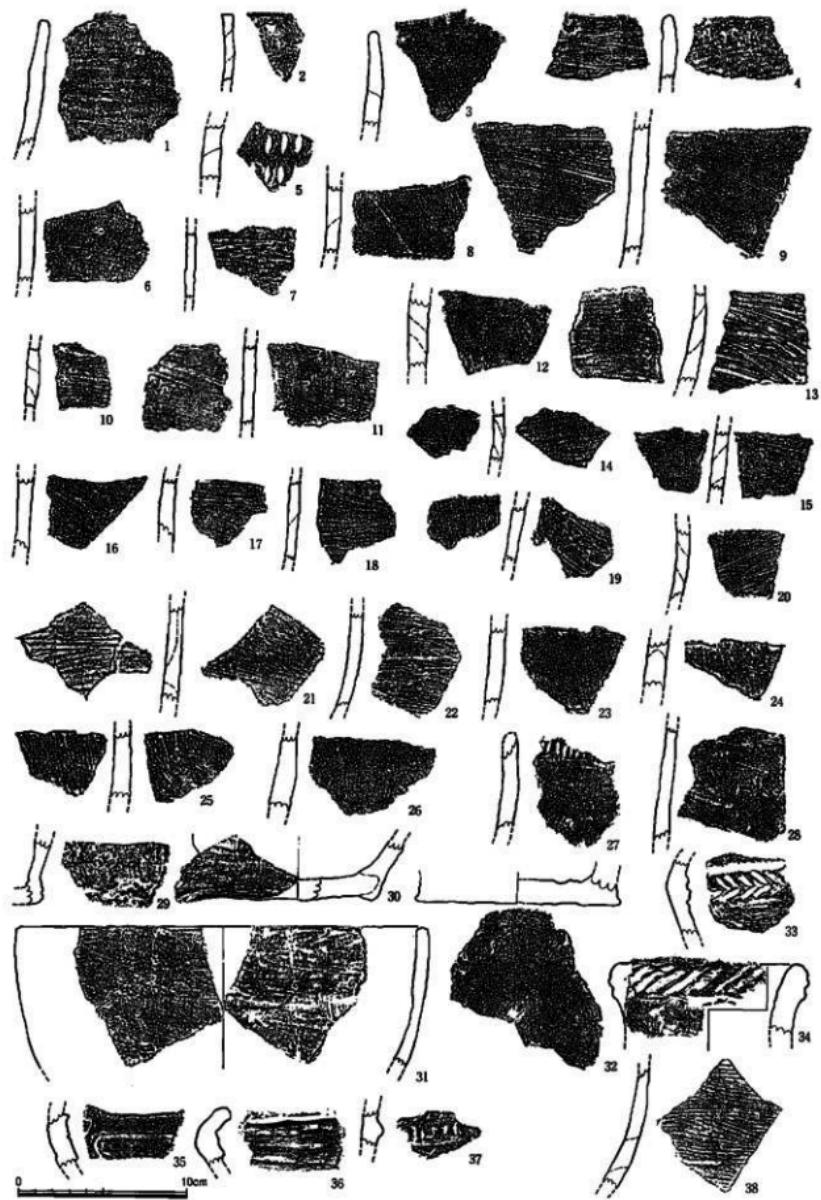


図4 9907調査地点出土遺物実測図（1/3）

本調査地点では一部を除くと地表面下50cmで地山となり、これまで調査された黒髪南地区の様子と比較すると非常に浅い。

(3) 検出遺構

本調査地点は、地山の遺構検出面までの土が現代埋土であり、工友寮の建設と解体・整地の際に削平をうけたようで、地山は本来もう少し高かったものと思われる。今回の調査では、10個程度のピットと旧河川敷につながるかと思われる落ち込みを一部確認したほかは、遺構は検出されなかった(図3)。地山は調査区の南隅にむかって傾斜しており、Ⅲ層・Ⅳ層はこの落ち込み部に堆積していた。遺物が分布する範囲を境に白川に向かって緩やかに傾斜し、図3中に示した傾斜変換線から急激に深く落ち込んでいた。

Ⅳ層以下は川砂と円礫が多量に入っている、周間に一様に広がっていたことからこれらは炉などの遺構ではないと思われる。遺物は縄文土器が出土した。図中に遺物の出土地点をドットで示したように、包含層であるⅢ層とⅣ層の広がりに対応して調査区の南隅に集中して分布している。

(4) 出土遺物(図4: 1~38)

出土した土器は碎片が多く、部位や器種まで判別できるような良好な資料は少ない。ほとんどが後期の土器と思われる。

図4の1~4・6~27・29~33は無文の土器である。1~4は口縁部である。2は器壁が薄く、ナデも丁寧で後晩期の土器と思われる。4は内面のナデによる粗い条痕が著しい。5は丁寧にナデを施し、爪形の模様をつけている。6~8は胎土に粗い砂が混入するが、1・2・4に比べ内外面とも表面は丁寧にナデ調整している。7・10・11・13は顕著な粗い条痕が残る。9は内面に特に、細いヘラ状のものでなでたような調整痕が顕著である。12は丁寧になでている。1に近い。14・15・17・18・31は細いヘラ状のもので調整した痕が内外面ともに顕著である。15・17も14のような器面調整を施す。16は丁寧なナデ、19は4と同じでナデ調整で、器面は非常に荒れている。20~22は、刷毛条の調整具の条痕が顕著である。23・24・27は丁寧なナデ、26は粗いナデを施す。27は4や19に類似し、凹線文が入る。28~30・32は粗いナデ調整である。33・34は北久根山式系の土器であろう。34は口縁径が小さく壺の頸部のような形態である。35は三万田式か太郎追式であろう。36は口縁部内面は丁寧に磨いている。外面は調整画や粗い。37は刻目突帯の部分である。38は弥生土器で、刷毛目調整が顕著である。

(5)まとめ

今回の調査では、遺構の検出がピット以外ではなく、遺物の出土も少なかった。

9802調査地点では、地山層と認識している黄褐色土層に縄文土器が含まれることを確認し、砂岩ブロックを含む基盤の層の上に堆積している黄褐色土層の上部には縄文晩期の土器が含まれ、また下方(基盤の層の直上)では縄文早期押型文土器が多量に出土した。本調査区でも同様であった。0302調査地点I区では、Ⅲ・Ⅳ層に相当する層から、早期の押型文土器が出土し後晩期の土器は少なかった。同じ層でありながら、包含される遺物の時代が大きく違う結果となった。白川沿い以外の地点では、Ⅲ層上面(上位)に後晩期の土器が含まれ、基盤の層は数十cm下である。本調査地点は、Ⅲ・Ⅳ層のレベルが高く、削平や擾乱などの改変を受けやすい状態にあり、傾斜地に後晩期の土器を含むⅢ・Ⅳ層が堆積したと考えられる。中期以前の遺物は、さらに白川側の低地にあるのかもしれない。

1. 工学部実験用プレハブ新築工事に伴う発掘調査（9907調査地点）

表3 9907調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	断面(横幅)	地盤(cm)	埋蔵量	特徴	色調	出土遺物	圖号
4	1	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:Hue	7. BYR 4 / 6 7. BYR 3 / 4	番号50215
2	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:Hue	2.5YR 6 / 3 2.5YR 5 / 4	4号ピット	
3	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:Hue	10YR 5 / 3 10YR 5 / 4	番号50107	
4	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:Hue	7.5YR 5 / 3 10YR 5 / 2	番号50171	
5	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:Hue	7.5YR 7 / 4 10YR 5 / 4	なごみ50005 外側に系筋文	
6	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:Hue	10YR 7 / 6 2.5Y 3 / 1	番号50143	
7	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:Hue	10YR 7 / 6 10YR 6 / 4	番号50175	
8	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:Hue	7.5YR 8 / 6 10YR 2 / 2	番号50136	
9	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:Hue	7.5YR 8 / 6 10YR 8 / 6	なごみ (番号50043)	
10	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:Hue	7. BYR 3 / 1 10YR 2 / 2	なごみ (番号50060)	
11	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:Hue	10YR 3 / 1 10YR 2 / 1	番号50238	
12	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:Hue	2.5Y 7 / 4 10YR 6 / 4	なごみ (番号50027)	
13	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:Hue	10YR 4 / 3 10YR 3 / 1	番号50162	
14	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:Hue	7.5YR 4 / 3 10YR 5 / 3	赤色土層	
15	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:Hue	7.5YR 4 / 1 10YR 5 / 3	なごみ (番号50011)	
16	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:Hue	10YR 4 / 1 7.5YR 4 / 3	番号50152	
17	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:ナデ, 磨き	10YR 4 / 1 5 Y 3 / 1	赤色土層	
18	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:Hue	10YR 7 / 6 7.5YR 6 / 6	赤色土層	
19	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:Hue	10YR 4 / 1 10YR 3 / 1	なごみ (番号50102)	
20	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:Hue	10YR 5 / 3 10YR 4 / 6	なごみ (番号50089)	
21	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:ナデ	2.5Y 6 / 2 2.5Y 7 / 6	番号50063	
22	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ヘラナデ	内:Hue 外:ヘラナデ	10YR 5 / 3 7.5YR 4 / 3	なごみ (番号50078)	
23	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:ナデ	10YR 5 / 4 7.5YR 5 / 4	なごみ (番号50039)	
24	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:ナデ	10YR 6 / 4 10YR 4 / 3	番号50220	
25	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:ナデ	10YR 6 / 4 7.5YR 6 / 6	なごみ (番号50035)	
26	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:ナデ	10YR 6 / 4 10YR 5 / 3	なごみ (番号50087)	
27	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:ナデ	10YR 4 / 1 7.5YR 4 / 3	なごみ (番号50150)	
28	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:ナデ	10YR 5 / 1 10YR 6 / 2	なごみ (番号50069)	
29	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:ナデ	10YR 4 / 1 10YR 4 / 2	なごみ (番号50042)	
30	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:ナデ	10YR 5 / 2 10YR 6 / 4	番号50192	
31	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:ナデ	10YR 3 / 2 10YR 2 / 1	番号50167	
32	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:ナデ	10YR 4 / 1 10YR 5 / 4	なごみ (番号50103)	
33	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:ナデ	7.5YR 7 / 4 10YR 7 / 4	番号50190 外側に他の字形の沈綴文	
34	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:ナデ	10YR 5 / 4 7.5YR 4 / 6	なごみ (番号50062) 口縁部外側に斜佐の沈綴文	
35	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:ナデ	5 Y 4 / 1 5 Y 2 / 1	柱底 外側に沈綴文 底付	
36	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ, 磨き	内:Hue 外:ナデ	7.5YR 6 / 6 7.5Y 2 / 1	柱底 外側に底付 底付	
37	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:ナデ	10YR 5 / 3 10YR 4 / 1	赤色土層 斜佐	
38	陶文土器	深鉢型土器 底付	口縁 底付	口縁部分 底付	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 外:ナデ	10YR 8 / 3 10YR 5 / 4	5号ピット	

2. 工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営工事に伴う発掘調査（9909調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本学の法学院・文学部・教育学部・大学教育センター（旧教養部）・工学院・理学部の所在する黒髪地区は、周知の黒髪遺跡群（熊本市遺跡地図No.8-88）内にある。遺跡は熊本平野北西部に聳える立田山（標高151.6m）の南山麓部、白川右岸に展開する河岸低位段丘（標高18~25m）上に位置する。熊本平野南部は、阿蘇南都谷に水源をもつ白川の運搬した土砂が扇状地形に堆積した砂礫層を基盤としており、本遺跡は位置的にその扇状地の要の部分に相当する。

周辺遺跡としては、背後の立田山裾に小峰遺跡、黒髪町下立田遺跡群、カブト山遺跡、龍田陳内遺跡などが、白川を挟んだ対岸に、渡鹿貝塚・北原甕棺遺跡を擁する渡鹿遺跡群や新屋敷遺跡、大江遺跡群などがある（図1）。本調査区は黒髪南地区の南西端で自然堤防が白川に最も突き出した部分にあたる。

今回の調査は平成9年度補正予算によって年末に急遽浮上した事業である。建築課と協議の上1月7日に試掘調査を実施し、その結果畠跡の存在が確認され、要調査との回答を行った。1・2月は年次報告書作成のため調査の実施が困難であったが、2月中旬より調査を開始することとした。

造構面までの掘削作業の終了を待って、2月14日より重機による造構面検出・攪乱除去を行い、次いで作業員を投入した。調査は3月24日をもって終了した。

b. 調査の経過

2000年2月14日 調査開始・造構検出。

2000年2月28日 清掃および中央部墓群掘り下げ。

2000年3月6日 現地説明会。

2000年3月15・16日 烟土壌サンプル採取・下層試掘トレンチ入れ。

2000年3月24日 調査終了。

c. 調査の組織

調査員：小畑弘己

事務担当：松嶋木絶子

発掘作業員：内田美穂・卯野木亞紀・岡田イツ代・岡村久美子・押方富江・河野義勝・熊本茂仁・黒木重信・黒木タケ子・古賀敬子・小細工洋子・坂口三輝子・坂元紀乃・白石美智子・鈴木笠子・高橋久美・高松北子・田代理恵・渝潤俊子・橋口剛士・早田咲百合・番山明子・福田久美子・堀川貞子・松井昭子・丸山愛・三浦和之・水上順子・宮本千恵子・村上幸子・森川征子・森川謙・森田ミドリ・安武寛文・矢羽田幸宏

整理作業員：江口路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・土田ちえみ・長谷智子・林田恵子・増井弘子・山崎早苗・早川翔

（2）調査区の基本層序

調査地は駐車場として利用されていた。このため調査区は旧建物の基礎部分を除き、きわめて造構

2. 工学部衝撃・振動環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新設工事に伴う発掘調査（9909調査地点）

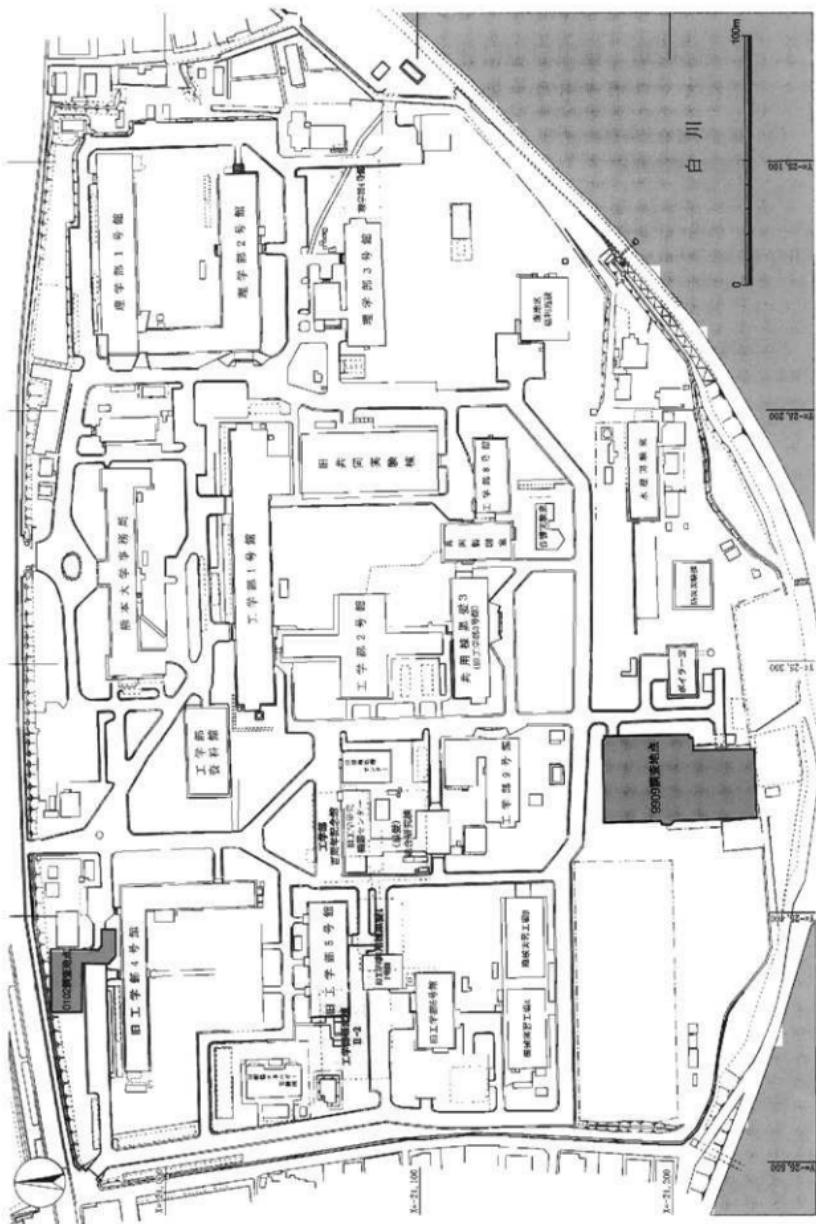


図5 黒髪南地区における調査地点位置図（1/2000）

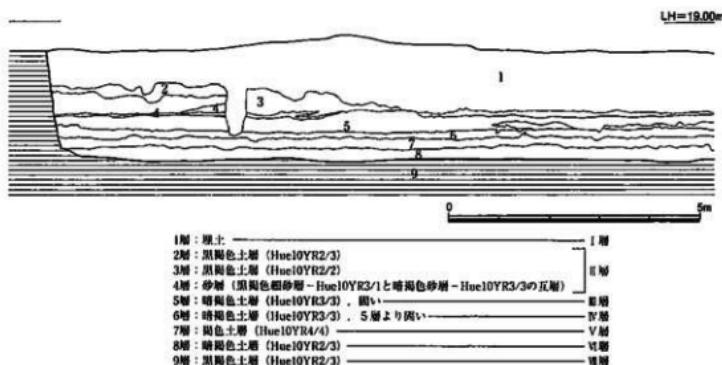


図6 調査区北壁土層断面実測図 (1 / 100)

の残り具合が良好であった。土層は大きく15枚に分けられる。河川に近い位置にあるため、土層の堆積が著しく、最初の遺構検出面V層上面までの深さがおよそ2mに達する(図7)。

- I層(厚さ1m) …現代埋土およびバラス
- II層(厚さ60cm) …昭和28年白川洪水の際の砂層
- III層(厚さ40cm) …暗茶褐色土層(近代埋土層)
- IV層(厚さ20cm) …灰暗褐色土層(近代耕作土層1)
- V層(厚さ20cm) …暗茶褐色土層(近世後期耕作土層)
- VI層(厚さ10cm) …淡緑灰色砂層(近世中期洪水砂層)
- VII層(厚さ40cm) …茶褐色土層(近世中期耕作土層)

(3) 検出遺構

I区とした南側はその半分が旧建物によって攢乱されており、またこの地区はVI層の被覆がなかったため、畠の跡を明確に捉えることができなかった。よって北側のII区(1,200m²)においてのみ良好な畠の跡遺構を検出できた。

VII層面が近世の畠の面であり、畠200条余りを検出した。このVII層面は洪水によるものと思われる砂層(VI層)に覆われており、遺構の検出は比較的容易であった。畠はおよそ30~50cm幅で、長い部分で19mほど、短いもので5mほどである。畠の高さは深いもので30cmほどであり、山部分の幅が狭いのが特徴である。単位としては南東部に5mの短いタイプが30条ほど3列に並び、その他の地区が長いタイプで構成されている。

(4) 出土遺物

VI層およびVII層から近世陶磁器片、釘、煙管、銅錢などがコンテナ4箱ほど出土している。近世陶磁器は大橋編年のIV期(1690~1740年代)を中心とするもので、煙管が泉編年IVもしくはVタイプ(18世紀代)、銅錢は新寛永および寛永通寶銭であり、これが示す年代は1739年以降であることから、18世紀後半の洪水によって埋没した畠と思われる。この時期の肥後藩内で発生した洪水の履歴を参考

資料（表4）として付いているが、遺物の年代観からみておそらく寛政～文化・文政年間のものが該当する可能性が高い。文化年間には、当地は畠として利用されている（図8）。

これに統くものとして、近世墓53基余がある。調査区の西よりほぼ中央に直線状をなすように配置している。以前の時期の遺構であるⅦ層の畠の畠境に沿って配置していること、埋土の質からⅤ層からの掘り込みと考えられ、水没後さほど時期を経ずに形成されたものと考えられる。

最後に調査区の西側に畠とは少し方位を違えて、近代墓が形成されている。掘り込み面はⅣ層面であり、最も古い（確認できる限りの範囲で。）もので嘉永6年の年号をもつ。ただし、この墓地は調査を行っていない。この西側の墓地は調査区の南西にある旧熊本刑務所の墓地の前身であろう。

（5）まとめ

今回は調査途中であり、Ⅶ層面以下の状況についてはいまのところ不明である。ただし、Ⅶ層で検出した近世中期の畠遺構は、考古学的にあまり状況が把握されていない近世の畠の状況を知る上で、さらに当時の災害史を考える上で貴重な資料を提供するものといえよう。

耕作作物に関しては、耕作土の土壤サンプルを水洗選別しているが、ムギ・マメ類が少量検出されている。種子選別が一部が手についた段階であり、その全体的な成果については、別の機会に報告することとする。

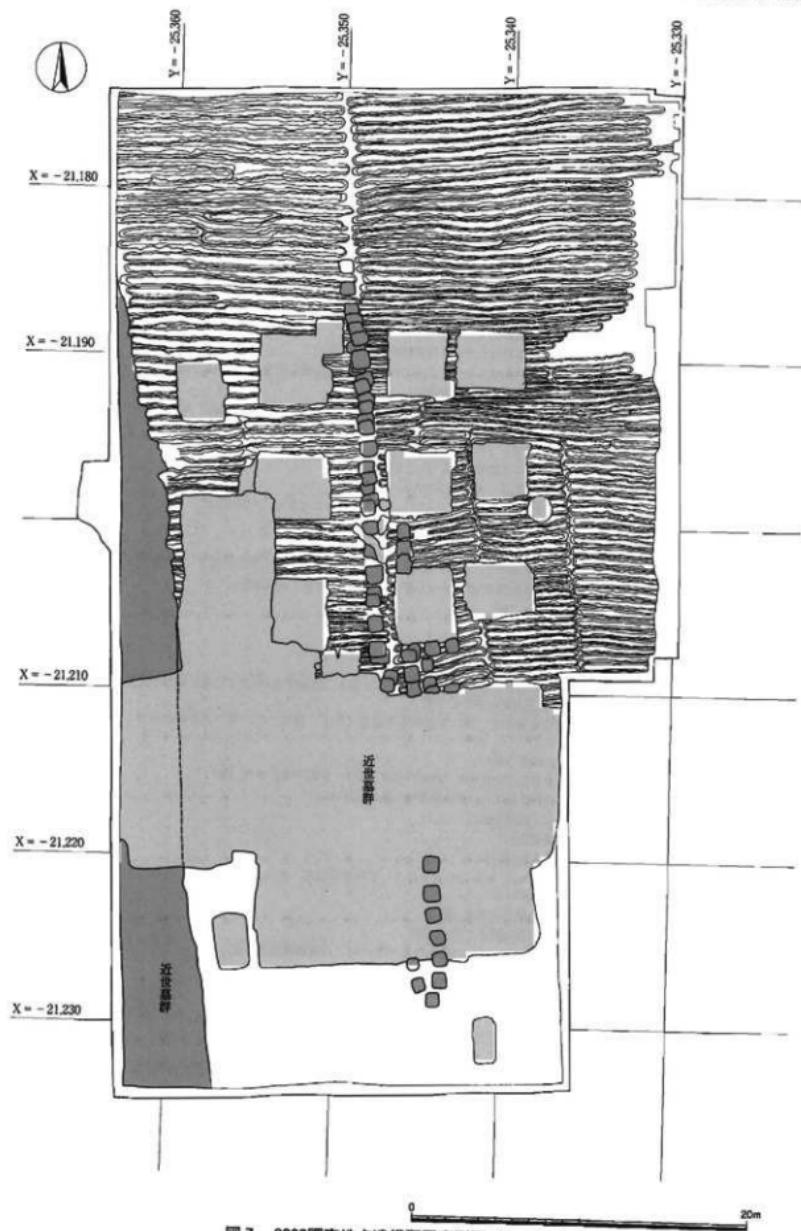


図7 9909調査地点遺構配置実測図 (1 /300)

表4 肥後における江戸中期～後期（元禄～嘉永年間）の水害記録

(『熊本藩年表稿』福川藩政史研究会編1974より抜粋)

年号	西暦	月日	記録の内容	地域
元禄4	1691	6.12	小川町のみ洪水、米穀多く流出（気）。	小川町
元禄9	1696	6.18	洪水、人々流出（気）。	
元禄12	1699	6.9	洪水（玄察）に此年当国北目大洪水、大津町かしらの土手山水にて切れ町を出す。南目は小洪水、右の熊本古町にて3尺水損があるとあり。本文に旗当するか）	北目 古町
元禄13	1700	5.15	甲佐川30年來の洪水（玄察）	甲佐川
元禄15	1702	6.10	小川町洪水（気）。	小川町
		是年	國中水損洪水大變あり（『福岡縣災異誌』に5月、6月及び8月同方面大風雨洪水の記事あり、本藩の分もその何れかに関係あるか）（肥・本）。	肥後
文化3	1706	6月	肥後洪水（肥）。	肥後
正徳2	1712	6月	所々に洪水、長六橋落つ（覚）。	白川
正徳5	1715	2.2	風雨強く塘破る（気）。	不明
享保4	1719	5.22	肥後洪水田畠13万石余損毛（肥）。	肥後
享保14	1729	8.19	矢部大洪水菅原白谷社附近山崩れ神殿拝殿流失（禍惡）。	矢部
享保17	1732	5.7	是日より洪水、13日迄水せず、そのため田畠魔れ害虫發生被害甚大（実紀・恩）。	不明
享保19	1734	5.10	是日より15日高船後地兩面水（家譜統）。	肥後
元文1	1736	5.29	是夜より翌朝にかけて強制洪水、水損田畠5,062町2反余（高56.918石余）旗浜46町4反余、川路6,370町余、積所9,960町余、漁家43軒、死者22人（肥）。	不明
		是月	白川洪水にて長六橋下で船船流れるのを警笛した者共へ心付を与う（年覚）。	白川
元文2	1737	7月	調國大洪水、本藩にて田畠6万7,000万余損毛（肥）。	肥後
		10月	菊崎浜水にて損高覚醒の寺田賀田庄太夫へ達（年覚）。	菊崎
天文4	1739	6.17	21日まで川尻方面大洪水、男女大小79人4日間通寺にて喪う（川尻史29）。	川尻
天文5	1740	3月	甲佐手永渓水に付、諸葛荒糸分去1ヶ年代末上納御免のこと（覚）。	甲佐
延享3	1746	6.14	洪水（年）。	不明
宝曆5	1755	6.1	此日より9日迄強雨洪水、山崩、破損、波浪死人多し、福津弥右衛門活潑す（家譜統）。	不明
		8.5	去6日の強雨洪水の損毛23万500石と幕府に届く（家譜統・新経跡観）。	不明
宝曆6	1756	4.17	翌18日迄強雨出水（肥）。	不明
宝曆9	1759	3.25	大岡出水（肥）。	不明
		7.22	是日より24日迄強雨、諸川出水（肥）。	不明
宝曆13	1763	5.28	強雨にて諸川出水（肥）。	不明
明和3	1766	5.25	強雨洪水、球磨川1丈9尺、木保川1丈3尺出水、田畠浸水469丁6反余、萩原署敷根1,255町、作原人夫数19,507人（肥）。	南部
安永1	1772	8月	雨降り続き田畠冠水す。為に玉名都6手水急に飢え、救助として植方より錢60貫目、云々（肥）。	玉名都
安永7	1778	7.10	肥後大風雨、洪水（水）。	肥後
天明6	1786	6月	6月下旬より7月にかけ薄内（内田・中富・坂下・矢部手水）洪水（覚）。	矢部他
		6.29	強雨増水、白川1丈7尺、長六橋流失（肥・町目）。	白川
		7.28	夜大洪水（氣・川尻史29）。	川尻？
天明7	1787	4.12	諸郡水害（寺例統）。	肥後
		8月	大風雨洪水（氣・川尻史29）。	川尻？
寛政1	1789	6月	籠本地方面湯水（本）。然るに6月14日より玉名方面強雨、洪水、高瀬御藏漫水、米1,767俵詰木となる（肥・覚）。	玉名・高瀬
寛政2	1790	6月	五町手水、沼山津手水洪水（覚）。	五町・沼山津
寛政3	1791	5.13	6月12日まで大雨降続川4洪水（指）。	不明
		6.9	是日より12日迄大雨、莫大の荒地出来（肥・本）。高瀬御藏漫水（覚）。	高瀬
寛政4	1792	6.20	高瀬方面洪水（本）。	高瀬
寛政7	1795	6.11	大洪水、京町山崎のはか一切水没（本）。	白川
寛政8	1796	5月	阿蘇山出水、熊本洪水（気・肥後の風土史・熊本縣災異誌）。	熊本
		6.11	15日頃より雨降続、度々洪水（指）。	不明
		6.12	大雨降る。熊本大洪水（禍惡）。	熊本
		10月	洪水1丈6尺、綾川・加勢川筋35ヶ所壊切れ、藤富村椎原「古ボケ」を生ず、街に「延の年の大火」（川尻史29）。	綾川・加勢川
享和2	1802	4.8	是日より10日まで強雨、諸川滿水（肥）。	奄美山
享和3	1803	4.22	是日より5月23日まで降雨諸川増水（肥）。	不明
文化1	1804	4.23	所々洪水（肥）。	不明
		5.14	大雨、白川滿水（肥）。	白川
文化7	1810	3.5	大雨にて白川石楠切れる（度詣・肥）。	白川
		3.7	強雨、諸川滿水、白川1丈5尺、球磨川1丈8尺、佐敷川1丈7尺（肥）。	肥後

年号	西暦	月日	記録の内容	地域
文化12	1815	5.18	是日より20日高強雨大水(肥)。	不明
		6月	是月初より強雨大水(本)。	不明
		7.6	是日より8日まで強雨、諸川漲水、球磨川1丈1尺(肥)。	球磨川
文化13	1816	8.12	強雨にて球磨川1丈1尺、山鹿川1丈2尺出水(肥)。肥後	球磨川
		3月	月初より強雨、諸川漲水、筑中6月14・19毎日増水甚しく、田畠7,819町余水浸荒地、塔2,234ヶ所、27,058町被損。溺死男女17人、8月23日同斯、溺死男女6人、ために田畠荒地5,227町余、塔被損520ヶ所(肥)。	不明
		6.13	強雨のため大津御藏裏手岸崩あり、四五六番御藏打崩、球磨川も大増水(肥)。大津・球磨川	
文政3	1820	8.23	強風雨、虫入(相)。	不明
		6.17	大雨諸川漲水、白川1丈2尺、綠川1丈5尺、高麗川1丈6尺、田畠8,466町9反余水入水浸荒地5,575ヶ所被損56,569町、寺ヶヶ所倒壊、家7軒流失、倒壊106軒、溺死男女12人、牛馬5頭、12月3日此の損害を幕府に届け出づ(肥・本)。	肥後
		5.19	是日より27日迄大雨、諸川漲水田畠3,151町余水浸水、塔1,420ヶ所被損28,881町、家13軒倒壊、溺死男女2人(肥)。	不明
文政7	1824	6.26	是日より28日まで強風雨、大木折れ、家倒、堤根被損す、白川1丈2尺余出水(肥)。	白川
文政8	1825	8.13	強風雨被害、波多田畠2,371丁、流失倒壊347軒(肥)。	不明
文政9	1826	5.21	前日より大雨、高麗川、球磨川出水(肥)。	肥後
文政10	1827	5.19	20日迄大雨、諸川漲水(肥)。	不明
文政11	1828	6.4	強雨、水損多し(肥)。不明	
		5.5	大津洪水、球磨川増水(肥)。	球磨川
		5.20	雀雨、翌日大雨、緑川、球磨川増水(肥)。	南都
天保1	1830	5.29	29・30日大雨漲水、白川、菊池川、緑川など(肥)。	肥後
		6.7	大雨、白川、菊池川、御船川、緑川、合志川など大洪水(本・肥)。鞍岳山脈、長六横流失、田畠水没7,083丁1反余(本・肥)。	肥後
		6.17	大雨、白川、球磨川洪水(肥)。	肥後
天保2	1831	7.2	強風雨、白川、御船川、緑川、河江川、高麗川などで出水(肥)。	肥後
		7.12	強風雷鳴白川増水、異6便橋又々流失(肥)。	白川
		4.22	強雨、白川出水(肥)。	白川
天保3	1832	6.15	大雨球磨川出水2丈余(肥)。加勢川、經川出水(川尻史291)。	南都
		7.8	昨夜より大風雨、八代洪水、鶴崎強風(肥)。	八代
		5.19	上旬より梅雨、この日強雨にて八竜堀切れ、鰐・沼山津方面浸水(肥)。	鰐・沼山津
天保4	1833	5.26	川尻地方大洪水(天明絵484)。	川尻
		28・29両日の大雨で八竜堀更に切れ、野村田延寿寺豪新堀外4ヶ所切れ、川尻町野田杉島両村は57日、横手・戴壁・沼山津は3~13日、鮎手水は20日漫せとなる。田畠水損12,850丁、湯堵453町、川堵48,633町、井手堵27,392町被損。諸官宅20軒、待屋敷11軒、駅置屋敷219軒、町屋904軒、百姓家2,545軒流失被損、舗道565流失、死者17人(度譜・肥)。川尻貯糞10,800俵水(1本に8,250俵ともい)。(肥・川尻史316)。	南都	
		6.1	球磨川出水(肥)。方野延寿寺洪水のため倒壊流失す(氣・川尻史315)。	球磨川
天保5	1834	6.10	洪水、加勢川堵被損、田畠水損7,463丁4反余、倒瀬水損家数1,272軒、塙底38丁5反余水洗削、溺死3人(肥)。	加勢川
		6月	川尻地方大洪水、加勢川羅別旧にかえる(本)。	川尻・加勢川
		7.20	この頃菊池・合志地方強雨、諸川漲水(肥)。	北部
天保6	1835	8.22	この夜より翌日迄強雨、鮎手永312丁1反余水没その他被害(肥)。	蛇
		5.8	9日迄大雨洪水、白川・球磨川出水(肥)。	肥後
		4.21	24日迄諸川漲水(肥)。	不明
天保7	1836	5月	下旬諸川出水、水浸田畠12,854丁2反余、死者17人(肥)。	不明
		6.10	洪水、水浸田畠7,463丁4反余、溺死3人(肥)。	不明
		8.22	此夜より翌日にかけ強雨、鮎手水低地の村、田畠312町1反水没、其の他被害あり(氣・熊本県災害誌)。	蛇
天保8	1837	12月	諸國洪水、諸物価騰貴、豆貴の者を救恤す(本・肥)。	不明
		1.23	大津洪水にて作収數百丁水浸し(肥)。	不明
		3.14	大津出水(肥)。	不明
天保9	1838	3.24	大津出水(肥)。	不明
		4月	下旬より5月下旬にかけて時々強風雨出水あり(本・肥)。	不明
		5.28	洪水(肥)。	不明
天保10	1839	5.17	大津洪水(肥)。	不明
		6月	數回大津・出水(肥)。	不明
		5.17	強雨、諸川漲水(肥)。	不明
天保12	1841	4.24	強雨、諸川漲水(肥)。	不明
		5.9	強雨、諸川漲水、白川1丈2尺(肥)。	白川
		8.4	大津地方強雨、田畠並びに町内水溢れ、往還被増水4尺余(肥)。	大津

年号	西暦	月日	記録の内容	地域
嘉永 2	1849	5.13	川尻方面大風洪水 1丈3尺、19日洪水 1丈1尺正中島町36軒のうち40軒庭入未あげ (川尻史293)。	川尻
嘉永 3	1850	8.7	肥後強風雨、田畠618丁5反7畝水没、川堀1,747間根切破損、百姓家9,779軒倒伏 (本・肥)。	肥後
嘉永 4	1851	2.21 4.22 5月	強風にて魅手水田畠浸水、同29日強雨、内田・中室・南園・坂下、翌晦日魅・大津・中村・山鹿猪手水諸川漲水、田畠浸水す (肥)。 強雨、魅手水田畠浸水 (肥)。 洪水 6尺 (氣・川尻史293)。	魅 不明 肥後
嘉永 5	1852	8.22	肥後大風雨、田畠浸水 (肥)。	肥後

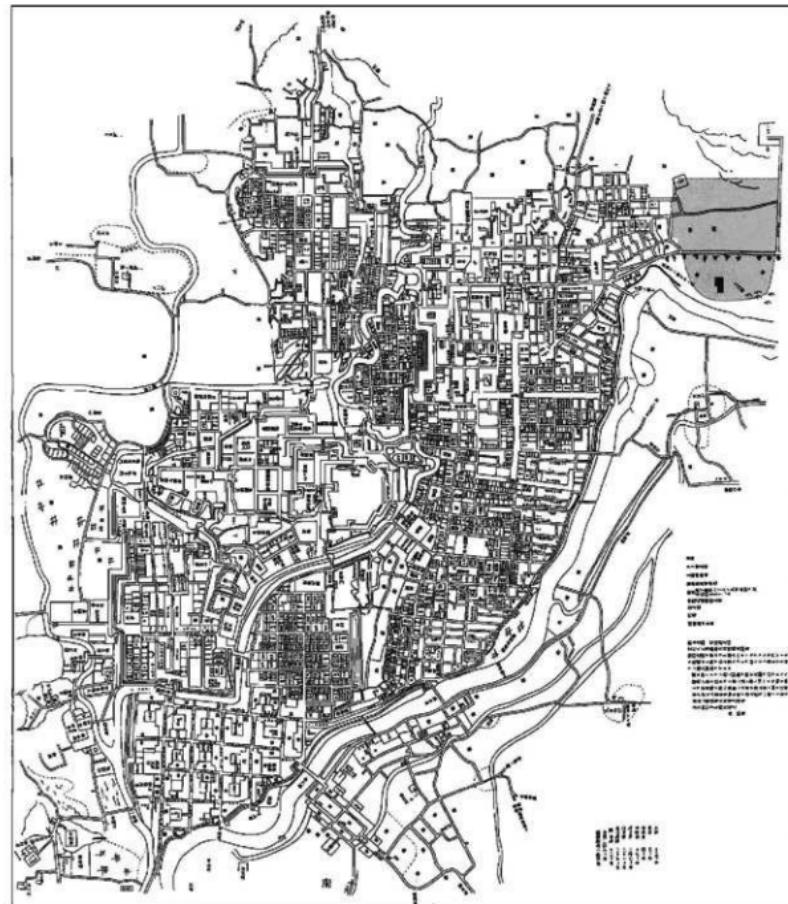


図8 「熊本之図」文化二年（1805）に見る調査地点の位置（アミは熊本大学、黒ベタが調査地点）
（『新熊本市史別巻第一巻絵図・地図』上 中世・近世の解説図 P28を改変）

3. 黒髪団地南地区基幹・環境整備に伴う発掘調査（0102調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本地点は本学黒髪南地区の北西部に位置し、隣接する既往の調査地点には9603地点と9704地点、9802地点がある。本調査地点の南100mに位置する9603と9704地点では古代の堀で囲まれた掘立柱建物群と弥生時代甕棺群などが検出されているが、道路（県道337号線）を隔てた9802地点では縄文時代早期～弥生時代中期の遺物包含層および近代の東西方向の堀が検出されており、若干様相を異にしている。本地点も大正期に運動場として利用されていたため、2m余り削平されている。

上記のような状況から試掘調査を5月14日に実施し、1次掘削の深度を決定し、1次掘削終了後の7月9日より発掘調査を開始した。梅雨時期にあたり、雨天には悩まされた。削平が著しいため、鋭意遺構の検出に努めたが、古代以前の遺構はほとんど残っておらず、搅乱の除去に終始した。防空壕（塹壕）6基と搅乱土坑を掘り下げた後、風倒木痕の調査を開始した。遺物は搅乱層およびこの風倒木痕跡からのみ出土した。

b. 調査の経過

- 2001年5月14日 試掘。
- 2001年7月9日 防空壕（塹壕）6基 検出・掘削。
- 2001年7月14日 風倒木（1号・3号・5号）検出。
- 2001年7月18日 風倒木1・2・4号完掘。
- 2001年7月25日 風倒木3・5号完掘、空中撮影。
- 2001年7月26日 測量。調査終了。

c. 調査の組織

調査員：小畠弘己・大坪志子

事務担当：富永明子

発掘作業員：岡田イツ代・河野義勝・黒木重信・黒木タケ子・白石美智子・鈴木笙子・瀧澤俊子・高松北子・林田恵子・早田咲百合・番山明子・福田久美子・堀川貞子・松井昭子・水上順子・宮村邦子・森川征子・森川護・森田登

整理作業員：江口路・鬼塚美枝・小山正子・酒水直子・首藤優子・末吉美紀・瀧澤俊子・長谷智子・林田恵子・早田咲百合・増井弘子・山寄早苗・早川翔

（2）調査区の基本層序

削平のため包含層は残存していない。削平面の上はすべて昭和28年の洪水砂およびその後の埋め立ての際の造成土である。

（3）検出遺構

＜防空壕（塹壕）＞

調査区の北半で6基検出した。並行するように5mほど離れて2列に掘られている。幅1m、長さ5.5～6m、深さ1mで短辺に3段ほどの階段が付けられている。使用時の状況を示す遺物は出土し

3. 黒髪団地南地区基幹・環境整備に伴う発掘調査（0102調査地点）

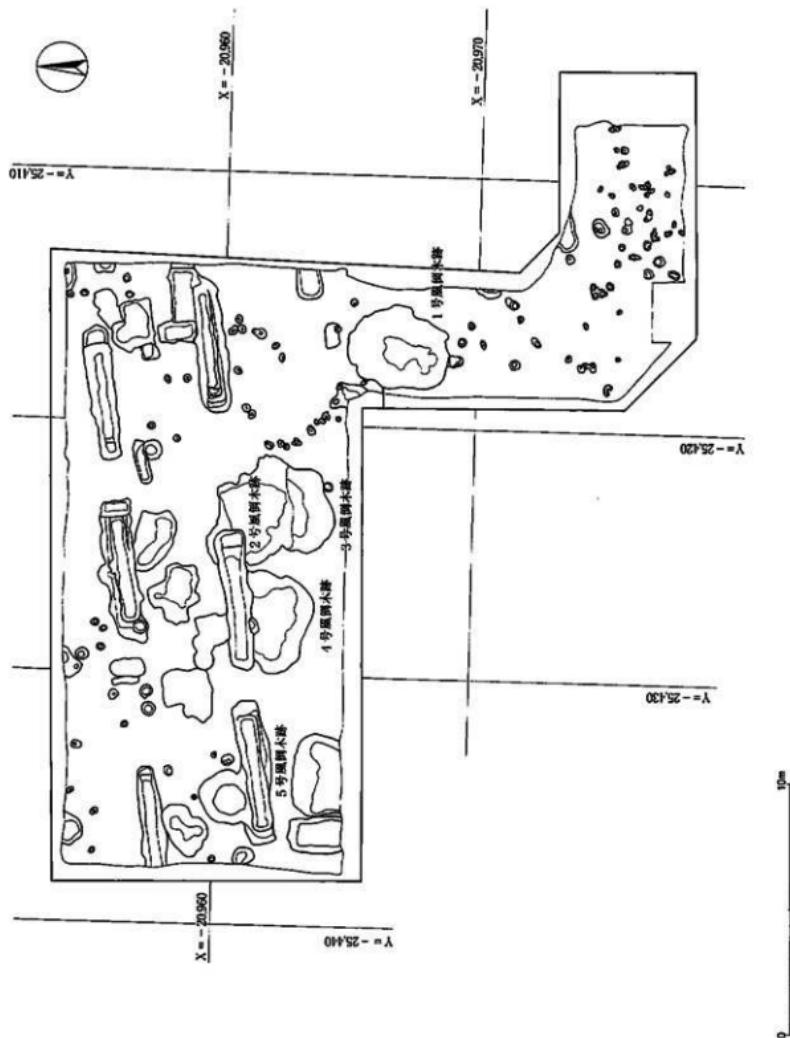


図9 0102調査地点遺構配置実測図（1/200）

ていない。

<風倒木痕>

5基を検出した。幅3～4mほどの不整規円形を呈し、深さは0.8mで、断面形はロート状をなす。1号風倒木痕（図10）を中心に覆土内から縄文時代早期～晩期の土器片10点が出土した。早期には山形・楕円文の押型文土器片（図11-1～3）、条痕文土器片（同4・5）、無文（同6）、晩期の土器

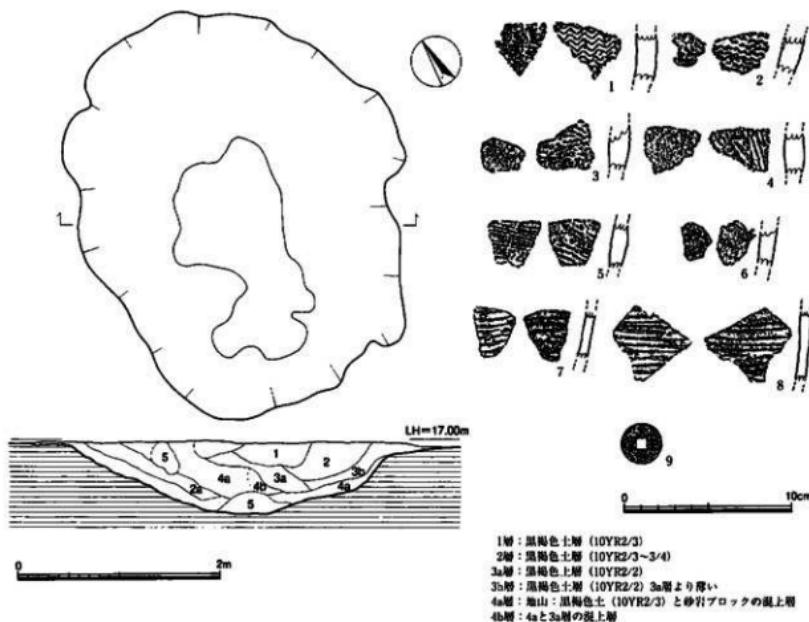


図10 1号風倒木痕および各造構出土遺物実測図 (1/50・1/3)

には条痕文の粗製土器（同7・8）がある。

<その他の遺物>

擾乱土からは磨耗した須恵器や土師器の土器片が少量発見された。寛永通寶1枚も出土した（図11-9）。

(4) 出土遺物（図10: 1～8）

先述したように、造構面までの削平のため、遺物は風倒木痕の埋土からの出土が主である。風倒木痕からは、縄文時代の早期から晩期の土器が出土した。1・2は山形文、3は楕円文の押型文土器である。4・5は条痕文土器、6は無文土器である。6までが早期の土器である。7・8は晩期の条痕文土器であろう。土器類は、この他に擾乱から古代の土師器や須恵器の碎片が出土している。9は寛永通寶である。

(5) まとめ

本地点は削平が著しく調査で得た成果は多くない。しかし、削平される前の旧地形については情報を得ることができた。本地点より南側に位置する9603地点や9704地点はほぼ同じレベルに削平されていながら、造構の残りが良好であったことは、それらの地点が斜面の低い部分に相当するためであって、本地点はそれらより高い位置にあり、ほとんど削平されてしまったものと思われる。9704調

3. 黒髪田地南地区基幹・環境整備に伴う発掘調査（0102調査地点）

査地点では、微高地形の周辺部に甕棺墓が築造されていたことが指摘されたが、この微高地が本地点まで続いている可能性を示している。

白川沿いの9907調査地点（本巻）や9911調査地点（熊本大学埋蔵文化財調査室年報7）では、今回調査を行った基盤層まで調査を行い、縄文土器資料を得ているが、その他の地点では基盤層まで掘削することは少なかった。しかし、9802・9907・9911調査地点の調査成果を受け、遺構面としている地山層について縄文時代の遺物について確認作業を行うよう努めてきた。0302調査地点I区では、地山層中で基盤層よりは上位において、縄文早期の土器資料を得た。この地山層に遺物が含まれることは少ないが、留意しておくべき点であることを再確認した。

表5 0102調査地点出土遺物一覧表

回	番号	遺物	種類(断面)	寸法(cm)	断面量	特徴	色調	出土遺構	備考
10	1	縄文土器	円錐型土器 底付		削鉗片	内：ナデ 外：山形文	内：Hue IOYR 6 / 1 外：Hue 7.5YR 6 / 6	1号風洞木痕	
	2	縄文土器	圓錐型土器 底付		削鉗片	内：ナデ 外：山形文	内：Hue IOYR 7 / 2 外：Hue 2.5YR 6 / 6	1号風洞木痕	
	3	縄文土器	円錐型土器 底付		削鉗片	内：ナデ 外：椎円文	内：Hue 5 YR 5 / 4 外：Hue 5 YR 5 / 4	1号風洞木痕	
	4	縄文土器	圓錐型土器 底付		削鉗片	内：ナデ 外：椎円文	内：Hue 2.5YR 5 / 6 外：Hue 2.5YR 5 / 6	1号風洞木痕	
	5	縄文土器	圓錐型土器 底付		削鉗片	内：条状文 外：条状文	内：Hue 2.5YR 5 / 6 外：Hue 2.5YR 5 / 6	1号風洞木痕	
	6	縄文土器	圓錐型土器 底付		削鉗片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 4 / 3 外：Hue 7.5YR 5 / 4	1号風洞木痕	
	7	縄文土器	圓錐型土器 底付		削鉗片	内：条状文 外：条状文	内：Hue IOYR 7 / 4 外：Hue IOYR 7 / 4	1号風洞木痕	外蓋スヌ付着
	8	縄文土器	圓錐型土器 底付		削鉗片	内：条状文 外：条状文	内：Hue IOYR 6 / 3 外：Hue IOYR 6 / 3	1号風洞木痕	外蓋スヌ付着
	9	陶器		2.3 2.4 1.5	完形		緑青色	1号風洞木痕	寛永通寶

III 本荘北地区の調査

1. (医病) 基幹・環境整備に伴う発掘調査 (0006調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本荘北地区は、校舎・病棟の新営などにより規模の大きな調査を行ってきた地区である。これまでの発掘調査では、まず8世紀～9世紀の古代の集落址が調査され(9601調査地点)、「田井」「松本寺」などのヘラ書きや墨書きをもつ土器が大量に出土している。本遺跡の上流にはこれらと類似した「田井」のヘラ書き土器が出土している大江遺跡群や新屋敷遺跡など奈良・平安時代の集落址がある。また古墳時代前期の住居址が、付近一帯としては初めて確認され、古墳時代から古代にかけての複合的な遺跡の広がりを示している(熊本大学埋蔵文化財調査報告書第4集)。また1998年度の発掘調査(9807調査地点)では、7世紀後半から9世紀初頭にかけての堅穴住居址や掘立柱建物を検出した(熊本大学埋蔵文化財調査報告書第5集)。さらに1999年の調査(9901調査地点)では古墳時代初に遡る時期の住居址や構などが検出され、古墳時代前期から古代にかけての集落を確認した。本遺跡の営みは縄文時代に始まり、また古墳時代前期からの集落が広がることが明らかとなっている。

本事業は平成10年の年度当初、計画にあげられていた事業である。当時の計画では西病棟の新営工事とそれに付随する共同溝があげられ、平成10年度に発掘調査の申請も行っている。そのうち西病棟新営工事に伴う発掘調査は1999度に実施した(9901調査地点)。共同溝の敷設に伴う支障配管替え工事に関しては、前年度から2000年7月に調査を実施する予定とされていたが、施設部より具体的な日程調整の打診と病院からの許可を受け調査に入ったのは11月上旬である。実施した調査は、共同溝敷設に伴う支障配管替えと第1井戸・第3井戸受水槽建設、それに伴う給・排水管配管工事に伴う調査である。I区として、第3井戸受水槽建設予定地より調査を実施した。病院敷地の北西隅に位置する。一次掘削の際は、擾乱が多く遺構の大半が破壊されていると予想されたが、遺構面を検出・精査したところ調査区全面に遺構が残っており、9901調査地点で確認した集落は現在の白川堤防まで及ぶことを確認した。住居址等の破壊が少なかったこともあり、遺物の保存状況にも恵まれた。なお、調査区の南西隅に高压ケーブルがあり、これより相当強い電波が発せられ測量機械に影響が出た。高压ケーブルの撤去や通電を止めることができないとのことで、本地点の遺構測量は手作業となった。また、週末の休日に、実測用具や土層ベルトを壊すなどの悪戯を受けた。I区終了後、12月より病院敷地の東側の第1井戸受水槽建設地の試掘を行った。試掘を行ったところ、近代・現代の墓石・墓壙・遺骨が検出された。熊本大学附属病院の敷地となる前は、小松原墓地であったところである。熊本県教育委員会と協議した結果、調査不要となった。これらより下位においても、遺構が認められず受水槽建設による文化財への影響はない判断した。第3井戸受水槽建設を建設する間、I区からの給水管配管工事の、立会調査を行った。ここでは、掘削が包含層や遺構面には及ばず、本調査はなかった。統いて12月より、II区の調査を行った。旧第5号病棟北側沿いに排水管を敷設する工事に伴う調査である。既設枠に排水管を接続するもので、既設枠のある西側から掘削を開始した。多量の土器が出土し、掘削予定の東側も同様と思われ、本調査に切り替えた。配管工事は西側の方が深く、この部分は掘削予定深度が遺構面より深かったため、掘削予定範囲を一度に掘削し本調査に切り替えることにした。数か所で遺物が集中する個所があり、それらの記録を行った。面積に比して、検出した遺構や遺物の量が多く、時間を要した。掘削深度が遺構面に達しない東側については、工事に必要な深度まで掘削を行い、現状保存とした。II区の調査の間にIV区の立会調査を実施した。IV区はポンプ室周囲のフェンス沿いに電気配線する工事であり、掘削深度が文化財には達しなかった。II区終了後、III区の調査

1. (医病) 基幹・環境整備に伴う発掘調査 (0006調査地点)

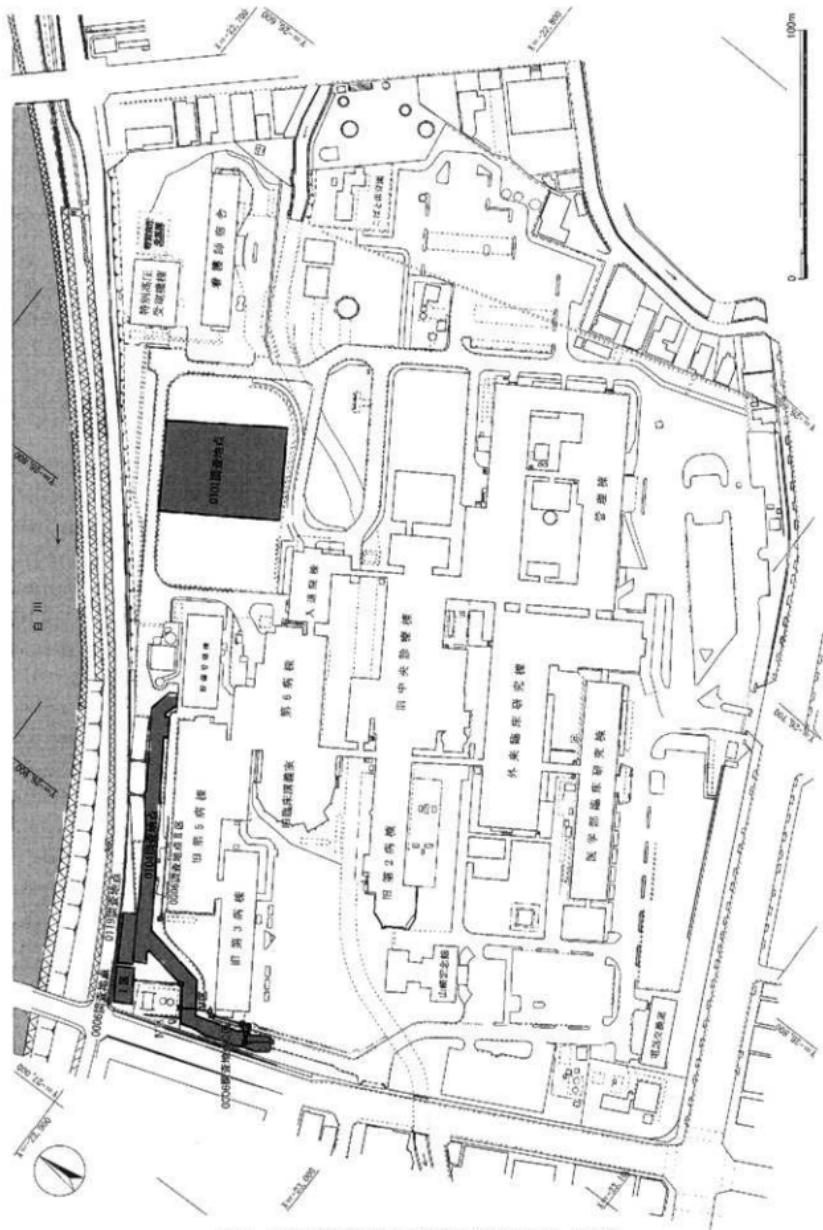


図11 本荘北地区における調査地点位置図 (1 /2000)

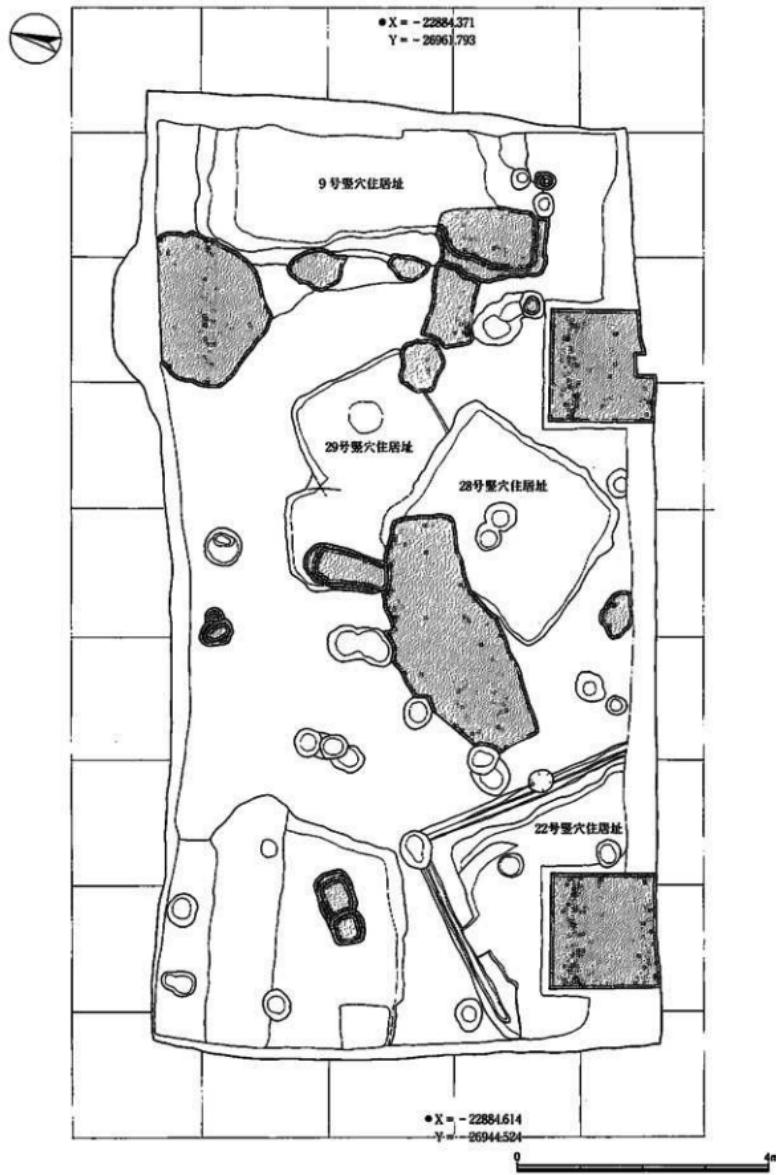


図12 0006調査地点I区遺構配置実測図 (1/80)

1. (医印) 基幹・環境整備に伴う発掘調査 (0006調査地点)

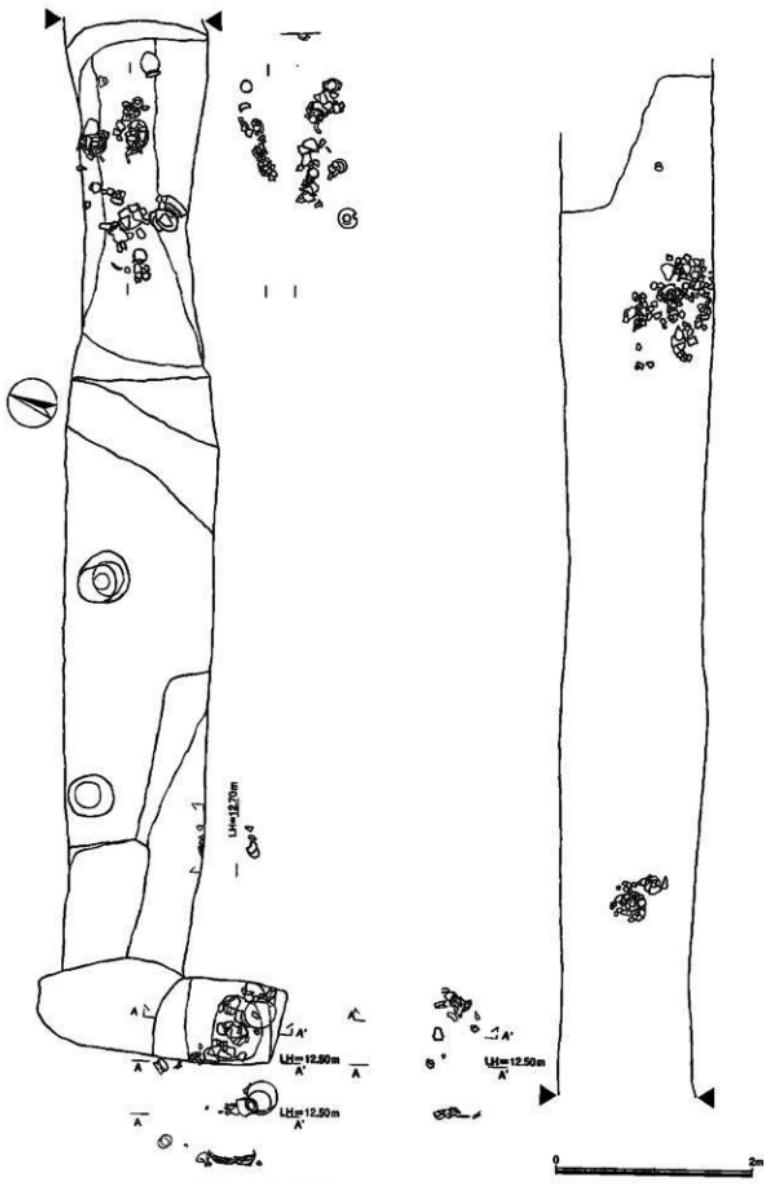


図13 0006調査地点Ⅱ区遺構配置実測図 (1 / 50)

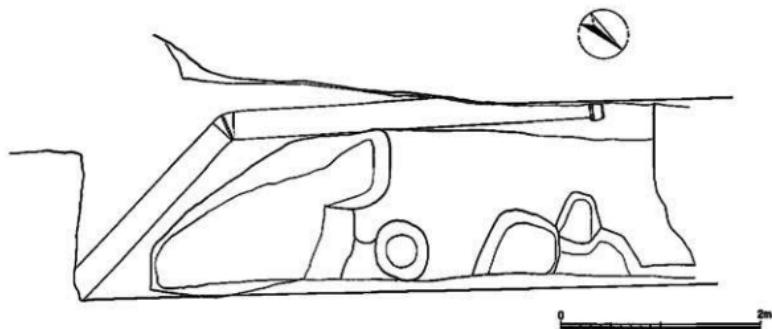


図14 0006調査地点Ⅲ区遺構配置実測図（1/50）

に入った。Ⅲ区は旧第3病棟西側にポンプ室からの配水管を配管する工事である。ここでも遺物・住居址を確認した。Ⅲ区の終了後、東側第1井戸の給水管配管工事の立会調査を行った。旧墓地内においては、受水槽本体部と同様であり、その他の箇所でも文化財の検出はなかった。最後にV区調査を行った。V区はポンプ室とⅢ区の中間にあり、構内道路を横断する。ここでは、遺物を収集したが、遺構を把握できなかった。

これら一連の調査で古墳時代前期から古代にかけての住居址等の遺構と遺物を確認した。文中・図面中の遺構の番号については、遺構の種類によらず検出順に一連の番号を与えていた。

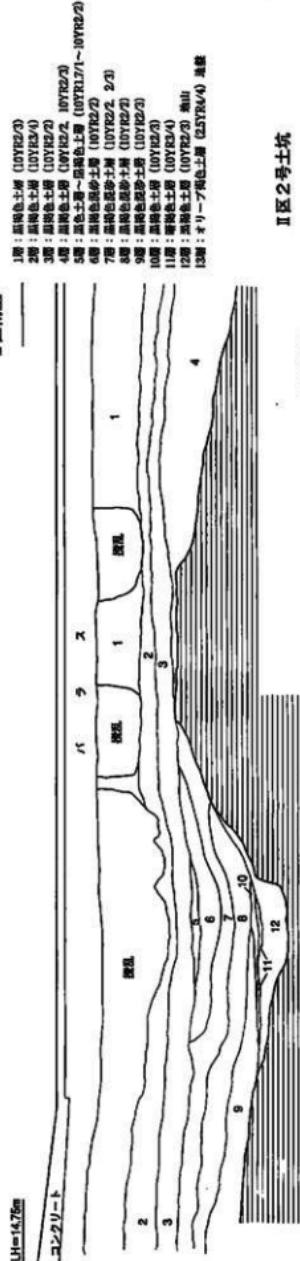
b. 調査の経過

- 2000年10月30日 I区の一次掘削開始。
- 2000年11月6日 I区（119.4m²）、調査開始。
- 2000年11月22日 I区、調査終了。第1井戸受水槽試掘。
- 2000年11月27日～同年11月29日第3井戸（I区）給水管配管工事、立会調査。
- 2000年12月4日 II区（97.6m²）立会調査実施。本調査切替え、調査開始。
- 2000年12月13日 II区、調査終了。
- 2000年12月8日～2001年1月10日 IV区電気配線工事、立会調査。
- 2000年12月19日 III区（20.4m²）立会実施、本調査切替え、調査開始。
- 2000年12月20日 III区、調査終了。
- 2000年12月25日～12月28日 第1井戸給水管配管工事、立会調査。

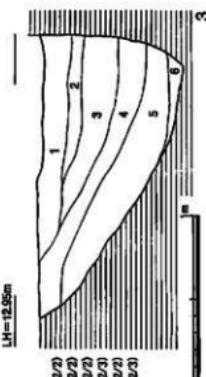
c. 調査の組織

- 調査員：大坪志子
 事務担当：富永明子
 発掘作業員：岡田イッ代・岡村久美子・河野義勝・黒木タケ子・早田小百合・高松北子・水上順子・宮村邦子・村上幸子・森川征子・森川護・森田ミドリ
 整理作業員：江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古賀敬子・首藤優子・末吉美紀・溜沢俊子・長谷智

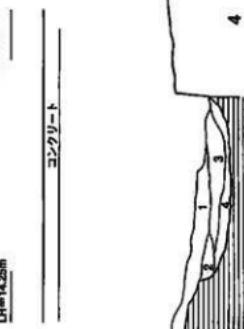
II区南壁



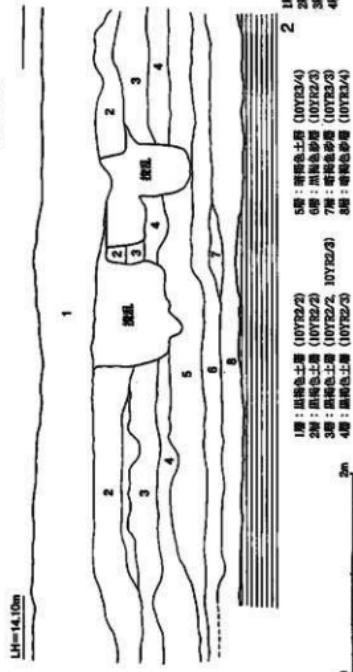
II区2号土坑



III区東壁



4



2

図15 0008調査地点 I区西壁・II区南壁・II区2号土坑・III区東壁土層断面実測図 (1/30・1/50)

子・林田恵子・番山明子・増井弘子・山崎早苗・早川 舞

(2) 調査区の基本層序(図15・16)

I 区は本荘北地区の西北端に位置する。以前この付近には建築物があったのか、調査区周囲の土層はほとんど搅乱を受けていた。調査区の西壁で確認した土層(図15-2)は次のとおりである。

1層は現代埋土で、以前にあったと思われる建物の基礎も観察された。茶碗等のゴミが投棄されている。建物撤去後の整地のための客土か、黒色の砂が上部に堆積している。2層は近世・近代の耕作土である。3層-黒褐色土(10YR 2 / 2 - 2 / 3、厚さ20~35cm)、4層-黒褐色土(10YR 2 / 3、20cm)が古墳~古代の遺物包含層および遺構の覆土である。5層-暗褐色土(10YR 3 / 4)はいわゆる地山であり、遺構検出面である。4層は3層と5層の漸移層である。黒髪北地区的調査(9802調査地点)ではこの5層に縄文時代前期の土器が包含されることが確認されており、本荘北地区においても今回の調査地点に近接する9901調査地点で縄文時代の黒曜石製の石器が遺構検出面(5層)に含まれる様相がうかがえた。そこで今回遺構の実測を終了した後この遺構検出面以下を一部掘り下げてみた。6層以下はすべて砂層であり、8層の下は砂質の礫からなる基盤層である。この試掘による縄文時代の遺物の出土はなかった。

II 区では、西端で地表下0.6m程で古代の遺物包含層が出始め、0.85mで地山を確認している。図15-1では地表はアスファルトに覆われており地表下40cm程度まではパラスである。1層-黒褐色土(10YR 2 / 3、厚さ40~70cm)及び2層-暗褐色土(10YR 3 / 4、厚さ10~30cm)は近・現代埋土である。3層-黒褐色土(10YR 2 / 2、厚さ10~30cm)は古代の遺物包含層と認識している層であり、以下は古墳時代の遺物包含層および遺構埋土である。古代の遺物包含層が非常に薄い。隣接する0104調査地点では、この辺りは0.5~0.6mで包含層を検出しており、0006調査地点では包含層の削平が著しいと思われる。図16は既設橋より20mほど東側の地点の南壁土層断面実測図であるが、ここでも包含層は地表下1.1~1.2m程度まで削平されている。

III 区(図15-4)では、1層まではアスファルト・パラス・現代埋土(搅乱)である。2層-黒褐色土(10YR 2 / 2)が古代の遺物包含層と認識している土層であり、1層-黒褐色土(10YR 2 / 3)はそれ以降の土層である。2層~4層が堆積している部分が、III区で唯一遺構と思われる部分で

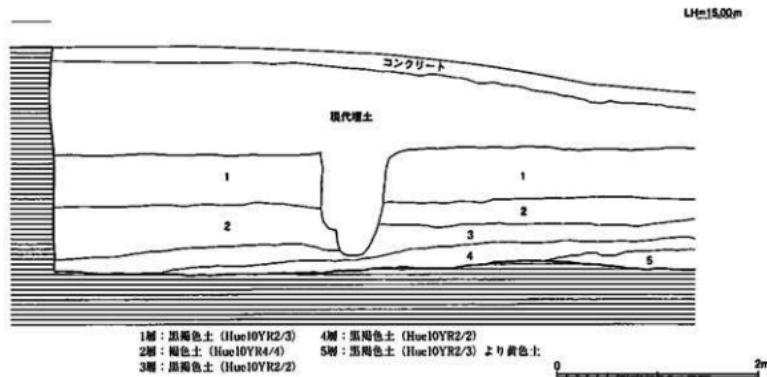


図16 0006調査地点II区南壁土層断面実測図(1/50)

ある。

(3) 検出遺構

I区 (図12)

今回調査で検出した遺構は、古墳時代前期の竪穴住居址4基、柱穴と考えられるものも含めピットが29である。

<竪穴住居址>

9号竪穴住居址 (図17)

調査区の東で検出された。東壁にかかっており、今回調査した範囲は、全体の1/3～半分ほどであろう。南側は搅乱を受けていたが一部は搅乱が下まで達しておらず、調査区東壁から1m程度の範囲は南壁の立ち上がりとみられる。現在の長さは5.3m×4mであり、主軸は南北より若干西に振れている。本調査区内では最も深い住居址で、深さは約0.7mである。壁は垂直ではないが実際はやや急に立ち上がり、上方は緩やかに上る。図中の段差は掘り過ぎたためである。当初、北壁のプランを捉えられず南北に走る溝と考えていたが、東側半分を掘り下げた結果、深さ0.3mほどから礫や遺物が出土し始め、北壁の立ち上がりも確認できた。この住居址で、硬化面や柱穴などは検出されなかつた。

遺物は住居址中央やや北に集中し全体では30cm程度の厚さに堆積していた。散乱した様子もなく、そのまま潰れた状態の土器もあった。この住居址からは多くの円碟が出土したが、土器とともに範囲が限られており、白川の洪水などによる埋没等は考えられない。しかし、土器とも複雑に混在しており、通常の使用状態とも考えられず、住居を遺棄する際の行為によると考えられる。土器の集中部分では焼土の広がりを確認した。焼土は北壁斜面から広く分布していたが、この住居址で炉址は検出されなかつた。

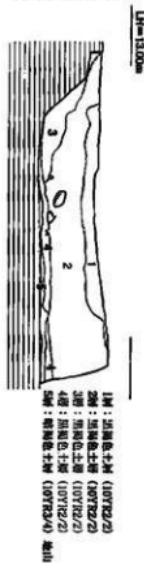
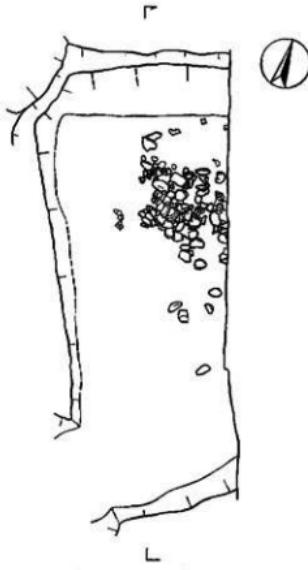
22号竪穴住居址 (図17)

調査区の南西隅で検出された。西壁と南壁にかかっており、全体の規模は不明である。現在の長さは3.8m×3.9mであり、主軸は南北から45°程度東に振れている。当初、プランを確認してのち30～35cm程度掘り下げ地山と認識している暗褐色土を検出し、土師器甕と小形丸底甕の2点が出土したためここを床面とした。しかし、建物基礎による搅乱部分を清掃していた際、下方より土器が出土し、断面観察から床と認定した暗褐色土層下に別の黒色土の層があることが分かった。黒色土層の広がりに従い床面と思われた暗褐色土を除くと、黒色土層下に地山が検出された。その結果、完掘状況としては壁の下が幅20～30cmのテラス状になり、テラスには幅10cm程度の整溝が廻る。そして住居の中央が一段下がる。これは、1999年度の調査において検出された住居址(9901調査地点:352・353号住居址)と類似しており、主軸方向も同一である。いずれも同じような建物基礎によって破壊を受けているが、包含層(遺構覆土)と思われる黒色土層が良く残っており、遺物もその中から比較的破損の少ない状態で出土している。ベッド状遺構を持つ住居址のようであるが、最初に検出した暗褐色の層は壁の崩落・流れ込み、あるいは搅乱によるもののような様子もなく、床面である可能性も考えられる。

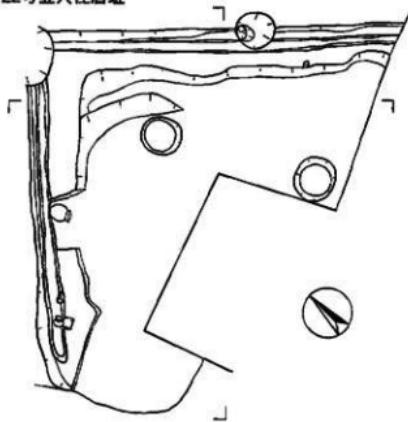
28号竪穴住居址 (図18)

調査区の中央やや南で検出された。一部を搅乱によって破壊されている。ほぼ方形プランで、約3.1m×2.7mである。住居址の中央でピットが二つ検出された。40cm弱の深さがあり炉の可能性も考えられるが、焼土は検出されなかつた。28号住居址の埋土は黒色のものと、暗褐色の地山土が混

9号型穴住居址

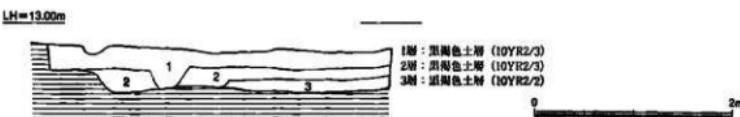
 $LH=13.00m$ 

22号型穴住居址



- 1層：黒褐色土層 (10YR2/2)
2層：黒褐色土層 (10YR2/3)
3層：泥褐色土層 (10YR2/2)

0 2m

 $LH=13.00m$

0 2m

図17 9・22号型穴住居址実測図 (1 /50)

ざったものとがありそれらの範囲確認が困難であった。明らかに現代の搅乱と思われる部分は最初に除去した。地山の混土は住居址の東半分程度に広がっていたが、この土も一度掘削した搅乱土と判断して除去した。近・現代の搅乱であることを示すようなものはなく住居プランへの影響は全く無かつた。古代～近世の搅乱であったのかも判然としない。遺物はこのような過程のため、厳密に縦別できているとは言い難く、古墳時代から中世にかけてのものが埋土中から出土している。床面からの出土は土師器片が2点あったのみである。年報（熊本大学埋蔵文化財調査室年報7、2001）では、この住居址を古代の住居址と報告したが、古代の住居址であるならば本来備えてあるはずの竈がなく、遺物を再度考察した結果、古墳時代の可能性が高いと判断した。

29号竪穴住居址（図18）

調査区の中央で検出された。28号住居址と搅乱土壌により南西部を破壊されている。現在長2.2m×2.16m程度である。主軸は22号住居址と同じで、東に45°程振れている。これは前年度に確認した古墳時代前期の住居址と同様で、条里制が施行される以前は、この一帯の住居址は主軸を北東～南西にとっていたことを示している。プランを検出した時には、既に上面がかなり削平されており、深さは15cm程度しか残っていなかった。住居址中央のやや南西部で、焼土の広がりを確認した。

南西部の突出した部分との切りあいは、現場で正確に把握する事が出来なかった。しかし、この部分がほぼ南北に主軸をとつており周辺の造構の在り方からしても、この南北に主軸をとる土壤状造構が時期的に新しく29号住居址を切っていると思われる。29号竪穴住居址も、28号竪穴住居址同様に竈の痕跡がなく、中央から炉の跡と思われる焼土を検出したことから、古墳時代と考えられるが、周辺での調査結果を照合すると、古墳時代の住居址としてはかなり小型になりそうである。遺物は、土師器片が10数点出土したにすぎない。竈の口縁部や窓枠の脚部などがあるが、いずれも碎片である。

<その他の造構>

柱穴らしいピットがいくつか検出されたが、建物が並ぶようなものはなかった。出土した遺物は土師器・須恵器等で、古代～中世にかけてのものである。

II区（図13）

II区は調査範囲が非常に狭長で、造構の全体を把握することは困難であった。幅1.5m、長さ21mの調査区である。調査区の一部が病棟への給食食材搬入路（スロープ）の脇であるため周囲が高くなる。最も高くなる部分では2層が搅乱土で両壁が脆弱なため崩落の危険があり、工事業者の協力を得て急速矢板を打った。しかし、検出された溝状の造構を掘り下げるには危険であり、またスロープ部分は工事による破壊等の影響は受けないため、現状保存できる部分については保存とした。そして工事によって破壊を受ける部分と安全性を保てる部分についてのみ調査を行った。

II区で確認した造構と思われ掘り込みは、土坑状造構3基がある。

<土坑状造構>

1号土坑状造構（図13）

調査区の西端、既設橋東側を北に長さ3.2m、幅約2mのトレンチ状に掘削したところ、包含層を確認したので重機による掘削を止め、人力による掘削にした。地山を検出すると、南側へ傾斜して落ち込み土坑状になった。深さは0.4m程度である。ここで遺物が集中して出土した。南壁が立ち上がるため、南北の幅は0.8m程度と思われる。東西に広がり、溝状になるかは不明である。多量の古式土師器が出土した。

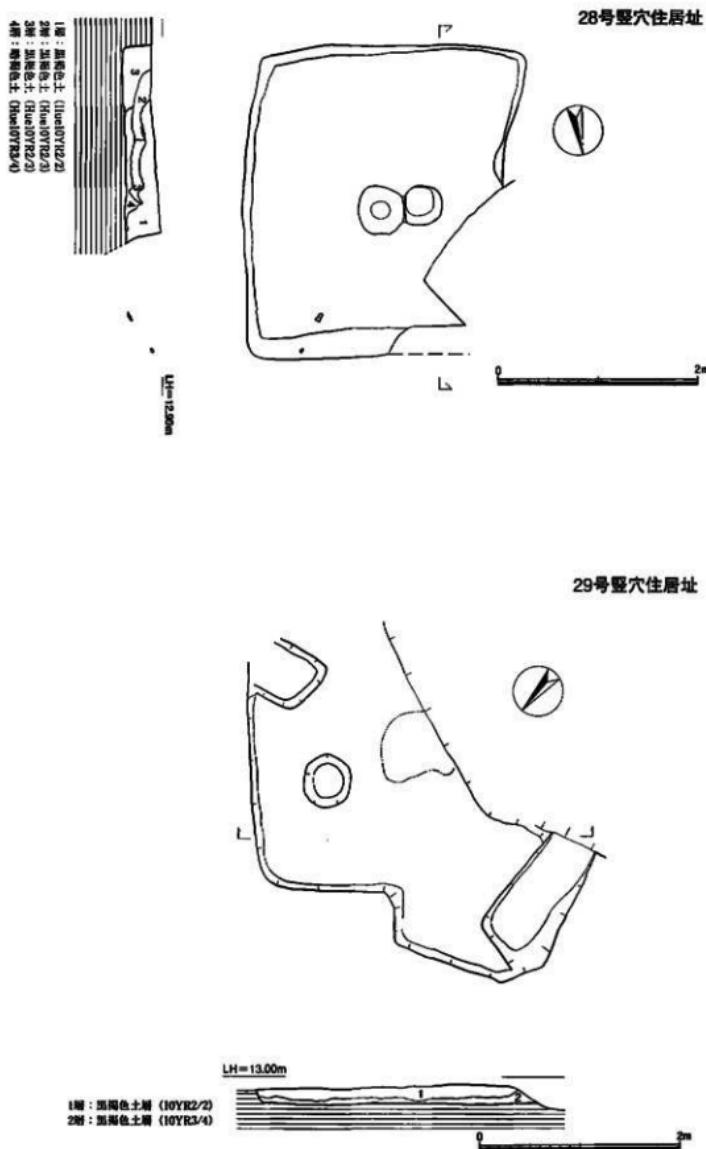


図18 28・29号竪穴住居址実測図 (1 / 50)

2号土坑状造構

西端から5.4~6.4mで、南北に調査区を横切る造構ラインを検出した。当初は南北に走る溝と考えたが、20m先まで造構埋土と思われる黒色土が続き、これに対応する造構の立ちあがりを確認することができなかっただため、東を全面的に徐々に下げたところ、0.4m下で東側の造構ラインが検出した。掘削した結果、最も深い所では造構検出面より1.1m程下がる。壁は、西側は緩やかな傾斜で下り、底の20cm付近で急に落ち込む。形状は豊穴住居址のようであるが、ちょうど検出した部分の中央が、東西方向に溝状になっており豊穴住居址とは考えにくい。

3号土坑状造構

1号土坑状造構の東側、調査区がT字になったその交差部の南壁沿いにある、東西約3.1mの落ち込みである。深さは0.5m程度である。南壁では土器が若干出土した。おそらく中心部となるのは、調査区南外であろう。造構面(地山)の状況から、1号土坑状造構とは繋がらないと思われる。

<その他の造構>

保存した部分については、図16の3層上面まで掘削した段階で、土器が集中して2箇所検出された。それぞれ、記録をとり取り上げた。

III区(図14)

III区は搅乱による破壊が著しく、造構の全容は不明である。硬化面を検出したため住居址かと思われる掘り込みがあるほかは、ピットである。

<住居址(?)>

調査区の南西で住居址らしい土坑状の造構を検出したが、既設管や搅乱土坑によって破壊され、ほとんど遺存しておらず、本来のプランや規模は把握し得ない。深さは50cm程度である。硬化面は一部確認された。

(4) 出土遺物

本調査区で検出した造構は古墳時代の造構が主体であり、遺物も古式土師器が多く出土した。本書では、出来る限り多くの器種を載せることを優先した。掲載できなかった遺物については、別の機会に紹介したい。

I区

9号豊穴住居址出土遺物

I区で最も多くの遺物が出土した造構は9号豊穴住居址である。古墳時代前期、4世紀ごろの古式土師器が出土した(図19・20:1~31)。小型丸底壺・高壺・甕・直口壺等がある。後世に混入したと思われる遺物として、図24:118~119の須恵器蓋と壺がある。

22号豊穴住居址出土遺物

22号豊穴住居址からも、古式土師器が出土した(図20・21:32~43)。9号豊穴住居址と同じく、小型丸底壺・高壺・甕が出土している。

28号豊穴住居址出土遺物

28号豊穴住居址からは古墳時代前期の古式土師器と、古代の土師器・須恵器等が出土している(図21:46~62)。住居址の床直上で出土した土器は、図21-58である。造構の形態と、この土器から、本住居址の時期を古墳時代とした。

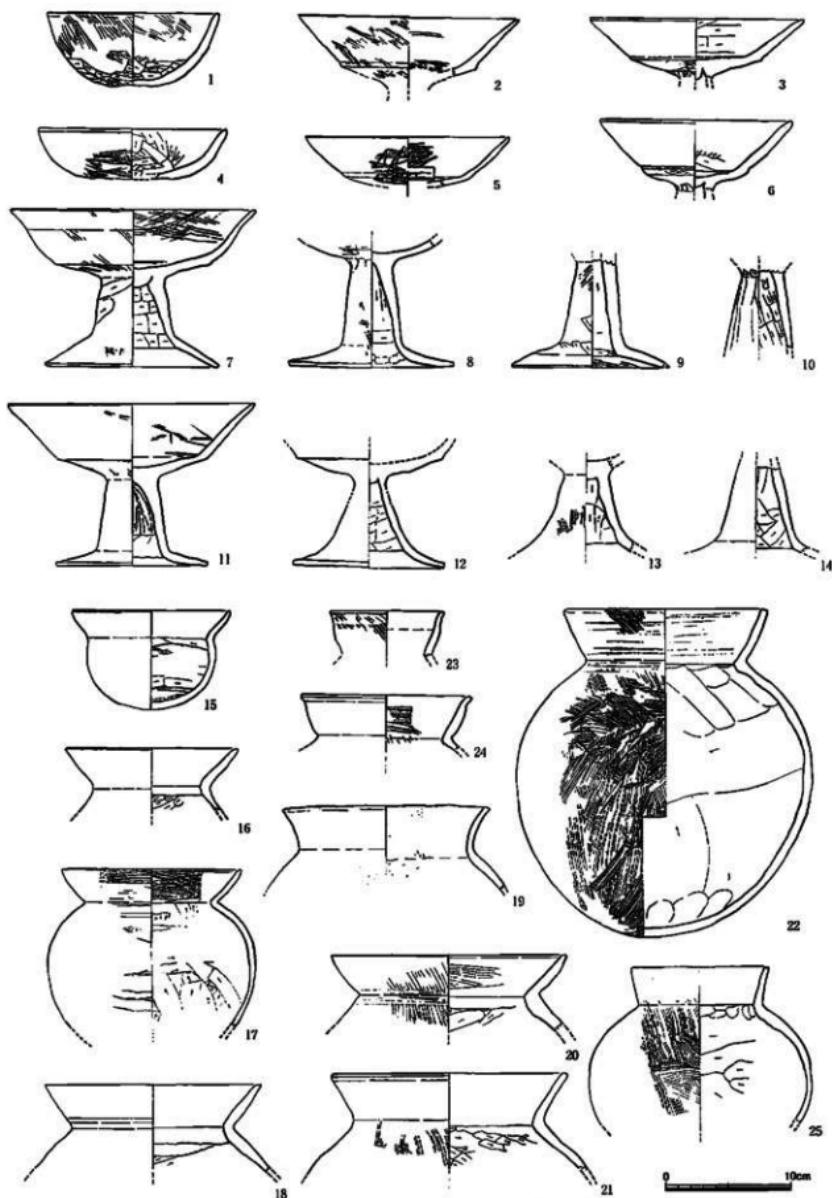


図19 0006調査地点出土遺物実測図1 (1 / 4)

1. (医病) 基幹・環境整備に伴う発掘調査 (0006調査地点)

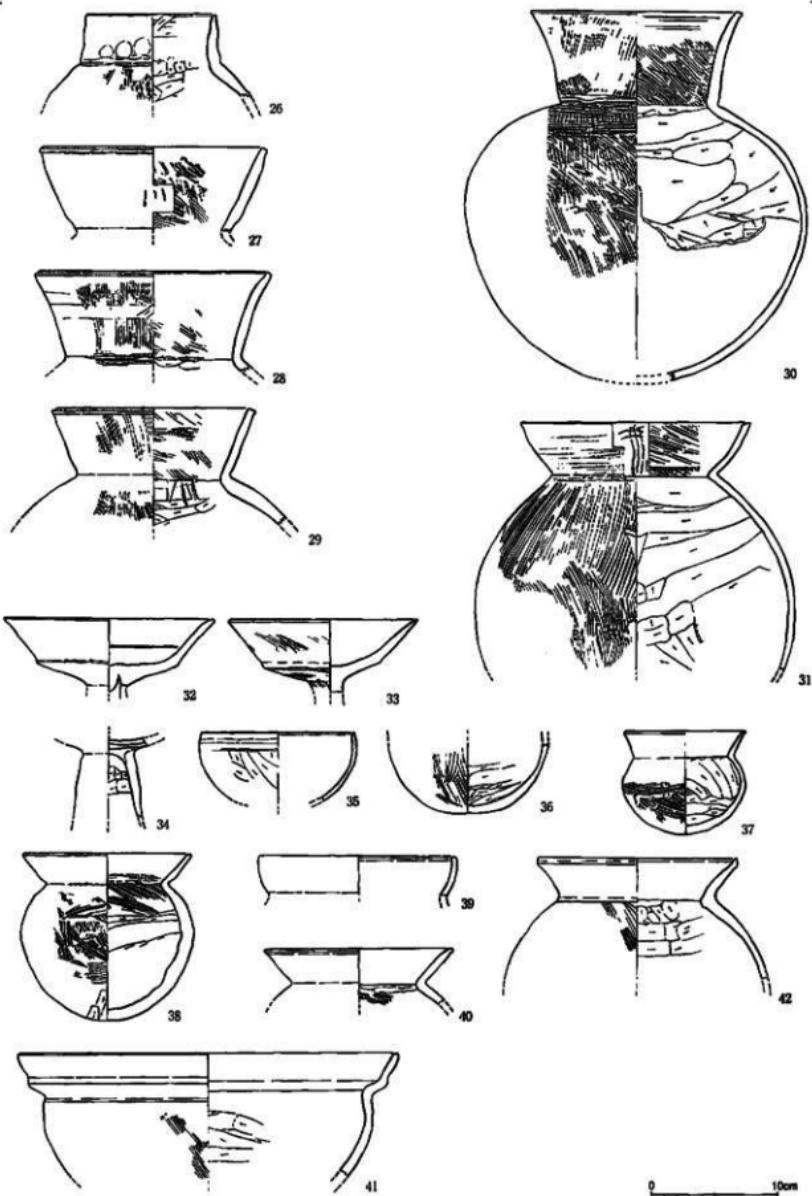


図20 0006調査地点出土遺物実測図2 (1 / 4)

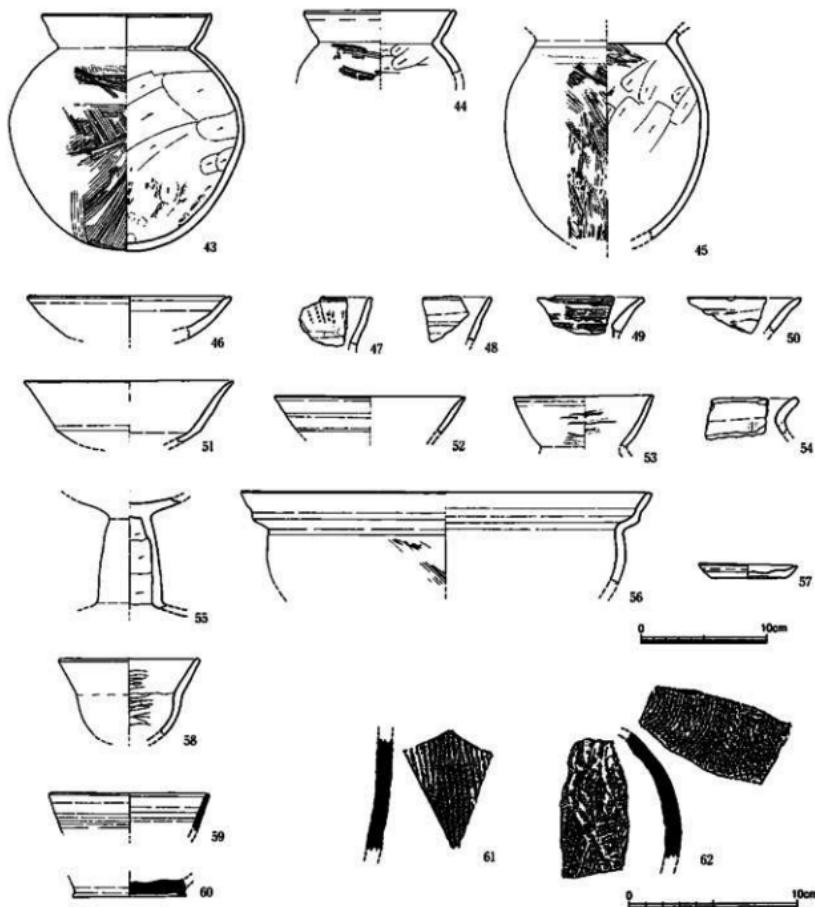


図21 0006調査地点出土遺物実測図3 (1 / 4 + 1 / 3)

1. (医病) 基幹・環境整備に伴う発掘調査 (0006調査地点)

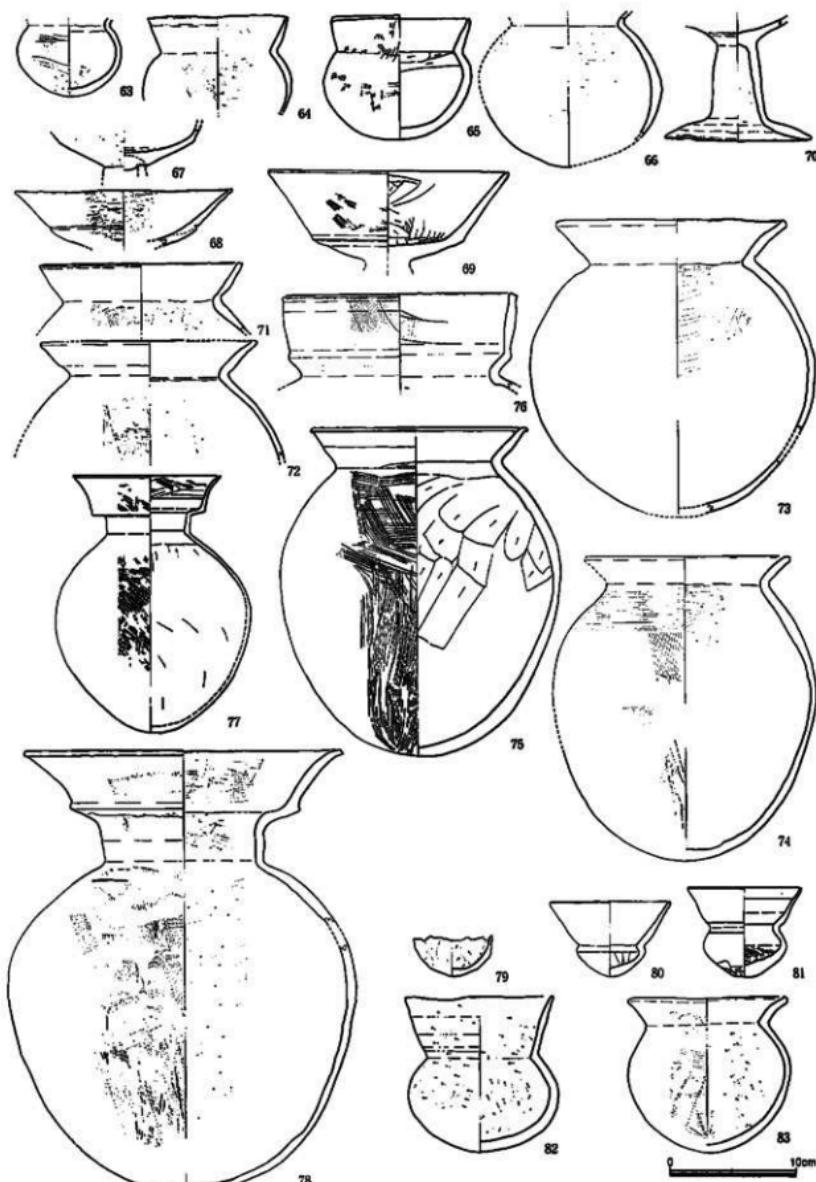


図22 0006調査地点出土遺物実測図 4 (1 / 4)

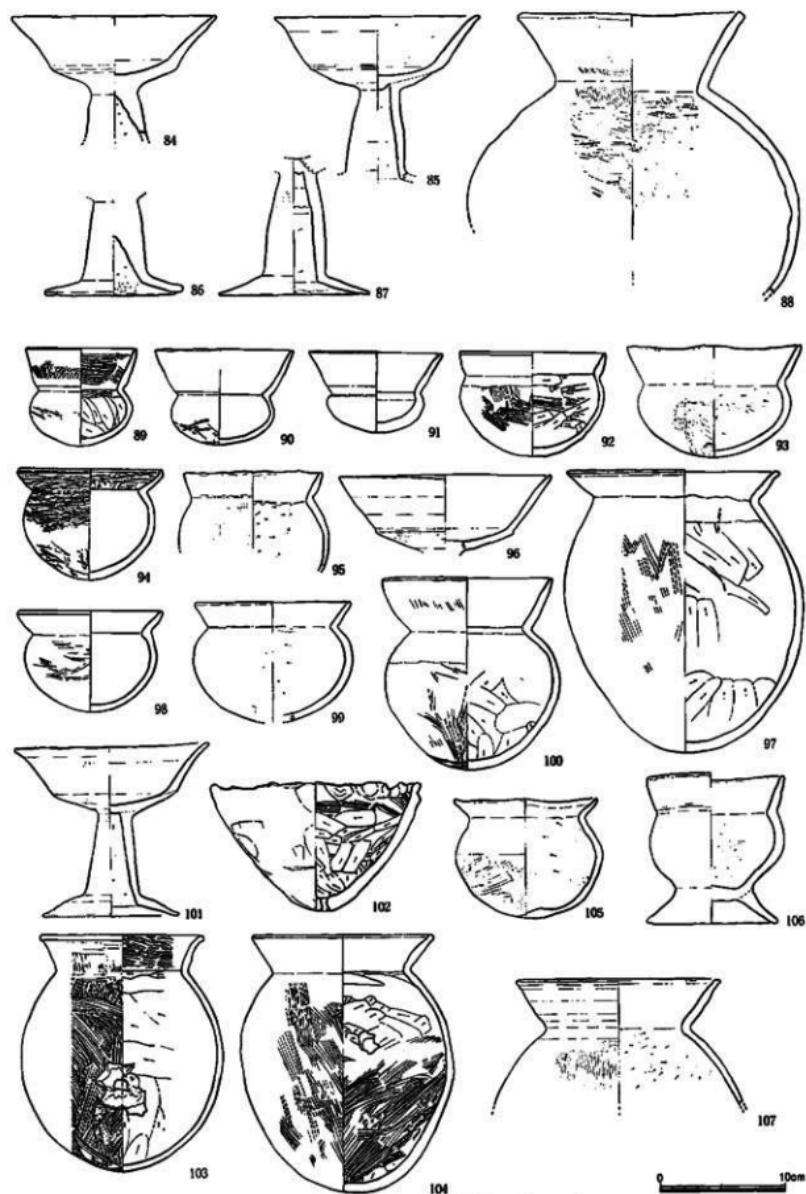


図23 0006調査地点出土遺物実測図5 (1 / 4)

1. (医病) 基幹・環境装備に伴う発掘調査 (0006調査地点)

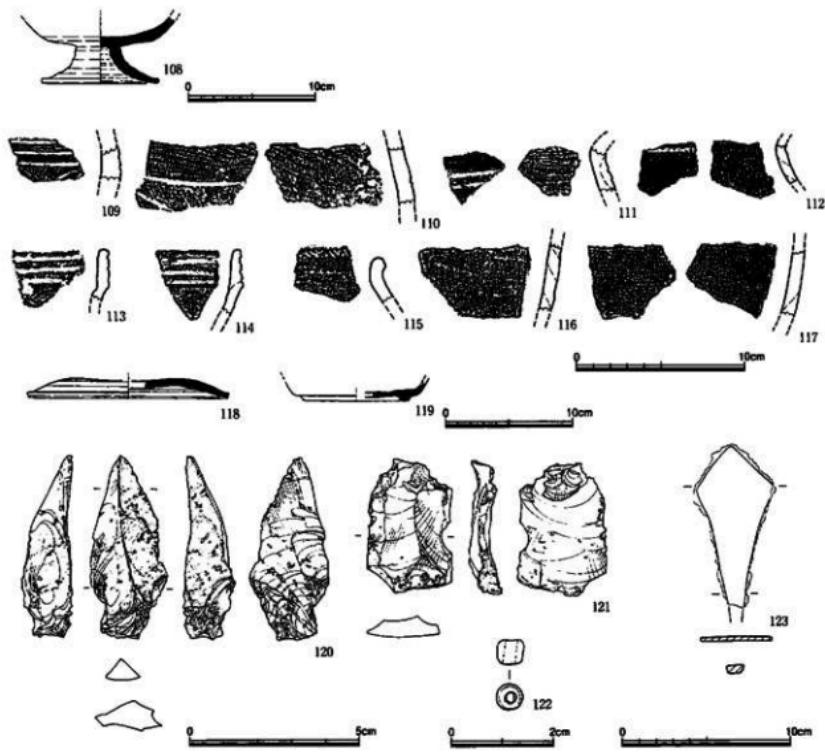


図24 0006調査地点出土遺物実測図6 (1/4・1/3・2/3・1/1)

その他の遺物

図24: 109~117は縄文土器である。111・112・116・117は28号竪穴住居址から出土し、他は包含層からの出土である。109・110は縄文時代後期後葉の磨消縄文であり、他は後期末~晩期の土器である。このほか、包含層やピットなどから古式土師器・古代の土師器・須恵器が出土している。

II区

II区では、狭い面積に比して、I区を凌ぐ量の遺物が出土した。II区西端部、1号土坑と中央部の2号土坑から集中して古式土師器が出土した。特に2号土坑は遺物が重なって出土した。1号土坑以外の区間では、包含層を掘削しながら土器群を検出したため、東側より土器群1・土器群2・土器群3とした。2号土坑上面で検出した一群が土器群3に相当する。遺構を掘削して出土した分について2号土坑出土としている。いずれの土坑・土器群も古墳時代前期の古式土師器である。

小型丸底壺・高壺・甕・二重口縁壺・直口壺・ミニチュア土器が出土した。75の二重口縁壺は1号土坑出土であるが、中の土に骨粉が混入していた。また付近からベンガラの塊が少量検出された。

土器以外には、黒曜石製の石器2点と、鉄鎌1点、ガラス玉1点がある。

Ⅲ区

出土遺物は土師器片が出土したのみである。

(5) まとめ

1999度の調査において確認した集落が、病院敷地の端まで存在することが判明した。白川を眼前に控えた堤防の直下であるため、遺跡の存在の可能性はそう高くはないと考えていたが予想に反する結果であった。Ⅱ区やⅢ区は旧3号・5号病棟の脇であったが、病棟建設に伴う周辺への影響は非常に少ない事もわかった。本調査地点は本荘北地区の北西隅であったが、以前の建物基礎などの攪乱を一部受けているものの遺構が検出されたことは、少なくとも病院敷地の北西側一帯に古墳時代からの集落が遺存している可能性が強いことを示す調査結果となった。県下において、また特に白川流域における当該期の土器資料出土例は少ない。Ⅱ区で出土した土器は、器種や数量もある程度揃っており貴重な資料となる。

後述する、0104調査地点と比較すると遺構の密度は低く、集落の端部に近いのかもしれない。

1. (医病) 基幹・環境整備に伴う発掘調査 (0006調査地点)

表6 0006調査地点出土遺物一覧表

田番号	遺物	種類(器種)	法長(cm)	埋存量	特徴	色 調	出土場所	圖 号
19 1	土師器	碗	口径 13.6 底径 8.0 高さ 6.0	1 / 3	内: 面板ナダ、ハ ケ目、削り 外: 面板ナダ、ハ ケ目、削り	内: Hue 7.5YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	9号墳穴住居址	
2	土師器	高杯	口径 17.6 底径 8.0 高さ 6.0	約 1 / 3	内: 面板ナダ、ハ ケ目、削り 外: 面板ナダ、ハ ケ目、削り	内: Hue 10YR 7 / 3 外: Hue 10YR 6 / 2	9号墳穴住居址	破損後一部こぼれ
3	土師器	高杯	口径 17.0 底径 8.0 高さ 6.0	約 1 / 4	内: 面板ナダ、ハ ケ目、削り 外: 面板ナダ、ハ ケ目、削り	内: Hue 7.5YR 7 / 6 外: Hue 10YR 6 / 4	9号墳穴住居址	外側一部に黒斑
4	土師器	碗	口径 15.0 底径 9.2 高さ 4.2	1 / 3	内: 面板ナダ、不 定形ナダ、削 外: 面板ナダ、削	内: Hue 7.5YR 6 / 4 外: Hue 7.5YR 6 / 4	9号墳穴住居址	
5	土師器	高杯	口径 16.2 底径 8.0 高さ 6.0	約 1 / 4	内: 面板ナダ、ハ ケ目、削り 外: 面板ナダ、ハ ケ目、削り	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 7.5YR 5 / 4	9号墳穴住居址	内面一部に黒斑
6	土師器	高杯	口径 15.4 底径 8.0 高さ 6.0	1 / 4	内: 面板ナダ、ハ ケ目、削り 外: 面板ナダ、ハ ケ目、削り	内: Hue 7.5YR 7 / 6 外: Hue 8 YR 6 / 6	9号墳穴住居址	
7	土師器	高杯	口径 19.4 底径 13.8 高さ 12.6	2 / 3	内: 面板ナダ、ハ ケ目、削り 外: 面板ナダ、ハ ケ目	内: Hue 7.5YR 7 / 6 外: Hue 7.5YR 7 / 6	9号墳穴住居址	焼けむらあり
8	土師器	高杯	口径 13.2 底径 8.0 高さ 6.0	約 1 / 2	内: 面板ナダ、ハ ケ目、削り 外: 面板ナダ、ハ ケ目、削り	内: Hue 2.5YR 6 / 3 外: Hue 2.5YR 6 / 3 外: Hue 7.5YR 7 / 6	9号墳穴住居址	外側一部に黒斑
9	土師器	高杯	口径 12.8 底径 8.0 高さ 6.0	断続のみ	内: 面板ナダ、ハ ケ目、削り 外: 面板ナダ、削 内: 面板ナダ、ハ ケ目、削り	内: Hue 10YR 6 / 3 外: Hue 10YR 6 / 3	9号墳穴住居址	外側一部にスス付着
10	土師器	高杯	口径 12.0 底径 8.0 高さ 6.0	断続 1 / 2	内: 剥り 外: 剥り・後縫合	内: Hue 10YR 6 / 3 外: Hue 10YR 6 / 3	9号墳穴住居址	
11	土師器	高杯	口径 19.5 底径 12.0 高さ 13.1	ほぼ完形	内: 面板ナダ、ハ ケ目、削り 外: 面板ナダ、ハ ケ目、削り	内: Hue 2.5YR 5 / 8 外: Hue 2.5YR 5 / 8	9号墳穴住居址	外側に焼けむら
12	土師器	高杯	口径 12.0 底径 8.0 高さ 6.0	約 1 / 2	内: 面板ナダ、削 外: 面板ナダ、削 内: 面板ナダ、削 外: 面板ナダ、削	内: Hue 7.5YR 4 / 3 外: Hue 7.5YR 4 / 3	9号墳穴住居址	
13	土師器	高杯	口径 12.0 底径 8.0 高さ 6.0	断続 2 / 3	内: 面板ナダ、削 外: 面板ナダ、削 内: 面板ナダ、削 外: 面板ナダ、削	内: Hue 10YR 6 / 3 外: Hue 10YR 6 / 3	9号墳穴住居址	
14	土師器	高杯	口径 12.5 底径 8.0 高さ 6.0	断続 2 / 3	内: 面板ナダ、削 外: 面板ナダ、削 内: 面板ナダ、削 外: 面板ナダ、削	内: Hue 5 YR 5 / 6 外: Hue 10YR 6 / 4	9号墳穴住居址	
15	土師器	小堅丸底盆	口径 13.4 底径 8.0 高さ 6.0	約 1 / 2	内: 面板ナダ、ハ ケ目、削り 外: 面板ナダ、ハ ケ目、削り	内: Hue 10YR 7 / 3 外: Hue 10YR 6 / 3	9号墳穴住居址	外側に一部スス付着
16	土師器	甕	口径 14.3 底径 8.0 高さ 6.0	口縁部片	内: 面板ナダ、ハ ケ目、削り 外: 面板ナダ、ハ ケ目、削り	内: Hue 2.5YR 6 / 6 外: Hue 10YR 6 / 4	9号墳穴住居址	外側に黒斑
17	土師器	甕	口径 17.0 底径 8.0 高さ 6.0	口縁部 1 / 2	内: 面板ナダ、削 外: 面板ナダ、ハ ケ目	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10Yr 6 / 4	9号墳穴住居址	外側スス付着 口縁部に焼色
18	土師器	甕	口径 16.4 底径 8.0 高さ 6.0	口縁部 1 / 4	内: 面板ナダ、ハ ケ目、削り 外: 面板ナダ、削 内: 面板ナダ、削 外: 面板ナダ、ハ ケ目	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	9号Ⅱ周上・塗装部	外側スス付着 熱土粘接み上げ
19	土師器	甕	口径 18.7 底径 8.0 高さ 6.0	口縁部片	内: 面板ナダ、ハ ケ目、削り 外: ハイ日後退 削り	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 7 / 4	9号Ⅱ周上・塗装部	外側スス付着 熱土粘接み上げ
20	土師器	甕	口径 18.9 底径 8.0 高さ 6.0	口縁部片	内: 面板ナダ、削 外: 面板ナダ、ハ ケ目、削り	内: Hue 10YR 5 / 4 外: Hue 10YR 5 / 4	9号墳穴住居址	外側スス付着
21	土師器	甕	口径 15.6 底径 8.0 高さ 6.0	口縁・側部片	内: 面板ナダ、削 外: 面板ナダ、ハ ケ目、削り	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	9号墳穴住居址	吹きこぼれ
22	土師器	甕	口径 14.0 底径 8.0 高さ 6.0	口縁部片	内: 面板ナダ、削 外: 面板ナダ、ハ ケ目、削り	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 2.5YR 7 / 3	9号墳穴住居址	外側にスス付着 吹きこぼれ
23	土師器	小型丸底盆	口径 9.0 底径 6.0 高さ 6.0	口縁部片	内: 面板ナダ、ハ ケ目、削り 外: ハイ日後退 削り	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 7 / 4	9号墳穴住居址	外側黒斑
24	土師器	甕	口径 13.6 底径 8.0 高さ 6.0	口縁部片	内: 面板ナダ、削 外: 面板ナダ、ハ ケ目、削り	内: Hue 10YR 4 / 3 外: Hue 10YR 5 / 3	9号墳穴住居址	吹きこぼれ
25	土師器	甕	口径 11.0 底径 6.0 高さ 6.0	約 1 / 3	内: ナダ、ハケ 目、削り 外: 面板ナダ、ハ ケ目、削り	内: Hue 10YR 8 / 2 外: Hue 10YR 6 / 3	9号墳穴住居址	外側に赤色化粧土 外側スス付着、吹きこぼれ
26	土師器	直口甕	口径 10.0 底径 6.0 高さ 6.0	口縁部片	内: ナダ、ハケ 目、削り 外: 面板ナダ、ハ ケ目、削り	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 7 / 4	9号墳穴住居址	

図	番号	遺物	種類(特徴)	法長(cm)	残存量	特徴	色 図	出土場所	圖 号
20	27	土師器	甕	口径 18.0 底径 高さ	口縁部片	内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 10YR 5 / 3 外: Hue 7.5YR 6 / 6	9号壺穴住居址	
	28	土師器	甕	口径 18.0 底径 高さ	口縁部片	内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 7 / 4	9号壺穴住居址	
29	土師器	甕	口径 15.0 底径 高さ	約 1 / 4		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 2.5YR 4 / 6 外: Hue 2.5YR 4 / 6	9号壺穴住居址	赤色顔料
30	土師器	甕	口径 16.8 底径 高さ	2 / 3		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 10YR 8 / 4 外: Hue 10YR 8 / 4	9号壺穴住居址	外縁底部に黒度
31	土師器	甕	口径 18.0 底径 高さ	口縁・側面の一 部		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 7.5YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 3	9号壺穴住居址	外縁スス付着 水きこぼれ
32	土師器	高杯	口径 16.6 底径 高さ	1 / 2		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 10YR 8 / 4 外: Hue 10YR 8 / 3	22号壺穴住居址	水きこぼれ
33	土師器	高杯	口径 14.8 底径 高さ	1 / 2		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 3 YR 6 / 6 外: Hue 7.5YR 7 / 6	22号壺穴住居址	水きこぼれ
34	土師器	高杯	口径 11.9 底径 高さ	断面 1 / 3		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 10YR 7 / 3 外: Hue 10YR 6 / 3	22号壺穴住居址	
35	土師器	瓶	口径 9.6 底径 高さ	1 / 3		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 10YR 7 / 3 外: Hue 10YR 7 / 3	22号壺穴住居址	水きこぼれ
36	土師器	瓶	口径 11.9 底径 高さ	底部のみ残存		内: ナダ 外: ハケ目	内: Hue 10YR 5 / 3 外: Hue 10YR 4 / 2	22号壺穴住居址	外縁スス付着
37	土師器	小型丸底甕	口径 9.6 底径 高さ	ほぼ完形		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 7 / 4	22号壺穴住居址	内縁下半黒色焼研のようないくつか
38	土師器	小壺丸底甕	口径 13.2 底径 高さ	口縁部一部破損		内: ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 10YR 6 / 6 外: Hue 10YR 7 / 3	22号壺穴住居址	外縁全体にスス付着 口縁部一帯に黒度
39	土師器	甕	口径 15.2 底径 高さ	口縁部片		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 5 YR 6 / 4 外: Hue 5 YR 6 / 4	22号壺穴住居址	外縁にスス付着
40	土師器	甕	口径 15.0 底径 高さ	口縁部片		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 7 / 4	22号壺穴住居址	外縁にスス付着
41	土師器	浅鉢	口径 20.0 底径 高さ	口縁部片		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: ハケ目、底 部	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 7 / 2	22号壺穴住居址	外縁にスス付着
42	土師器	甕	口径 15.6 底径 高さ	口縁・側面片		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 7 / 3	22号壺穴住居址	外縁一部にスス付着
21	43	土師器	甕	口径 13.0 底径 高さ	完形	内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 7.5YR 6 / 4 外: Hue 7.5YR 7 / 4	22号壺穴住居址	外縁にスス付着
	44	土師器	甕	口径 12.0 底径 高さ	口縁部片	内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 10YR 7 / 3 外: Hue 7.5YR 5 / 4	23号壺穴住居址	外縁にスス付着
45	土師器	甕	口径 11.5 底径 高さ	約 1 / 5		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 7.5YR 6 / 6	23号壺穴住居址	外縁一部に黒度
46	土師器	高杯	口径 16.6 底径 高さ	口縁部片		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 10YR 8 / 4 外: Hue 10YR 8 / 4	28号壺穴住居址	
47	土師器	甕	口径 15.0 底径 高さ	口縁部片		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 4	28号壺穴住居址	外縁スス付着
48	土師器	甕	口径 15.0 底径 高さ	口縁部片		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	28号壺穴住居址	
49	土師器	甕	口径 15.0 底径 高さ	口縁部片		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 2.5 YR 6 / 2 外: Hue 2.5 YR 7 / 2	28号壺穴住居址	外縁スス付着
50	土師器	甕?	口径 15.1 底径 高さ	口縁部片		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	28号壺穴住居址	外縁に黒度
51	土師器	高杯	口径 16.5 底径 高さ	口縁部片		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 7.5YR 7 / 6 外: Hue 7.5YR 7 / 6	28号壺穴住居址	
52	土師器	甕	口径 15.1 底径 高さ	口縁部片		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 7.5YR 8 / 4 外: Hue 5 YR 7 / 6	28号壺穴住居址	
53	土師器	甕	口径 11.5 底径 高さ	口縁部片		内: 開口ナダ、 ハラコナダ、 外: 同前ナダ、 ササニ	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 5 / 6	28号壺穴住居址	

1. (医病) 基幹・環境整備に伴う発掘調査 (0006調査地点)

図	番号	遺物	種類(分類)	法量 (cm)	用 途	特 徴	色 製	出土場所	備 考	
21	54	土器部	甕	口径底径 高さ	口縁部片	内:ハラナギ、面引 外:面引ナギ、ハラ日	内:Huie IOYR 6 / 3 外:Huie IOYR 6 / 4	20号墳穴住居址		
	55	土器部	高環	口径底径 高さ	脚部1 / 2	内:面引ナギ、面 引ナギ削り 外:ハラナギ、ハラ日	内:Huie IOYR 6 / 4 外:Huie IOYR 6 / 4	20号墳穴住居址	外面刷毛・焼きむら	
	56	土器部	浅鉢	32.5	口縁部片	内:面引ナギ、 ハラナギ 外:面引ナギ	内:Huie IOYR 5 / 2 外:Huie IOYR 6 / 4	20号墳穴住居址	内面刷毛	
	57	土器部	皿	口径底径 高さ	11.2 定形	内:面引ナギ、 ハラナギ 外:面引ナギ、 ハラ日	内:Huie 7.5YR 6 / 6 外:Huie 7.5YR 6 / 4	20号墳穴住居址		
	58	土器部	小型丸底盤	11.0	口縁部片	内:面引ナギ、 ハラナギ 外:面引ナギ	内:Huie IOYR 7 / 3 外:Huie IOYR 7 / 3	20号墳穴住居址	内面スス付着	
	59	須恵器	碗	口径底径 高さ	12.8	口縁部片	内:面引ナギ、 ハラナギ 外:面引ナギ	内:Huie 5 CY 3 / 1 外:Huie K 2 / 1	20号墳穴住居址	外面に自然釉
	60	須恵器	瓶	口径底径 高さ	9.0	底部片	内:面引ナギ、 ハラナギ、面引、 ハラ日	内:Huie 5 Y 6 / 1 外:Huie 2.5Y 3 / 1	20号墳穴住居址	底面に自然釉
	61	須恵器	甕	口径底径 高さ	11.0 定形	内:タチナ 外:タチナ	内:Huie 7.5Y 4 / 1 外:Huie 5 CY 3 / 1	20号墳穴住居址		
	62	須恵器	壺?		肩部片	内:タチナ 外:タチナ、ハ ラナギ	内:Huie 10CY 4 / 1 外:Huie N 3 / 0	20号墳穴住居址		
22	63	土器部	小型丸底盤	8.2	2 / 3	内:ハラナギ削 外:ハラ日、ハ ラナギ、ハ ラナギ	内:Huie 5 YR 6 / 6 外:Huie 7.5YR 6 / 6	II区1号土坑、II区 II号土坑住居跡3 Q	粘土被積み上げ 遺構はII区1号土坑	
	64	土器部	小型丸底盤	11.0	1 / 2	内:面引ナギ、 ハラナギ、ハ ラナギ 外:面引ナギ、 ハラ日	内:Huie 7.5YR 6 / 6 外:Huie IOYR 7 / 4	II区1号土坑	粘土被積み上げ	
	65	土器部	小形丸底盤	11.0	定形	内:面引ナギ、 ハラナギ、ハ ラナギ 外:面引ナギ、ハ ラナギ	内:Huie IOYR 6 / 4 外:Huie IOYR 6 / 4	II区1号土坑 No. B	外面刷毛にスス付着	
	66	土器部	甕	口径底径 高さ	14.8	1 / 2	内:ハラナギ削 3.唐津ナ 外:面引ナギ、 ハラ日	内:Huie 2.5Y 6 / 8 外:Huie 2.5Y 6 / 8	II区2号土坑、II区 1号土坑	粘土被積み上げ 外面に黒斑
	67	土器部	高环	口径底径 高さ	11.0	1 / 4	内:面引ナギ、 ハラナギ、 外:面引ナギ、 ハラナギ	内:Huie IOYR 6 / 4 外:Huie IOYR 6 / 3	II区1号土坑	
	68	土器部	高环	19.2	坏板1 / 4	内:面引ナギ、 ハラナギ、 外:面引ナギ、 ハラナギ	内:Huie IOYR 3 / 1 外:Huie IOYR 7 / 4	II区1号土坑	内面に黒斑	
	69	土器部	高环	19.0	1 / 4	内:面引ナギ、 ハラナギ 外:面引ナギ、ハ ラナギ	内:Huie 7.5YR 6 / 6 外:Huie 10R 5 / 8	II区1号土坑	外面刷毛顔料・スス付着	
	70	土器部	高环	11.6	1 / 2	内:面引ナギ、 ハラナギ 外:面引ナギ、 ハラナギ	内:Huie IOYR 8 / 3 外:Huie IOYR 8 / 3	II区1号土坑 脚部附近に焼成あり		
71	71	土器部	甕	16.0	口縁部2 / 3	内:面引ナギ、 ハラナギ、 外:面引ナギ、 ハラ日	内:Huie 2.5YR 6 / 8 外:Huie 2.5YR 5 / 8	II区1号土坑	粘土被積み上げ 外面スス付着	
	72	土器部	甕	17.1	1 / 3	内:面引ナギ、 ハラナギ、 外:面引ナギ、 ハラ日	内:Huie 7.5YR 6 / 4 外:Huie 7.5YR 7 / 3	II区1号土坑、II区 2号土坑住居跡	粘土被積み上げ 内面スス付着	
	73	土器部	甕	17.7	3 / 4	内:面引ナギ、 ハラナギ、 外:面引ナギ、 ハラ日	内:Huie IOYR 6 / 4 外:Huie IOYR 6 / 4	II区1号土坑	粘土被積み上げ 外面スス付着	
	74	土器部	甕	16.8 底大径 20.9 24.5	4 / 5	内:面引ナギ、 ハラナギ、 外:面引ナギ、 ハラ日	内:Huie IOYR 8 / 2 外:Huie IOYR 7 / 2	II区1号土坑、II区 2号土坑住居跡	粘土被積み上げ 需食灰痕あり	
	75	土器部	甕	17.2	定形	内:面引ナギ、 ハラナギ、 外:面引ナギ、 ハラ日	内:Huie IOYR 2 / 4 外:Huie IOYR 7 / 4	II区1号土坑 No. 2	内外面にスス付着	
	76	土器部	二重口縁	18.6	口縁部1 / 4	内:面引ナギ、 ハラナギ、 外:面引ナギ、 ハラ日	内:Huie IOYR 7 / 4 外:Huie IOYR 7 / 4	II区1号土坑、II区 住居跡	粘土被積み上げ	
	77	土器部	二重口縁	23.4 底大径 40.7	はは定形	内:面引ナギ、 ハラナギ、 外:面引ナギ、 ハラ日	内:Huie 5 YR 6 / 6 外:Huie 7.5YR 7 / 4	II区1号土坑 No. 1	外面上に黒斑・スス付着	
	78	土器部	二重口縁	25.2 底大径 27.6 35.2	はは定形	内:面引ナギ、 ハラナギ、 外:面引ナギ、 ハラ日	内:Huie X 2 / 0, IOYR 7 / 2 外:Huie IOYR 7 / 2	II区2号土坑住居 場・II区1号土坑	内外面に黒斑・スス付着 粘土被積み上げ 遺構はII区2号土坑	

地名	遺物	種類(断面)	直径(cm)	堆 厚	特 徴	色 因	出土遺構	番 号
22	79 土器器	手捏ね土器	口径 6.25 底径 5.2	はげ完形	内: 黄褐色 外: 黑褐色	内: Hue 10YR 7 / 3 外: Hue 10YR 6 / 3	II区 2号土坑	底部に黒斑
	80 土器器	小型丸底器	口径 9.5 底径 6.0	完形	内: 開口ナダ 外: ハケナダ 外: 開口ナダ 外: ハケナダ	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 3	II区 2号土坑 4層	外側に桃さむら
	81 土器器	小型丸底器	口径 9.0 底径 7.2	1 / 2	内: 開口ナダ 外: ハケナダ 外: 開口ナダ 外: ハケナダ	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 7.5YR 6 / 6	II区 2号土坑	外側底部に黒斑
82 土器器	小型丸底器	口径 12.65 底径 12.4	9 / 10	内: ハケナダ 外: ハケナダ 外: ハケナダ 外: ハケナダ	内: Hue 2.5YR 7 / 3 外: Hue 2.5YR 8 / 4	II区 2号土坑・II区 土器群 3 - F	燒きむら	
83 土器器	小壺	口径 12.7 底径 大歛 高さ 12.4	7 / 8	内: ハケナダ 外: ハケナダ 外: ハケナダ 外: ハケナダ	内: Hue 2.5YR 7 / 3 外: Hue 2.5YR 8 / 4	II区 2号土坑 3 - Q - E区トレ ンチ	外側にスス付着	
23	84 土器器	高壺	口径 16.3 底径 15.5	1 / 2	内: ナダ 外: ナダ後縫	内: Hue 5 YR 6 / 8 外: Hue 5 YR 4 / 6	II区 2号土坑 5層	
	85 土器器	高壺	口径 16.2 底径 15.5	2 / 5	内: 開口ナダ 内: ハケナダ 外: 開口ナダ 外: ナダ	内: Hue 10YR 7 / 3 外: Hue 10YR 5 / 3	II区 2号土坑	燒きむら
	86 土器器	高壺	口径 16.0 底径 15.5	1 / 2	内: ハケナダ 内: ハケナダ 外: ナダ	内: Hue 5 YR 5 / 6 外: Hue 2.5YR 5 / 8	II区 2号土坑	
	87 土器器	高壺	口径 12.0 底径 11.5	脚部	内: ハケナダ 外: ハケナダ 外: ナダ	内: Hue 7.5YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	II区 2号土坑	
88 土器器	壺	口径 18.2 底径 17.0	1 / 2	内: 開口ナダ 内: ハケナダ 外: ハケナダ 外: ナダ	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 10YR 6 / 4	II区 2号土坑 3 - E区土器群 3 - N	外側に黒斑・スス付着 ここまで	
89 土器器	小壺丸底器	口径 8.8 底径 7.8	はげ完形	内: 開口ナダ 内: ハケナダ 外: 開口ナダ 外: ナダ	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	II区土器群 2 - A	内側口縁部にスス付着 底盤は土器群 2	
90 土器器	小型丸底器	口径 11.1 底径 7.7	完形	内: 開口ナダ 内: ハケナダ 外: ハケナダ 外: ナダ	内: Hue 2.5YR 5 / 6 外: Hue 5 YR 5 / 6	II区土器群 3 - II	外側底部に黒斑 内側口縁部にスス付着 底盤は土器群 3	
91 土器器	小壺丸底器	口径 10.7 底径 6.6	完形	内: ナダ 内: ナダ 外: ナダ 外: ナダ	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 3	II区土器群 3 - J	外側にスス付着	
92 土器器	小壺丸底器	口径 11.6 底径 8.4	はげ完形	内: 開口ナダ 内: ハケナダ 外: 開口ナダ 外: ナダ	内: Hue 7.5YR 5 / 4 外: Hue 7.5YR 5 / 4	II区 2号土坑 3層 II区土器群 3 - Q	外側にスス付着	
93 土器器	小壺丸底器	口径 14.0 底径 9.0	2 / 3	内: ハケナダ 内: ハケナダ 外: ナダ	内: Hue 10YR 5 / 3 外: Hue 10YR 7 / 4	II区 1号土坑 2 - D 2号土坑・II区土器 群 3 - F	内側にへり押し抜 外側に黒斑	
94 土器器	小壺丸底器	口径 11.6 底径 8.9	完形	内: ナダ 内: ハケナダ 外: ナダ 外: ハケナダ 外: ナダ 外: ナダ	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	II区土器群 3 - M	外側口縁部にスス付着	
95 土器器	小壺	口径 11.0 底径 12.0	1 / 2	内: ハケナダ 内: ナダ 外: ナダ 外: ナダ	内: Hue 5 YR 7 / 8 外: Hue 7.5YR 8 / 6	II区土器群 3 - R	前面部分、底盤部分あり 外側スス付着	
96 土器器	高壺	口径 16.9 底径 16.5	壺基 4 / 5	内: 開口ナダ 内: ハケナダ 外: 開口ナダ 外: ナダ	内: Hue 10YR 8 / 4 外: Hue 10YR 8 / 4	II区 2号土坑 4層 - 土器群 3 - C - 土器 群 3 - A	燒きむら	
97 土器器	壺	口径 17.0 底径 22.9	完形	内: 開口ナダ 内: ハケナダ 外: 開口ナダ 外: ナダ	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 7 / 4	II区土器群 3 - I	内側面にスス付着 ここまで	
98 土器器	小型丸底器	口径 11.5 底径 8.1	完形	内: 開口ナダ 内: ハケナダ 外: 開口ナダ 外: ナダ	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	II区窓	外側底盤に黒斑 内側に灰斑 遺構は調査区域	
99 土器器	小壺丸底器	口径 12.4 底径 12.6	1 / 2	内: 開口ナダ 内: ハケナダ 外: 開口ナダ 外: ナダ	内: Hue 10YR 7 / 3 外: Hue 10YR 7 / 4	II区窓	外側黒化 外側スス付着	
100 土器器	壺	口径 13.6 底径 15.5	完形	内: 開口ナダ 内: ハケナダ 外: 開口ナダ 外: ナダ	内: Hue 7.5YR 6 / 4 外: Hue 7.5YR 6 / 4	II区窓	外側に灰斑か 内側スス付着	
101 土器器	高壺	口径 15.5 底径 13.85	はげ完形	内: 開口ナダ 内: ハケナダ 外: 開口ナダ 外: ナダ	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 8 / 4	II区窓	燒きむら	
102 土器器	躰形土器	口径 16.6 底径 10.3	完形	内: 開口ナダ 内: ハケナダ 外: 開口ナダ 外: ナダ	内: Hue 10YR 7 / 3 外: Hue 10YR 7 / 3	II区窓	直腹先端に穿孔 外側に黒斑・灰斑	
103 土器器	壺	口径 15.0 底径 19.0	はげ完形	内: 開口ナダ 内: ハケナダ 外: 開口ナダ 外: ナダ	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	II区窓	穿孔あり 内外側スス付着	
104 土器器	壺	口径 14.5 底径 20.7	完形	内: 開口ナダ 内: ハケナダ 外: 開口ナダ 外: ナダ	内: Hue 2.5YR 7 / 3 外: Hue 10YR 8 / 3	II区窓	外側にスス付着	

1. (医病) 基幹・環境整備に伴う発掘調査 (0006調査地点)

番号	遺物	種類(器種)	直徑(cm)	横断面	特徴	色 国	出土範囲	場 所
23	105 土師器	小甕	口径 11.4 底径 4.45 高さ 9.6	7 / 8	内: 子テ、肩リ 外: 圓板ナギ、 ハケ日	内: Hue 2.5Y 5 / 2 外: Hue 5 YR 6 / 8	Ⅲ区保合層	表土むら。 遺構はⅢ区保合層
	106 土師器	台付甕	口径 11.0 底径 10.5 高さ 12.1	口縁部完形	内: 圓板ナギ、 外: 圓板ナギ、 ハケ日、ヘ リ削り	内: Hue 7.5YR 7 / 3 外: Hue 7.5YR 7 / 4	Ⅲ区保合層	外側に斜度
	107 土師器	甕	口径 16.4 底径 15.6 高さ 16.4	口縁部 I / 3	内: 圓板ナギ、 外: 圓板ナギ、 ハケ日	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 7 / 3	Ⅲ区	遺構はⅢ区
24	108 領巴器	高環	口径 9.2	脚柱 I / 3	内: 圓板ナギ、 ハケ日、 リ削り	内: Hue 7.5YR 7 / 6 外: Hue 7.5YR 7 / 6	Ⅲ区乱丸・保合層	遺構はⅢ区乱丸・保合層
	109 織文土器	深鉢形土器	口径 12.0 底径 10.5 高さ 10.0	側面部	内: 肩リ 外: 圓板ナギ、 ハケ日	内: Hue 10YR 6 / 6 外: Hue 10YR 6 / 6	不明	外側に沈縄文・織文 渦形網目
	110 織文土器	深鉢形土器	口径 11.8 底径 10.5 高さ 10.0	側面部	内: 子テ、肩リ 外: 子テ、肩リ	内: Hue 10YR 5 / 4 外: Hue 10YR 5 / 4	保合層	外側に沈縄文・織文 渦形網目
	111 織文土器	深鉢形土器	口径 12.0 底径 10.5 高さ 10.0	側面部	内: 子テ、肩リ 外: 子テ、肩リ	内: Hue 7.5YR 6 / 4 外: Hue 7.5YR 6 / 4	28号堅穴住居址	外側に沈縄文 渦形網目
	112 織文土器	深鉢形土器	口径 12.0 底径 10.5 高さ 10.0	側面部	内: 肩リ 外: 肩リ	内: Hue 7.5YR 7 / 1 外: Hue 7.5YR 7 / 1	28号堅穴住居址	外側に沈縄文 渦形網目
	113 織文土器	深鉢形土器	口径 12.0 底径 10.5 高さ 10.0	側面部	内: 子テ、肩リ 外: 子テ、肩リ	内: Hue 10YR 6 / 3 外: Hue 10YR 5 / 2	9号堅穴住居址	外側に沈縄文
	114 織文土器	深鉢形土器	口径 12.0 底径 10.5 高さ 10.0	口縁部片	内: 子テ、肩リ 外: 子テ、肩リ	内: Hue 10YR 5 / 2 外: Hue 10YR 5 / 3	保合層	外側に沈縄文
	115 織文土器	深鉢形土器	口径 12.0 底径 10.5 高さ 10.0	口縁部片	内: 子テ、肩リ 外: 子テ、肩リ	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 7.5YR 5 / 6	保合層	口縫部に沈縄文
	116 織文土器	深鉢形土器	口径 12.0 底径 10.5 高さ 10.0	側面部	内: 子テ、肩リ 外: 子テ、肩リ	内: Hue 2.5Y 6 / 3 外: Hue 10YR 2 / 1	29号堅穴住居址	黑色磨研
	117 織文土器	深鉢形土器	口径 12.0 底径 10.5 高さ 10.0	側面部	内: 子テ、肩リ 外: 子テ、肩リ	内: Hue 10YR 4 / 1 外: Hue 10YR 5 / 2	29号堅穴住居址	黑色磨研
	118 領巴器	壺	口径 16.0 底径 13.5 高さ 13.5	口縁部片	内: 圓板ナギ、 外: 圓板ナギ、 リ削り	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 6 / 1	9号堅穴住居址	口縫部内外面に自然物
	119 領巴器	壺	口径 8.4	底面部	内: 圓板ナギ、 外: 圓板ナギ、 リ削り	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 6 / 1	9号堅穴住居址	
120	石器	ナイフ形石器	長さ 5.5 幅さ 2.3 厚さ 1.95				4塊	重量10.0g 黒曜石
121	石器	二次調整加工 石器	長さ 4.0 幅さ 2.5 厚さ 0.95				2号土坑上	重量6.9g 黑曜石
122	ガラス製品	ガラス玉	長さ 0.55 幅さ 0.5				保合層	重量0.3g 翡翠色ガラス
123	鉄器	錐	長さ 2.8 幅さ 4.8 厚さ 0.45				Ⅲ区	

2. (医病)医学部総合研究棟新営工事に伴う発掘調査(0101調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本地点は白川左岸河岸堤防上に位置する本庄遺跡内にある。調査地点の標高は13mである。本地点周辺では既往の調査により古墳時代前期～古代にかけての集落址および古代の寺院址などが確認されている。

本調査地点は、医学部総合研究棟新営工事に伴って発掘調査を行った。周辺の調査結果から、遺構検出面が地表下70cm前後で検出されることが予想されるため、重機による1次掘削は-75cmの深さで実施した。1次掘削の終了を待って、4月9日より埋蔵文化財の調査を実施した。1次掘削の結果、調査区を取り囲むように以前の建物の基礎址が巡っており、その部分を避けて内部を調査した。

本調査地点の性格もほぼ既往の調査結果と似た状況を示すが、本地点は大学病院内を流れる小河川沿いに位置するため、若干他地点と様相を異にしている。それは、本地点の南側を中心とした部分に近世～近代の畠址が広がっている点である。これらは時期的には厳密に規定できないが、おそらく18世紀～19世紀ごろのものと考えられる(I・II面)。中世以前の遺構構築面(とくに北側)はこの近世の耕地造営に伴い削平を受けている(III面)。

調査はこの畠址を中心に2回、畠址を除去して1回の3面を調査し、7月3日をもって終了した。調査の途中、6月18日に埋蔵文化財調査委員会および関係者の参席を得て、現地説明会を実施した。

b. 調査の経過

- 2001年4月9日 調査開始・擾乱掘り・廃土移動。
- 2001年4月16日 I面畠遣構検出。
- 2001年4月17日 I面写真撮影。
- 2001年5月14日 II面目掘り下げ開始・畠遣構検出。
- 2001年5月22日 III面目掘り下げ。
- 2001年6月18日 現地説明会開催。
- 2001年6月25日 台地上遣構掘り上げ開始。
- 2001年7月3日 調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子・小畑弘己

事務担当：富永明子

発掘作業員：呉判錆・岡田イツ代・押方富江・河野義勝・黒木重信・黒木タケ子・小畑工洋子・白石美智子・鈴木笙子・瀧瀬俊子・高松北子・橋口剛士・林田恵子・早田咲百合・番山明子・福田久美子・堀川貞子・松井昭子・水上順子・宮村邦子・森川征子・森川謙・森田登

整理作業員：江口路・鬼塚美枝・小山正子・潤水直子・首藤優子・末吉美紀・瀧瀬俊子・長谷智子・林田恵子・早田咲百合・増井弘子・山崎早苗・早川翔

(2) 調査区の基本層序 (図25)

本調査地点は先に述べたように耕地化にともなって削平を被っているため、旧来の遺構の残りはさほどよい状態ではなかった。さらに、耕作土も旧建築物建設のためとくに北半部が削平を受けており、本来は北側(白川側)に高まる地形であったものと考えられる。

以上より、北半部においては耕作土の下はいわゆる地山面であり、南半部にかけてこの地山が次第に傾斜下降していく。このため、南側は旧耕作土(畠址)の面が2枚以上存在し、その下部は古代以前の溝および旧河道が重なった状態で認められた。

基本層序は、北半部が表土(厚さ70cm)・現代搅乱土の下が地山面、南半分が近世畠面耕作土およびその水成被覆砂・シルト層(厚さおよそ1m)の下が古代包含層(Ⅱ面畠土耕作土)(厚さ20~30cm)・古代溝・旧河道堆積物(厚さ2m)となっている。

(3) 検出遺構

今回の調査で検出した主な遺構は、近世の畠址、古代溝3条および堅穴住居址2基、掘立柱建物址1基、古墳時代前期の堅穴住居址1基である。

<畠址>

北側台地上にもわずかな畠址が認められるが、ほぼ流出および削平されており、残り具合は南半部が良好であった。南半部では2枚の畠面を検出したが、その間および最上部にさらに1~2枚の耕作面が存在した可能性が高い。この2枚の畠面は畠間に固く密なシルト層が厚さ5cmあまり堆積し、その上部を粗砂が覆っており、比較的検出は容易であった。これは本調査地点のさらに南側に存在したと考えられる(調査区南端で検出した現代の堀によって改修されている可能性もある)白川の支脈である小河川の氾濫による堆積物で畠面が覆われたために、引き起こされた堆積状況であり、このような厚い砂層に覆われなかつた小規模な浸水が幾度か起こっており、耕作面の作り替えはさらに幾度となく行なわれた可能性が高い。畠の幅は30~40cmほどである。地形の傾斜に直交する河道に並行する方向に畠立てされている。

畠の耕作土からはほとんど遺物が出土していないが、数点の陶器片および1点の銅鏡(元祐通寶: 図31:3)がある。遺構の時期は、出土陶磁器片より18世紀~19世紀以降のものと考えられる。

<土壙墓>

調査区中央部東にかけて2基の土壙墓を検出した。

72号土壙墓

13号溝を掘り下げ中に検出した方形の土坑墓である。平面形は70×60cm台形状で、人骨を検出した時点での遺構として認識したことから、墓壙底から25cmほどしか残存していない。遺骸は座位の状態で、人骨は墓底に崩落した状態で出土した。釘などは出土していない。副葬遺物も発見されなかつた。埋葬姿勢などから、近世以降のものである可能性が高い。

23号土壙墓

72号土壙墓の北側1mほどのところで検出した。遺骸は側臥屈葬の姿勢で西側を向いていた。腕は肘を曲げ頭下で掌を合わせたような状態であった。その先に短刀と砂岩製の砥石が重なった状態で副葬されていた(図29)。人骨の性別は不明であるが、下顎の前歯・犬歯はなく、歯槽閉鎖の状態であった。72号と埋葬姿勢の形状が異なるため、時期が異なると考えられる。畠址の畠部には墓壙を掘った痕跡は認められなかつたので、畠址以前であるのは確実である。中世末~近世初期のものと考えられる。

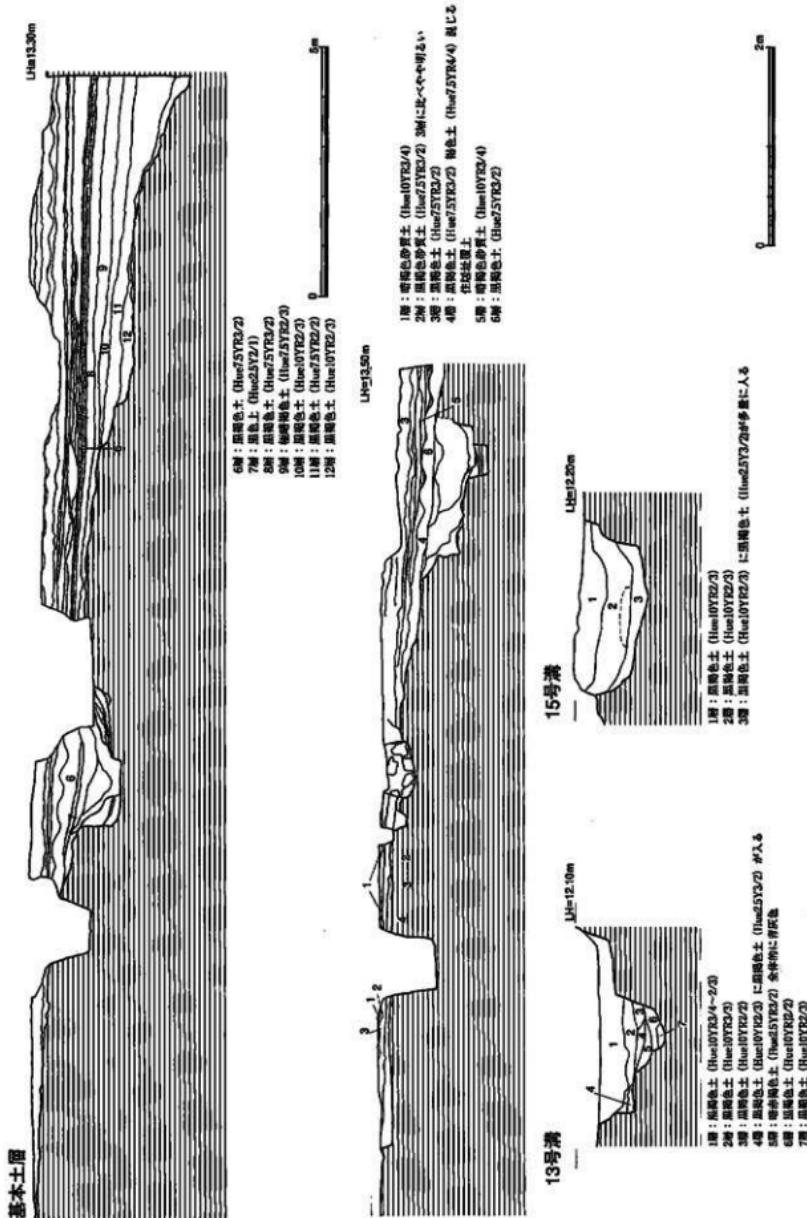
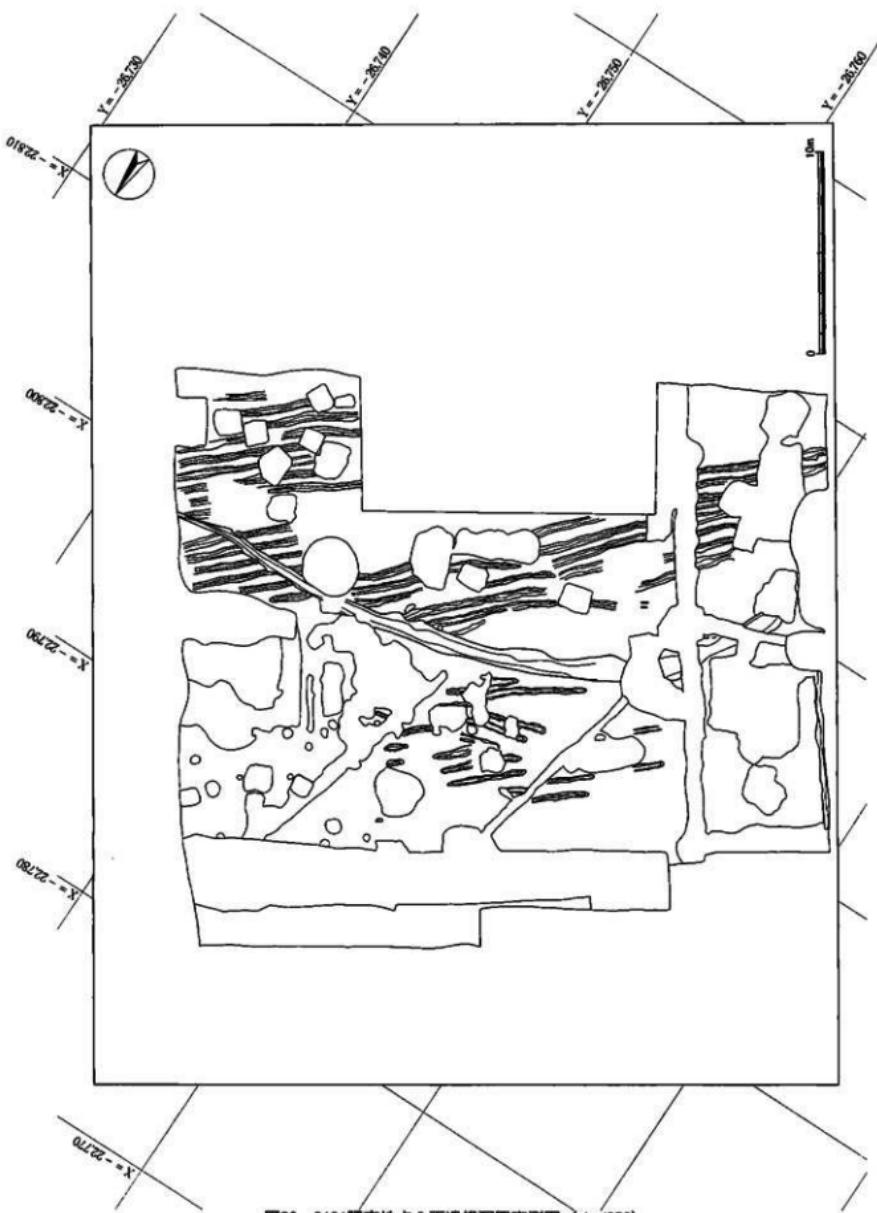


図25 基本層序および13・15号溝土層断面実測図 (1 /100・1 /50)

2. (医病) 医学部総合研究棟新設工事に伴う発掘調査 (0101調査地点)



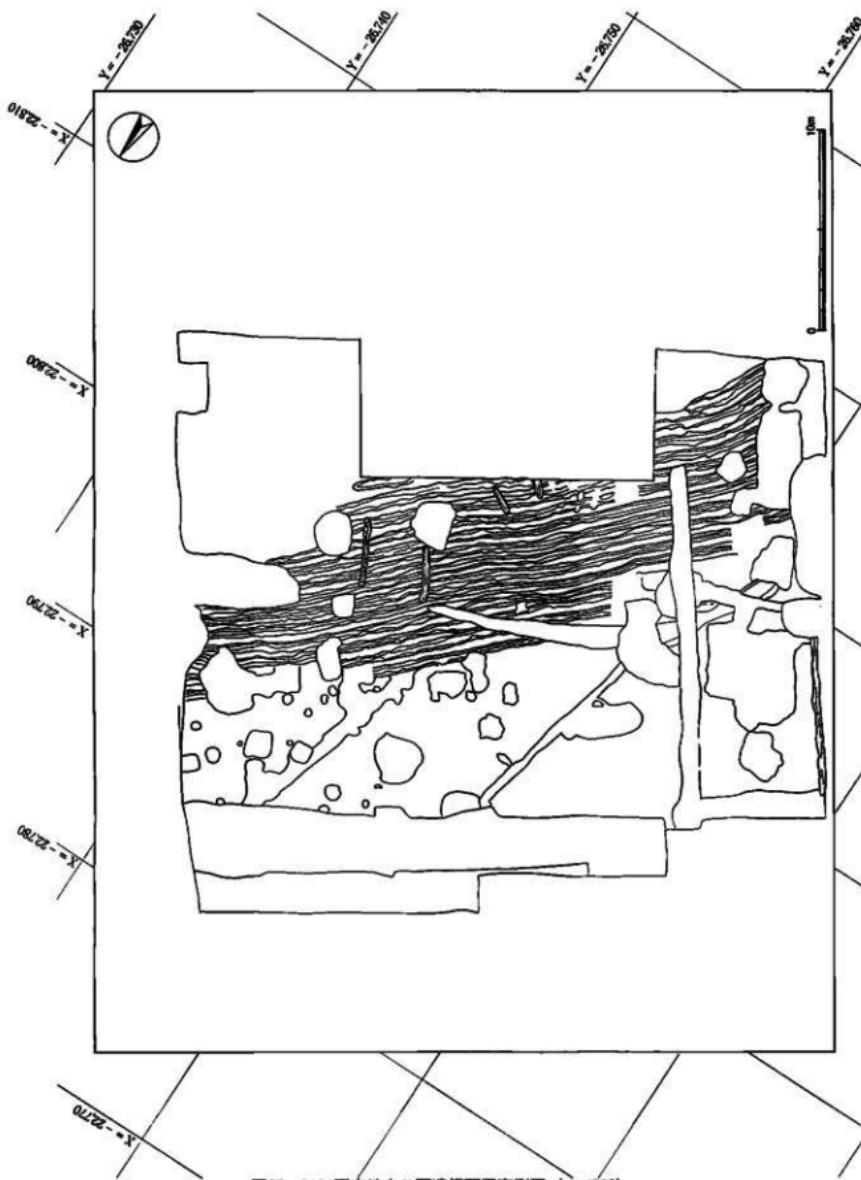


図27 0101調査地点 II面造構配図実測図 (1 /250)

2. (医病) 医学部総合研究棟新設工事に伴う発掘調査 (0101調査地点)

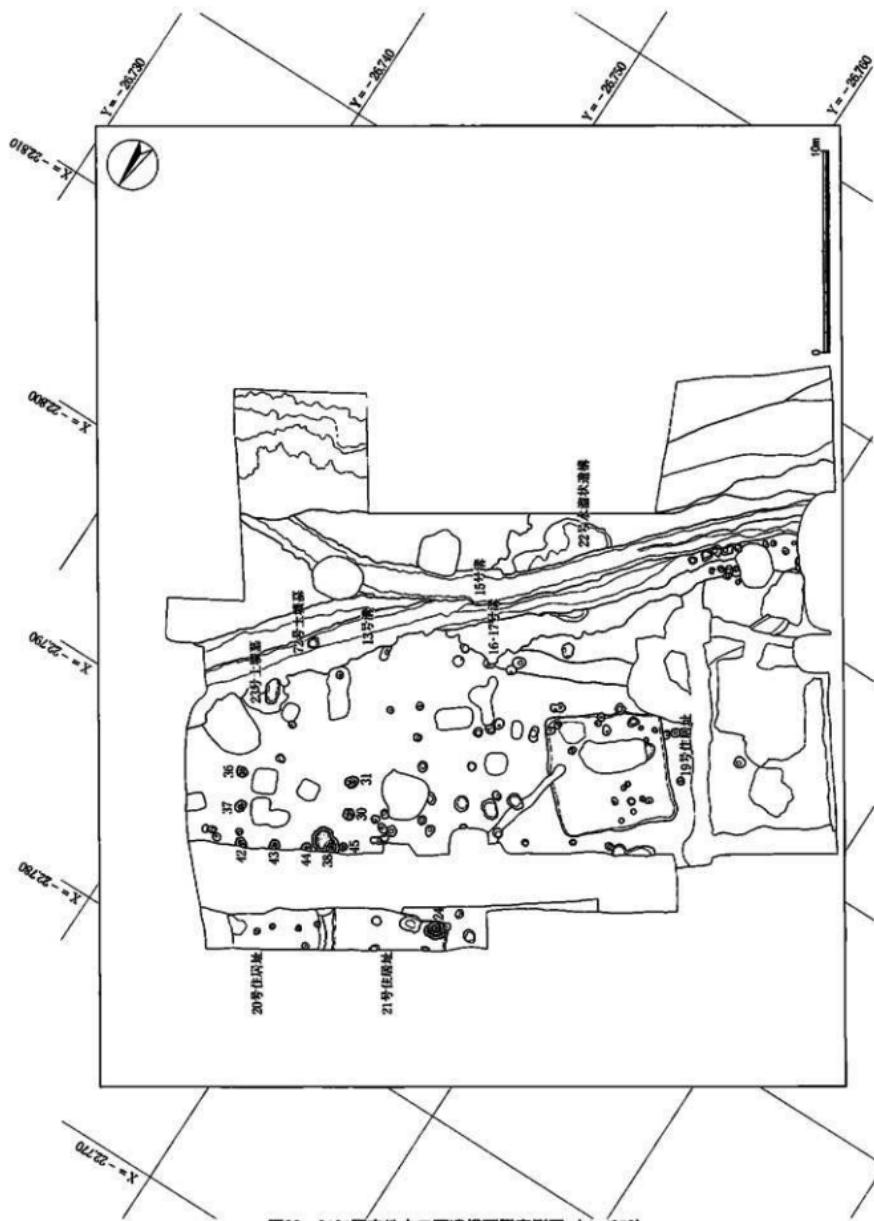
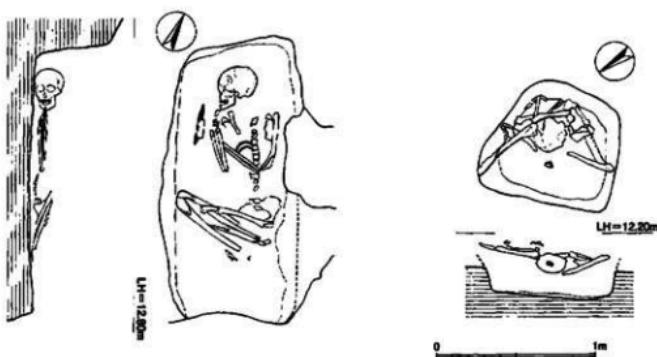


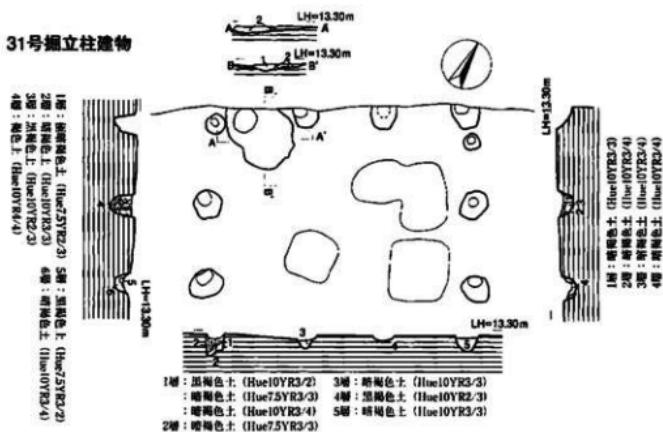
図28 0101調査地点Ⅲ面遺構配置実測図 (1 /250)

23号土壤墓

72号土壤墓



31号据立柱建物



20号竖穴住居址

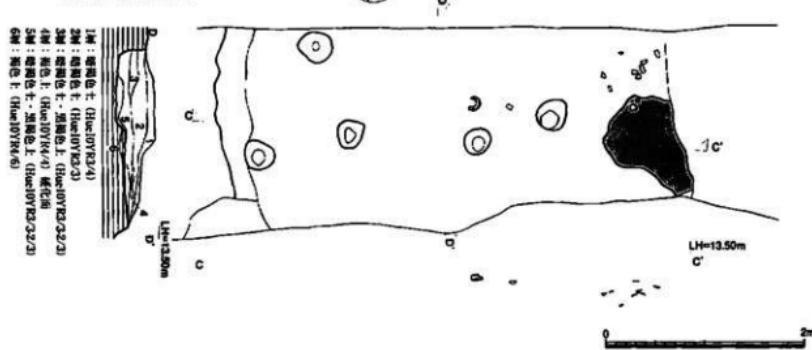


图29 23·27号土壤墓·31号据立柱建物址·20号竖穴住居址实测图 (1 /25 · 1 /100 · 1 /50)

<竪穴住居址>

20号竪穴住居址 (図29)

調査区北東部で検出したもので、旧建物の基礎により南辺と北辺が削平を受けている。平面プランは方形で、 4.5×4 mの規模と推定される。甌は残存部には認められなかった。東辺に焼土が認められ、甌を壊した際のものと推定される。甌自体は残存していないかった。その焼土の左側を中心に、壺形土器や瓶形土器の破片が集中して出土した。ほぼ中央部に硬化した面が認められた。住居中央部より完形に近い須恵器の高台付壺1点(図31:5)、覆土中から土師器壺1点(図31:4)が出土した。

19号竪穴住居址 (図30)

調査区の南西部、中央付近で検出した 6×6 mの方形プランの竪穴住居址である。主軸はN-42°-Wである。覆土内には部分的に焼土および炭化した木が残っていた。覆土には古代の遺物が少量混じって、明確な時期は決め難いが、北東部床付近から出土した二段逆刺をもつ鉄鎌(図34:88)から古墳時代前半期の時期と考えられる。

21号竪穴住居址 (図29)

調査区の北東側で20号竪穴住居址と並列するような位置で検出したもので、同様に旧建物の基礎によって南側と北側が破壊されていた。19号竪穴住居址と同規模の 6×6 mの方形プランと推定される。上部の削平も著しく、器壁は10cmほどしか残存していない。土師器の小型壺1個と小鉢2個が、住居内に遺棄された状態で検出された(図34:85~87)。すべて完形品である。古墳時代前期のものであろう。

<掘立柱建物址>

31号掘立柱建物址 (図29)

調査区北東部に位置する桁行3間、梁行2間の建物である。柱間は1mほどであり、土層の観察によると、直径8cmほどの柱または抜き址が確認できた。ただし、南側の桁部では中間の柱穴を確認できていない。時期の決め手になるような遺物は出土していないが、古代以降のものと思われる。

<溝・水溜状遺構>

13号溝

北北東方向から南南西方向へ流れる幅2m、深さ1mの断面逆台形の溝である。軸はN-35°-Eである。南側では幅60cm、深さ40cmの台形の段落ちが認められる。覆土上部より馬歛や刀子?(図31:24)などが出土した。

15号溝

東方向から湾曲しながら13号溝に合流するように掘削された溝である。幅2m、深さ0.8mの断面逆台形を呈する。13号溝より新しいものである。鉄鎌(図32:46)が出土した。

16・17号溝

13号溝の北側に張り出した形で検出したもので、17号溝のラインのさらに外側に16号溝のラインが延びている。それぞれおそらく旧河川の北岸を捉えたものであろうと思われる。

22号水溜状遺構

上記16・17号溝の南端を検出していた際、かなり深い水溜状の落込みを検出した。深さは2.5m余りに達し、大きさも幅4m、長さ6mとかなり大型のものである。砂岩ブロックや粗砂、シルトなどが入り組んで堆積しており、マンガンの沈殿した硬い面を下げるに粗砂と遺物が出るなど、複雑な堆積状況を示す。河川水の滞留した場所と考えられる。8世紀後半代の土師器・須恵器などが出土することから、上記の溝群はこれより新しいものと考えられる。

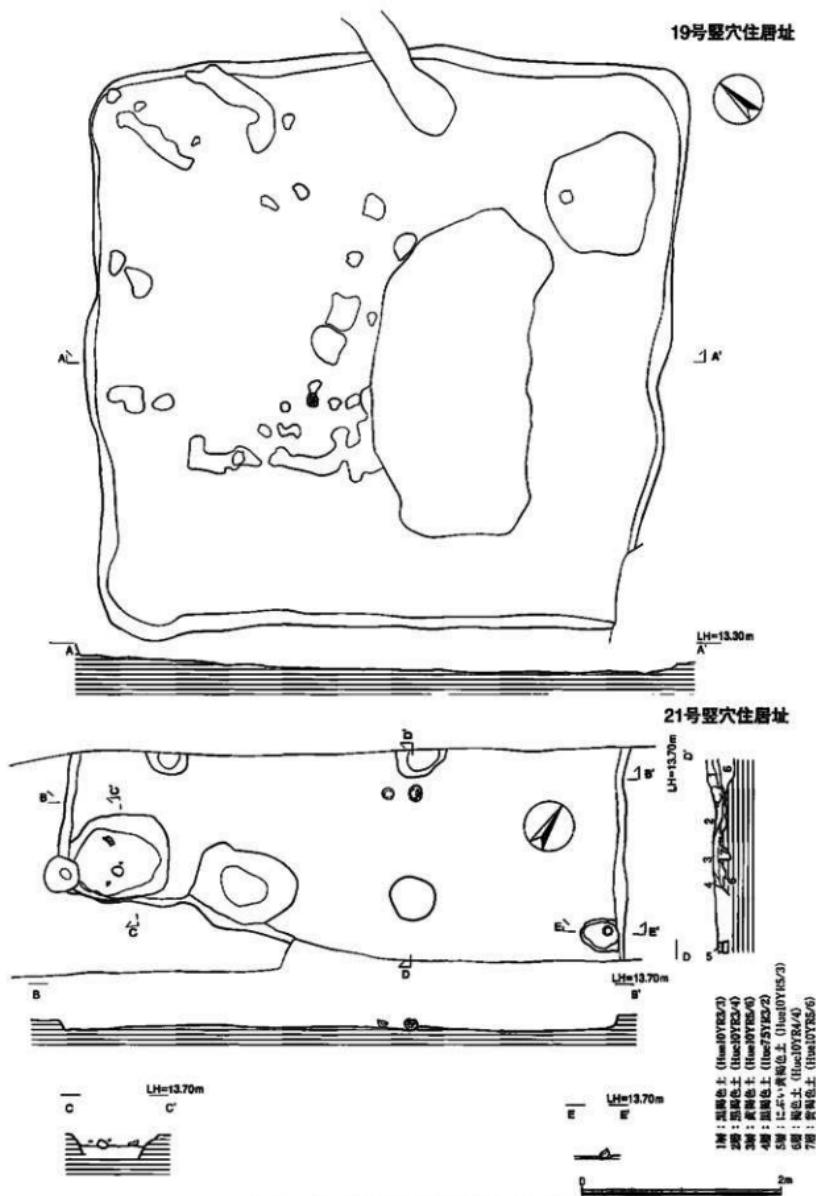


図30 19・21号竪穴住居址実測図 (1 /50)

2. (医病) 医学部総合研究棟新築工事に伴う発掘調査 (0101調査地点)

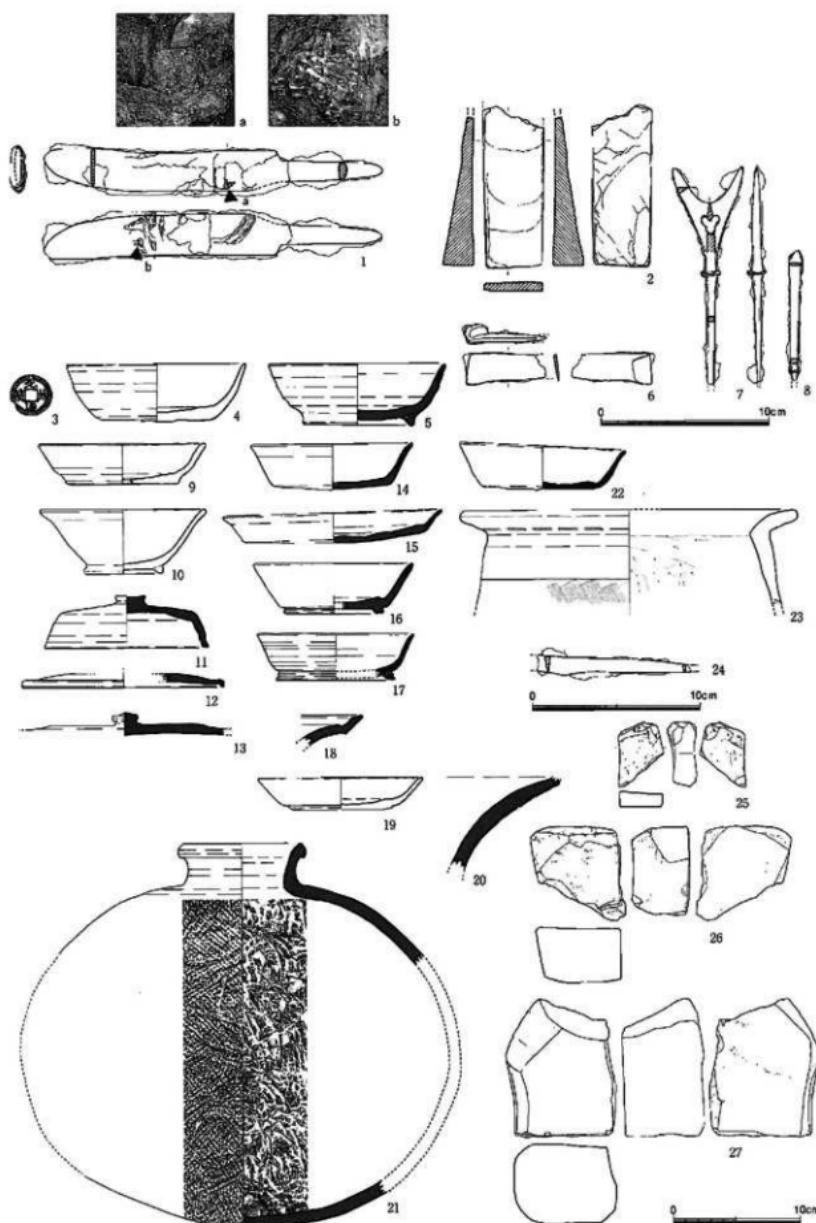


図31 0101調査地点出土遺物実測図 1 (1 / 4 · 1 / 3)

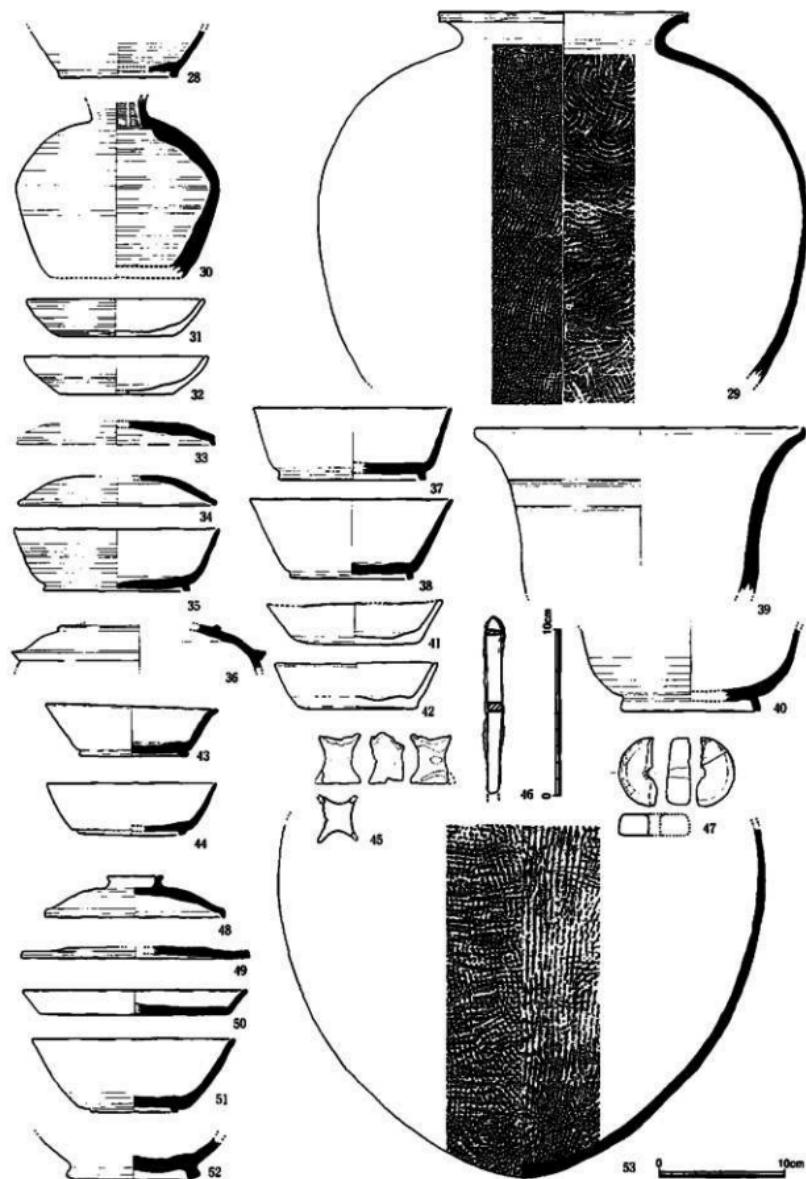


図32 0101調査地点出土遺物実測図2 (1/4・1/3)

2. (医病) 医学部総合研究棟新設工事に伴う発掘調査 (0101調査地点)

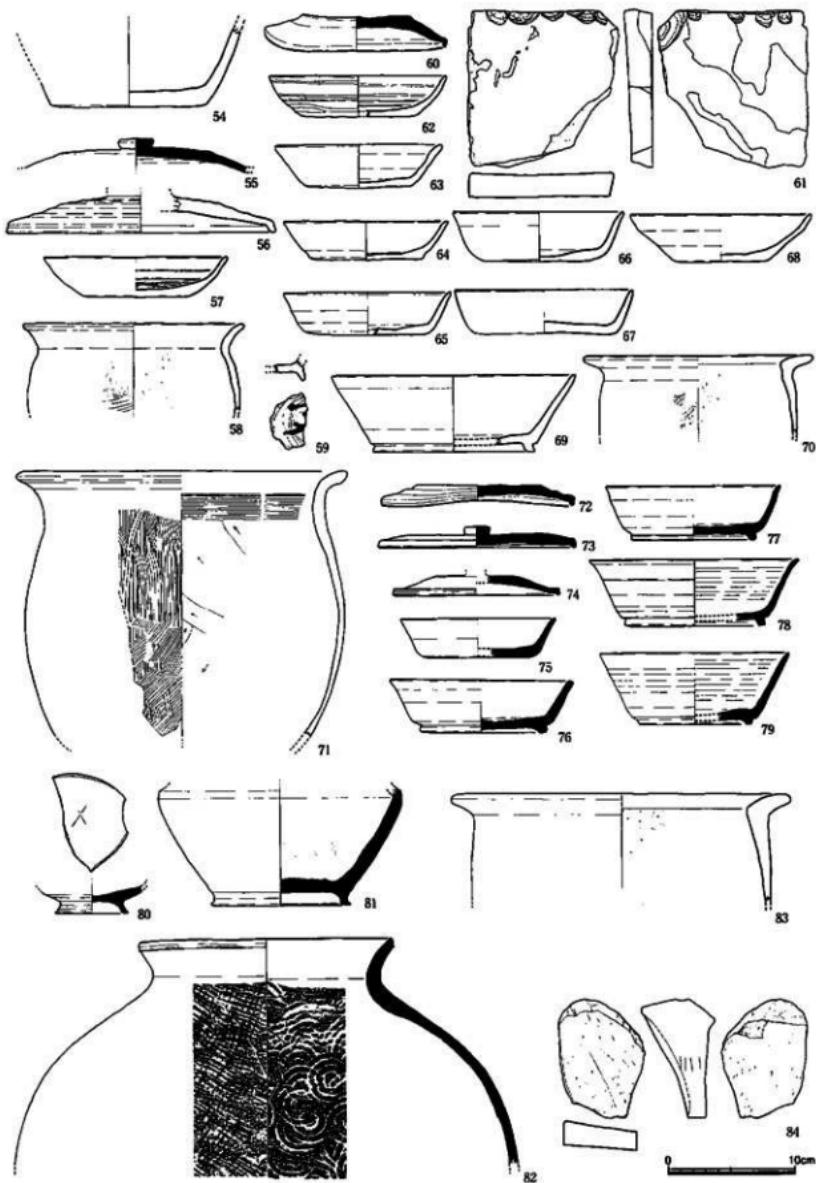


図33 0101調査地点出土遺物実測図3 (1 / 4)

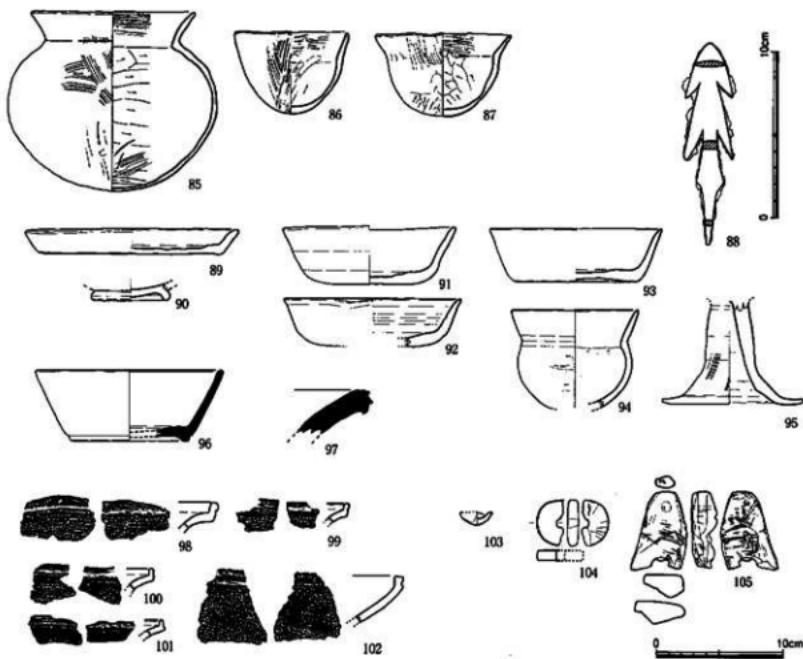


図34 0101調査地点出土遺物実測図4 (1/4・1/3)

(4) 出土遺物

本調査で出土した遺物は、古墳時代～古代の土師器・須恵器がほとんどである。器種は、壺、高台付壺、皿、蓋、高壺、壺、甕が主体であり、遺物の詳細については遺物観察表で確認されたい。以下に特徴的なもののみ解説する。

23号土壤墓副葬品 (図31: 1・2)

1は長さ18cm、刃渡り2cmの短刀である。表面に精の痕跡とともに布痕や紐状の痕跡が残っていた(写真a・b)。2は泥岩製の手持ち砥石である。磨り減った中央部で折れたものである。

台地上およびその他遺構出土遺物 (図31～34)

3面の包含層を調査中に、台地上から鉄鎌2点(図31: 7・8)および鎌(図31: 6)が出土した。7は透かしのある狩俣の鉄鎌であり、中世期のものか。98～102は縄文時代晩期前半の鉢形・浅鉢形土器である。103はミニチュア土器、104は紡錘車である。105は滑石製の垂飾であろうか。

(5)まとめ

本地点は遺跡の北東部に相当するが、周辺の既往調査地点に比べて若干地形が高まっている。近世に削平は受けているものの、この北側においても遺構はかろうじて残存していた。この一帯では、遺構の密度は白川へ近づくにつれ遺構の密度が高くなってしまっており、西側の既往の調査地点である9901地点や0006地点で確認された状況とあわせて、古墳時代や古代においては白川の流路がより北側にあったことを裏付けている。

今回の調査では、19号堅穴住居址および22号堅穴住居址のように、より西側の0006・0119調査地点で確認されていた古墳時代前期の住居址がここまで広がっていることが確認できた。本遺跡一帯が白川流域において古墳時代の大きな集落の一つであったことを予想させる。また、22号水溜状遺構・16～13号溝は、大学附属病院敷地内の古代～中世の地形を考える上で貴重な情報となった。構内を流れる暗渠部分は、古代より河川が流れ、生活排水もしくは水田の取配水路として機能していたようである。9世紀以降はこの河川とそこへの傾斜地形を利用して水田や畑が営まれていたようである。

表7 0101調査地点出土遺物一覧表

組	番号	遺物	種類(部品)	出土地点	陪 墓	性 別	出土地點	重 量		
								長さ	幅	
31	1	武器	刀	長さ 2.1 幅 20.0 厚さ 1.0		定形			23号土塚墓	重量 46.4g
	2	石器	礫石	長さ 5.6 幅 2.6 厚さ 1.8	1 / 2		Hse 2.5YR 6 / 2	23号土塚墓	重量 67.0g 沙漠	
	3	武器		長さ 2.45 幅 2.45 厚さ 0.6		定形			無	重量 2.7g 「火薬瓶」
	4	土師器	壺	口径 14.2 底径 8.9 高さ 4.7	1 / 3	内: 回転ナガ 外: 回転ナガ ハラ削り	内: Hse 2.5YR 7 / 6 外: Hse 2.5YR 7 / 6	20号窓穴住居址		
	5	銀容器	碗	口径 14.0 底径 8.9 高さ 4.9	2 / 3	内: 回転ナガ 外: 回転ナガ ハラ削り	内: Hse N 5 / 0 外: Hse 2.5YR 5 / 1	20号窓穴住居址	外面に自然釉	
	6	鉄器	環	口径 2.0 底径 1.2					3面包含層(台地J上)	重量 9.7g
	7	鉄器	環	口径 15.0 底径 1.3 高さ 1.35					3面包含層(台地J上)	重量 24.3g
	8	鉄器	環	口径 2.7 底径 9.0 高さ 6.35					3面包含層(台地J上)	重量 6.6g
	9	土師器	壺	口径 13.2 底径 9.0 高さ 2.2	1 / 3	内: 回転ナガ ナガ 外: 回転ナガ ハラ削り	内: Hse 2.5YR 5 / 8 外: Hse 2.5YR 6 / 8	13号窓	内外面に赤化粧土	
	10	土師器	壺	口径 13.2 底径 6.3 高さ 5.1	1 / 3	内: 回転ナガ ナガ 外: 回転ナガ ナガ	内: Hse N 3 / 0 外: Hse 2.5YR 6 / 4	13号窓	内訳	
	11	銀容器	盃	口径 13.0 底径 4.2	2 / 3	内: 回転ナガ ナガ 外: 回転ナガ ナガ	内: Hse 2.5Y 4 / 1 外: Hse 2.5Y 6 / 1	13号窓	3面包含土	
	12	銀容器	盃	口径 16.0	1 / 6	内: 回転ナガ ナガ 外: 回転ナガ ナガ	内: Hse 5 Y 5 / 1 外: Hse 5 Y 6 / 1	13・15・16号窓		
	13	銀容器	盃	口径 12.8 底径 9.2 高さ 3.7	約 1 / 4	内: ナガ 外: 回転ナガ ナガ	内: Hse 5 Y 5 / 1 外: Hse 5 Y 5 / 1	13号窓上層		
	14	銀容器	壺	口径 17.3 底径 10.0 高さ 2.6	2 / 3	内: 回転ナガ ナガ 外: 回転ナガ ナガ	内: Hse 2.5Y 5 / 1 外: Hse 2.5Y 5 / 1	古代住居層 13・15・16号窓		
	15	銀容器	盃	口径 12.4 底径 7.8 高さ 3.2	1 / 2	内: 回転ナガ ナガ 外: 回転ナガ ナガ	内: Hse N 4 / 0 外: Hse 2.5Y 5 / 1	13号窓		
	16	銀容器	壺	口径 12.4 底径 8.4 高さ 3.2	約 1 / 2	内: 回転ナガ ナガ 外: 回転ナガ ナガ	内: Hse 2.5YR 5 / 3 外: Hse 2.5YR 4 / 1	13号窓	外側高台削り出し	
	17	銀容器	盃	口径 12.4 底径 8.4 高さ 3.2	約 1 / 3	内: ナガ 外: 回転ナガ ナガ	内: Hse 10R 4 / 2 外: Hse 10R 4 / 2	13・15号窓	駆付高台	
	18	銀容器	盃	口径 13 底径 8.6 高さ 2.6		口縁部分	内: 回転ナガ ナガ 外: 回転ナガ ハラ削り	内: Hse 2.5YR 3 / 1 外: Hse 7.5Y 2 / 1	13・15号窓	
	19	土師器	壺	口径 13 底径 8.6 高さ 2.6	1 / 2	内: 回転ナガ ナガ 外: 回転ナガ ハラ削り	内: Hse 2.5YR 8 / 6 外: Hse 3 YR 7 / 6	13・15号窓		
	20	銀容器	盃	口径 13 底径 8.6 高さ 2.6		口縁部分	内: 回転ナガ ナガ 外: 回転ナガ ハラ削り	内: Hse 5 Y 6 / 1 外: Hse 5 Y 3 / 1	13号窓	内外面に自然釉 外側に斑状文
	21	銀容器	横瓶	口径 20.7 底径 30.5	約 2 / 3	内: 回転ナガ ナガ 外: 回転ナガ ナガ	内: Hse 5 Y 7 / 2 外: Hse N 7 / 0	13・15・16号窓 3面堆		
	22	銀容器	壺	口径 13.2 底径 9.5 高さ 3.5	2 / 3	内: 回転ナガ ナガ 外: 回転ナガ ナガ	内: Hse 10Y 6 / 1 外: Hse 10Y 6 / 1	13号窓 16号窓 22号木造住居跡		
	23	土師器	壺	口径 26.8 底径 26.8 高さ 26.8	口縁部 1 / 4	内: 回転ナガ ナガ削り 外: 回転ナガ ハラ削り	内: Hse 5 YR 7 / 8 外: Hse 10YR 7 / 3	13号窓・16号窓付近 14号窓	13号窓・16号窓付近 14号窓	
	24	武器	刀子	長さ 9.2 幅 1.8 厚さ 0.35					13号窓	重量 11.6g
	25	石器	礫石	長さ 5.1 幅 3.6 厚さ 1.6					13号窓・15号窓 付近ベルト北側上部	重量 43.6g 沙漠
	26	石器	礫石	長さ 7.5 幅 7.1 厚さ 4.6					13号窓ベルト②部分 上	重量 300g 沙漠
	27	石器	礫石	長さ 10.9 幅 8.7 厚さ 6.5					13号窓・15号窓付 近	重量 904g 沙漠
32	28	銀容器	盃	口径 9.4	1 / 2	内: 回転ナガ ナガ 外: 回転ナガ ナガ	内: Hse 2.5Y 5 / 1 外: Hse 2.5Y 5 / 1	13号窓 14号窓 13・15・16号窓付近 (22号木造住居跡)	駆付高台	
	29	銀容器	盃	口径 20.0 底径 19.0 高さ 19.0	1 / 6	内: 回転ナガ ナガ 外: 回転ナガ ナガ	内: Hse 5 PB 5 / 1 外: Hse 5 PB 5 / 1	13号窓 22号木造住居跡	外面に自然釉付着	

2. (医病) 医学部総合研究棟新築工事に伴う発掘調査 (0101調査地点)

図	番号	遺物	種類(種類)	直径(cm)	埋蔵量	特徴	色 図	出土場所	圖
32	30	埴輪器	瓶	10.5	約1/2	内: 開口ナシ 外: 開口ナシ	内: Hse N 7 / 外: Hse K 7 / 上: レンズ	22号水道状遺構 13号坑	
	31	土器器	环	14.7 9.2 7.0	1/4	内: 開口ナシ 外: 開口ナシ	内: Hse 2.5YR 6 / 6 外: Hse 2.5YR 6 / 6	14号池	内外面に赤化粧土 或部赤切
	32	土器器	环	14.2 9.7 3.0	約1/2	内: 開口ナシ 外: 開口ナシ, 残 り: ヘラ酒呑	内: Hse 2.5YR 5 / 6 外: Hse 2.5YR 6 / 6	14号池	
	33	埴輪器	盖	15.8	約1/2	内: 開口ナシ 外: 刃	内: Hse 5 Y 7 / 1 外: Hse 5 Y 7 / 1	14号池	
	34	埴輪器	蓋	15.8	1/4	内: 開口ナシ, 刃 外: 刃	内: Hse 10YR 6 / 1 外: Hse 10YR 6 / 1	14号池	
	35	埴輪器	鏡	16.4 15.7 5.0	約1/2	内: 開口ナシ, ナシ 外: 開口ナシ, 刃	内: Hse 5 YR 4 / 2 外: Hse 5 YR 4 / 2	14号池	庭園に植物基盤
	36	埴輪器	蓋	15.2 15.8 5.8	断面片	内: 開口ナシ 外: 開口ナシ	内: Hse 10BG 5 / 1 外: Hse 10BG 5 / 1	14号池上	外縁に自然粒付着
	37	埴輪器	鏡	15.5 11.8 5.8	1/4	内: 開口ナシ, ナシ 外: 刃	内: Hse 2.5GY 6 / 1 外: Hse 5 Y 7 / 1	14号池	
	38	埴輪器	鏡	16.2 9.8 6.4	1/3	内: 開口ナシ, ナシ 外: 刃	内: Hse 2.5YR 5 / 3 外: Hse 10YR 5 / 1	14号池	
	39	埴輪器	体	26.6	口縁部・根拠片	内: 開口ナシ, ナシ 外: 開口ナシ, 刃	内: Hse 2.5YR 6 / 8 外: Hse 2.5YR 6 / 8	14号池	粘土被覆上げ
	40	埴輪器	鏡	17.0 底径 底高	1/4	内: 開口ナシ, ナシ 外: 開口ナシ, 刃	内: Hse 10YR 8 / 4 外: Hse 7.5YR 5 / 1	14号池	
	41	土器器	环	14 9.4 3.7	11号井形	内: 開口ナシ 外: 開口ナシ	内: Hse 5 YR 6 / 8 外: Hse 5 YR 6 / 8	15号池	内外面に赤化粧土
	42	土器器	环	13.0 底径 底高	完形	内: 開口ナシ 外: 開口ナシ	内: Hse 10YR 8 / 4 外: Hse 7.5YR 7 / 4	15号池	庭園・外縁一部に赤化粧土
	43	埴輪器	鏡	13.6 8.7 4.2	2/3	内: 開口ナシ 外: 開口ナシ, 刃	内: Hse N 4 / 0 外: Hse N 4 / 0	15号池	
	44	埴輪器	鏡	13.6 8.6 4.3	2/3	内: 開口ナシ 外: 開口ナシ, 刃	内: Hse 2.5Y 6 / 1 外: Hse 2.5Y 6 / 1	15号池	15号池
	45	土器器	ミニチュア 器台	4.5 3.3 2.8	2/3	内: ナシ 外: ナシ, 刃	内: Hse 7.5YR 7 / 6	15号池	
	46	鉄器	器	5.5 7.6 0.9 5.5				15号池	重量2.4g
	47	土器器	輪軸車	5.5 3.0 2.0	約1/2	内: ナシ, 刃	内: Hse 5 YR 7 / 6	15号池	重量22.6g
	48	埴輪器	蓋	14.4 底径 底高	約1/4	内: 開口ナシ, ナシ 外: 開口ナシ, ナシ, 刃	内: Hse 10YR 8 / 4 外: Hse 10YR 5 / 2	16号池	内面にスリ付着
	49	埴輪器	蓋	18.2	約1/4	内: 開口ナシ, ナシ 外: 開口ナシ, ナシ, 刃	内: Hse 5 PB 5 / 1 外: Hse 5 PB 4 / 1	16号池	
	50	埴輪器	环	17.9 底径 底高	1/4	内: 開口ナシ 外: 開口ナシ	内: Hse 5 Y 6 / 1 外: Hse 5 Y 6 / 1	16号池	底面・外縁にワク痕
	51	埴輪器	鏡	16.2 7.0 5.9	約1/2	内: 開口ナシ, ナシ 外: 開口ナシ, 刃	内: Hse 5 Y 7 / 1 外: Hse 5 Y 7 / 1	16号池 17号池	粘土高台
	52	埴輪器	鏡	16.2 底径 底高	1/3	内: 開口ナシ, ナシ 外: 開口ナシ, 刃	内: Hse 2.5YR 5 / 3 外: Hse 7.5Y 4 / 1	16号池	
	53	埴輪器	蓋	17.3	1/3	内: 刃, タマナシ 外: タマナシ	内: Hse 7.5YR 3 / 2 外: Hse 2.5YR 4 / 3	17号池 22号水道状遺構	外縁一部に自然粒付着
33	54	土器器	鉢	12.0	1/3	内: 開口ナシ 外: 開口ナシ	内: Hse 2.5YR 6 / 6 外: Hse 2.5YR 6 / 6	17号池	内外面に赤化粧土
	55	埴輪器	蓋	約1/4		内: 開口ナシ 外: 開口ナシ, 刃	内: Hse 7.5YR 7 / 1 外: Hse 7.5YR 7 / 1	17号池	
	56	土器器	蓋	21.2	約1/2	内: 開口ナシ, ナシ 外: 開口ナシ, 刃	内: Hse 2.5YR 5 / 8 外: Hse 2.5YR 5 / 8	17号池	内面にスリ付着 外縁に赤化粧土
	57	土器器	环	14.5 8.0 3.2	2/3	内: 開口ナシ, 四 輪軸酒呑 外: 開口ナシ	内: Hse 7.5YR 7 / 6 外: Hse 2.5YR 4 / 3	17号池	
	58	土器器	蓋	17.2	口縁部1/2	内: 開口ナシ 外: 開口ナシ	内: Hse 10YR 8 / 2 外: Hse 5 Y 4 / 3	17号池 22号水道状遺構	粘土被覆上げ 外縁にスリ付着
	59	土器器	鏡	底部片		内: 開口ナシ 外: 開口ナシ	内: Hse 7.5YR 7 / 6 外: Hse 7.5YR 7 / 6	72号土壤墓	文字不明・蓋

図 番号	遺 物	種類(器種)	法 線(cm)	残 存 量	特 徴	色 調	出土場所	備 考	
								内:	外:
33	60	埴輪器	壺	口径 14.4 底径 9.0 高さ 3.3	は12完形	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 5 Y 7 / 2 外: Hoe 5 Y 7 / 2	108号遺構	
	61	石器	砾石	口径 12.2 底径 8.8 厚さ 2.2					108号遺構
	62	土師器	壺	口径 14.0 底径 9.0 高さ 3.3	約 1 / 3	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 2.5YR 6 / 6 外: Hoe 5 YR 6 / 4	13 - 15 - 16号遺構付近 (22号水路状遺構)	内外面にスス付着
	63	土師器	壺	口径 13.2 底径 8.0 高さ 3.5	約 1 / 2	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 2.5YR 7 / 6 外: Hoe 2.5YR 8 / 4	22号水路状遺構	
	64	土師器	壺	口径 13.2 底径 9.0 高さ 3.1	約 1 / 3	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 5 YR 6 / 8 外: Hoe 5 YR 6 / 6	22号水路状遺構	
	65	土師器	壺	口径 13.2 底径 9.8 高さ 3.7	約 1 / 3	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 5 YR 7 / 6 外: Hoe 5 YR 7 / 6	22号水路状遺構	内外面に赤化鉄土
	66	土師器	壺	口径 13.4 底径 9.0 高さ 4.1	約 1 / 2	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 2.5YR 6 / 6 外: Hoe 5 YR 6 / 6	22号水路状遺構	
	67	土師器	壺	口径 14.1 底径 9.5 高さ 10.8	4 / 5	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 2.5YR 7 / 6 外: Hoe 5 YR 7 / 6	22号水路状遺構	
	68	土師器	壺	口径 14.4 底径 7.4 高さ 8.5	1 / 2	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 5 YR 7 / 4 外: Hoe 5 YR 7 / 4	22号水路状遺構	内外面に赤化鉄土
	69	土師器	瓶	口径 19.2 底径 12.8 高さ 6.1	約 1 / 3	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 2.5YR 6 / 8 外: Hoe 5 YR 7 / 6	22号水路状遺構	
	70	土師器	壺	口径 18.2 底径 10.8 高さ 8.5	口縁部分	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 2.5YR 7 / 3 外: Hoe 7.5YR 6 / 4	22号水路状遺構	粘土層積み上げ
	71	土師器	壺	口径 26.0 底径 19.0 高さ 4.8	約 1 / 3	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 10YR 7 / 2 外: Hoe 10YR 8 / 3	22号水路状遺構 16号	
	72	埴輪器	壺	口径 15.2 底径 10.8 高さ 1.7	約 1 / 2	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 5 Y 4 / 1 外: Hoe 5 Y 6 / 1	22号水路状遺構	
	73	埴輪器	壺	口径 15.6 底径 10.8 高さ 1.7	2 / 3	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 10Y 5 / 1 外: Hoe 10Y 4 / 1	22号水路状遺構	外画面に自然鉄
	74	埴輪器	壺	口径 13.2 底径 9.0 高さ 8.5	1 / 3	内: ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 5 Y 6 / 1 外: Hoe 5 Y 16 / 1	22号水路状遺構	
	75	埴輪器	壺	口径 12.2 底径 8.0 高さ 3.1	約 1 / 3	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 10YR 5 / 2 外: Hoe 5 Y 6 / 2	22号水路状遺構 13 - 15 - 16号付近	
	76	埴輪器	瓶	口径 14.4 底径 9.9 高さ 1.1	2 / 3	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 10Y 6 / 1 外: Hoe 10Y 4 / 1	22号水路状遺構	
	77	埴輪器	瓶	口径 13.8 底径 10.0 高さ 4.3	約 1 / 4	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 2.5Y 5 / 3 外: Hoe 7.5T 4 / 1	22号水路状遺構	
	78	埴輪器	瓶	口径 16.6 底径 11.2 高さ 9.3	1 / 8	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe K 4 / 0 外: Hoe K 4 / 0	13 - 15 - 16号遺構付近 (22号水路状遺構)	
	79	埴輪器	瓶	口径 15.0 底径 9.0 高さ 5.7	1 / 4	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 5 Y 6 / 2 外: Hoe 5 Y 5 / 1	13 - 15 - 16号遺構付近 (22号水路状遺構)	
	80	埴輪器	瓶	口径 15.8 底径 9.0 高さ 5.7	1 / 4	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 5 B 5 / 1 外: Hoe 2.5Y 4 / 1	13 - 15 - 16号遺構付近 (22号水路状遺構)	
	81	埴輪器	壺	口径 10.9 底径 7.8 高さ 5.8	約 1 / 3	内: ナガ、タタキ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 2.5YR 7 / 6 外: Hoe 7.5Y 4 / 1	22号水路状遺構	
	82	埴輪器	壺	口径 19.6 底径 13.0 高さ 14.5	口縁部・脚部片	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 2.5Y 4 / 2 外: Hoe 5 PD 6 / 1	22号水路状遺構 13 - 15 - 16号	内面裏部に自然鉄付着 外画面に自然鉄付着
	83	土師器	壺	口径 26.8 底径 18.0 高さ 5.8	口縁部片	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 10YR 8 / 3 外: Hoe 7.5Y 7 / 2	13 - 15 - 16号付近 (22号水路状遺構)	
	84	石器	砾石	口径 9.4 底径 6.7 厚さ 5.8					重量271g 砂岩 32.7g
34	85	土師器	小型丸底壺	口径 13.0 底径 11.0 高さ 14.5	腹部一部欠損	内: 四輪ナガ、 ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 2.5YR 6 / 4 外: Hoe 2.5YR 6 / 4	21号壁穴住居址	外画面に焼きむら 外画面に棒部に压痕
	86	土師器	井	口径 8.9 底径 6.5	完形	内: ナガ、ヘラ ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 10YR 5 / 2 外: Hoe 10YR 7 / 6	21号壁穴住居址	内外面にスス付着
	87	土師器	井	口径 10.8 底径 9.0 高さ 6.7	完形	内: ナガ、ハラ ナガ、前リ、 ナガ、後リ、 ナガ、ハラ切口	内: Hoe 10YR 5 / 3 外: Hoe 10YR 7 / 3	21号壁穴住居址	燒きむら 内面にスス付着

2. (医病) 医学部総合研究棟新設工事に伴う発掘調査 (0101調査地点)

図	番号	遺物	種類(個数)	深度(cm)	理存量	特徴	色調	出土場所	備考
34	88	鉄器	鉗	長さ 幅 厚さ 各 3.2 12.1 0.55				19号堅穴住居跡	重量31.6g
	89	土師器	壺	口径 底径 高さ 各 16.8 14.0 2.0	1 / 2	内: 四輪ナデ 外: 四輪ナデ、 ヘアヨリ	内: Hue 2.5YR 6 / 6 外: Hue 2.5YR 7 / 6	高輪壺丸	内外面に赤色化粧土
	90	土師器	瓶	口径 底径 高さ 各 6.2	1 / 3	内: 四輪ナデ 外: 四輪ナデ、 ヘアヨリ	内: Hue 3 GL 7 / 1 外: Hue 7.5YR 7 / 6	付合壺	
	91	土師器	壺	口径 底径 高さ 各 13.6 7.5 3.6	2 / 3	内: 四輪ナデ 外: 四輪ナデ	内: Hue 7.5YR 7 / 4 外: Hue 7.5YR 7 / 4	付合壺	内外面に赤色化粧土
	92	土師器	壺	口径 底径 高さ 各 14.0 9.8 3.8	成片	内: 四輪ナデ 外: 四輪ナデ	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 7.5YR 6 / 6	壺	底部へア切り
	93	土師器	壺	口径 底径 高さ 各 13.6 10.0 4.2	約1 / 2	内: 四輪ナデ 外: 四輪ナデ、 ヘアヨリ	内: Hue 10YR 7 / 3 外: Hue 10YR 8 / 3	トレンチ	
	94	土師器	小筒丸底壺	口径 底径 高さ 各 10.0	1 / 4	内: 四輪ナデ 外: 四輪ナデ、 ヘアヨリ	内: Hue 2.5Y 6 / 4 外: Hue 2.5Y 7 / 4	基本土壠ベルト	粘土細粒み上I
	95	土師器	高壺	口径 底径 高さ 各 3.1 1.9 9.0	約1 / 2	内: 四輪ナデ 外: 四輪ナデ、 ハケ目	内: Hue 10YR 5 / 6 外: Hue 5 YR 5 / 6	壺丸	
	96	須恵器	壺	口径 底径 高さ 各 14.3 9.4 5.9	1 / 3	内: 四輪ナデ 外: 四輪ナデ、 ヘアヨリ	内: Hue 5 Y 7 / 2 外: Hue 5 Y 6 / 1	付合壺	
	97	須恵器	壺	口径 底径 高さ 各 14.0 9.5 5.9	口縁断片	内: 四輪ナデ 外: 四輪ナデ、 崩れ	内: Hue 5 Y 6 / 2 外: Hue 5 CY 6 / 1	3面包含壺(台地上)	外面に波状文
	98	陶文土器	浅鉢	口径 底径 高さ 各 13.6 9.0 3.6	口縁断片	内: ナデ、崩れ 外: ナデ	内: Hue 10YR 7 / 1 外: Hue 10YR 7 / 3	3面包含壺(台地上)	
	99	陶文土器	浅鉢	口径 底径 高さ 各 13.6 9.0 3.6	口縁断片	内: ハラ崩れ 外: ハラ崩れ	内: Hue 2.5Y 5 / 2 外: Hue 2.5Y 6 / 3	ペルト	沈縫文
	100	陶文土器	浅鉢	口径 底径 高さ 各 13.6 9.0 3.6	口縁断片	内: ハラ崩れ 外: ハラ崩れ	内: Hue 10YR 8 / 2 外: Hue 10YR 8 / 2	埋埴装倒伏	
	101	陶文土器	浅鉢	口径 底径 高さ 各 13.6 9.0 3.6	口縁断片	内: 崩れ 外: 崩れ	内: Hue 10YR 1.7 / 1 外: Hue 10YR 1.7 / 1	付合壺	崩れ網
	102	陶文土器	浅鉢	口径 底径 高さ 各 13.6 9.0 3.6	口縁断片	内: ナデ、崩れ 外: ナデ、崩れ	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 7 / 2	日面縫	崩れ網
	103	手捏土器	ミニチュア 土器	口径 底径 高さ 各 2.6 1.1 0.8	約2 / 3	内: 傷ナデ 外: 傷ナデ	内: Hue 10YR 5 / 1 外: Hue 2.5YR 4 / 2	付合壺	
	104	石器	研錐器	大きさ 厚さ 各 3.6 0.8	約1 / 2			付合壺	重量9.8g 片岩
	105	石器	系縄品	長さ 幅 厚さ 各 6.25 4.5 2.0	下半欠損			付合壺	重量58.5g 石

3. (医病)基幹・環境整備(共同溝設置)に伴う発掘調査(0104調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本荘北地区に所在する本荘遺跡は、熊本市遺跡地図No.8-95の熊大病院敷地遺跡として周知されている遺跡である。阿蘇に発する白川は細かな蛇行をしながら中流域で河岸段丘を発達させ、熊本大学黒髪地区付近で大きく蛇行したのち有明海に注ぐ。本遺跡は、蛇行の見られなくなる下流域に差し掛かる地点にあり、白川左岸に形成された自然堤防上(標高14m)に立地する。

本荘北地区では、校舎・病棟の新営に伴い比較的規模の大きな発掘調査が実施されてきた。これまでの発掘調査では、まず周辺の大江遺跡群や新屋敷遺跡と同様に奈良・平安時代の集落址を確認した(9601調査地点 熊本大学構内遺跡発掘調査報告書)。続いて付近一帯としては初めて古墳時代の集落址を確認し、本遺跡が複合的な遺跡であることを予見した。1999年度の調査で病院敷地の西側で古墳時代の集落址を検出し(9901調査地点)、9901調査地点周辺で当該時期の造構・遺物が次々と確認され、貴重な資料を得ている(本書)。これらの調査で、本遺跡は縄文時代後・晚期から営まれ、病院敷地の特に西北側に古墳時代から古代の集落址が密に分布している様子が分かっている。

本事業は平成10年度に計画が挙げられていた事業である。病棟新営・共同溝敷設事業として挙げられ、1999年度に病棟新営工事(9901調査地点)、昨年度に共同溝敷設に伴う支障配管替えを行い(0006調査地点)、共同溝本体工事を施工することとなった。

調査区は病院敷地の北西隅に位置し、旧第5病棟北側に沿った狭長な範囲である。廃土処理を行うのに十分な空間が確保できず、また病院の給食配膳室前にあたり、食料資材の搬入路の確保が必要であったため、全区間を一齊に調査することは不可能であった。調査区全体をI~V区に分けて調査を行った。食料資材の搬入路については仮設の橋をかけることで確保する事になった。この仮設の橋の部分については、施設部との協議の結果、先行して調査を行い(I区)、架橋工事の終了を待って残りの区間について順次調査を行うこととした。具体的に調査準備を入れるようになったのは6月下旬で、準備期間が不充分であったが、I区は範囲が狭く短期間で終了するとの見通しにより、7月初めに調査を行い、残りの区間については十分な準備を整え他の現場との調整をはかったうえで7月末から実施した。I区は旧第5病棟の給食配膳室前の約10mの区間、2区はI区の東側約36m、III区はII区の東側である。IV区はI区の西南約46の区間で、不規則なZ字型をしている。V区はIV区の南側である。

本分・図中の造構番号については、造構の種類によらず、検出順に一連の番号を与えている。

b. 調査の経過

I区 2001年6月25日 周囲の支障樹木の撤去。I区から一次掘削。

2001年7月4日 造構掘り下げ。記録等を行い終了。

II区 2001年7月30日 調査開始。

2001年8月16日 全体写真。若干の図面を残し終了。

III区 2001年8月7日 調査開始。

2001年9月4日 全体写真、調査終了。

IV区 2001年8月16日 II区の処理と並行して調査開始。

2001年8月21日 161号住居址付近で帶金具(蛇尾)出土。

3. (医病) 基幹・環境整備(共同溝設置)に伴う発掘調査(0104調査地点)

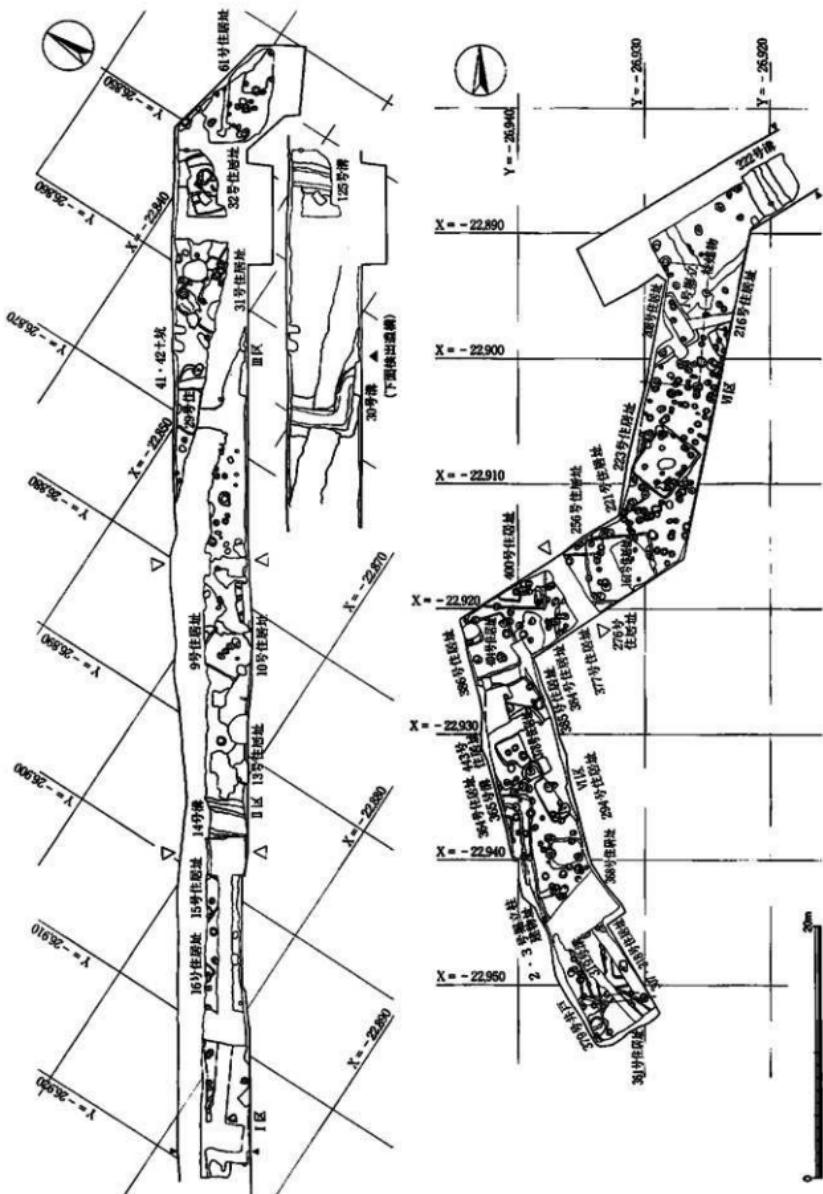


図35 0104調査地点造構配位置測図 (1 / 400)

- V区
- 2001年9月4日 全体写真。若干の因面を残し終了。
 - 2001年9月27日 一次掘削開始。
 - 2001年10月23日 全体写真（南部10m除く）
 - 2001年10月29日 調査終了。

c. 調査の組織

調査員：小畠弘己・大坪志子

事務担当：富永明子

発掘作業員：岡田イツ代・河野義勝・黒木重信・黒木タケ子・白石美智子・鈴木亜子・瀧潤俊子・高松北子・中川毅人・林田恵子・早田咲百合・番山明子・福田久美子・堀川貞子・松井昭子・水上順子・宮村邦子・森川征子・森川謙・森川登

測量補助：埋蔵文化財サポートシステム

整理作業員：江口路・鬼塚美枝・小山正子・酒水直子・首藤優子・末吉美紀・瀧潤俊子・長谷智子・林田恵子・早田咲百合・増井弘子・山崎早苗・早川翔

(2) 調査区の基本層序（図36）

図36-1はI区南壁の実測による。調査範囲が狭長であったため、遺構や集落の全体像は把握し難かった半面、周辺地域の広範囲の地下の様子を把握することができた。周辺では東から西に向かって地山が傾斜しており、遺物包含層・遺構面の検出は西に行くほどに深くなる。調査区全体は敷設されていた道路部分に重なっており、基本的にアスファルト・パラス、1層：近・現代埋土、2層～3層：包含層の順である。2層は主に古代の遺物包含層であり、3層は古代の遺構の掘り込み面であると共に、古墳時代の遺物包含層・遺構覆土である。地山が浅くなる東側（I区～III区）では、地表下0.5～0.6m程度で包含層が検出され、過去の工事等による包含層・遺構面の削平が著しい。IV・V区（図36-2・3）では、包含層の検出レベルが地表下0.7m前後、遺構面の検出は地表下1.2mである。包含層の厚さが0.4～0.5m程度あり、包含層・遺構面とも遺存状態は良好であった。

(3) 検出遺構（図13）

今回調査で検出した遺構は、弥生時代の溝1条、古墳時代の竪穴住居址7基・溝2条、古代の竪穴住居址27基・掘立柱建物址3棟・井戸1基・溝2条、近世の溝1条である。古代の竪穴住居址については、建替えが同じ場所で繰り返されたようで、硬化面、あるいは竪の跡と思われる焼土塊のみを確認したものが多く、平面プランを把握したものより実際の数は多かったものと考えられる。

<溝>

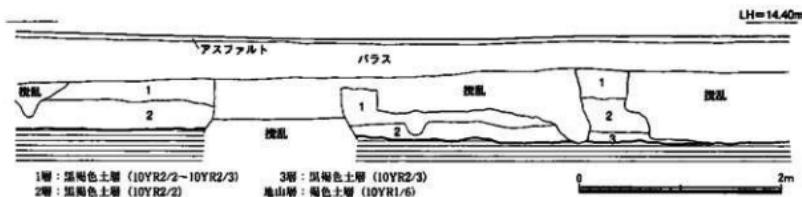
弥生時代の溝

125号溝（図35・37）

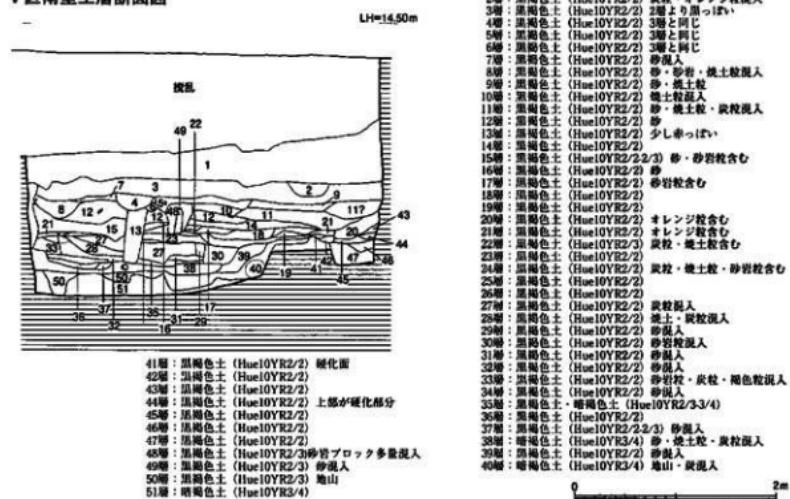
III区東側で、古代の32号竪穴住居址の下から検出した。幅2m、深さ1.1mで、断面形状は逆台形である。底辺の幅は0.8mである。溝の主軸はN-26°-Wで、調査区と直交する。堆積土は9層に分けられるが、下部の5～9層は溝掘削後の早い段階で埋没しており、その上部の4層（黒褐色土層：10YR 3/3、厚さ15cm）と3層（黒褐色土層：7.5YR 3/2、厚さ20cm）下部を中心として遺物が出土する。出土遺物は黒色磨研土器片や条痕文粗製土器も含まれるが、弥生時代前期の壺形土器

3. (医病) 基幹・環境整備 (共同溝設置) に伴う発掘調査 (0104調査地点)

I区南壁土層断面図



V区南壁土層断面図



IV区北壁土層断面図

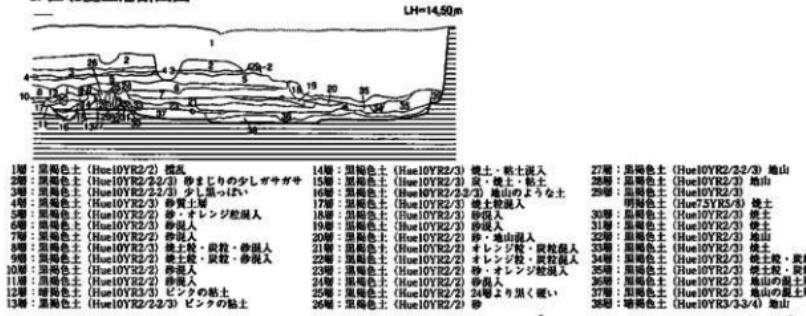


図36 I区南壁・V区南壁・IV区 (400号窓穴住居址付近) 北壁土層断面実測図 (1 /50・1 /100)

や壺形土器・鉢形土器が主体を占める。ただし遺物は総数で30点を超えない。石器としては打製石斧や石鎌、黒曜石剥片など数点がある。

古墳時代の溝

30号溝（図37）

Ⅲ区のはば中央部で検出した溝である。調査区を横断するように南から北へ抜けるが、S字状のコーナー部をもつ。幅3m、深さ1.3mで、断面形は逆台形である。南半は埋設管の掘り方などで上部を破壊されている。北側は古代の29号竪穴住居址が重なっており、土層断面図の2層部分がこの住居址の覆土となる（図37）。この下の3層は0119地点の古墳時代前期溝でも溝の堆積土最上部に認められ、溝の底みを古代に整地した際に埋め戻された土である可能性が高い。遺物は9・14層を中心に出土しており、この間には13層のような大きな木炭片を含む焼土が挟まる。土器の中に二次的な焼成を受けたものが存在することから、遺物は基底土層である15層の堆積後に焼土とともに廃棄されたものと考えられる。土器には壺形土器・壺形土器・鉢形土器・高杯形土器・小形壺形土器・杯形土器などがある。

222号溝（図37）

IV区の東端、I区との境付近で検出された。調査区と直交し、北西に走る。古代の遺物包含層（古墳時代の遺構覆土）を除去したのちに検出された。当初溝の東肩には排水橋があったが、その下に溝の東側肩が遺存していることが判明し、橋を撤去して調査した。溝の幅は約2.5m、深さは約1.3m、底がやや平らなV字状である。遺物は溝の肩付近から出始めるが、低部から少し浮いた、5・6層付近で集中して出土した。

222号溝は0119調査地点でも続ぎが検出され、遺物も同様に出土している。2箇所の調査でこの溝の一番上の覆土が地山と同じ土（あるいは類似する土）で、この下に溝が存在することを確認した。222号溝の南側延長線上に位置する0119調査地点でも古式土師器を収集した。0006Ⅱ区調査地点の西端で多量の土器がほぼ完形で出土したが、位置から考慮すると222号溝の続ぎの可能性がある。222号溝の出土遺物は古式土師器である。壺・高杯・小型丸底壺・有孔鉢・大型壺のほか、手捏土器などがある。遺存状態がよく、なかには大小の壺を入れ子状にしてあるものもある。これらは布留1～2式など古墳時代前期に属するものである。これらより古い時期の土器が0119調査地点では出土している。

古代の溝

319号溝（図35・38）

V区で検出された溝である。遺物はほとんどない。365号と同じ古代の溝と考えられる。現状で幅約0.8m、深さ約0.2m程度の狭く浅い溝である。南側端部は自然に浅くなり途切れているが、北側の端部は擾乱により不明である。しかし、擾乱より北側で続ぎは検出されず、長く北に延びる様子はなかった。

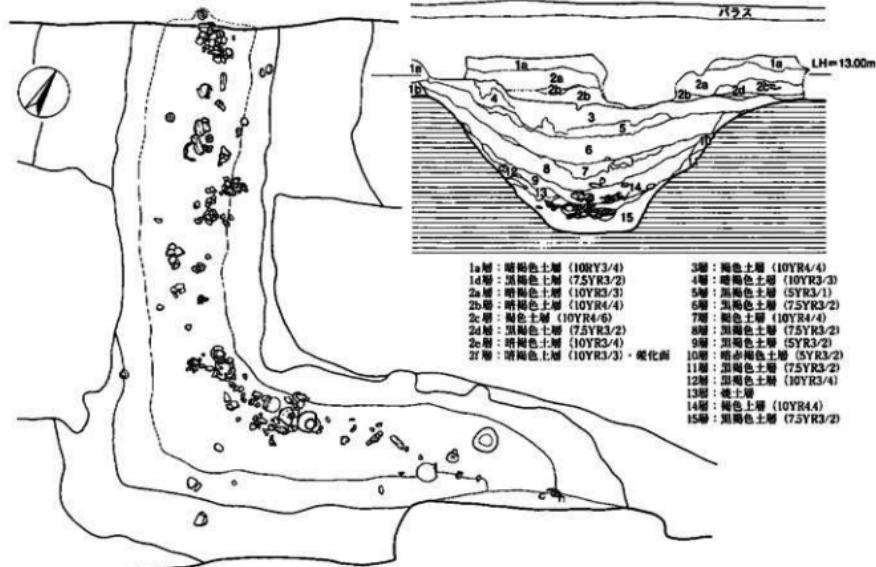
365号溝（図35・38）

V区で検出された古代の溝と考えられる。ほぼ南北に走り、途中でL字形に西へ曲がる。現状で幅は約0.7m、深さ約0.5mである。遺物は非常に少なく時期の判断は困難であるが、378号住居址に切られていることから、古代でも早い段階のものと考えられる。

125号溝



30号溝



222号溝

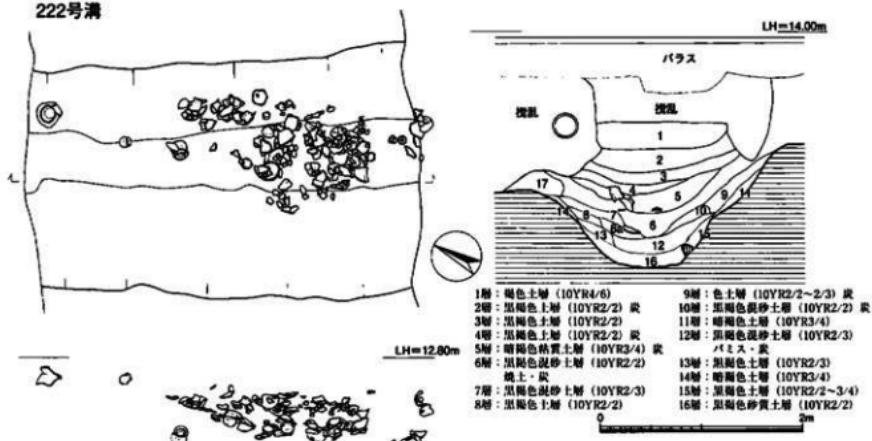


図37 125号溝・30号溝・222号溝土層断面・出土遺物実測図 (1 / 50)

近世の溝

14号溝（図35・36）

II区で検出された。調査区を横切るように、北西に走る。幅は現在確認出来る範囲で約2.6m、深さは約0.8mで、溝の東岸は途中にテラス状の段がある。遺物は上方で須恵器や近世陶磁器片などが見られたほかは少なく、特に底に近い部分では人骨と思われる骨が数点あつただけである。2001年度の年報では、古墳時代や古代に利用された溝と考えそのように報告したが、埋土について再考した結果、近世の溝と考えられる。

<豊穴住居址>

本調査区では、豊穴住居址が30基検出されたが、数次にわたる立替のために、住居址のプランを把握できない住居址も多い。硬化した床面の痕跡から住居址の存在を推定したものも含めると40基近くになる。豊穴住居址は、古墳時代から古代にかけてのものである。住居址の方位を見ると、古墳時代の住居址は、北を向くものではなく、東西のどちらかに傾いている。住居址の1辺も4mほどあり、全体的に大きい。古代になると、住居址の向きに2つのグループがある。221・294・361号などの、遺物や規模から古代と思われるが、古墳時代の名残か方位が北から振れるものと、北を向くものに分かれる。後者の場合は竪の位置は北壁が多いが、東壁に設置する場合と西壁に設置する場合もある。北を向かない住居址は、本調査区の中では時期的に古いものが多い傾向にあり、住居址の方位は徐々に北をとるようになったと考えられる。

古墳時代の豊穴住居址

208号豊穴住居址（図38）

IV区で検出した。住居址の西側半分は調査区外に延びる。住居址の軸は北北西-南南東である。大半は搅乱により破壊されているが、全体の様子は知り得る。1辺約4.5m前後の長方形で、深さは現状で約0.3mである。明確な硬化面や炉などは検出されなかった。遺物は小型丸底壺・高杯・甕などがある。古墳時代前期（布留1～2式）の頃であろう。

223号豊穴住居址（図39）

IV区中央で検出した。一部調査区外に延びるほかは、削平や搅乱を受けておらず、遺構・遺物とも遺存状態は良好であった。約4.7×4mの長方形で、長軸は北東-南西を向いている。同じ古墳時代の208号豊穴住居址とは軸が若干ずれている。埋土には多量の焼土や炭・灰が含まれ、床面上に炭化した柱と思われる建築部材も散在しており、223号は焼失住居と思われる。住居の中央には床面を浅く掘り窪めた炉があり、炉を中心として住居中央に硬化面も確認された。遺物は古墳時代前期（布留1～2式）の頃であろう。

378・385号豊穴住居址（図40）

V区で検出された。半分以上は現代の搅乱により削平されていた。北側半分は床面直上まで削平が及んでいたが、かろうじて住居の範囲は捉える事ができた。V区では同じ場所での住居の建替えを繰り返していたようで、378号住居址でも同様で、住居址中央に443号住居址が重なる。重複した住居を把握するのは困難だったため、ベルトを残し、埋土部分を下げて行った。最終的に確認した住居址のプランは下端で約4.8×5.3mの長方形である。軸の方向は208号住居址と同じである。北東側の壁・隅が捉え難く、溝状に遺構プランが見えていたものを385号としたが、最終的に378号住居址の一部である可能性が高い。378号住居址内では、確定なものとして2枚の硬化面を確認した。1つは住居の肩と思われるところから30cm程の深さで検出し、遺物は図21-12・15が伴う。もう1つはその下

3. (医病) 基幹・環境整備 (共同排散型) に伴う発掘調査 (0104調査地点)

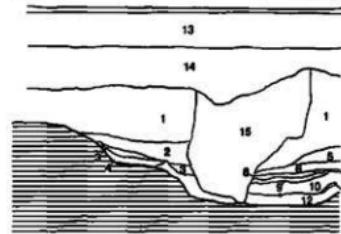
365号溝



- 1層：黒色土 (Hue10YR2/1) 特性あり
- 2層：黒色土 (Hue10YR2/1)
- 3層：黒褐色土 (Hue10YR3/1) 黄褐色土が混入
- 4層：黒褐色土 (Hue10YR3/1)
- 5層：黒褐色土 (Hue10YR3/1)
- 6層：黒褐色土 (Hue10YR3/1)
- 7層：黒褐色土 (Hue10YR3/1)
- 8層：黒褐色土 (Hue10YR2/1) 黄褐色土塊が混入
- 9層：黒褐色土 (Hue10YR2/1)
- 10層：黒褐色土 (Hue10YR3/1)

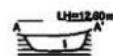
14号溝

LH=14.30m



- 1層：暗褐色土 (Hue10YR3/4) 混入
- 2層：暗褐色土 (Hue10YR2/4)
- 3層：暗褐色土 (Hue10YR2/3) も入る
- 4層：暗褐色土 (Hue10YR2/3)
- 5層：暗褐色土 (Hue10YR2/3)
- 6層：暗褐色土 (Hue10YR3/4) の砂岩も混入
- 7層：暗褐色土 (Hue10YR2/3)
- 8層：暗褐色土 (Hue10YR2/3)
- 9層：暗褐色土 (Hue10YR3/4) の砂岩も混入
- 10層：暗褐色土 (Hue10YR2/3)
- 11層：黒褐色土 (Hue10YR2/2)
- 12層：黒褐色土 (Hue10YR2/2-2/3)
- 13層：パラス
- 14層：コンクリガラ
- 15層：底盤

319号溝



- 1層：黒褐色土 (Hue10YR2/2)

208号竪穴住居址

2m



- 1層：黒褐色泥炭土層 (10YR2/2) 灰
- 2層：黒褐色泥炭土層 (10YR2/2)
- 3層：黒褐色泥炭土層 (10YR2/2)
- 4層：黒褐色泥炭土層 (10YR2/2) 灰土・灰



図38 365・319号溝・14・208号竪穴住居址実測図・土層断面実測図 (1 / 50)

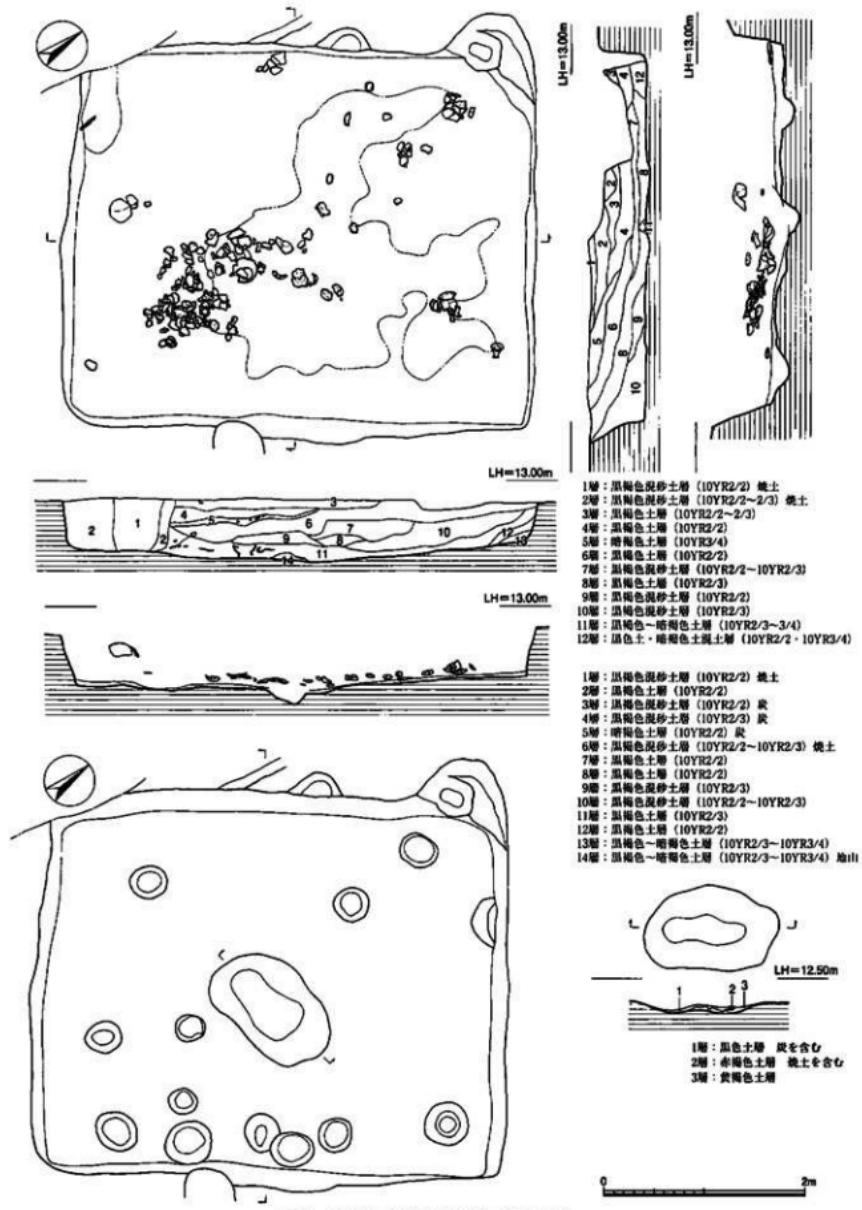


図39 223号竖穴住居址実測図 (1 / 50)

3. (医病) 基幹・環境整備(共同溝設置)に伴う発掘調査(0104調査地点)

378・443号竪穴住居址

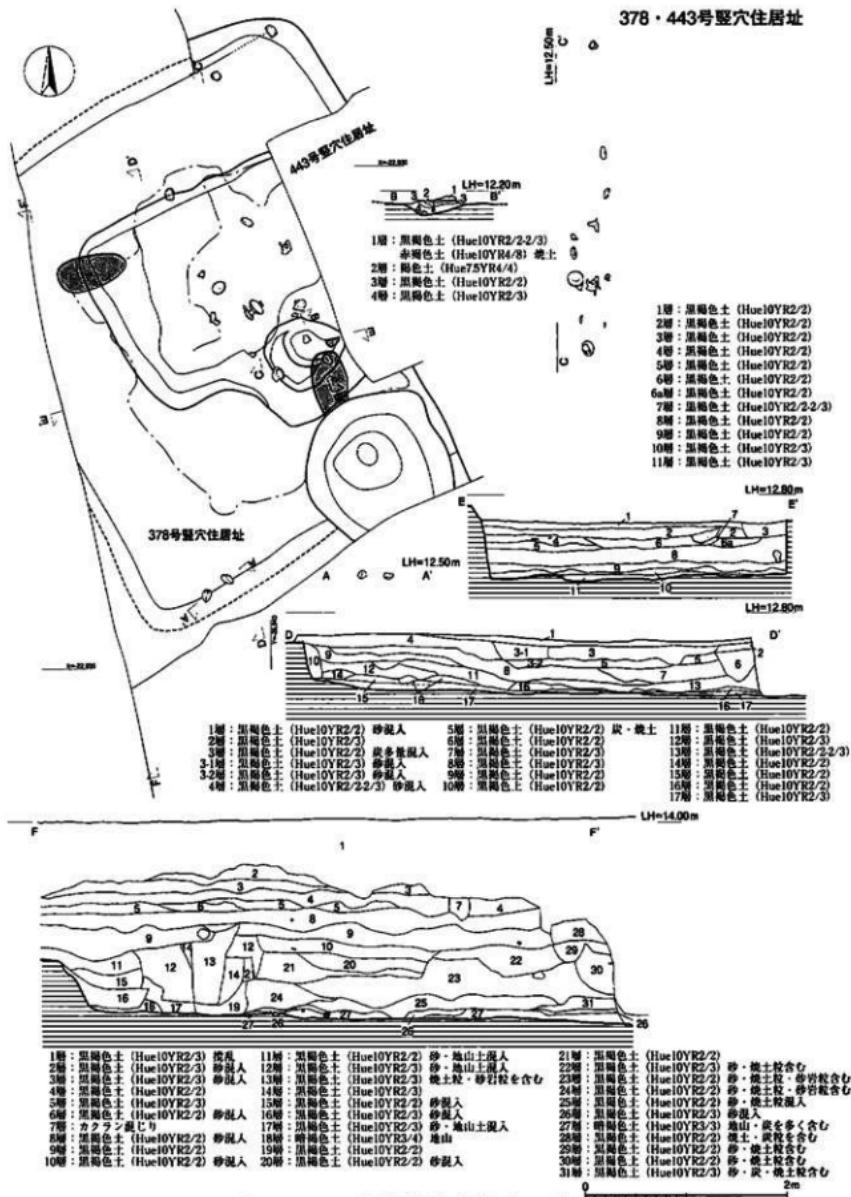


図40 378・443号竪穴住居址実測図 (1 / 50)

20cm 程で検出し、遺物は図21-13・14・16・17が伴う。下の床面では炉も検出された。この床の硬化面の下から2.5m四方の掘込み（443号住居址）と1m弱の土壌状の浅い窪みを検出した。385号住居址の部分からはミニチュア土器が出土している。

384号竪穴住居址（図41）

378（385）住居址の北側で検出された。南東部は、422・423号住居址？に切られ、南西部は378・448号住居址に切られている。378号住居址と同じ軸をとり、北西を向く。現況は2.9×2.6mである。

404号竪穴住居址（図41）

V区の、調査区が南に折れるコーナー付近で検出された。西南壁が調査区外に延びる。現状では約4.5×3.8m、深さ約0.25mである。軸の方向は北西である。208号竪穴住居址や378号竪穴住居址とは同じ方向である。南西隅には古代の368号竪穴住居址の窓が接している。また北西隅には搅乱の土壌と、438号土壌が404号住居を切っている。住居址のやや西よりに、床を浅く掘った炉が1基とその周辺で硬化面を検出した。遺物は鉢・高杯・小型丸底壺・甕などで古墳時代前期（布留1～2式）であろう。

443号竪穴住居址（図40）

378号竪穴住居址の中央に、入れ子状にあった浅い窪み状の遺構である。1辺2m程度の方形プランである。中央やや南東よりで、炉の可能性がある焼土が入った皿状のピットが検出された。

古代の竪穴住居址

216号竪穴住居址（図42）

IV区北側の東側調査区壁沿いで検出した。208号竪穴住居址の東側に隣接する。大半が調査区外に延び、また搅乱によって検出部分の中央を破壊されている。現状で2×2mである。住居の軸は208号住居など古墳時代の竪穴住居と同じであるが、216号住居の北壁に窓が造られており、遺物からもこれは古代の住居と判断される。

16号竪穴住居址（図42）

II区の東端近くで検出した。15号竪穴住居址の南西側に位置する。調査区に、住居址の南東隅がわずかにかかる程度である。住居址は北を向くようである。7世紀代と思われる遺物が出土しており、古代の住居址と判断した。

276号竪穴住居址（図47）

161号竪穴住居址の南側に隣接する位置にある。西側のV区で検出された377号竪穴住居址と同一の住居址である可能性があるが、出土遺物に若干の時期差がある。南半分が調査区外に延びる。軸の方向は南北である。7世紀代の遺物が出土している。

32号竪穴住居址（図42）

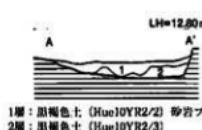
III区の31号竪穴住居址の東4mほどのところで検出した。大半を埋設管やマンホールの掘り方によって破壊されており、北半部しか残存していなかった。住居の幅は4.4mである。住居の軸は他の29・30号竪穴住居と異なり若干東へ傾いている。北辺の中央西寄りに窓が設けられている。窓は残存状況がよく、袖には幅20cm、長さ50cm、厚さ15cmあまりの大型の砂岩が横に据えてあった。中央にも砂岩製の支脚の一部が残っていた。窓周辺から土師器の変形土器や杯、須恵器の変形土器片などが出土した。8世紀前半と考えられる。

9号竪穴住居址（図43）

II区で検出した。I～III区は遺構面が浅く遺構の多くが上部を削平されており、9号竪穴住居址の壁も遺存していたのはわずか数cmで、ほぼ床面のみが残っている状況であった。東半分は搅乱によ

3. (医病) 基幹・環境整備(共同清設置)に伴う発掘調査(0104調査地点)

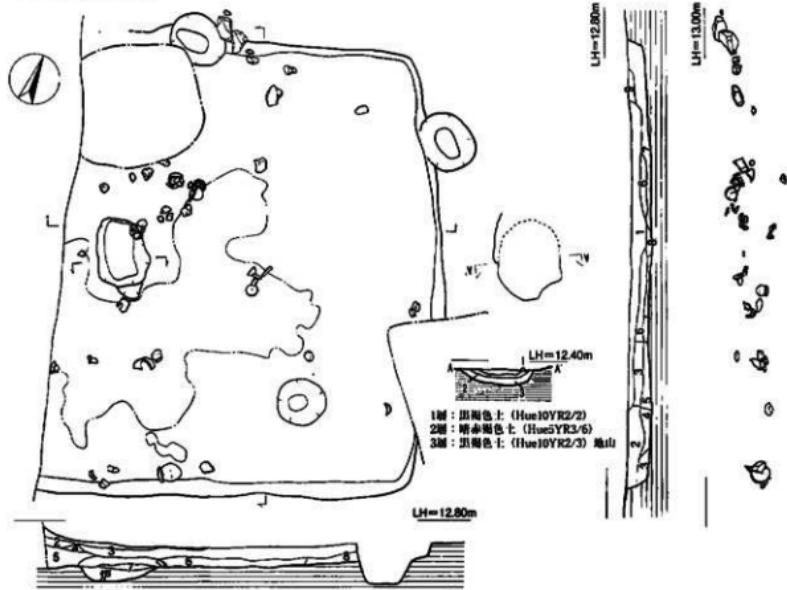
384号竪穴住居址



392号竪穴住居址



404号竪穴住居址

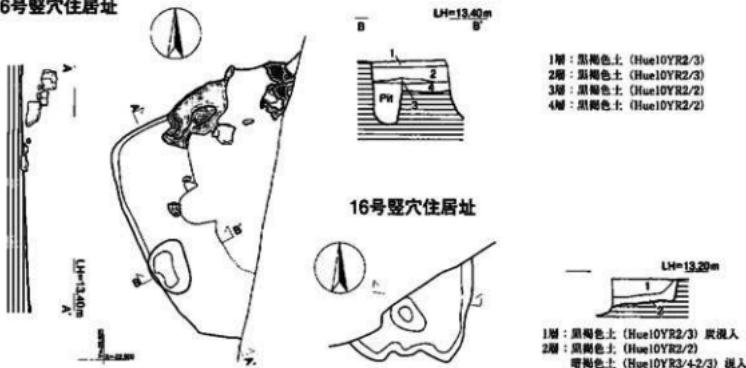


1層：黒褐色泥炭土層 (10YR2/2) 黄
2層：黒褐色土層 (10YR2/2) 硫土・黄
3層：黒褐色土層 (10YR2/3)
4層：黒褐色泥炭土層 (10YR2/3)
5層：黒褐色泥炭土層 (10YR2/2~10YR2/3) 黄
6層：黒褐色土層 (10YR2/2)
7層：黒褐色土層 (10YR2/2) 硫土
8層：黒褐色～暗褐色土層 (10YR2/3~10YR3/4)

1層：黒褐色泥炭土層 (10YR2/2)
2層：黒褐色泥炭土層 (10YR2/2) 黄
3層：黒褐色土層 (10YR2/3)
4層：黒褐色土層 (10YR2/3)
5層：黒褐色土層 (10YR2/2)
6層：黒褐色土層 (10YR2/2)
7層：黒褐色土層 (10YR2/2)
8層：黒褐色土層 (10YR2/2)
9層：黒褐色土層 (10YR2/2)

図41 384・392・404号竪穴住居址実測図・土層断面実測図 (1 / 50)

216号竪穴住居址



32号竪穴住居址

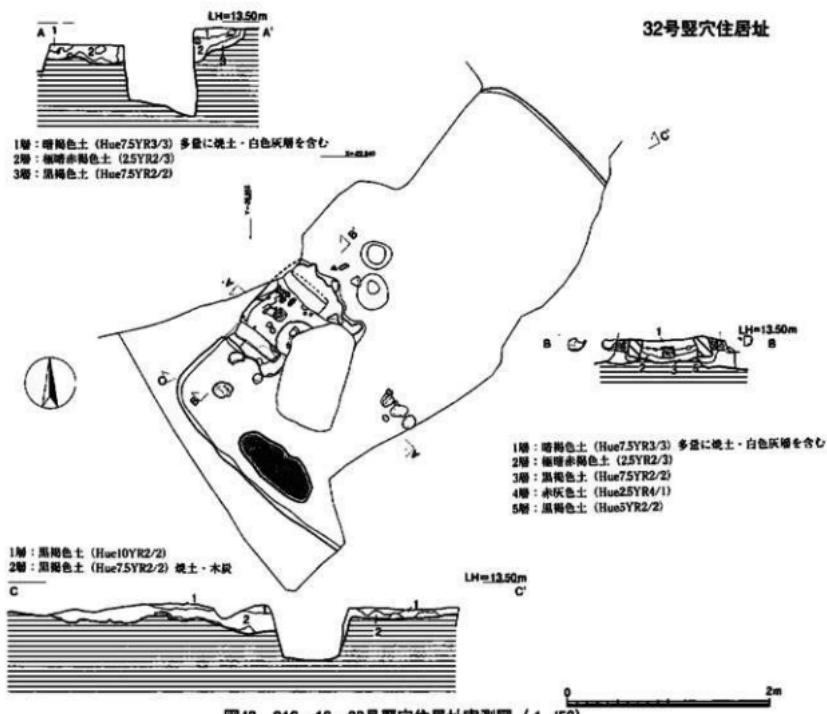


図42 216・16・32号竪穴住居址実測図 (1 /50)

3. (医病) 基幹・環境整備 (共同溝設置) に伴う発掘調査 (0104調査地点)

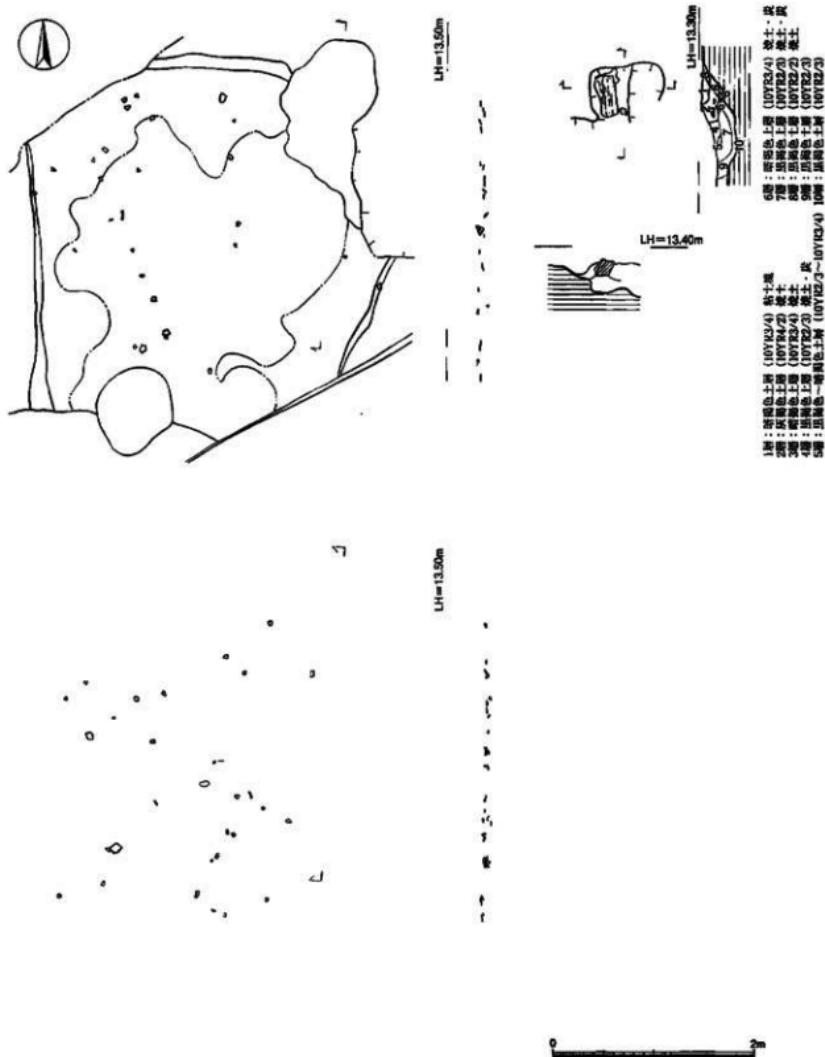


図43 9号竖穴住居址実測図 (1 /50)

り削平され、南側は10号竪穴住居址によって切られる。現状では、北壁1.4m、西壁2.7mである。北壁に竈が造られており、西半分が残っている。住居址の軸は南北方向である。9901地点の52号竪穴住居址も同時期のものと思われ北壁中央に竈を造っている。9号竪穴住居址の北壁を、竈を中心に復元すれば52号竪穴住居址や9901地点の291号竪穴住居址と同様な規模になる。出土した遺物は7世紀後半～8世紀前半のものである。9号竪穴住居址からは土器片と共に小型彷彿鏡の所謂破鏡が出土したが（図56～126）、住居址の埋土は搅乱を受けている可能性を否定できない状況であり、遺構と遺物の年代を照らしても9号竪穴住居址に伴うものとは考えられない。

31号竪穴住居址（図44）

III区の29号竪穴住居の東側で検出したもので、南半分は埋設管の掘り方によって破壊されている。長軸はほぼ東西方向で、西辺中央に竈がある。長軸の長さはおよそ5mである。硬化した床面は検出できなかった。竈は砂岩ブロックで両袖部の基礎石とするもので、中央には砂岩製の角柱で支脚をしつらえていた。崩壊した竈の中から土師器の変形土器片など数点の遺物が出土した。7世紀後半から8世紀後半と考えられる。

221号竪穴住居址（図44）

IV区中央付近壁沿いに検出した。223号竪穴住居址の南西側に隣接する。住居址の大半は調査区外である。北西を向く。223号住居址の上に作られており、223号住居址の埋土と重なる部分の壁は明確に確認できなかった。現況では 2.2×2.3 m程である。

10号竪穴住居址（図44）

9号竪穴住居址の南側で検出された。9号竪穴住居址と同じ方向を向き、9号竪穴住居址を切っている。住居内の大半が搅乱により破壊され、南半分は調査区外に延びており、正確な規模などは把握できなかった。北壁に竈を造っている。西壁の推定ラインから復元してみると、9号竪穴住居址に比べ小型である。8世紀前半と考えられる。

361号竪穴住居址（図45）

V区の南端で検出された。南半分が調査区外に延び、住居の西側は後代の遺構（379号戸戸）に切られている。現状では約 3×2.6 m、深さは残りの良い北東側で約0.4mである。搅乱の西側を361号、東側を312号として掘削し、最終的に同一の住居址と確認した。軸の方向は223号竪穴住居址と同じである。搅乱が北東側の壁に沿って走るが、この搅乱より南西側は遺構の重複が著しく、この住居に伴うと思われる遺物はなかった。8世紀後半の遺物が出土している。

15号竪穴住居址（図45）

II区のやや西側で検出した。全体のほとんどが搅乱によって破壊されており、規模は不明である。住居の軸の方向は南北を向いている。南東隅にあたる部分に竈の跡と思われる焼土や、竈の袖石の碎片が残っていた。出土遺物から8世紀前半ごろと思われる。

29号竪穴住居址（図45）

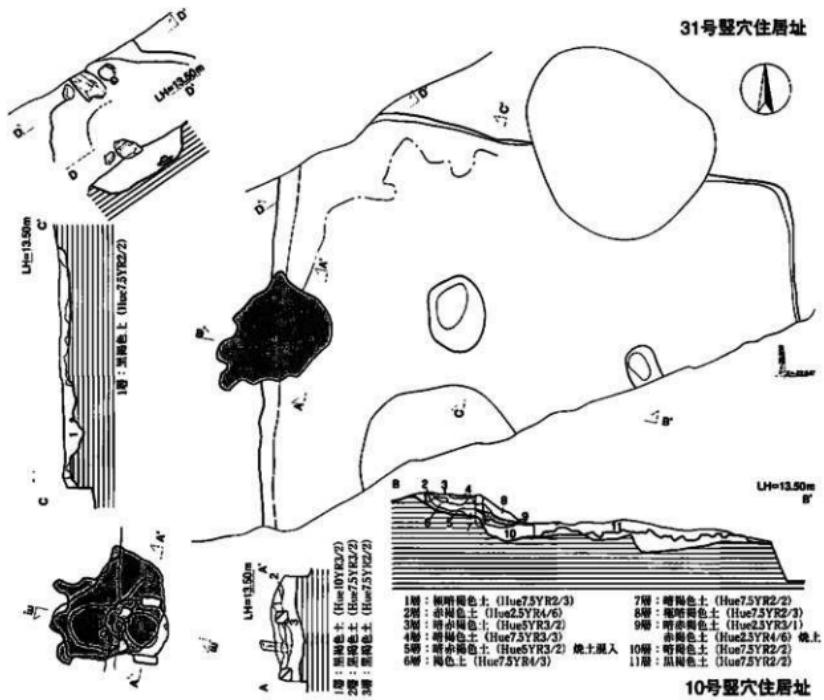
III区中央北部で30号溝覆土の上に営まれた竪穴住居址である。埋設管の掘り方によって南辺と東辺を破壊されている。長軸はおよそ4mになるものと推定される。東北部に竈付近の焼土が散乱しており、その中から変形土器片が、中央の硬化面直上と北西端の壁付近から土師器の坏がそれぞれ1点ずつ出土している。

307・318・322号竪穴住居址（図46）

V区の南側で検出された。東側を搅乱により破壊されている。307号住居址の内側で入れ子状に318号竪穴住居址が検出された。現状で307号が約 2.1×1 m、318号が約 5.2×0.7 mである。いずれも軸

3. (医病) 基幹・環境整備(共同溝設置)に伴う発掘調査(0104調査地点)

31号竪穴住居址



10号竪穴住居址

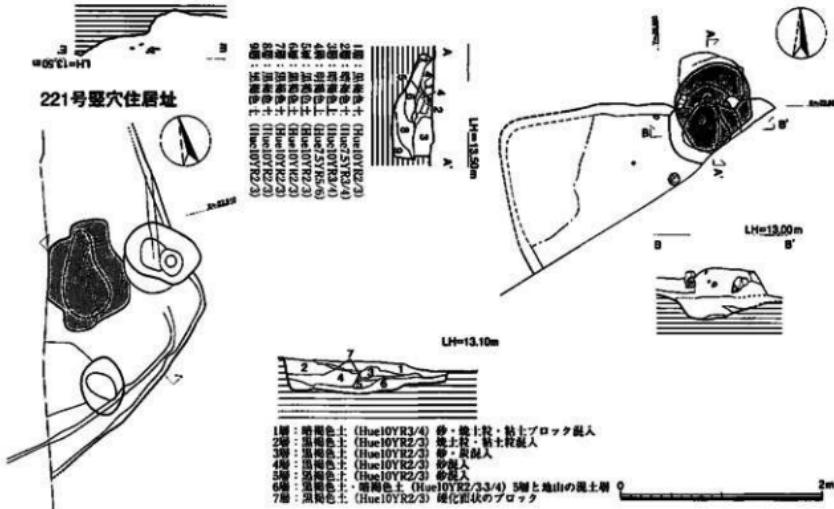
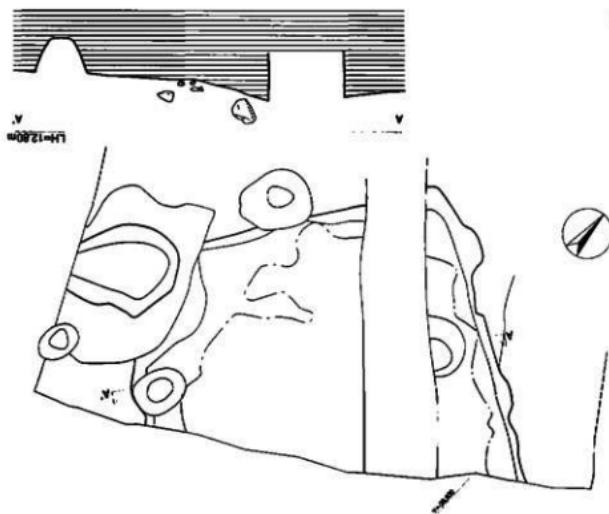
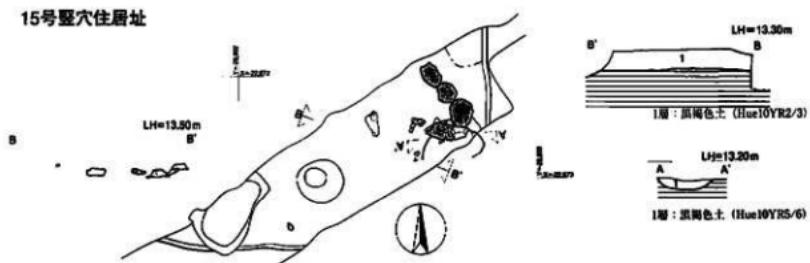


図44 31・10・221号竪穴住居址実測図 (1 / 50)

361号竪穴住居址



15号竪穴住居址



29号竪穴住居址

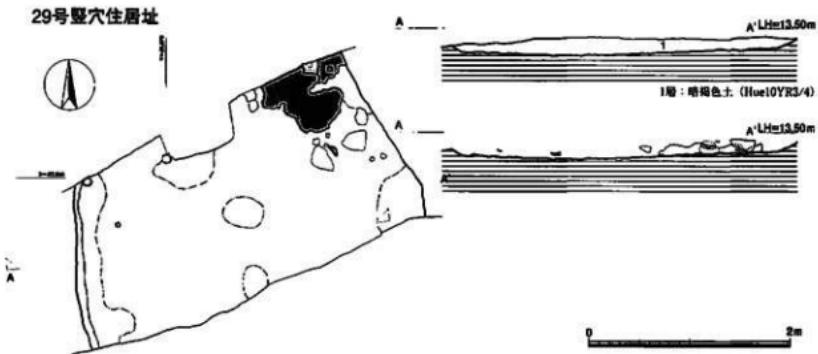


図45 361・15・29号竪穴住居址実測図 (1 / 50)

は南北であるが、307号竪穴住居址は若干西に傾く。307号竪穴住居址の床を除去したところ、別の遺構があったためこれを318号竪穴住居址とした。318号竪穴住居址の黒色の埋土の下には、別の茶色の土があり、これを322号竪穴住居址とした。322号竪穴住居址に埋土は多量の焼土を含み、火災で焼失した住居址の可能性がある。住居の範囲はほぼ307号と同じである。築造順としては、322号竪穴住居址が最初に築造され、火災などで焼失・埋没した後、318号竪穴住居址が造られ、さらにその上に307号竪穴住居址が築造されたと考えられる。

311・321・323号竪穴住居址?

V区の南端、北西—南東に走る搅乱の西側で、379号井戸の上面にあった硬化面のみの遺構である。311号竪穴住居址は、361号竪穴住居址の搅乱から西半の部分を覆う範囲に広がっていた硬化面である。311号竪穴住居址の硬化面を除去したその下から、321号・323号竪穴住居址を検出した。321号竪穴住居址は361号住居址西半の東半分に分布する硬化面であり、323号竪穴住居址は379号井戸を覆うまでの東半分に広がる硬化面である。住居址のプランは確認できなかったが、それぞれの硬化面の様子から3基の住居が切りあっていた。付近より8世紀後半から9世紀前半の遺物が出土している。

377号竪穴住居址 (図46)

V区の北東隅で検出された。搅乱を挟んで276号竪穴住居址と向い合う。住居址の方向は北を向く。先述のとおり276号竪穴住居址と同一の可能性があるが、出土遺物に時期差がある。377号住居址では、硬化した床面を検出した。

386号竪穴住居址 (図46)

V区、404号竪穴住居址の南側で検出した。西側は調査区外、南・東側は搅乱によって破壊されている。現況は北壁中央に設けられた竈部分を残すのみである。

99 (161) 号竪穴住居址 (図47)

IV区の西端で検出した。99 (161) 号竪穴住居址がある一帯は、竪穴住居址の重複があり、各遺構のプランを決定するのが困難だったため、任意で2mのグリッドを設定して掘削した。大きな搅乱坑を挟んで東側半分はプランを把握するのは容易だったが、西側半分は遺構の重複により埋土からプランを把握する事はできず、床面近くでようやく規模を把握できた。それぞれ99号と161号という番号を与えて掘削を進めていたが、99号と161号が同一の住居址であることを確認した。約5×4.6mの住居である。軸方向は南北である。東側半分を大きく搅乱により破壊されている。東壁中央に竈が造られていた。8世紀後半と思われる。

368号竪穴住居址 (図46)

V区の中央部やや南寄りで検出した。調査当初、プランの把握が上手く行かず細部において不手際もあったが、最終的にはプランを確定できた。現状で約2.6×2.4m、深さは約0.25mである。東壁の一部は調査区の壁にかかる。西壁中央に竈が造られている。8世紀後半の遺物が出土している。

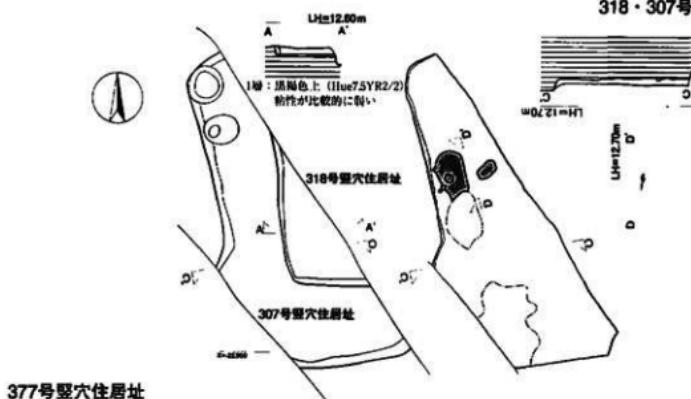
256号竪穴住居址 (図47)

II区の西端で検出された。大半は調査区外に延びる。南東隅を99 (161) 号竪穴住居址が切っている。現状では約2×3m、深さは残りの良い部分で0.2mである。軸の方向は南北を向いている。

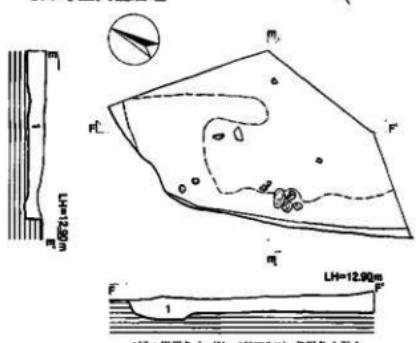
294号竪穴住居址 (図48)

V区の中央東よりで検出した。住居址の東側は半分以上が破壊されており、現在は1/3程度が確認できる。本来は一辺が3.7mほどの竪穴住居址と思われる。8世紀末から9世紀初の土器が出土している。

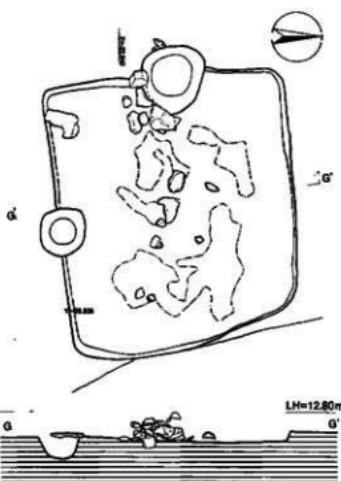
318・307号竪穴住居址



377号竪穴住居址



368号竪穴住居址



386号竪穴住居址

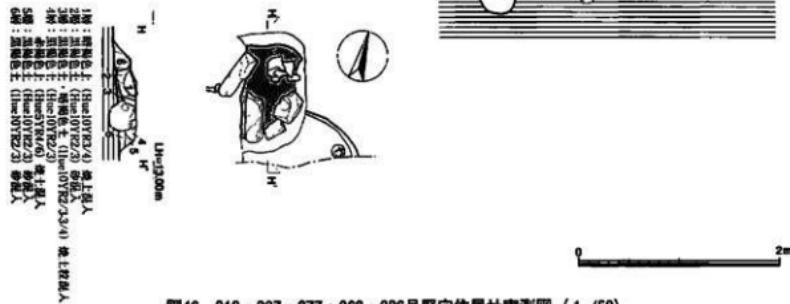


図46 318・307・377・368・386号竪穴住居址実測図 (1 / 60)

3. (医病) 基幹・環境整備(共同溝設置)に伴う発掘調査(0104調査地点)

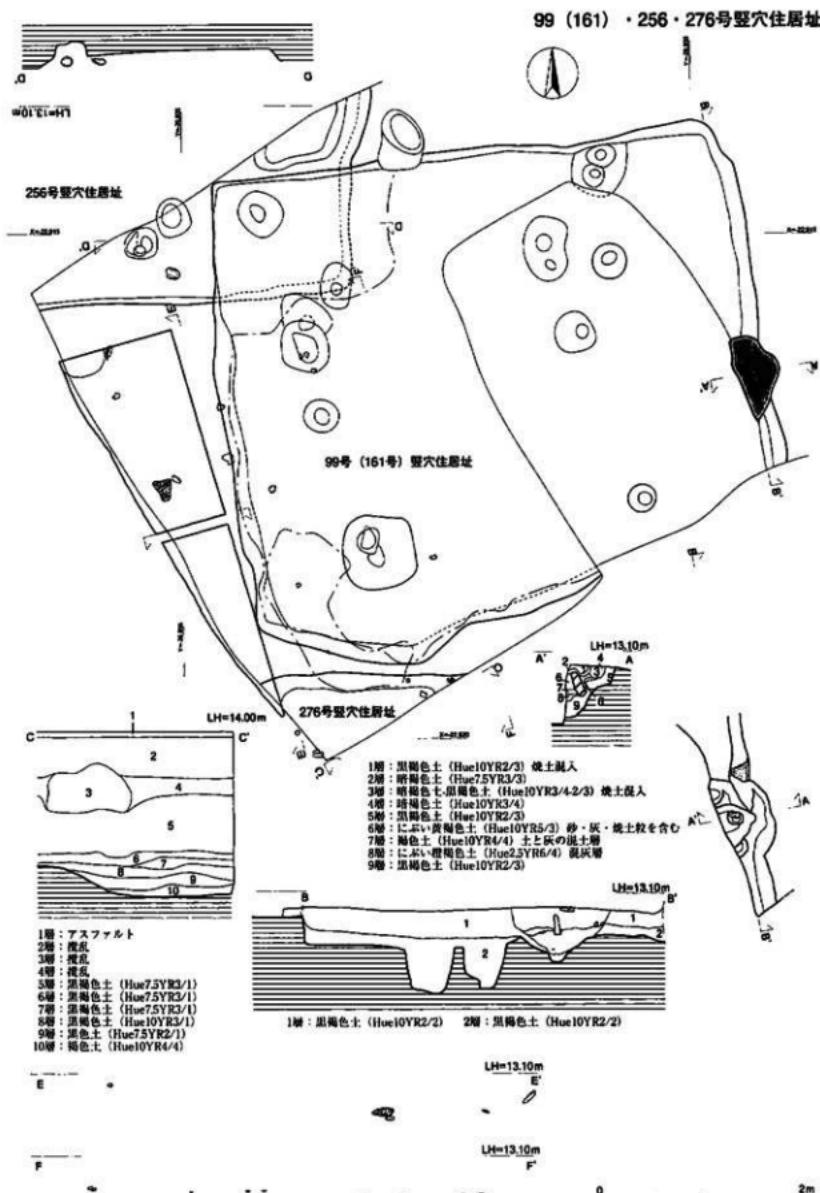


図47 99 (161) · 256 · 276号竖穴住居址実測図 (1 /50)

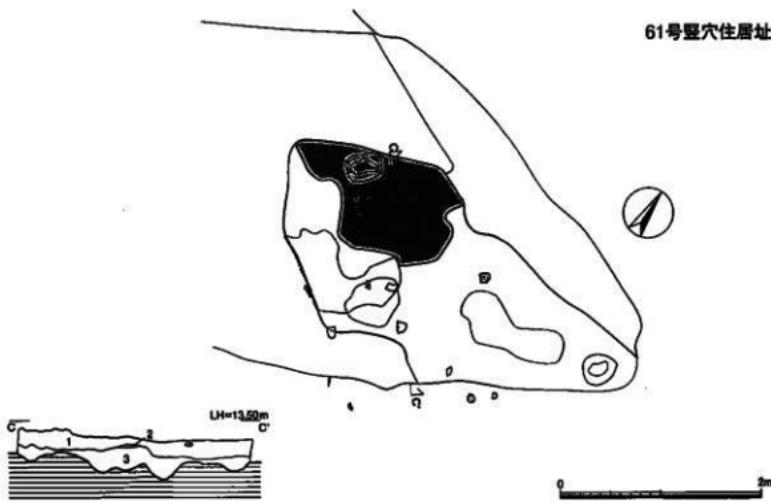
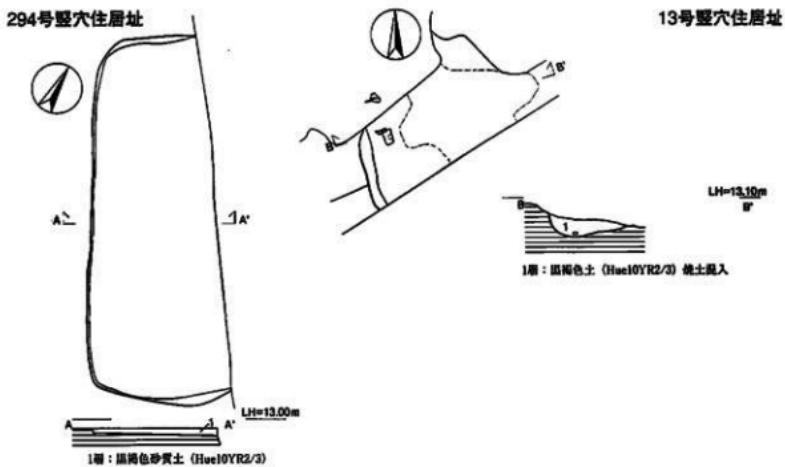


図48 294・13・61号竖穴住居址実測図 (1 /50)

13号竪穴住居址（図48）

II区の14号溝の北東側で検出した。調査区壁と、既設枠の間に挟まれており、その他は搅乱による破壊と調査区外にでるなど、全容は不明である。現状は西壁が0.7m程度の残っている程度である。西壁に焼土塊があり、掘削したところ竪の支柱と思われる砂岩と土器片が出土した。土器片は接合するとかなり復元でき、浅鉢である。

61号竪穴住居址（図48）

II区東端の若干広くなったところで検出した。搅乱の影響が深刻であり、遺存状況は非常に悪かった。

遺構の残存状況がわるく、北西部のコーナー部分らしき浅い掘り方を確認しているが、それ以外は不明である。規模、方向ともよくわからない状況である。

157号竪穴住居址

IV区西端、158号竪穴住居址の上面にあった硬化面である。99号・158号・256号付近にあった竪穴住居址と思われるが、全容は不明である。明らかに、158号住居址の上にあった住居址の床面であるので、番号を付けて記録した。

158号竪穴住居址

IV区東端で検出した。99（161）号竪穴住居址と256号竪穴住居址に挟まれた三角形の部分である。東側は99（161）号住居址と256号住居址によって切られており、搅乱を挟んだ西側でも住居址の範囲を確認できなかった。このため、硬化面が広がっており住居址があったと思われるが、全体的なプランは不明である。

159号竪穴住居址

IV区西端、276号竪穴住居址の上面にあった硬化面である。99号・158号・256号付近にあった竪穴住居址と思われるが、全容は不明である。明らかに、276号住居址の上にあった住居址の床面であるので、番号を付けて記録した。158号竪穴住居址との関係は、不明である。

207号竪穴住居址

223号竪穴住居址の西側で検出した。住居址の東辺がわずかに調査区にかかっている。1辺2m程度で、方位はわずかに東に振れる。

400号竪穴住居址（図49）

V区の北東で検出された。北半分は調査区外に延びる。現状で約2.1×3mで深さは0.2mほどである。軸は南北を向いており、161号竪穴住居址と同様な住居と思われる。

448号竪穴住居址

V区中央部で検出した。378（385）・384号竪穴住居址に挟まれた状態で、小さな三角形である。384号住居址を切って築造し、378（385）号住居址に切られている。448号竪穴住居址は北を向いており、北壁設けられた竪部分のみが遺存している。

364号竪穴住居址

V区の西壁沿い、365号溝に囲まれた位置にある。北を向く住居址の北東角がわずかに調査区で検出されたと考えられる。詳細は不明。

<掘立柱建物>

1号掘立柱建物（図49）

1号掘立柱建物はIV区の中央部で検出された。建物の長軸は南北方向より、やや東に触れている。

西側が調査区外に延びるが、現状で5間×2間以上の建物である。この柱穴のなかで、東列北から4つ目の144号柱穴で地鎮祭を行なったと思われる遺物が出土した。柱穴の壁の途中に壁龕状の棚をつくり、土師器の碗・蓋を置き、その上に2~3cmの大いな小石を敷いていた。土器の中にも小石が数個入っていた。石については精査をしたが、文字等の加工の痕跡は見当たらなかった。土師器蓋には墨書きがあり、鑑定していただいた結果「門方人」とか書かれていることが分かった。土器は9世紀前半のころの所産と思われ、1号掘立柱建物もこの時期のものであろう。

2・3号掘立柱建物(図50)

5区の南端で検出した。擾乱による破壊と、調査区外に延びるため全体は不明である。2号・3号とも建物の方向は南北から西に傾いており、1号とは時期を異にすると思われる。9901調査地点の西北部に位置し、この2・3号建物と位置的に近い501号掘立柱建物と同じ方向のようである。

<土坑・ピット>

41・42号土坑(図50)

III区中央部、29号竪穴住居址の東側で擾乱部分を挟んで検出した土坑である。当初別個の造構の重なりと考え掘っているが、おそらく一つの造構と思われる。掘り方が30cmあまりと、かなり深く、29号住居址とは異なる造構と考えられる。中央に深さ20cmほどの穴が2個接続している。残存部で長さ2m、幅1mあまりである。穴の部分と底面から土師器の壊や土製の紡錘車、鉄製刀子が出土した。

204(253)号柱穴

IV区のT字部分の西端で検出したピットである。このピットから土錐が12点出土した。年報では、漁網をこのピットに収納していたのではないかと報告したが、そのような収納状態で使用したか、疑問が残る。253号は1号掘立柱建物を構成する柱穴の一つであるが、144号柱穴のような地鎮であるかは不明である。なお、ピット番号については、本来は253号であるが、年報の整理・報告時に取り違えている。注記も204号で行っているため、別のものと間違えないよう、併記しておく。

<井戸>(図51)

379号井戸はV区の南西隅で検出された。361号竪穴住居址の上には、硬化面で範囲確認した321号と323号竪穴住居址があったが、井戸は323号住居址の床面下から検出された。361号住居址の床面を切っている。つまり、361号竪穴住居址を壊して、本井戸が掘削され、後に埋め戻されて、321・323号竪穴住居址が設営されたという順序になる。井戸は全体の1/3程度が調査区壁にかかる。上部には柱状の石が置かれており、埋土に遺物・灰・焼土も多かったため、当初は墓と考えた。しかし、掘り下げるにしたがい井戸であることが分かった。

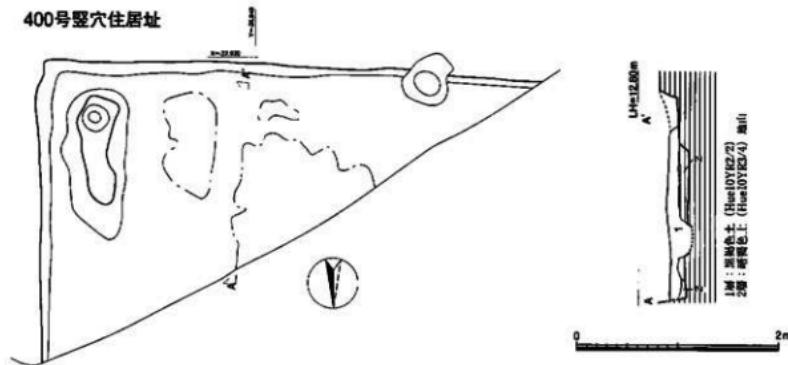
埋土を順次掘り下げたが、沈殿物層などは確認されなかった。また、井戸の壁には掘削のために井桁を組んだような跡や、井戸枠を設けたような跡も検出されなかった。途中、遺物が集中する層が何層かあり、中には食料残滓と思われる自然遺物もあった。

(4) 出土遺物

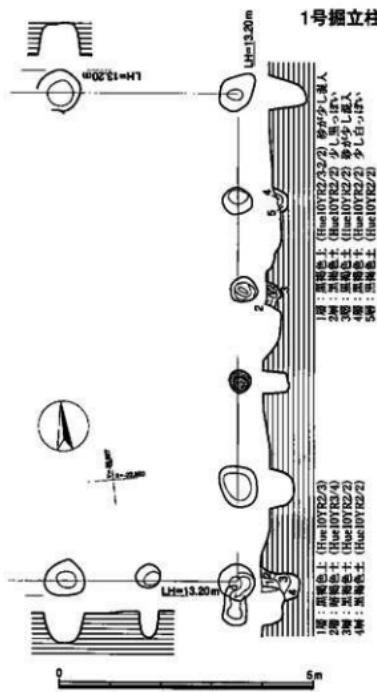
本調査区からは、膨大な量の遺物が出土したが、時間・紙面の関係上、今回は造構の時期を示す代表的、もしくは最低限の遺物を掲載した。本書に掲載できなかった遺物は、今後改めて紹介したい。

3. (医病) 基幹・環境整備(共同溝設置)に伴う発掘調査 (0104調査地点)

400号竪穴住居址



1号掘立柱建物



144号柱穴

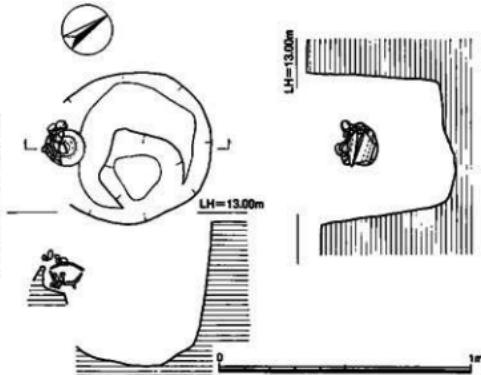
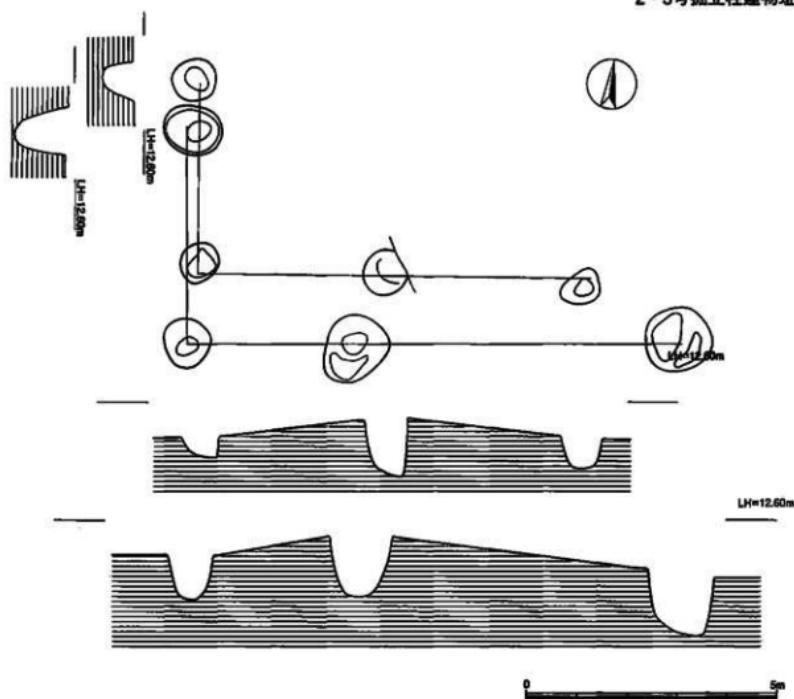


図49 400号竪穴住居址・1号掘立柱建物址・144号柱穴実測図 (1/50・1/100・1/20)

2・3号掘立柱建物址



41・42号土坑

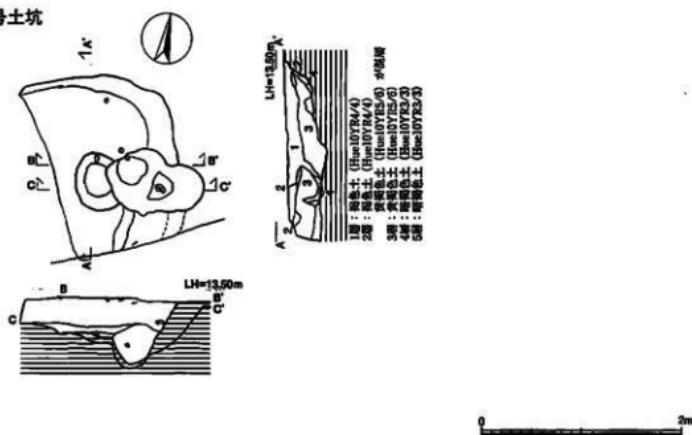


図50 2・3号掘立柱建物址・41・42号土坑実測図 (1 /100・1 /50)

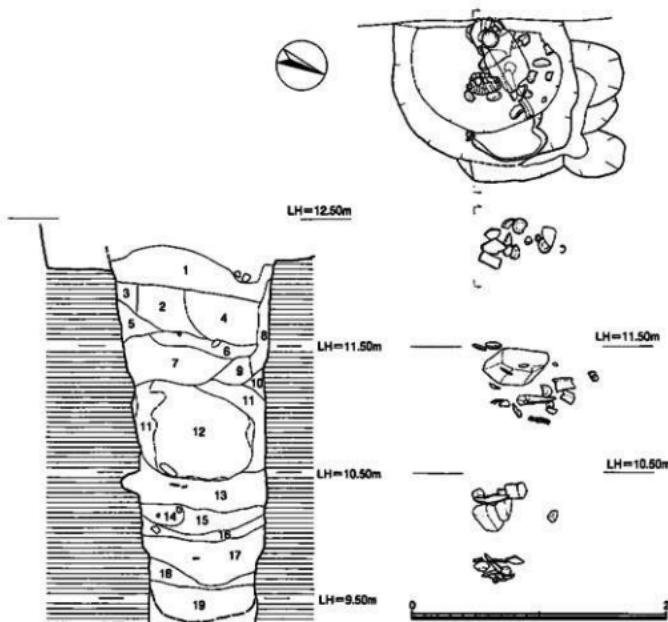


図51 379号井戸実測図 (1 / 40)

125号溝出土遺物 (図52: 1~15)

本荘地区で弥生時代の遺構として、初検出例となった。溝内からは、弥生時代前期の壺形土器・甕形土器・鉢形土器のほか、黒色磨研土器や条痕文粗製土器などの縄文土器が出土した。石器は打製石斧(15)がある。

30号溝出土遺物 (図52・53: 16~31・図58: 198~199・208・212)

古墳時代前期の古式土師器である。小型丸底壺・高壺・甕・鉢形土器がある。また、弥生時代前期の土器と縄文時代晩期の土器も出土している。

222号溝出土遺物 (図53・54: 32~61・図58: 196)

古墳時代前期の古式土師器である。有孔鉢形土器・器台・高壺・小型丸底壺・甕・直口壺?・二重口縁器・手握ねのミニチュア土器などがある。石器には、砥石(196)がある。また、弥生土器か、粗い条痕を入れた底部がある。

14号溝出土遺物 (図54・58: 62・213・221)

近世と思われる磁器片が出土している。また、溝の埋土からは古代の土師器や須恵器片も出土して

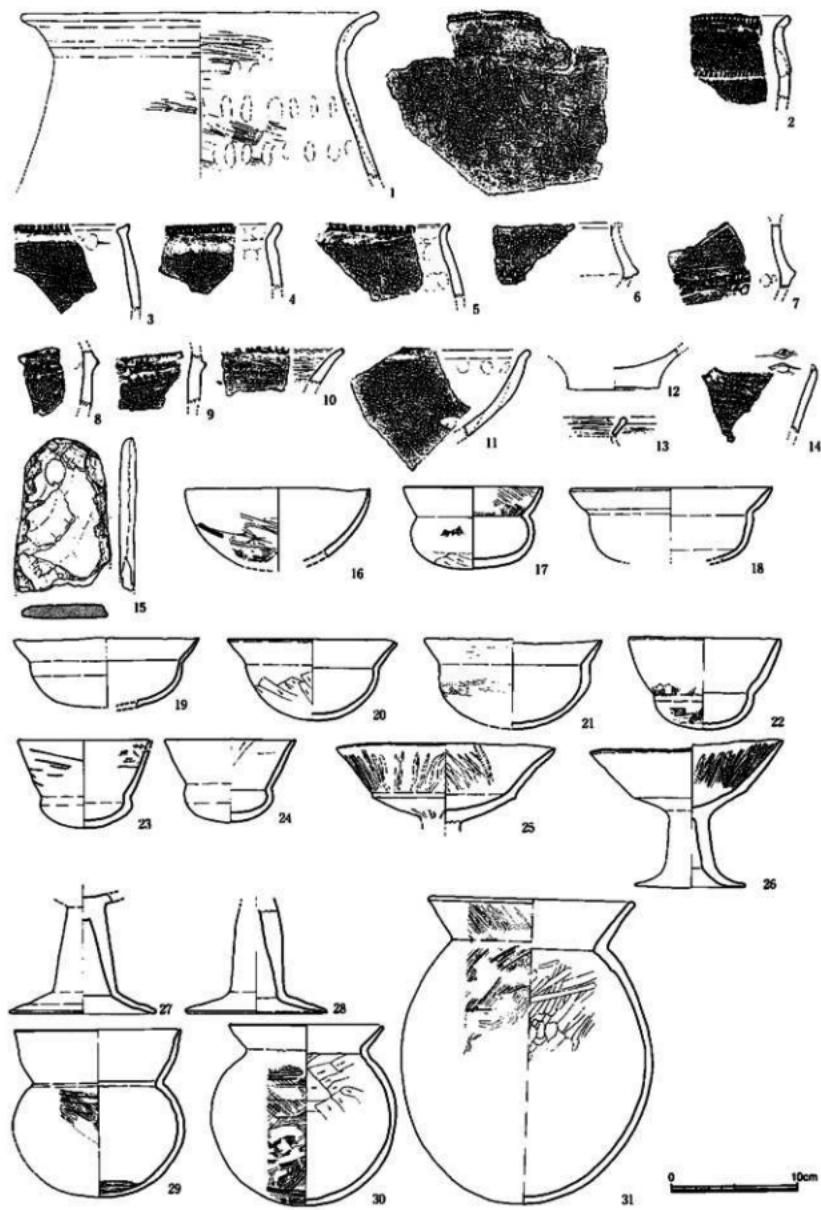


図52 0104調査地点出土遺物実測図1 (1 / 4・1 / 3)

3. (医病) 基幹・環境整備(共同作業設置)に伴う発掘調査(0104調査地点)

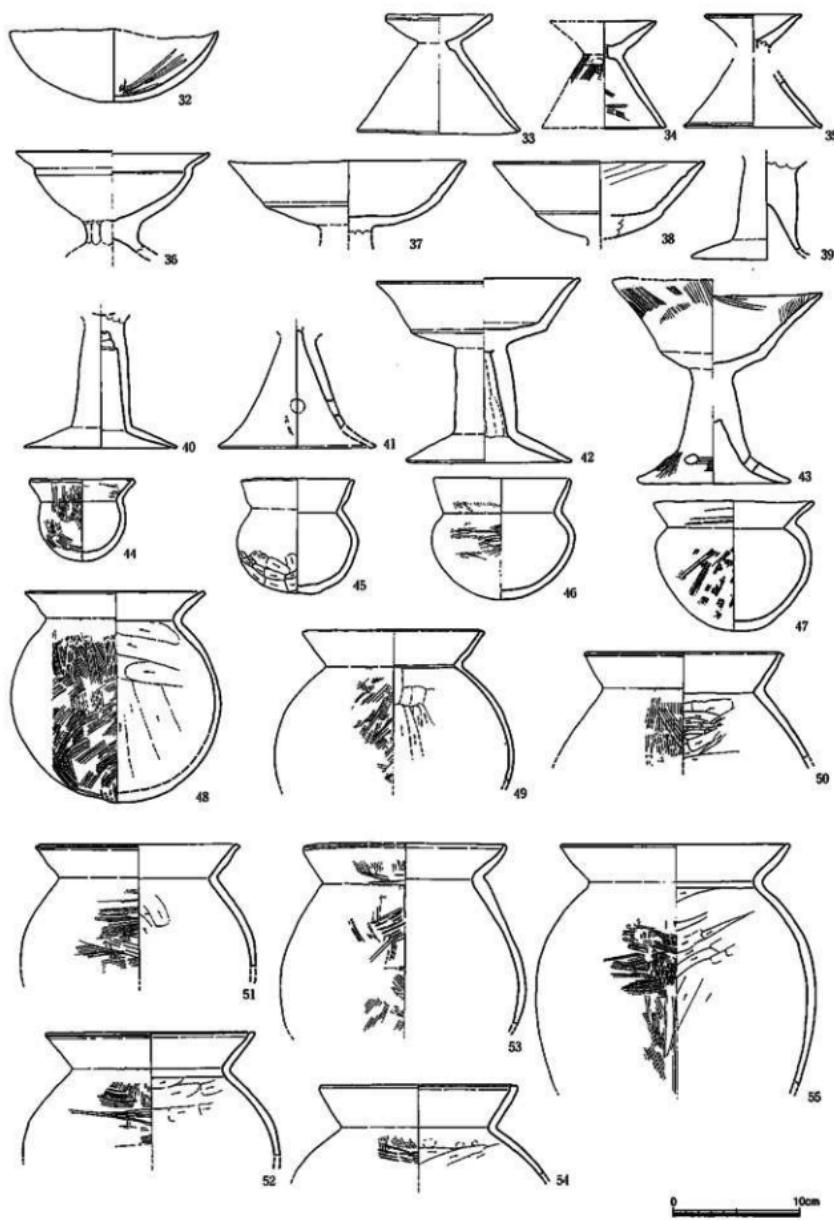


図53 0104調査地点出土遺物実測図 2 (1 / 4)

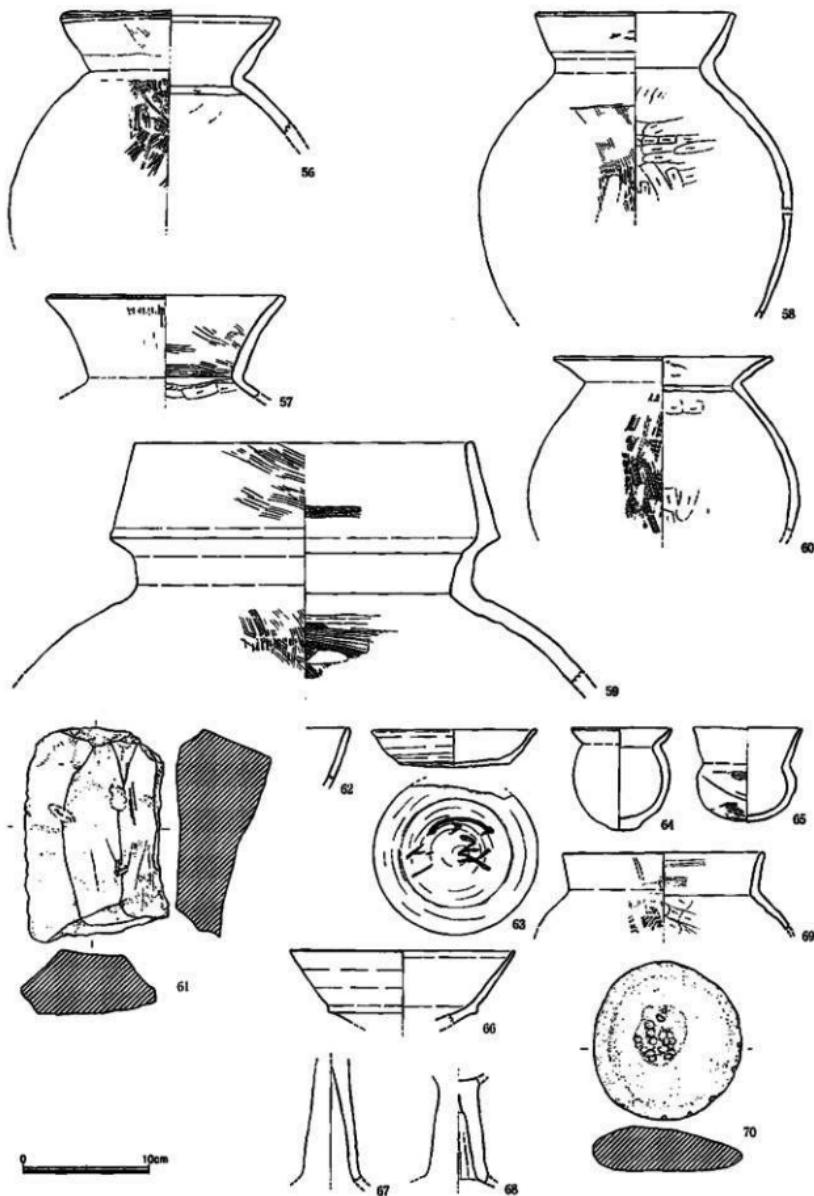


図54 0104調査地点出土遺物実測図3 (1 / 4)

3. (医病) 基幹・環境整備(共同溝設置)に伴う発掘調査(0104調査地点)

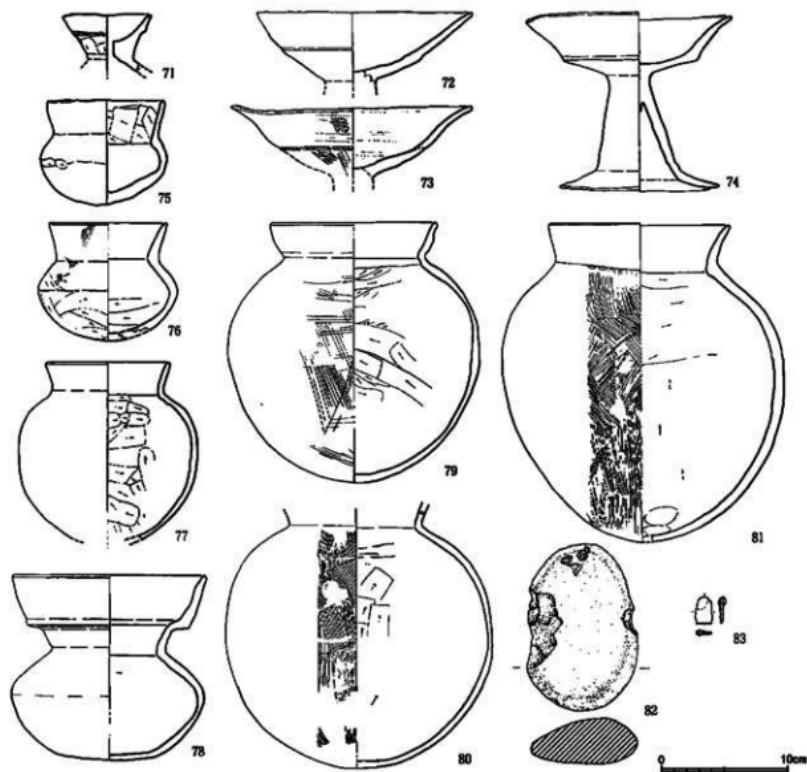


図55 0104調査地点出土遺物実測図4 (1 / 4)

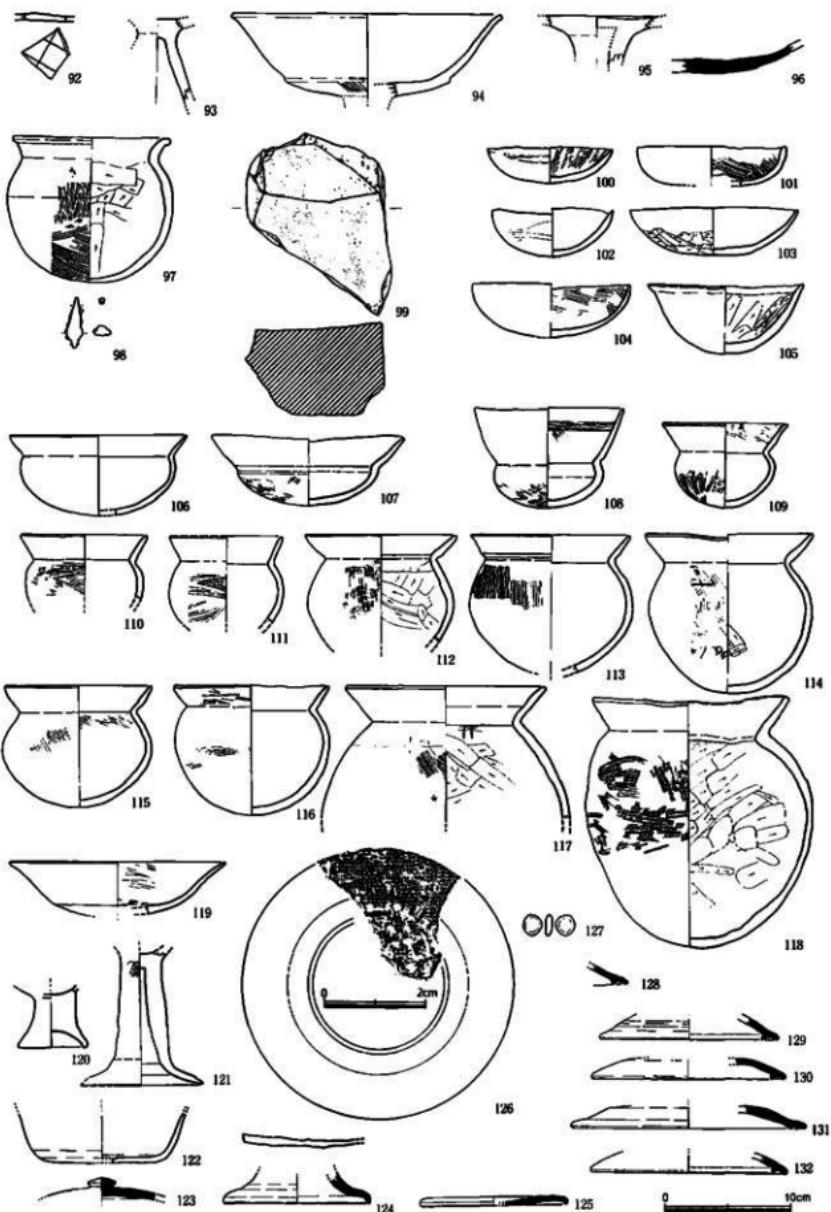


図56 0104調査地点出土遺物実測図 5 (1 / 4)

3. (医病) 基幹・環境整備(共同溝設置)に伴う発掘調査(0104調査地点)

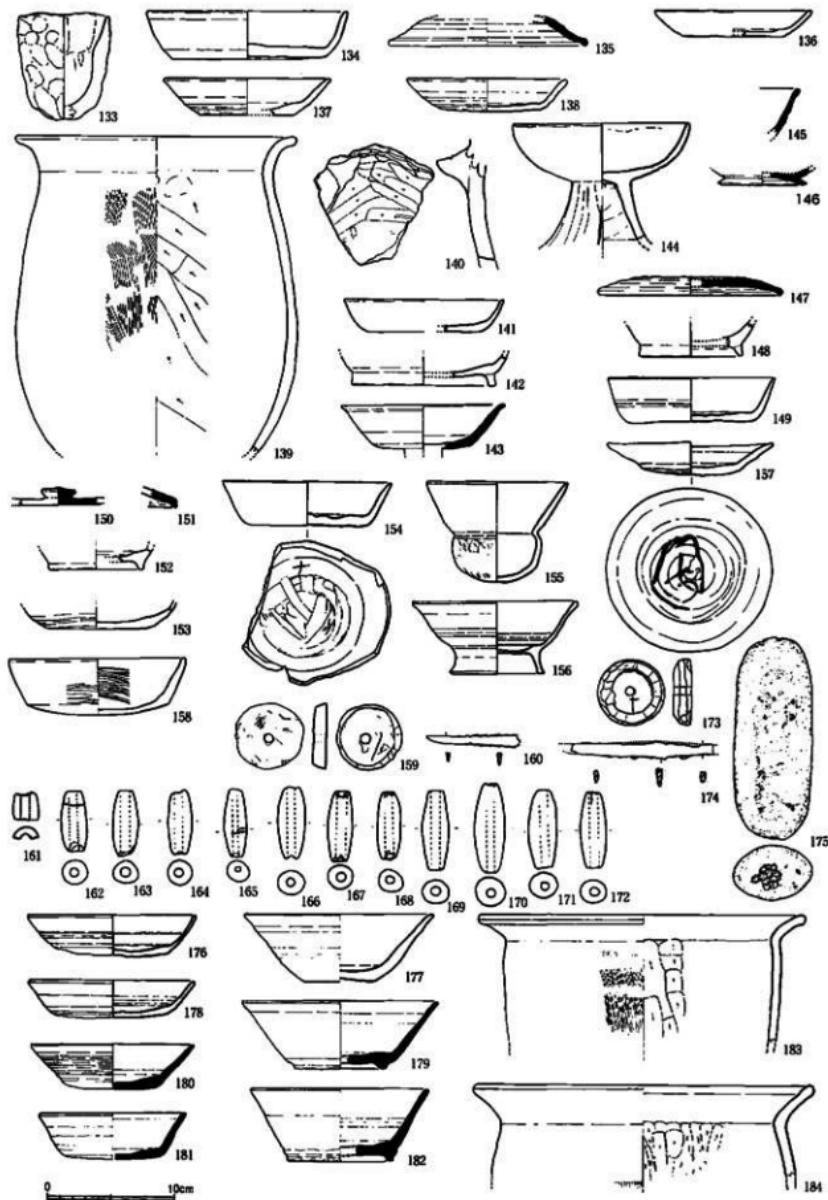


図57 0104調査地点出土遺物実測図6 (1 / 4)

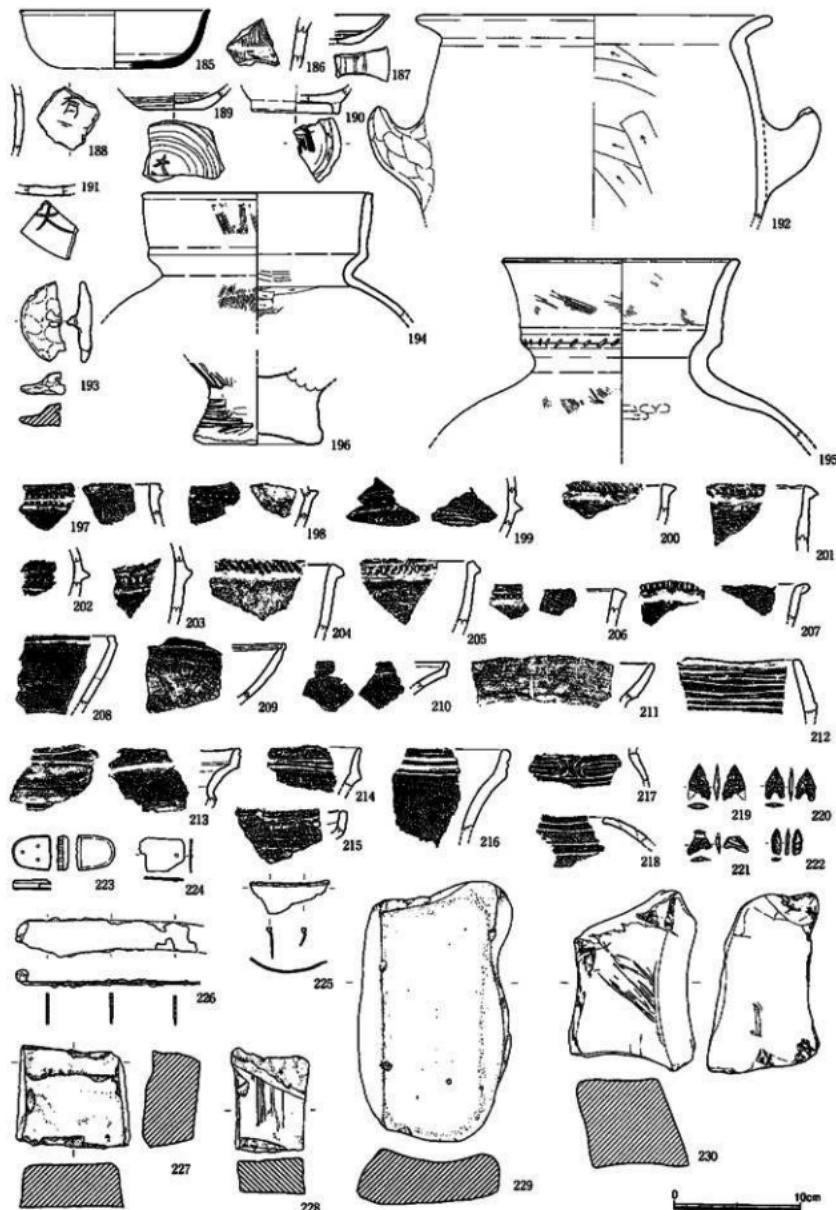


図58 0104調査地点出土遺物実測図7 (1 / 4)

いる。また、縄文土器（213）や石鎌（221）も出土している。

365号溝出土遺物（図54：63）

土師器壺が出土している。図示した土師器壺の底部には、墨書きがある。字は不鮮明で正確にはわからぬが、既往の調査で周辺から出土している墨書きには「安」の文字が多い。365号溝出土の土器も、ウ冠や「女」のように見える箇所があり、「安」の文字の可能性があると思われる。

古墳時代の竪穴住居址出土遺物（図54：64～図56：121）

図54：64～図56：121は、古墳時代の竪穴住居址出土の遺物である。いずれも古墳時代前期の布留式を主とする古式土師器が出土した。器種には、小型丸底壺・高壺・壺・器台・鉢形土器がある。土器以外では、223号竪穴住居址から磨石（82）が出土し、また鉄器？（83）も出土している。32号竪穴住居址からは鉄鎌（98）、404号竪穴住居址からは砥石（99）が出土している。

古代の竪穴住居址出土遺物（図56：122～155）

図56：122～図57：155までが、古代の竪穴住居址から出土した遺物である。7世紀末～9世紀代の土師器・須恵器が出土している。土器以外には、9号住居址から古墳時代の小型仿製鏡の破片（図56：126）が出土し、墓石（図56：127）も出土している。

1号掘立柱建物址出土遺物（図57：156～157）

1号掘立柱建物を構成する柱穴からは、それぞれ土師器片や須恵器片が出土しているが、144号柱穴からは、地鎮行為のためと思われる土師器の蓋・壺が出土した。蓋には鑑定によると「門方人」という墨書きが書かれている。中には小石が10数個納められていたが、これらには墨書き等の痕跡はなかった。

41・42号土坑出土遺物（図57：158～160）

41・42号土坑からは、土師器壺と土製紡錘車・刀子が出土した。

158は底部から腰折れぎみに立ちあがる壺であり、内外面とも研磨している。158は土製の紡錘車である。160は刀子の先端部の破片である。

204（253）号ピット出土遺物

204（253）号ピットからは、土製の漁網錐が12点出土した。最も短いもので4.3cm、最も長いもので7.1cmを測る。12点が固まった状態ではなく、数個ずつピット内に浮いた状況であった。

379号井戸出土遺物（図57・58：173～184）

井戸からは、古代の土師器や須恵器などの土器類や貝殻などの食物残滓と思われる自然遺物が出土した。遺物は各層で見られたが、ある程度集中して出土する傾向があり、何處か不用になったものをまとめて廃棄したり、あるいは井戸祭祀を行ったと考えられる。これらの土器には、時期差はみられなかった。土器以外の遺物で注目されたのは、12層は貝からなり、土囊約30袋分の量になった。調査室で水洗選別を行なったところ、7種類程の貝類があったほか、小動物の骨も検出された。最も多かった貝は、アサリに似たバカガイという貝である。また、亀の腹甲があり甲板が本来の配列通りに出土し、食に要してすぐに廃棄されたものと考えられる。

その他の遺構出土遺物（図58：185～230）

その他の遺構・包含層からの出土遺物中、ピックアップしたものを掲載した。図58：188～191は刻書や墨書き土器である。「大」「有」などが判読できる。図58：193は手捏ねの土製鏡である。周辺の9901調査地点でも出土例がある。197～218までは縄文土器である。後期後葉から晩期の土器である。223は蛇尾である。石製の飾りに銅板を貼り付けている。内部に繊維が残る。225は青銅製品である。

形状は不明であるが、ポールのような容器のようなものと思われる。このほか、鉄鎌・石鎌・砥石などが出土している。

(5)まとめ

1999年度の調査で病院敷地の北西側に古代の集落とともに、古墳時代前期の住居址群が確認され、先述した2000年度の0006調査地点では、これらの集落が敷地いっぱいまで広がり、良好な状態で遺存していることが確認されていた。これらの結果から、0104調査地点では密な遺構と遺物を検出することが予想され、その通りの調査結果を得た。

これまで述べてきたように、多くの遺構と遺物を検出し、9901調査地点と0006調査地点の間を埋め、また東西に広く遺構が存在することが確認できた。

今回の調査で注目されたものの一つは、125号溝と30号溝である。

125号溝は弥生時代前期の土器を伴出し、付近一帯での弥生時代の遺構としては、初の検出例となった。この溝の続きはのちに、2003年度の調査（0304調査地点）においても確認され、やはり弥生時代前期の土器資料を得ている。少なくとも、0304調査地点の状況からは、直線的に北西に走っていることが確認されたが、この溝が白川まで達していたか、その範囲は不明である。

30号溝は、流路が特異である。S字に曲がり、環濠の突出部のような屈曲を示している。屈曲も直線的に曲がる部分と緩くカーブを描くような部分がある。このような溝の例は、比較的面的な調査を実施してきた附属病院敷地内においても、他に例を見ないものである。9901調査地点では、弥生時代の溝は検出されておらず、調査区南側で、さらに方向を変えていると考えられる。このように屈曲を繰り返す溝は、通常の溝というより、周濠のような溝の機能を持っていた可能性があると考えられる。

このほか、222号溝でも遺物が多量に出土し、0119調査地点で続きを検出した。本調査地点では、222号溝から主に古墳時代前期の布留式を中心とする土器群が出土し、堆積状況から古墳時代前期に掘削されたものと考えていたが、0119調査地点で、弥生時代終末の壺や、庄内から布留式ごろの、これまでの古式土器の中では最も古い形式になる古墳時代初頭の甕が出土し、掘削の時期はこれまで考えていた時期より遅る可能性がある。

文中すでに記したが、この溝は上部を地山土に類似する土で覆われていた。0119調査地点も同様であり、遺構検出の際に掘削を少々躊躇させられた。古墳時代の223号竪穴住居址の埋土も、中央に地山に似た土が入っており、住居址を検出した当初は埋土の逆転現象に困惑した。この傾向は、0411調査地点でも見られ、古墳時代の住居址の上面一面に、これに類似する土が張り付けてあるようになり、やはり遺構の把握・掘削に若干の障害となつた。これら数例の積み重ねを概観すると、病院敷地内の古墳時代の遺構は、地山に類似する土で、意図的に封じられたようである。これが古墳時代前期以降、古墳時代に行われたものか、あるいは古代になって行われたものかは不明である。

古墳時代の集落の様子としては、竪穴住居址は白川を向き、9901調査地点同様に、切り合うことがほとんどないよう、一定の間隔をおいて造られていたようである。

古代には、7世紀後半から9世紀にかけての竪穴住居址や掘立柱建物址が造られるようになった。古墳時代の住居址同士の切り合いが無いのに対し、古代の住居址は重複が著しい。同じ場所で4~5軒（回）の建替が行われている。出土遺物も特異である。刻書・墨書き土器・蛇尾・ミニチュア土器など一般集落とは異なる居住者を想定させるものである。

0006調査地点・0104調査地点・0119調査地点の調査結果を総合すると、付近では縄文後期の遺物はあるが、遺構はまだ未検出である。遺構の構築という点では、今回検出した125号溝の例から、弥生

3. (医病) 基幹・環境整備（共同溝設置）に伴う発掘調査（0104調査地点）

時代の前期に土地の利用が見られる。しかし、溝を掘削したのみで、生活の場としての利用は見られない。既往の調査で遺構が検出されないほか、弥生時代の遺物がほとんど出土しないことからすれば、弥生時代の集落が存在した可能性は低いと考えられる。次に弥生時代終末から古墳時代前期に、一帯では集落が営まれるようになるが、前期以降は不明である。古代になると、再び集落が営まれるようになる。9901調査地点の南半は溝が数本走り、竪穴住居址や掘立柱建物は調査区北半に集中している。9901調査地点北半と0006・0104・0119調査地点までの南北約600mの間に、建物群が集中して築かれたようである。9901調査地点から800mほど南に位置する0509調査地点では、古墳時代・古代の集落を確認しているが、0509調査地点では掘立柱建物址と思われる遺構は1棟のみで、遺構の構成としては竪穴住居址に限られるといってよい。今後、本調査区と9901調査地点、0509調査地点の遺構や遺物を精査し、二つの集落の違いを明らかにすることが課題である。

表 8 0104調査地点出土遺物一覧表

番号	地名	種類(種類)	長さ(cm)	埋蔵状況	特徴	色 図	出土遺物	備考
52	1 休生土器	更	口径 28.0 底径 高さ	口縁部分	内：阿波ナガスコ 外：ハナ日吉形 ナガスコナガ ナガスコナガ ナガスコナガ ナガスコナガ	内：Hue IOVR 6 / 4 外：Hue IOVR 6 / 4	125号拂	
2	休生土器	深鉢型土器	口径 底径 高さ	口縁部分	内：ナガ 外：ナガ	内：Hue IOVR 6 / 6 外：Hue 7.SYR 6 / 4	125号拂	新日奈帶文
3	休生土器	深鉢型土器	口径 底径 高さ	口縁部分	内：ナガ、撒才 外：ナガ ナガ	内：Hue IOVR 4 / 2 外：Hue IOVR 3 / 2	125号拂	新日奈帶文
4	休生土器	深鉢型土器	口径 底径 高さ	口縁部分	内：ヨコナガ 撒才 ナガ	内：Hue IOVR 7 / 4 外：Hue IOVR 7 / 4	125号拂	新日奈帶文
5	休生土器	深鉢型土器	口径 底径 高さ	口縁部分	内：ヨコナガ、 撒才 ナガ	内：Hue 7.SYR 5 / 4 外：Hue 5 YR 5 / 4	125号拂	新日奈帶文
6	休生土器	深鉢型土器	口径 底径 高さ	刷毛部	内：ナガ、撒才 エサ ナガ	内：Hue IOVR 7 / 4 外：Hue IOVR 6 / 2	125号拂	新日奈帶文
7	休生土器	深鉢型土器	口径 底径 高さ	刷毛部	内：ナガ ヨコナガ ナガ	内：Hue 7.SYR 5 / 6 外：Hue 5 YR 5 / 4	125号拂	新日奈帶文
8	休生土器	深鉢型土器	口径 底径 高さ	刷毛部	内：ナガ ヨコナガ、ハ ケナガナガ ナガ	内：Hue 7.SYR 5 / 4 外：Hue 7.SYR 5 / 3	125号拂	新日奈帶文
9	休生土器	深鉢型土器	口径 底径 高さ	刷毛部	内：ナガ、撒才 エサ ナガ	内：Hue IOVR 6 / 3 外：Hue 7.SYR 5 / 4	125号拂	新日奈帶文
10	休生土器	深鉢型土器	口径 底径 高さ	口縁部分	内：ハナヨコ 外：ハラヨコ	内：Hue IOVR 5 / 3 外：Hue IOVR 5 / 3	125号拂	新日奈帶文
11	鶴文土器	浅鉢	口径 底径 高さ	口縁部分	内：ナガ、撒才 エサ ナガ、ヨコナガ	内：Hue 5 YR 4 / 6 外：Hue 7.SYR 5 / 6	125号拂	
12	鶴文土器	深鉢型土器	口径 底径 高さ	底部のみ	内：ナガ、撒才 エサ、撒才、ヨコナガ	内：Hue 2.SY 7 / 2 外：Hue IOVR 8 / 2	125号拂	内底部スス付着
13	鶴文土器	浅鉢	口径 底径 高さ	口縁部分	内：撒才 外：撒才	内：Hue NL 5 / 0 外：Hue NL 5 / 0	125号拂	黒色研磨
14	鶴文土器	深鉢型土器	口径 底径 高さ	口縁部分	内：横ナガ 外：横ナガ	内：Hue IOVR 6 / 4 外：Hue IOVR 5 / 3	125号拂	口縁部付近に灰垢
15	石器	石斧	長さ 12.15 幅 7.05 厚さ 1.4	万那久前			125号拂	重量 183g 線色片刃
16	土器器	浅鉢	口径 14.5 底径 高さ	ほぼ完形	内：阿波ナガ 撒才 ナガ	内：Hue 5 YR 5 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	30号拂	口縁部付近にスス付着
17	土器器	小型丸底壺	口径 11.1 底径 高さ 6.5	ほぼ完形	内：阿波ナガ、ハナ 日吉、ヘタナ ナガ、撒才、ヘ タナ、ヨコナガ	内：Hue IOVR 7 / 3 外：Hue IOVR 7 / 3	30号拂	内外面に黒斑
18	土器器	浅鉢	口径 16.0 底径 高さ	1 / 3	内：ナガ 外：ナガ	内：Hue IOVR 6 / 4 外：Hue IOVR 7 / 4	30号拂	内外面にスス付着
19	土器器	浅鉢	口径 14.6 底径 高さ 5.8	ほぼ完形	内：ナガ 外：ナガ	内：Hue IOVR 6 / 6 外：Hue IOVR 6 / 4	30号拂	
20	土器器	浅鉢	口径 13.3 底径 高さ 6.4	ほぼ完形	内：阿波ナガ、撒 才、ヨコナガ ナガ、ヨコナガ	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 7 / 6	30号拂	
21	土器器	浅鉢	口径 14.2 底径 高さ 7.1	ほぼ完形	内：阿波ナガ、 撒才、ヨコナガ ナガ、ヨコナガ	内：Hue 2.SY 7 / 4 外：Hue 2.SY 7 / 3	30号拂	内外面に黒斑
22	土器器	小型丸底壺	口径 12.0 底径 高さ 7.2	ほぼ完形	内：阿波ナガ、 撒才、ヨコナガ ナガ、ヨコナガ	内：Hue IOVR 7 / 4 外：Hue 2.SYR 7 / 6	30号拂	
23	土器器	小型丸底壺	口径 10.5 底径 高さ 7.0	ほぼ完形	内：横ナガ、ハ ケ日、撒才 外：撒才	内：Hue IOVR 7 / 4 外：Hue IOVR 7 / 4	30号拂	内面にスス付着
24	土器器	小型丸底壺	口径 10.5 底径 高さ 6.6	ほぼ完形	内：阿波ナガ、撒 才、ヨコナガ ナガ、ヨコナガ	内：Hue IOVR 7 / 6 外：Hue IOVR 7 / 6	30号拂	内外面部に黒斑・スス付着
25	土器器	高坏	口径 17.4 底径 高さ	1 / 2	内：阿波ナガ、ハ ケ日、撒才 外：阿波ナガ、ハ ケ日	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 7.SYR 7 / 6	30号拂	内外面にスス付着
26	土器器	高坏	口径 15.3 底径 高さ 11.9	ほぼ完形	内：阿波ナガ、 撒才、ヨコナガ ナガ、ヨコナガ	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	30号拂	外面に吹きこぼれ
27	土器器	高坏	口径 11.5 底径 高さ	1 / 2	内：阿波ナガ、 撒才、ヨコナガ ナガ、ヨコナガ	内：Hue 7.SYR 6 / 6 外：Hue 7.SYR 6 / 6	30号拂	内外面に黒斑
28	土器器	高坏	口径 11.2 底径 高さ	1 / 2	内：阿波ナガ、 撒才、ヨコナガ ナガ、ヨコナガ	内：Hue IOVR 7 / 4 外：Hue IOVR 7 / 4	30号拂	内外面に黒斑
29	土器器	小型丸底壺	口径 13.1 底径 高さ 13.4	1 / 3	内：阿波ナガ、 撒才、ヨコナガ ナガ、ヨコナガ	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	30号拂	外面部に黒斑

3. (医病) 基幹・環境整備(共同溝設置)に伴う発掘調査(0104調査地点)

図	番号	地物	埋蔵(断面)	高さ(cm)	検査量	特徴	色	出土遺物	備考
52	30	土器器	小形丸底壺	12.1 口径 底径 器高	14.3	充てん	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	30号窓 外側に吹きこぼれ
	31	土器器	壺	16.3 口径 底径 器高	24.3	3 / 4	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	30号窓 外側面にスス付着
53	32	土器器	浅杯	16.6 口径 底径 器高	5.7	ほぼ充てん	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 7 / 4	222号窓 外側面に吹きこぼれ 外側にスス付着
	33	土器器	器台	8.4 口径 底径 器高	9.8	充てん	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	222号窓
34	34	土器器	器台	8.4 口径 底径 器高	9.5	1 / 2	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 2.5YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	222号窓 外側面にスス付着
	35	土器器	器台	7.7 口径 底径 器高	10.9	2 / 3	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 7.5YR 7 / 6 外: Hue 7.5YR 7 / 6	222号窓 外側面にスス付着
36	36	土器器	壺	15.2 口径 底径 器高	17.2	1 / 2	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 8 / 4	222号窓 外側面にスス付着
	37	土器器	高壺	18.8 口径 底径 器高	19.8	1 / 2	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 7.5YR 6 / 6	222号窓 外側に黒斑
38	38	土器器	高壺	16.7 口径 底径 器高	17.7	1 / 4	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	222号窓 外側にスス付着
	39	土器器	高壺	15.2 口径 底径 器高	17.2	1 / 4	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 7 / 6	222号窓
40	40	土器器	高壺	12.2 口径 底径 器高	14.2	1 / 2	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 7.5YR 6 / 4	222号窓 外側にスス付着
	41	土器器	高壺	12.4 口径 底径 器高	14.4	1 / 4	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 5 YR 5 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	222号窓 底部に穿孔(3ヶ所)
42	42	土器器	高壺	16.2 口径 底径 器高	13.1 14.8	1 / 2	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	222号窓 外側にスス付着
	43	土器器	高壺	16.7 口径 底径 器高	12.2 16.3 莎草	3 / 4	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 7.5YR 5 / 6	222号窓 内側にスス付着 底部に穿孔(3ヶ所)
44	44	土器器	小型壺	8.8 口径 底径 器高	6.5	充てん	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 10YR 6 / 3 外: Hue 10YR 6 / 4	222号窓 外側に黒斑 内側にスス付着
	45	土器器	小型丸底壺	8.9 口径 底径 器高	9.2	充てん	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 7 / 4	222号窓 外側面にスス付着
46	46	土器器	小型丸底壺	10.7 口径 底径 器高	9.7	充てん	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	222号窓 外側面にスス付着
	47	土器器	小型丸底壺	12.8 口径 底径 器高	10.3	ほぼ充てん	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 7 / 4	222号窓 外側に黒斑
48	48	土器器	壺	14.2 口径 底径 器高	16.6	充てん	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 10YR 7 / 6 外: Hue 10YR 7 / 4	222号窓 外側面にスス付着・吹きこぼれ
	49	土器器	壺	14.5 口径 底径 器高	15.5	口縁部片	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 10YR 7 / 4	222号窓 外側全体にスス付着
50	50	土器器	壺	15.8 口径 底径 器高	16.0	口縁部片	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	222号窓 内側に黒斑 外側にスス付着
	51	土器器	壺	16.0 口径 底径 器高	16.0	口縁部片	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 7.5YR 5 / 6 外: Hue 7.5YR 5 / 4	222号窓 内側に黒斑
52	52	土器器	壺	16.4 口径 底径 器高	16.4	口縁部片	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 6	222号窓 外側面に波状波紋(1箇) 外側面にスス付着
	53	土器器	壺	14.5 口径 底径 器高	14.5	1 / 3	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 10YR 7 / 6 外: Hue 10YR 7 / 4	222号窓 外側面にスス付着
54	54	土器器	壺	15.7 口径 底径 器高	15.7	口縁部片	内: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り 外: 回転ナガ, 菊ナガ, 刻り	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 7 / 4	222号窓 外側に黒斑

番号	遺物	種類(特徴)	地層(cm)	横 垂 直	特 徴	色 調	出土場所	備考
53	土師器	壺	口径 底径 肩高	18.2 17.5 19.1	1 / 4	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	Hue 10YR 8 / 4 Hue 10YR 6 / 4 Hue 10YR 7 / 3 Hue 10YR 7 / 4 Hue 2.5Y 6 / 4 Hue 2.5Y 6 / 4 Hue 7.5YR 8 / 4 Hue 10YR 8 / 4 Hue 10YR 6 / 3 Hue 10YR 6 / 4	222号縄 外側にスス付有
54	土師器	壺	口径 底径 肩高	17.5	1 / 3	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	222号縄 内面に黒斑 外側にスス付有	
57	土師器	壺	口径 底径 肩高	16.3	口縁部分	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	222号縄 内外面にスス付有	
58	土師器	壺	口径 底径 肩高	22.2	口縁部分	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	222号縄 内外面にスス付有	
59	土師器	壺	口径 底径 肩高	17.5	口縁部分	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	222号縄 内外面に黒斑・スス付有	
60	土師器	壺	口径 底径 肩高	11.6 7.8 7.8	口縁部分	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	222号縄 燒きひら 外側にスス付有	
61	石器	砾石	底面 側面 厚さ					重畠 100kg PLJ. ソウ
62	船形	壺	口径 底径 肩高		口縁部分	内： 外：	にぶい黄褐色の底面に透 明感有	14号縄
63	土師器	壺	口径 底径 肩高	13.2 11.6 3.1	ほぼ完形	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	Hue 5 YR 6 / 6 Hue 5 YR 6 / 6	365号縄 「安」7・屋敷 赤色化粧土
64	土師器	壺	口径 底径 肩高	8.0 2.4 8.1	2 / 3	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	Hue 2.5Y 6 / 3 Hue 2.5Y 5 / 3	208号堅穴住居址 外側にスス付有
65	土師器	小烈丸底壺	口径 底径 肩高	8.7 7.5 7.5	完形	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	Hue 5 YR 6 / 6 Hue 5 YR 6 / 6	208号堅穴住居址 外側に黒斑
66	土師器	高壺	口径 底径 肩高	18.0	口縁部分	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	Hue 7.5YR 7 / 6 Hue 7.5YR 7 / 6	208号堅穴住居址
67	土師器	高壺	口径 底径 肩高		四部1 / 2	内：陶ナダ、削 外：陶ナダ、削	Hue 5 YR 5 / 6 Hue 5 YR 6 / 6	208号堅穴住居址
68	土師器	高壺	口径 底径 肩高		四部1 / 2	内：陶ナダ、削 外：陶ナダ、削 内：陶ナダ、削 外：陶ナダ、削 内：陶ナダ、削 外：陶ナダ、削	Hue 7.5YR 8 / 4 Hue 7.5YR 5 / 4	208号堅穴住居址
69	土師器	壺	口径 底径 肩高	16.3	口縁部分	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	Hue 7.5YR 7 / 6 Hue 7.5YR 8 / 6	208号堅穴住居址 外側にスス付有
70	石器	砾石	底面 側面 厚さ	12.8 11.9 3.6				208号堅穴住居址 重量 800kg 安山岩
55	71	土師器	脛台	7.0	1 / 3	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	Hue 10YR 7 / 4 Hue 10YR 7 / 4	223号堅穴住居址
72	土師器	高壺	口径 底径 肩高	17.0	1 / 4	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	Hue 5 YR 6 / 6 Hue 5 YR 6 / 6	223号堅穴住居址 内面に黒斑
73	土師器	高壺	口径 底径 肩高	19.1	1 / 2	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	Hue 2.5YR 7 / 6 Hue 2.5YR 7 / 6	223号堅穴住居址 内面にスス付有
74	土師器	高壺	口径 底径 肩高	16.4 12.7 14.4	ほぼ完形	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	Hue 10YR 7 / 6 Hue 10YR 7 / 6	223号堅穴住居址
75	土師器	小烈丸底壺	口径 底径 肩高	9.2 8.4 8.4	完形	内：陶ナダ、削 外：陶ナダ、削	Hue 7.5YR 6 / 6 Hue 10YR 6 / 4	223号堅穴住居址 内外面にスス付有
76	土師器	小烈丸底壺	口径 底径 肩高	9.3 8.4 9.4	2 / 3	内：陶ナダ、削 外：陶ナダ、削 内：陶ナダ、削 外：陶ナダ、削	Hue 10YR 7 / 6 Hue 10YR 7 / 6	223号堅穴住居址 外側にスス付有
77	土師器	小烈丸底壺	口径 底径 肩高	9.8 14.5 14.5	1 / 2	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	Hue 5 YR 6 / 6 Hue 7.5YR 7 / 8	223号堅穴住居址 外側にスス付有
78	土師器	二重口縁壺	口径 底径 肩高	15.2 7.1 14.6	完形	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	Hue 10YR 7 / 4 Hue 7.5YR 7 / 6	223号堅穴住居址
79	土師器	壺	口径 底径 肩高	13.3 20.7	2 / 3	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	Hue 5 YR 6 / 6 Hue 5 YR 6 / 6	223号堅穴住居址 内面に黒斑 内面にスス付有
80	土師器	壺	口径 底径 肩高	14.4 14.6 25.4	3 / 4	内：ヘラ削り直 ナダ、削 外：陶軸ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：陶軸ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：陶軸ナダ、糊	Hue 10YR 6 / 4 Hue 7.5YR 7 / 2	224号堅穴住居址 内面にスス付有
81	土師器	壺	口径 底径 肩高		ほぼ完形	内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊 内：陶軸ナダ、削 外：泥付ナダ、糊	Hue 10YR 7 / 6 Hue 10YR 8 / 4	223号堅穴住居址 内面に黒斑 外側にスス付有

3. (医病) 基幹・環境整備 (共同溝設置) に伴う発掘調査 (0104調査地点)

図	番号	遺物	種類(形態)	通量(cm)	発 導 量	特 徴	色 国	出土遺物	書 号	
55	82	石斧	磨石	長さ 13.2 幅 8.7 厚さ 3.6				22号竪穴住居址	重量572g 長山岩	
	83	鉄鋤	不明鋤部	長さ 2.15 幅 1.4 厚さ 0.23	完形?			22号竪穴住居址	重量1.4g	
84	土師器	高杯	口縁底接 高杯	15.0	口縁断片	内: 調査ナガ 外: 四面ナガ、 刃あり	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	378号竪穴住居址		
85	土師器	高杯	口縁底接 高杯		調査1/2	内: 調査ナガ、削り 外: 調査ナガ、削り	内: Hue 10YR 7 / 6 外: Hue 10YR 6 / 6	378号竪穴住居址		
86	土師器	小型丸底壺	口縁底接 高杯		1 / 2	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 10YR 7 / 6	378号竪穴住居址	外側に黒斑	
87	土師器	小型丸底壺	口縁底接 高杯	10.5	1 / 2	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 2.5YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	378号竪穴住居址	内外面スス付有	
88	土師器	高杯	口縁底接 高杯	16.9 11.1 12.5	はは芯形	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 7.5YR 7 / 6 外: Hue 7.5YR 7 / 4	378号竪穴住居址	外側にスス付有	
89	土師器	高杯	口縁底接 高杯	14.1	調査2/3	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 7.5YR 7 / 6	378号竪穴住居址		
90	土師器	高杯	口縁底接 高杯	12.0	調査2/3	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 10YR 7 / 6 外: Hue 7.5YR 7 / 6	378号竪穴住居址		
91	土師器	小型丸底壺	口縁底接 高杯	10.1 12.0	1 / 2	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 2.5YR 7 / 6 外: Hue 10YR 7 / 4	378号竪穴住居址	内側に黒斑 外側にスス付有	
56	92	土師器	不明		底断片	内: 調査ナガ	内: Hue 2.5YR 5 / 6 外: 調査ナガ	385号竪穴住居址	外側にヘラ記号? 赤色化粧土	
	93	土師器	高杯		底断片	内: 調査ナガ、削り	内: Hue 10YR 5 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	385号竪穴住居址		
	94	土師器	高杯	23.6		内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 2.5YR 5 / 8 外: 調査ナガ	384号竪穴住居址		
	95	土師器	高杯			内: ナガ	内: Hue 5 YR 5 / 6 外: 調査ナガ	276号竪穴住居址	赤色底料	
	96	鐵鋤	刃			内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 7.5Y 5 / 1 外: 調査ナガ	32号竪穴住居址		
	97	土師器	小型丸底壺	12.4 11.7	1 / 2	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 10YR 6 / 3 外: Hue 2.5YR 5 / 6	32号竪穴住居址	外側面にスス付有	
	98	鉄鋤	長さ 4.5 幅 1.3 厚さ 0.75	11.0	完形?			32号竪穴住居址	重量3.1g	
	99	石器	石斧	長さ 14.6 幅 11.4 厚さ 2.4				404号竪穴住居址	重量1000g以上 砂岩	
	100	土師器	浅杯	口縁底接 高杯	10.0	はは芯形	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり		404号竪穴住居址	外側面にスス付有
101	土師器	浅杯	口縁底接 高杯	11.9 8.0	1 / 4	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 2.5Y 6 / 3 外: 調査ナガ	404号竪穴住居址	内側にスス付有	
102	土師器	浅杯	口縁底接 高杯	9.6 3.8	11.0	完形?	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 2.5Y 5 / 3 外: 調査ナガ	404号竪穴住居址	外側に黒斑
103	土師器	浅杯	口縁底接 高杯	13.2 3.8	1 / 4	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 7.5YR 5 / 6 外: 調査ナガ、削 刃あり	404号竪穴住居址		
104	土師器	浅杯	口縁底接 高杯	12.3 4.3	11.0	はは完形?	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 7.5YR 6 / 6	404号竪穴住居址	内外面に黒斑
105	土師器	浅杯	口縁底接 高杯	12.4 5.5		完形	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 2.5Y 7 / 4 外: Hue 2.5Y 7 / 4	404号竪穴住居址	
106	土師器	小型丸底壺	口縁底接 高杯	14.0 6.5	口縁断片	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 5 YR 5 / 6 外: Hue 7.5YR 6 / 6	404号竪穴住居址		
107	土師器	小型丸底壺	口縁底接 高杯	15.3 5.6	完形	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	404号竪穴住居址		
108	土師器	小型丸底壺	口縁底接 高杯	11.9 8.0	11.0	完形?	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	404号竪穴住居址	外側面にスス付有
109	土師器	小型丸底壺	口縁底接 高杯	10.0 6.8	11.0	完形?	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 10YR 7 / 4	404号竪穴住居址	吹きこぼれ
110	土師器	小型丸底壺	口縁底接 高杯	10.0	口縁断片	内: 調査ナガ、削 外: 調査ナガ、削 刃あり	内: Hue 10YR 5 / 6 外: Hue 7.5YR 6 / 6	404号竪穴住居址	外側に巻きむら	

回	番号	遺物	種類(形態)	基盤(cm)	残存量	特徴	色 国	出土遺構	目 次	
									内	外
56	111	土器部	小型丸底盤	口径 9.0 底径 8.7	口縁部	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue IOYR 8 / 4 外：Hue IOYR 8 / 4	404号竪穴住居址		
	112	土器部	小型丸底盤	口径 12.0 底径 11.5	1 / 4	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue IOYR 8 / 3 外：Hue IOYR 8 / 3	404号竪穴住居址		
113	土器部	小型丸底盤	口径 12.6 底径 12.0	1 / 4	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue IOYR 7 / 4 外：Hue IOYR 7 / 6	404号竪穴住居址		外側全周にスス付着	
	114	土器部	小型丸底盤	口径 13.3 底径 12.6	口縁部	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue IOYR 7 / 4 外：Hue IOYR 7 / 3	404号竪穴住居址	外側S付着	
115	土器部	小型丸底盤	口径 11.5 底径 9.6	完形	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue IOYR 7 / 6 外：Hue IOYR 7 / 4	404号竪穴住居址	内外面に黒斑 外側に吹きこぼれ 隙間に浮き		
	116	土器部	小型丸底盤	口径 12.3 底径 10.4	口縁部	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue IOYR 6 / 4 外：Hue 7.SYR 7 / 4	404号竪穴住居址	外側面にスス付着	
117	土器部	甕	口径 16.0 底径 15.9	口縁部	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue 2.SYR 7 / 4 外：Hue 2.SYR 6 / 3	404号竪穴住居址	外側面にスス付着		
	118	土器部	甕	口径 15.7 底径 15.9	完形	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue IOYR 8 / 4 外：Hue IOYR 7 / 3	404号竪穴住居址	外側全周にスス付着	
119	土器部	高杯	口径 17.0 底径 16.5	口縁部	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue 7.SYR 7 / 4 外：Hue 7.SYR 7 / 6	404号竪穴住居址	吹きむら		
	120	土器部	高杯	口径 5.4	1 / 2	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue IOYR 6 / 3 外：Hue IOYR 6 / 3	404号竪穴住居址		
121	土器部	高杯	口径 10.7 底径 10.0	1 / 2	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue IOYR 7 / 4 外：Hue IOYR 7 / 4	404号竪穴住居址	外側面にスス付着		
	122	土器部	甕	口径 9.4 底径 8.8	1 / 5	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue 7.SYR 6 / 5 外：Hue 7.SYR 6 / 6	9号竪穴住居址カマ		
123	埴輪部	像	口径 底径 高さ	5.4		内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue 5.Y 6 / 1 外：Hue 5.Y 6 / 1	9号竪穴住居址		
	124	埴輪部	高杯	口径 底径 高さ	11.6	口縁部	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue IOBG 4 / 1 外：Hue IOBG 4 / 1	9号竪穴住居址	
125	埴輪部	甕	口径 底径 高さ	11.8	口縁部	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue IOYR 2 / 1 外：Hue IOYR 2 / 1	9号竪穴住居址		
	126	骨頭部	小型削削頭	口径 5.4 底径 5.1	1 / 8		縦縫合	9号竪穴住居址	重量3.2g	
127	石製品	滑石	口径 底径 高さ	0.16 1.45 0.35				9号住居址	重量1.8g	
	128	埴輪部	像	口径 底径 高さ	14.2	口縁部	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue 7.SYR 6 / 0 外：Hue 7.SYR 6 / 0	9号竪穴住居址	外側に自然地付着
129	埴輪部	像	口径 底径 高さ	15.4	口縁部	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue 5.Y 4 / 1 外：Hue IOYR 2 / 1	9号竪穴住居址	外側に自然地付着	
	130	埴輪部	像	口径 底径 高さ	16.6	口縁部	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue IOY 5 / 1 外：Hue IOY 5 / 1	9号竪穴住居址	
131	埴輪部	像	口径 底径 高さ	15.6	口縁部	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue 5.Y 4 / 1 外：Hue 5.Y 4 / 1	9号竪穴住居址	外側に自然地付着	
	132	埴輪部	像	口径 底径 高さ	22.1	口縁部	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue 2.SYR 5 / 1 外：Hue N 5 / 0	9号竪穴住居址	
57	133	手耕工具	不明	口径 7.0 底径 8.7	1 / 3	内：ナメ 外：ナメ、擦水 エンド	内：Hue IOYR 6 / 4 外：Hue 7.SYR 7 / 4	15号竪穴住居址	外側に吹きむら	
	134	土器部	甕	口径 15.8 底径 12.3 高さ 3.8	4 / 5	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue IOYR 8 / 1 外：Hue IOYR 7 / 6	31号竪穴住居址		
135	埴輪部	像	口径 底径 高さ	15.7	口縁部	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue IOYR 7 / 3 外：Hue 7.SYR 6 / 3	36号竪穴住居址		
	136	土器部	打明器	口径 12.5 底径 8.2 高さ 2.15	約 1 / 3	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue 2.SYR 5 / 8 外：Hue 7.SYR 7 / 6	36号竪穴住居址	内側に赤色顔料 外側にスス付着	
137	土器部	甕	口径 底径 高さ	15.2 7.5 3.9	1 / 6	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue 5.Y 6 / 6 外：Hue IOYR 7 / 4	36号竪穴住居址		
	138	土器部	甕	口径 12.7 底径 2.2	完形	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue 2.SYR 6 / 8 外：Hue 5.Y 6 / 8	36号竪穴住居址		
139	土器部	甕	口径 底径 高さ	22.1	1 / 4	内：陶板子、厚 外：陶板子、厚	内：Hue IOYR 6 / 4 外：Hue IOYR 7 / 4	29号竪穴住居址	外側にスス付着	

3. (医病) 基幹・環境整備(共同溝設置)に伴う発掘調査(0104調査地点)

図	番号	遺物	種類(形態)	法面(cm)	規 容 量	特 徴	色 国	出土遺物	番 号
57	140	土製品	移動式瓶	底径 9.5 高さ 5.5 幅厚 4.1	網部片	内:ナメ、脂付 外:ナメ 削り	内:Huе 7.SYR 4 / 2 外:Huе 7.YR 6 / 6	29号堅穴住居跡	内面にスス付着
	141	土師器	壺	口径 12.6 底径 9.0 高さ 2.55	1 / 3	内:陶板ナメ 外:陶板ナメ、網 部、削り	内:Huе 2.SYR 5 / 6 外:Huе 5.YR 4 / 6	307号堅穴住居址	見込みに指標押圧 赤色顔料
	142	土師器	壺	口径 11.4 底径 11.4 高さ 13.0	底部片	内:陶板ナメ、不 定形、陶板ナメ 外:陶板ナメ、網 部、削り	内:Huе 5.YN 5 / 6 外:Huе 7.SYR 7 / 4	323号堅穴住居址	底部網部へ切り落とし粘付
	143	漆漆器	高杯	口径 14.0 底径 13.5 高さ 7.0	杯部 1 / 4	内:陶板ナメ 外:陶板ナメ、網 部、削り	内:Huе 2.SYR 7 / 1 外:Huе 2.SYR 7 / 2	323号堅穴住居址	
	144	土師器	壺	口径 14.0 底径 13.5 高さ 7.0	質部一部欠損	内:陶板ナメ、削 り、脂付、削り	内:Huе 2.SYR 5 / 8 外:Huе 10YR 7 / 4	386号堅穴住居址	内外面に赤色顔料
	145	漆漆器	壺	口径 8.2 底径 8.2	底部片	内:陶板ナメ 外:陶板ナメ	内:Huе 5.Y 7 / 1 外:Huе 5.Y 7 / 1	99号堅穴住居址	
	146	漆漆器	壺	口径 8.2 底径 8.2 高さ 7.0	底部片	内:陶板ナメ 外:陶板ナメ、削 り	内:Huе 5.Y 4 / 1	109号堅穴住居址	外部高台に自然転付着
	147	漆漆器	壺	口径 14.6 底径 13.5 高さ 1.5	1 / 2	内:陶板ナメ、削 り、陶板ナメ、削 り	内:Huе 7.SYR 8 / 1 外:Huе 5.Y 7 / 1	368号堅穴住居址	
	148	土師器	壺	口径 8.2 底径 8.2	底部片	内:陶板ナメ 外:陶板ナメ	内:Huе 5.YR 6 / 6 外:Huе 10YR 4 / 2	368号堅穴住居址	
	149	土師器	壺	口径 13.3 底径 10.0 高さ 3.7	完形	内:陶板ナメ、削 りナメ 外:陶板ナメ、削 りナメ	内:Huе 5.YR 7 / 8 外:Huе 5.YR 7 / 8	256号堅穴住居址	焼きむら
	150	漆漆器	壺	口径 8.2 底径 8.2 高さ 7.0	つまみ縁のみ	内:陶板ナメ 外:陶板ナメ	内:Huе 5.Y 6 / 1 外:Huе 5.Y 6 / 1	61号堅穴住居址	
	151	漆漆器	壺	口径 8.2 底径 8.2 高さ 7.4	底部片	内:陶板ナメ 外:陶板ナメ	内:Huе 5.Y 6 / 1 外:Huе 5.Y 6 / 1	61号堅穴住居址	
	152	土師器	壺	口径 7.4 底径 7.4 高さ 7.4	1 / 6	内:陶板ナメ 外:陶板ナメ	内:Huе 2.SYR 6 / 2 外:Huе 2.SYR 6 / 2	61号堅穴住居址	
	153	土師器	壺	口径 7.8 底径 7.8 高さ 7.8	底部片	内:陶板ナメ 外:陶板ナメ	内:Huе 7.SYR 7 / 6 外:Huе 5.YR 6 / 6	61号堅穴住居址	
	154	土師器	壺	口径 13.4 底径 9.7 高さ 3.5	2 / 3	内:陶板ナメ 外:陶板ナメ、削 りナメ	内:Huе 10YR 7 / 4 外:Huе 10YR 6 / 4	61号堅穴住居址	内面底部にへう記号
	155	土師器	小型丸底壺	口径 11.2 底径 8.0	ほぼ完形	内:陶板ナメ、削 りナメ 外:陶板ナメ、削 りナメ	内:Huе 7.SYR 6 / 6 外:Huе 7.SYR 6 / 6	157号堅穴住居址	
	156	土師器	壺	口径 13.0 底径 7.5 高さ 5.8	完形	内:陶板ナメ 外:陶板ナメ	内:Huе 5.YR 6 / 6 外:Huе 5.YR 6 / 6	1号堅穴住居址	赤色顔料
	157	土師器	壺	口径 13.1 底径 7.7 高さ 4.5	完形	内:陶板ナメ 外:陶板ナメ、削 りナメ	内:Huе 5.YR 6 / 6 外:Huе 5.YR 6 / 6	1号堅穴住居址	「門方人」・櫛痕
	158	土師器	壺	口径 13.9 底径 11.1 高さ 4.5	1 / 2	内:陶板ナメ 外:陶板ナメ	内:Huе 10YR 3 / 1 外:Huе 7.SYR 7 / 6	41号土坑	内面にスス付着
	159	土製品	鉈鋸半	底径 5.2 高さ 5.0 幅厚 2.4	完形	内:ナメ、削り 外:削り	内:Huе 7.SYR 7 / 6 外:Huе 7.SYR 6 / 6	41号土坑	重量29.4g
	160	鉈鋸	刀子	底径 1.0 高さ 0.3	網部欠損			41号土坑	重量4.7g
	161	土製品	土錐	底径 2.2 高さ 2.0 幅厚 2.0	約1 / 6	内:ナメ	内:Huе 10YR 6 / 4 外:Huе 10YR 6 / 4	204号ピット	重量3.9g
	162	土製品	土錐	底径 2.0 高さ 4.3 幅厚 1.9	2 / 3	内:ナメ	内:Huе 10YR 6 / 3 外:Huе 10YR 6 / 2	204号ピット	重量17.0g
	163	土製品	土錐	底径 2.0 高さ 5.5 幅厚 2.0	ほぼ完形	内:ナメ	内:Huе 10YR 2 / 3 外:Huе 10YR 2 / 3	204号ピット	重量16.0g
	164	土製品	土錐	底径 2.1 高さ 1.9 幅厚 1.9	ほぼ完形	内:ナメ	内:Huе 7.SYR 6 / 3 外:Huе 7.SYR 6 / 3	204号ピット	重量15.4g
	165	土製品	土錐	底径 1.8 高さ 2.7 幅厚 1.8	完形	内:ナメ	内:Huе 7.SYR 5 / 4 外:Huе 7.SYR 5 / 6	204号ピット	重量15.0g
	166	土製品	土錐	底径 2.1 高さ 2.1 幅厚 1.9	ほぼ完形	内:ナメ	内:Huе 10YR 6 / 2 外:Huе 10YR 6 / 2	204号ピット	重量20.7g
	167	土製品	土錐	底径 2.0 高さ 5.6 幅厚 2.0	完形	内:ナメ	内:Huе 10YR 6 / 3 外:Huе 10YR 7 / 4	204号ピット	重量17.8g
	168	土製品	土錐	底径 2.4 高さ 5.4 幅厚 2.4	ほぼ完形	内:ナメ	内:Huе 10YR 5 / 2 外:Huе 10YR 5 / 2	204号ピット	重量16.2g
	169	土製品	土錐	底径 2.4 高さ 6.1 幅厚 2.4	ほぼ完形	内:ナメ	内:Huе 10YR 7 / 1 外:Huе 10YR 7 / 1	204号ピット	重量20.0g
	170	土製品	土錐	底径 2.4 高さ 7.1 幅厚 2.3	ほぼ完形	内:ナメ	内:Huе 10YR 6 / 3	204号ピット	重量33.9g

団	番号	種類(形態)	高さ(cm)	埋存量	特徴	色調	出土場所	備考
57	171	土製品	土器	高さ 6.5 底径 3.2 厚さ 2.0	定形	内: ブラ 外: ナチュラル	内: ブラ IOYR 7 / 3 外: ブラ IOYR 7 / 3	204号ピット 重量28.4g
	172	土製品	土器	高さ 6.1 底径 3.8 厚さ 2.8	口付定形	内: ブラ 外: ナチュラル	内: ブラ IOYR 7 / 1 外: ブラ IOYR 7 / 1	204号ピット 重量19.0g
	173	土製品	輪錐状	高さ 5.5 底径 3.5 厚さ 2.5	はざ定形	内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ブラ	内: ブラ IOYR 4 / 1 外: ブラ IOYR 4 / 1	重量4.4g ヘラ起立あり 柄となら
	174	鉄器	刀子?	長さ 14.5 幅 2.5 厚さ 0.1	先端部・基部欠損			379号井戸 重量13.4g
	175	石器	敲石	長さ 6.2 幅さ 4.9				379号井戸 重量644g 安山岩
	176	土師器	灰	口径 13.4 底径 7.8 厚さ 3.2	定形	内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル	内: ブラ 2.5YR 8 / 6 外: ブラ 3 YR 6 / 6	379号井戸 赤色顔料
	177	土師器	灰	口径 15.1 底径 5.5 厚さ 5.4	1 / 5	内: ブラ 外: ナチュラル	内: ブラ IOYR 2 / 1 外: ブラ IOYR 2 / 2	379号井戸 内面全体に黒色顔料 外面に黒斑
	178	土師器	灰	口径 13.1 底径 8.6 厚さ 3.1	定形	内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル	内: ブラ 2.5YR 6 / 6 外: ブラ 5 YR 6 / 6	379号井戸 小色顔料
	179	埴輪器	灰	口径 15.6 底径 7.3 厚さ 5.4	1 / 5	内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル	内: ブラ 2.5Y 7 / 2 外: ブラ 2.5Y 6 / 2	379号井戸
	180	埴輪器	灰	口径 13.0 底径 7.5 厚さ 2.6	1 / 3	内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル	内: ブラ 2.5Y 6 / 1 外: ブラ 2.5Y 6 / 2	379号井戸
	181	埴輪器	灰	口径 11.6 底径 7.6 厚さ 3.7	1 / 5	内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル	内: ブラ 3 Y 5 / 1 外: ブラ 3 Y 6 / 1	379号井戸 焼きむら
	182	埴輪器	灰	口径 14.0 底径 8.5 厚さ 3.6	1 / 3	内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル	内: ブラ 3 Y 5 / 0 外: ブラ 2.5GY 5 / 1	379号井戸
	183	土師器	灰	口径 26.0 底径 19.0 厚さ 4.7	口縁部片	内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル	内: ブラ 2.5YR 7 / 6 外: ブラ 2.5YR 7 / 6	379号井戸 内面にスス付着
	184	土師器	灰	口径 27.1 底径 21.0 厚さ 4.7	口縁部片	内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル	内: ブラ IOYR 6 / 4 外: ブラ 2.5YR 7 / 6	379号井戸 内面にスス付着
58	185	埴輪器	灰	口径 14.9 底径 9.0 厚さ 4.7	1 / 4	内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル	内: ブラ IOYR 3 / 1 外: ブラ 3 YR 3 / 1	65号ピット(9号窓 穴住居跡内)
	186	土師器	灰	口径 底径 厚さ	周部片	内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル	内: ブラ IOYR 5 / 3 外: ブラ IOYR 5 / 2	26号ピット(9号 壁穴住居跡内)
	187	土師器	灰	口径 底径 厚さ	口縁部片	内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル 内: ブラ 外: ナチュラル	内: ブラ 5 YR 6 / 4 外: ブラ 2.5YR 5 / 6	250号ピット
	188	土師器	灰	口径 底径 厚さ	周部片	内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: ブラ IOYR 6 / 3 外: ブラ IOYR 5 / 3	N区住合場 「有」- 鋼音
	189	土師器	灰	口径 底径 厚さ	底部片	内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: ブラ 5 YR 7 / 6 外: ブラ 5 YR 6 / 6	V区住合場 「AOJ」- 鋼音
	190	土師器	灰	口径 底径 厚さ	成都片	内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: ブラ 7.5YR 5 / 4 外: ブラ 7.5YR 6 / 4	V区 文字不明- 鋼音
	191	土師器	灰	口径 底径 厚さ	成都片	内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: ブラ 7.5YR 8 / 8 外: ブラ 7.5YR 8 / 8	V区住合場 「大」? - 鋼音
	192	土師器	灰	口径 底径 厚さ	1 / 6	内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: ブラ 5 YR 6 / 6 外: ブラ 7.5YR 7 / 6	N区
	193	土製品	灰	長さ 6.3 幅 2.5 厚さ 1.8	1 / 2	内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: ブラ IOYR 7 / 4 外: ブラ IOYR 7 / 4	IV区住合場 表面スス付着
	194	土師器	二重口縁部	口径 18.2 底径 12.0 厚さ 2.5	口縁部片	内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: ブラ IOYR 7 / 4 外: ブラ 7.5YR 6 / 6	N区
	195	土師器	二重口縁部	口径 18.9 底径 12.0 厚さ 2.5	口縁部片	内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: ブラ IOYR 6 / 4 外: ブラ IOYR 6 / 4	IV区 内面にスス付着 口縁部にヘラによる文様あり
	196	土師器	灰	口径 底径 厚さ	底部のみ	内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: ブラ IOYR 6 / 4 外: ブラ IOYR 6 / 4	222号窓 内面にスス付着
	197	生土器	直径 底径 厚さ	口径 底径 厚さ	口縁部片	内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: ブラ 7.5YR 5 / 3 外: ブラ 5 Y 2 / 1	31号壁穴住居 横口突起支 黑色磨削
	198	生土器	浅鉢	口径 底径 厚さ	底部片	内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: ブラ 2.5Y 5 / 3 外: ブラ 2.5Y 3 / 1	30号窓 朝日美術文
	199	生土器	深鉢	口径 底径 厚さ	底部片	内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: ブラ 7.5YR 6 / 6 外: ブラ 7.5YR 6 / 6	30号窓 朝日美術文
	200	生土器	深鉢	口径 底径 厚さ	口縁部片	内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル 内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: ブラ 7.5YR 7 / 1 外: ブラ 7.5YR 7 / 1	166号ピット 朝日美術文 黑色磨削

3. (医病) 基幹・環境整備(共同溝設置)に伴う発掘調査(0104調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法面(cm)	現存面	特徴	色	出土遺構	場所
56	201	住生土器	深井型土器	口縁 底径 厚さ	口縁部片	内:ナガ、底オ 外:ナガ	内:Hue 7.5YR 6/6 外:Hue 7.5YR 6/6	H90号ピット	削目突帯文
	202	住生土器	深井型土器	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:ナガ 外:ナガ	内:Hue 10YR 6/6 外:Hue 10YR 6/6	花合層	削目突帯文
	203	住生土器	深井型土器	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:ナガ 外:ナガ	内:Hue 10YR 6/3 外:Blue 2.5Y 4/1	花合層	削目突帯文
	204	住生土器	深井型土器	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:ナガ 外:ナガ	内:Hue 10YR 6/3 外:Blue 10YR 3/1	305号ピット	削目突帯文
	205	住生土器	深井型土器	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:ナガ 外:ナガ	内:Hue 7.5YR 6/6 外:Blue 7.5YR 7/6	N区	削目突帯文 一部にスヌ付有
	206	住生土器	深井型土器	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:ナガ 外:ナガ	内:Hue 7.5YR 7/6 外:Blue 2.5Y 3/1	32号壁穴住居址	削目突帯文
	207	住生土器	深井型土器	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:ナガ 外:ナガ、底オ エラ	内:Hue 7.5YR 6/6 外:Blue 2.5YR 5/6	32号壁穴住居址	削目突帯文
	208	純文土器	浅井	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:ナガ、底オ 外:ナガ、底オ	内:Hue 2.5Y 5/2 外:Blue 2.5Y 6/3	30号溝	口縁部に沈継文 黑色研磨
	209	純文土器	浅井	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:透き、削り 外:削き	内:Hue 2.5Y 2/1 外:Blue 10YR 5/2	21号壁穴住居址	口縁部に沈継文 黑色研磨
	210	純文土器	浅井	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:透き、削り 外:削き	内:Hue 10YR 5/2 外:Blue 5/3	305号溝	口縁部に沈継文
	211	純文土器	浅井	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:透き 外:削き	内:Hue 2.5Y 6/3 外:Blue 2.5Y 3/2	305号溝	
	212	純文土器	深井然玉形	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:ナガ 外:ナガ、底オ	内:Hue 2.5Y 6/4 外:Blue 2.5Y 7/4	30号溝	口縁部に沈継文 黑色研磨
	213	純文土器	浅井	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:透き 外:削き	内:Hue 2.5Y 7/3 外:Blue 2.5Y 6/4	14号溝	口縁部に沈継文
	214	純文土器	浅井	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:ナガ 外:削き	内:Hue 2.5Y 6/3 外:Blue 2.5Y 6/4	横乱	口縁部に沈継文 黑色研磨
	215	純文土器	浅井	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:ナガ、底オ 外:削き	内:Hue 10YR 3/1 外:Blue 10YR 3/1	N区横乱	
	216	純文土器	深井型土器	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:ナガ 外:ナガ	内:Hue 2.5Y 6/3 外:Blue 10YR 7/4	花合層	口縁部に沈継文
	217	純文土器	深井型土器	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:ナガ 外:削き	内:Hue 2.5Y 6/3 外:Blue 2.5Y 2/1	花合層	例題に沈継による文様 黑色研磨
	218	純文土器	深井型土器	口縁 底径 厚さ	断面部片	内:ナガ 外:削き	内:Hue 2.5Y 5/2 外:Blue 2.5Y 5/2	花合層	削目闇文
	219	石器	石器	底さ 幅 厚さ	左脚部欠損			223号壁穴住居址	重量3.2g 黒曜石
	220	石器	石器	底さ 幅 厚さ	定期			不明	重量0.8g メスカイト
	221	石器	石器	底さ 幅 厚さ	先端部欠損			14号溝	重量0.5g 黑曜石
	222	石器	石器	底さ 幅 厚さ	定期			32号壁穴住居址カマド	重量0.4g 黑曜石
	223	青銅器	鉈	底さ 幅 厚さ				N区	重量2.0g 石器部を含む 銅器付属
	224	青銅器	鉈	底さ 幅 厚さ				N区住合層	重量3.5g
	225	青銅器	不明削器	底さ 幅 厚さ				30号基槽	重量5.8g 銀青色
	226	鉄器	鉄刀	底さ 幅 厚さ	基部欠損			V区	重量27.2g
	227	石器	鍬石	底さ 幅 厚さ				28号ピット	重量530g 砂岩
	228	石器	鍬石	底さ 幅 厚さ				V区	重量223g 砂岩
	229	石器	鍬石	底さ 幅 厚さ				28号ピット	重量1000g以上 安山岩
	230	石器	鍬石	底さ 幅 厚さ				V区	重量1000g以上 砂岩

4. (医病) 医療用ガス供給設備室取設工事に伴う発掘調査(0119調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本調査地点は、熊本大学附属病院敷地内の北西隅に位置する。2000年に隣接地を発掘調査しており(0006調査地点)、本地点でも遺構が検出されることが予想された。

本事業は、2000年度の当初の事業計画には挙げられておらず、2001年9月初めに附属病院から施設部に対し、設備設置計画とそれに伴う埋蔵文化財に関する手続きの依頼が出された物件である。2002年2月初めに、発掘調査との指導が下り、直ちに発掘調査の届け出を提出するとともに調査体制を整えた。調査予定の隣接地では、共同溝の建設工事が進められており、施設部と周囲の環境整備・調整を行い、また熊本県教育委員会には発掘届に対する回答が下りる前に着手する許可を得て、2月18日より一次掘削を行うこととした。

2月18日から一次区削を行い、2月25日から作業員を投入して発掘調査を開始し、3月20日に終了した。

b. 調査の経過

2002年2月18日 一次掘削開始。

2002年2月25日 調査開始。

2002年3月20日 調査区の全体写真撮影。古墳時代の掘立柱建物址検出、掘削・図面・写真。
調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子・小畠弘己

事務担当：富永明子

発掘作業員：岡田イツ代・吳判録・河野義勝・黒木重信・黒木タケ子・白石美智子・鈴木笙子・高松北子・田代理恵・橋口剛士・番山明子・福田久美子・堀川貞子・松井昭子・水上順子・森川征子・森川謙・森田登

整理作業員：江口路・鬼塚美枝・小山正子・泗水直子・首藤優子・末吉美紀・溜瀬俊子・長谷智子・林田恵子・早田咲百合・増井弘子・山崎早苗・早川翔

(2) 調査区の基本層序(図59)

本調査地点は0006調査地点の東側に隣接しており、遺物包含層や遺構の検出レベルはほぼ同じである。1層から3層まで(厚さ1m)が、近現代の整地層である。西側の3層の下、4層・16層が古代の遺物包含層であり、これ以下が遺構の埋土などの文化層である。東側は27・28・33・44層までは近現代の埋土であり、東端の掘り込み(1・2・3・45・46・47・48層)も搅乱である。

(3) 検出遺構

今回の調査で検出した主な遺構は、古墳時代の溝1条、古代の溝1条、古墳時代の竪穴住居址2基、古代の竪穴住居址7基、古墳時代の掘立柱建物址1基である。

4. (医病) 医療用ガス供給設備充取設工事に伴う発掘調査 (0119調査地点)

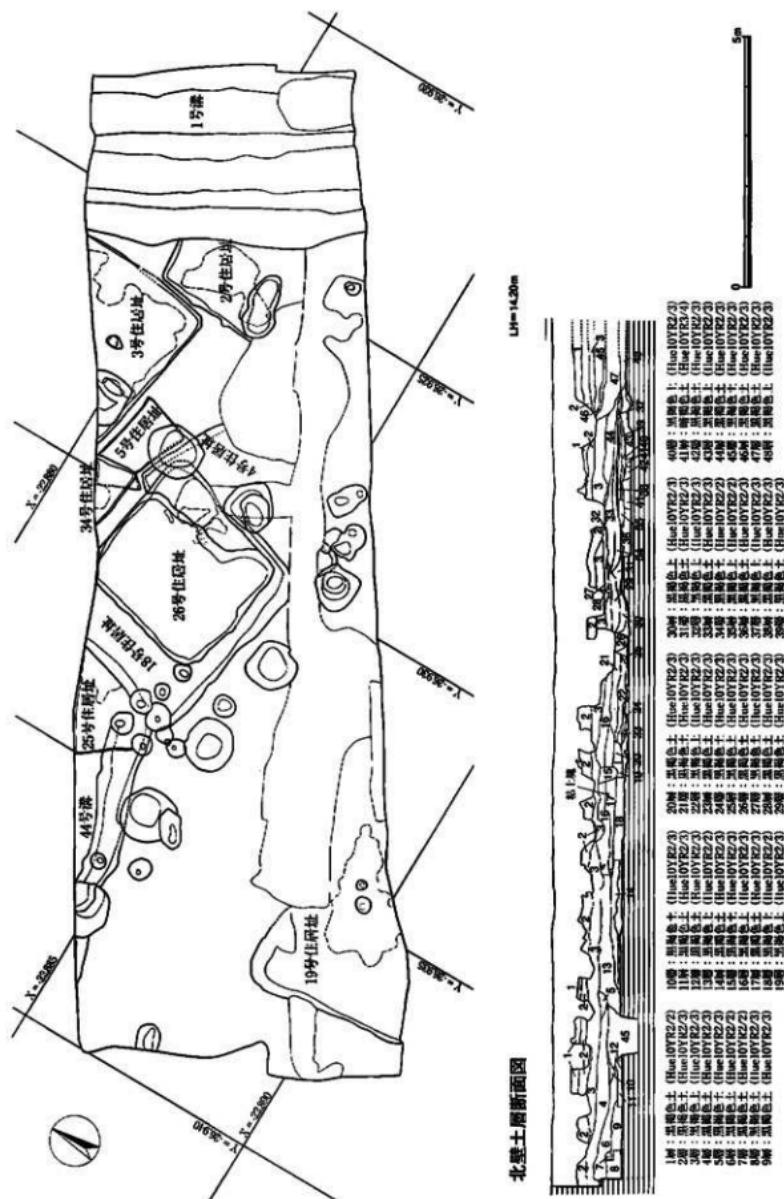


図59 0119調査地点造構配列実測図・調査区北壁土層断面実測図 (1 / 100)

<溝>

古墳時代の溝

1号溝（図60）

調査区の東端を横切る。方位は北北東から南南西であり、断面は逆台形である。0104調査地点で検出された222号溝の続きである。東側の溝の肩を正確に確認できなかったが、古代包含層以下の遺構面への掘り込みからすれば、溝の幅は約3mであり、0104調査地点より若干幅広くなっている。深さは約1mで溝の底からは、多量の古墳時代前期の土器が出土した。また、弥生時代のものと思われる長頸壺も1点出土した。

古代の溝

44号溝

調査区の北壁下を東西に走る。幅は最も広いところで0.7m、深さは0.3mと細くて浅い、小さな溝である。出土遺物が乏しいが古代と思われる。西側は調査区外に続いているが、東側は竪穴住居址に切られるようである。住居址において溝の痕跡は確認されなかった。遺物は古代の土師器の碎片が出土した。44号溝の確認は包含層を遺構面（地山）まで下げるからであるが、25号竪穴住居址よりも遅かった。後述する古墳時代の掘立柱建物址の柱穴確認と同様に、終了間際の最後の遺構確認時である。このため、44号溝も古墳時代の遺構である可能性を残すと考える。

<竪穴住居址>

古墳時代の竪穴住居址

19号竪穴住居址（図61）

調査区の南西隅で検出された。方位は北を向いている。半分が調査区外であり、擾乱により破壊されており全体は不明であるが、現況で東西5mの幅があったことは確認できる。中央やや北寄りに硬化した床面を確認したが、炉や柱穴は確認できなかった。

25号竪穴住居址

調査区北壁沿の中央、やや西よりで検出された。非常に浅く、10cm程度で床を検出した。本住居址の床面が直線的に切れているのが確認されたため、18号竪穴住居址が本住居址を切っている。

古代の竪穴住居址

5号竪穴住居址（図62）

調査区北壁した、中央やや東寄りで検出された。4号・3号竪穴住居址に挟まれた間で確認した。3号住居址と同じ方位で、3号住居址南側に存在したと思われるが、4号・34号竪穴住居址により切られて全容は不明である。

4号竪穴住居址（図62）

調査区のはば中央で検出したが、大半がのちの遺構と擾乱により破壊されている。方位は北東を向く。南側に4号竪穴住居址の南島隅の可能性がある掘り込みがあるが、これを基に復元すると3.5×3m程度の長方形の住居址である。

2号竪穴住居址（図63）

1号住居址の西側で検出した。掘削前、1号溝が2号竪穴住居址を切っていると考え、1号溝の掘削を先行して行った。2号竪穴住居址を掘削し、遺物を精査したところ、古代の遺物が出土したため、時期的には本来1号住居址の上に構築されていたことは判明した。2号竪穴住居址は、3号竪穴住居址と同様に北を向く。現状は1×2.7mであるが、1辺3mはある住居址と思われる。

4. (医病) 医療用ガス供給設備取工事に伴う発掘調査 (0119調査地点)

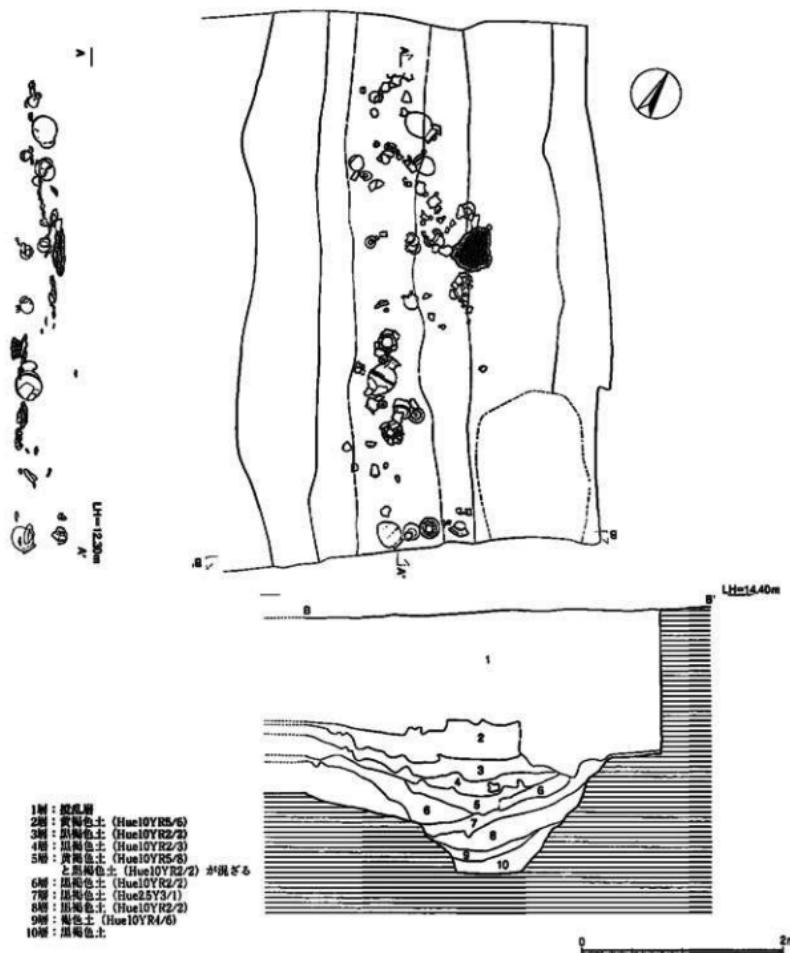


図60 1号溝出土遺物実測図・土層断面実測図 (1 /50)

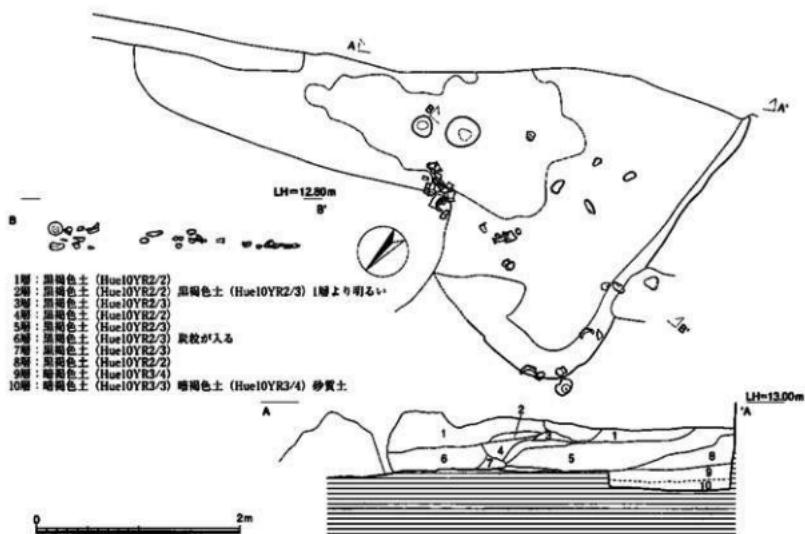


図61 19号竪穴住居址実測図 (1 / 50)

3号竪穴住居址 (図63)

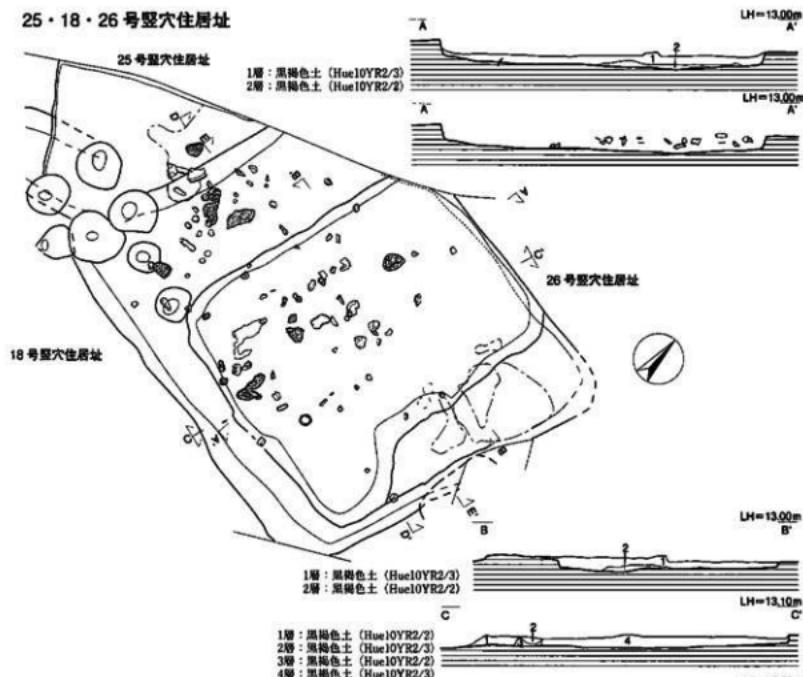
調査区北壁沿い、1号溝の西側で検出した。北を向く。現状は3.2×3.0mである。本来は1辺が3m以上の住居址であろう。

26・18号竪穴住居址 (図62)

18号竪穴住居址は調査区のほぼ中央で検出した。北を向くがわずかに東に振れる。東西8m、南北7mの長方形である。出土遺物から古代の住居址であるが、竪は検出されなかった。26号竪穴住居址は18号竪穴住居址の中央で検出した。入れ子状になっている。18号竪穴住居址の遺物などを取り上げたのち、中央部に土が異なる部分があったため掘削したところ、4.5×6mの長方形の遺構となった。竪はない。周辺での既往の調査から、遺構面である褐色の地山の上には、混入物がほとんどないきれいな黒色の土が堆積している。この黒色の土層がいわゆる古代の遺物包含層である。この包含層に対し同じく古代の遺構が掘り込まれるが、この時期のやや下る時期の遺構の埋土は古代の遺物包含層に類似するが、若干耕作土のような黄色や白や赤の粒子が混入した若干色が薄い黒色土である。26号竪穴住居址の埋土をみると、わずかながら底部に古代遺物包含層のきれいな黒色土が堆積し、その上に時期が遅い古代の遺構埋土の土が堆積している。さらにこれは18号竪穴住居址の埋土である。これらから、26号竪穴住居址が先行して造られ、その後に18号竪穴住居址が造られたと考えられる。古代の遺物包含層が底部にあることから、26号住居址はいったん使用が停止し、ある程度埋没したと思われる。上部の埋土が18号住居址と同じであるため、埋没後に再度掘削されたか、埋没の時期差がほとんどなかったなどが考えられる。

4. (医病) 医療用ガス供給設備室取設工事に伴う発掘調査 (0119調査地点)

25・18・26号竪穴住居址



34・5・4号竪穴住居址

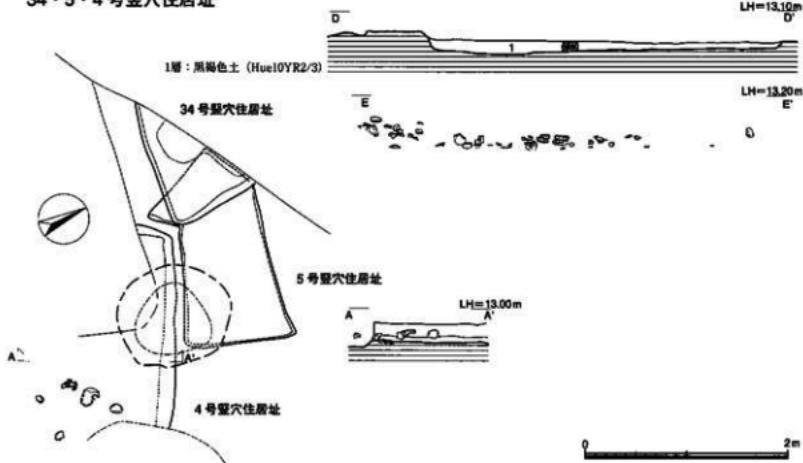
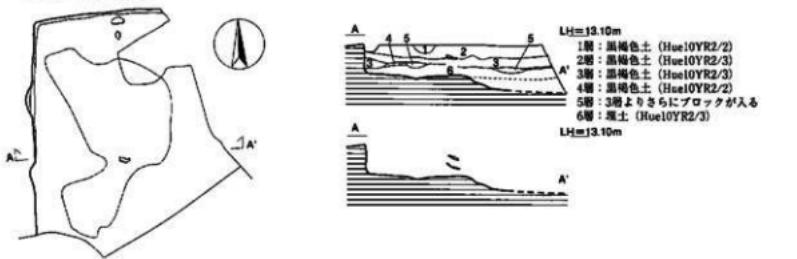
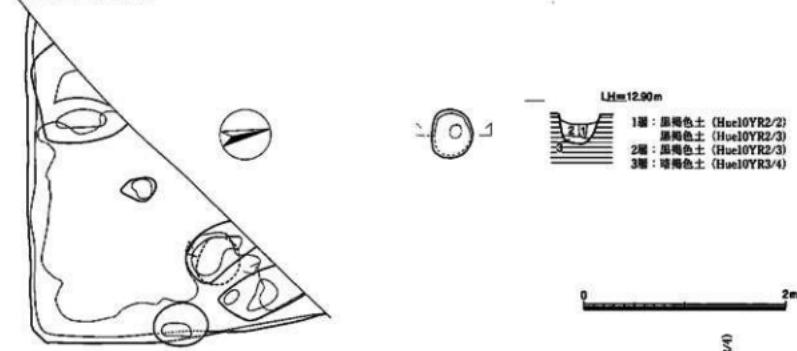


図62 25・18・26・34・5・4号竪穴住居址実測図 (1 /50)

2号竪穴住居址



3号竪穴住居址



据立柱建物

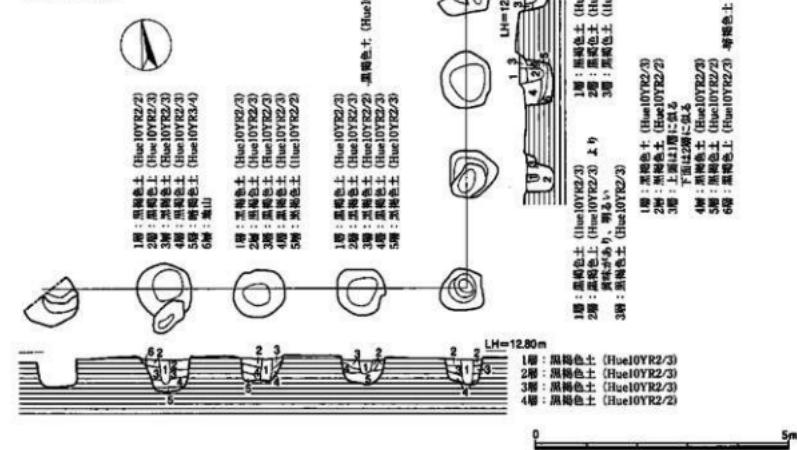


図63 2・3号竪穴住居址・据立柱建物実測図 (1/50・1/100)

34号竪穴住居址 (図62)

調査区北壁沿い、中央付近で3号竪穴住居址と18号竪穴住居址に挟まれた位置で検出した。住居址の角の部分、 $0.9 \times 1.3\text{m}$ がわずかに調査区にかかる程度で全体の様子は不明である。

<掘立柱建物址>

調査区の中央で検出した。現状では3間×4間であり、おおよそ北を向く。柱穴の間隔は、真芯で最長2.2m、最短で1.8m、平均1.97mである。柱穴は最小のもので直径0.8mあり、ほとんどが直径1mである。9901調査地点で検出した掘立柱建物址の柱穴は、直径70cm程度であり、本調査区で検出した掘立柱建物址の柱穴は非常に大きい。柱痕跡からみると、直径20cm程度の木材を使用していたと思われる。

(4) 出土遺物

本調査地点の遺物は、1号溝出土の遺物がその大半を占める。竪穴住居址からの遺物は19号竪穴住居址を除くと片手ばかりで、住居址の時期を的確に示すものは少なかった。1号溝から出土した土器については、器種をそろえることを第一とした。掲載できなかつたものは、機会を改めて紹介したい。

1号溝出土遺物 (図64・65・66: 1~42・70)

0104調査地点における222号溝の続きである。手捏ねのミニチュア土器・小型丸底壺・鉢形土器・壺・二重口縁壺・高壺が出土している。最も注目すべき遺物は、29の壺75の壺である。他の遺物が古墳時代の前期のものであるが、29の壺は調整にタタキを施し、古式土師器の中では最も古く、75の壺は弥生時代終末の所産と考えられる。0104調査地点の222号溝内からは、古墳時代前期をさかのばる遺物の出土はない。土器のほかには、鉄器(70)が1点ある。

19号竪穴住居址出土遺物 (図66: 43~51)

古墳時代前期の古式土師器が出土している。手捏ねのミニチュア土器・小型丸底壺・台付小型丸底壺・高壺・壺である。このほか、弥生土器が1点出土している。

その他の遺構出土遺物 (図66: 52~74)

上記の遺構のほか、各遺構や遺構外が様々な遺物が出土している。

18号竪穴住居址からは、土師器・須恵器が出土し2点を図示した。ほか、土師器の碎片がある。また、鉄鎌と思われる鉄器が1点ある。26号竪穴住居址からは土師器・須恵器が出土し、土師器2点を図示した。搅乱からは、「□弥(祢?)□」文字が書かれた墨書き土器が出土している。このほか、弥生土器や縄文土器、土錐、石錐、刀子等の鉄器が出土している。

(5)まとめ

本調査地点は、本荘北地区の北西隅に位置する。調査区の北側は白川の堤防であり、遺構の分布については不明な点も多かったが、今回の調査で、病院の敷地の北側境界まで遺構が存在していることが判明し、その状況から堤防の下にも続くと思われる。0101調査地点の調査結果に指摘されるように、白川の流路はもっと北側であり、現在は削平された堤防内まで遺跡が広がっていた可能性が高い。一帯の集落については、0104調査地点の項で述べたとおりである。古代の集落の中心は、9901・0104調査地点付近であろうと思われ、0006調査地点はその縁辺部にあたるのではないかと考える。古墳時代の大型柱穴を持つ掘立柱建物址が調査区北側へ展開することから、古墳時代は堤防下や現在は失われた白川の堤防内に、建物群があった可能性がある。

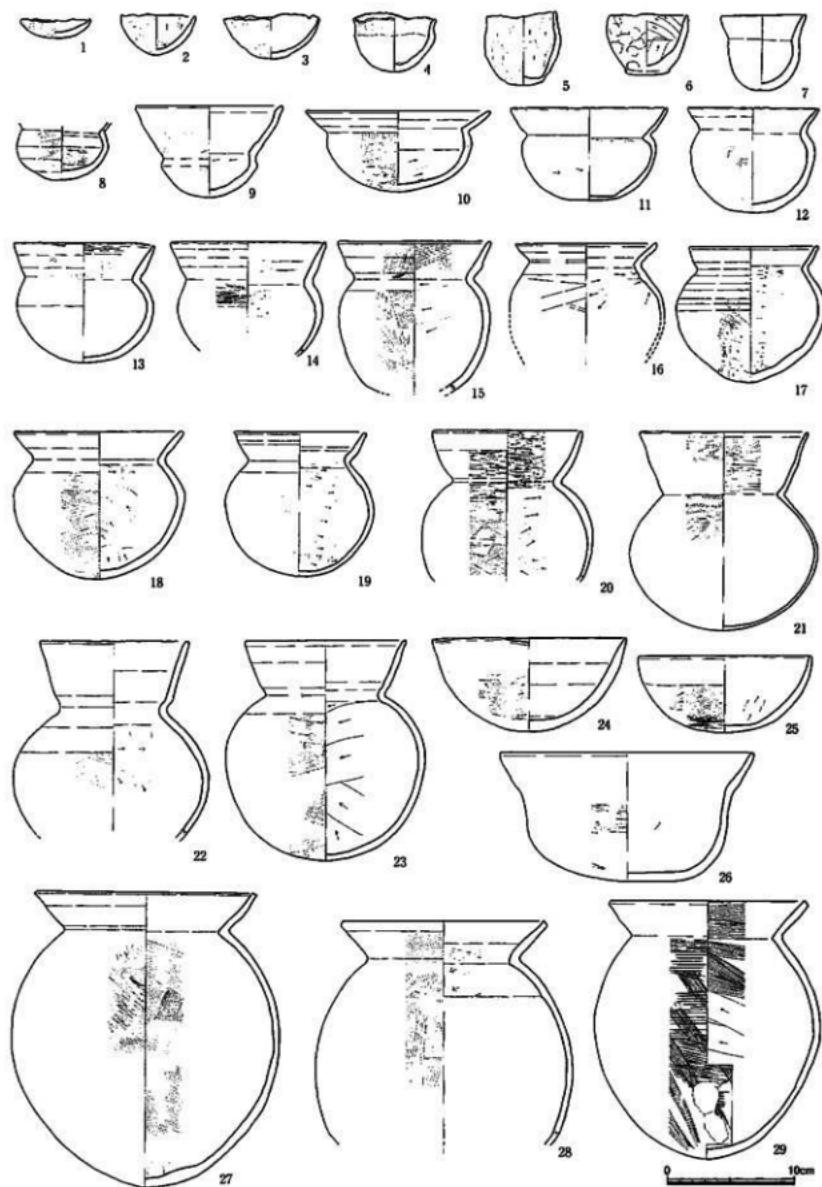


図64 0119調査地点出土遺物実測図1 (1 / 4)

4. (医病) 医療用ガス供給設備室取扱工事に伴う発掘調査 (0119調査地点)

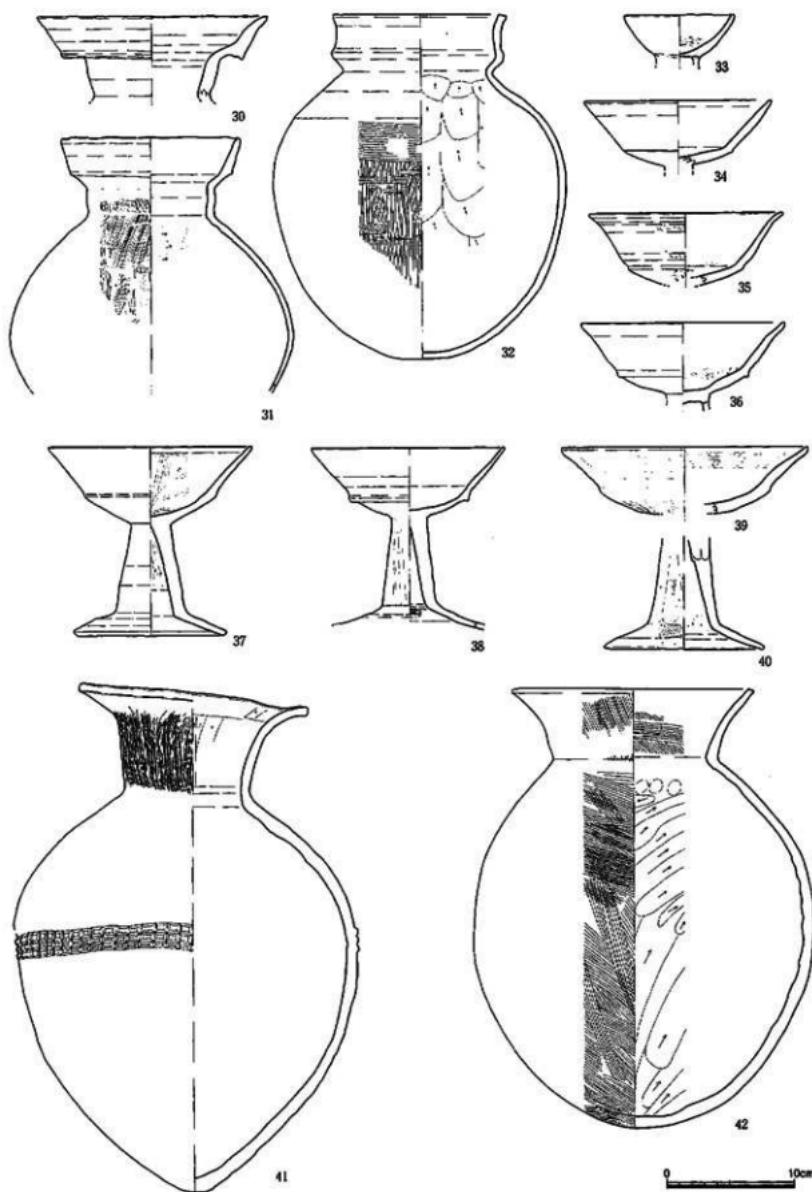


図65 0119調査地点出土遺物実測図 2 (1 / 4)

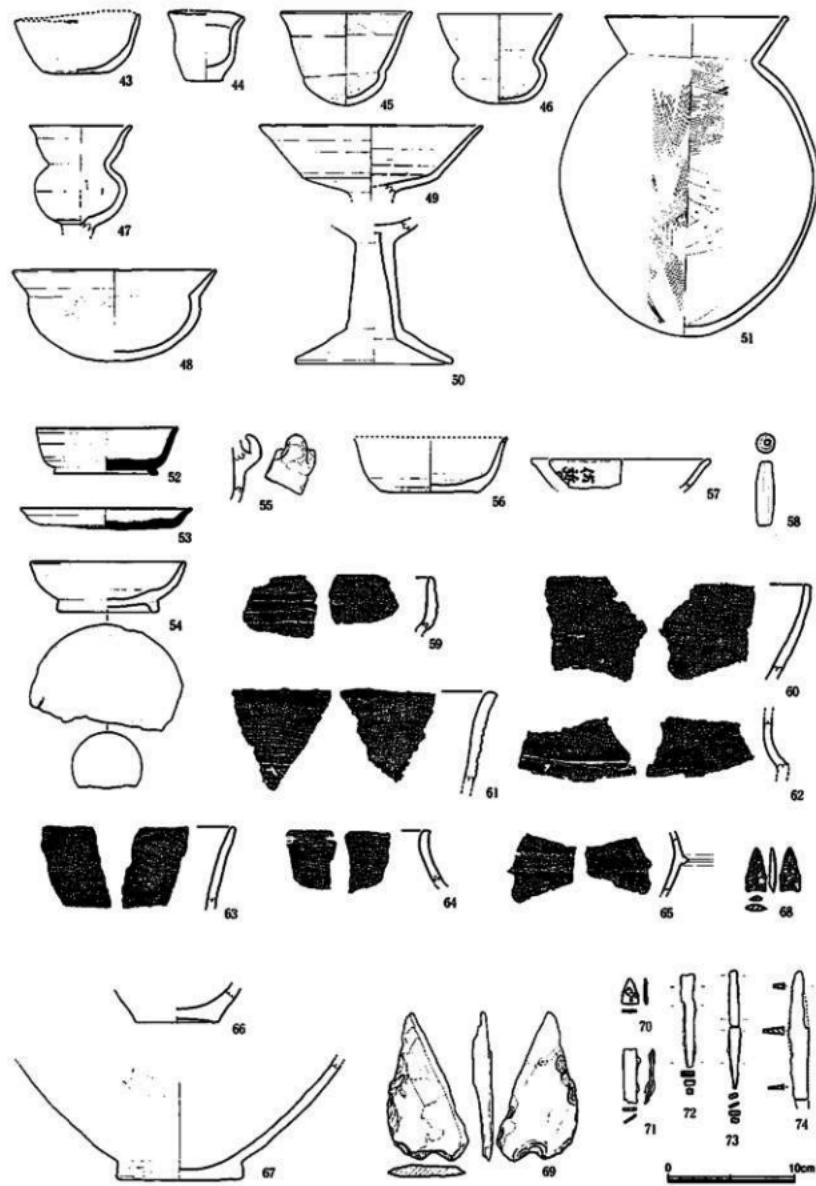


図66 0119調査地点出土遺物実測図 3 (1 / 4)

4. (医病) 医療用ガス供給設備室取設工事に伴う発掘調査 (0119調査地点)

表9 0119調査地点出土遺物一覧表

番号	品目	種類(器形)	法寸(㎜)	度量	特徴	色・調	出土遺物	備考
61	手摺ね土器	鉢	口径 底径 高さ	5.5 5.9 1.5	2 / 3	内:ナダ、指さ 外:ナダ、指さ サエ	内:Hue 10YR 5 / 2 外:Hue 2.5Y 3 / 2	1号窓櫛
2	手摺ね土器	鉢	口径 底径 高さ	5.9 6.3 3.3	ほぼ完形	内:指子ナダ、指 外:指ナダ、指 サエ	内:Hue 7.5YR 2 / 6 外:Hue 7.5YR 6 / 6	1号窓櫛
4	手摺ね土器	鉢	口径 底径 高さ	6.3 6.5 4.8	ほぼ完形	内:ナダ 外:指子ナダ、指 サエ	内:Hue 2.5Y 6 / 4 外:Hue 2.5Y 6 / 4	1号窓6~7層
5	手摺ね土器	鉢	口径 底径 高さ	5.4 2.7 5.9	ほぼ完形	内:指ナダ、指 サエ 外:指ナダ、指 サエ	内:Hue 2.5YR 5 / 4 外:Hue 2.5YR 6 / 6	1号窓
3	手摺ね土器	鉢	口径 底径 高さ	7.5 3.6 3.6	ほぼ完形	内:ナダ 外:ナダ、指さ サエ	内:Hue 2.5Y 6 / 3 外:Hue 10YR 7 / 4	1号窓
6	手摺ね土器	鉢	口径 底径 高さ	6.2 6.2 4.8	ほぼ完形	内:ナダ 外:ナダ、指さ サエ	内:Hue 10YR 3 / 2 外:Hue 10YR 6 / 4	1号窓
7	手摺ね土器	小型丸底盤	口径 底径 高さ	6.7 6.7 6.2	ほぼ完形	内:ナダ 外:ナダ	内:Hue 10YR 6 / 4 外:Hue 10YR 5 / 4	1号窓
8	土器部	小型丸底盤	口径 底径 高さ	10.5 8.5 8.5	2 / 3	内:ナダ、指さ 外:指ナダ、指 サエ	内:Hue 10YR 2 / 4 外:Hue 10YR 7 / 4	1号窓
9	土器部	小型丸底盤	口径 底径 高さ	11.6 9.7 7.4	約1 / 2	内:ナダ、ハラ削 外:指ナダ、指 サエ	内:Hue 2.5YR 6 / 3 外:Hue 10YR 6 / 4	1号窓
10	土器部	小型丸底盤	口径 底径 高さ	14.6 10.5 6.5	ほぼ完形	内:指ナダ 外:指ナダ、不 定形のハラ削	内:Hue 5 YR 5 / 6 外:Hue 5 YR 6 / 6	1号窓櫛
11	土器部	小型丸底盤	口径 底径 高さ	12.3 10.5 7.4	約1 / 2	内:ナダ、指さ 外:指ナダ、ハ ラ削	内:Hue 10YR 2 / 4 外:Hue 10YR 7 / 4	1号窓
12	土器部	小型丸底盤	口径 底径 高さ	10.4 8.4	ほぼ完形	内:指ナダ、 ナダ 外:ハラ削、指 サエ	内:Hue 2.5YR 6 / 6 外:Hue 2.5YR 6 / 6	1号窓 焼きムラ
13	土器部	小型丸底盤	口径 底径 高さ	11.0 9.5	4 / 5	内:ナダ、指 サエ 外:指ナダ、指 サエ	内:Hue 5 YR 6 / 6 外:Hue 2.5YR 7 / 6	1号窓
14	土器部	小型丸底盤	口径 底径 高さ	12.2 10.5 7.4	1 / 2	内:圓底ナダ、 指ナダ、指 外:指ナダ、指 サエ	内:Hue 5 YR 7 / 6 外:2.5YR 6 / 6	外周ス付複 焼きムラ
15	土器部	小型丸底盤	口径 底径 高さ	12.0 10.5 7.4	1 / 4	内:指ナダ、ハラ 削 外:ハラ削、指 サエ	内:Hue 10YR 5 / 3 外:Hue 2.5Y 3 / 2	1号窓
16	土器部	小盤	口径 底径 高さ	11.0 9.1	約1 / 3	内:圓底ナダ、 指ナダ 外:指ナダ、不 定形のハラ削	内:Hue 10YR 6 / 4 外:Hue 5 YR 6 / 6	1号窓
17	土器部	小型丸底盤	口径 底径 高さ	10.2 10.7	約1 / 4	内:圓底ナダ、 外:指ナダ、ハ ラ削、指 サエ	内:Hue 2.5YR 6 / 6 外:Hue 2.5YR 7 / 6	1号窓
18	土器部	小型丸底盤	口径 底径 高さ	13.4 11.7	ほぼ完形	内:ナダ、指 サエ 外:指ナダ、指 サエ	内:Hue 2.5YR 7 / 6 外:Hue 5 YR 6 / 6	1号窓
19	土器部	小型丸底盤	口径 底径 高さ	10.4 11.4	ほぼ完形	内:圓底ナダ、 不定形のナ ダ、指ナ サエ 外:指ナダ、不 定形のナ ダ	内:Hue 10YR 7 / 4 外:Hue 10YR 7 / 4	1号窓
20	土器部	小型丸底盤	口径 底径 高さ	11.8 10.5 10.3	1 / 3	内:ナダ、指 サエ 外:ハラ削、指 サエ	内:Hue 2.5YR 6 / 6 外:Hue 2.5YR 7 / 6	1号窓5~6層
21	土器部	小型丸底盤	口径 底径 高さ	13.3 15.8	3 / 4	内:ナダ、ハラ 削 外:ナダ、指 サエ	内:Hue 5 YR 6 / 6 外:Hue 5 YR 5 / 6	1号窓
22	土器部	盤	口径 底径 高さ	10.7 16.3	1 / 2	内:指ナ 外:指ナ サエ 外:指ナ サエ	内:Hue 2.5YR 6 / 6 外:Hue 2.5YR 5 / 6	1号窓
23	土器部	盤	口径 底径 高さ	12.6 17.4	3 / 4	内:指ナ 外:ナダ、削 サエ 外:ハラ削、指 サエ	内:Hue 10YR 7 / 4 外:Hue 2.5YR 7 / 6	1号窓
24	土器部	鉢	口径 底径 高さ	15.3 7.4	2 / 3	内:圓底ナ ダ、指 サエ 外:ハラ削、ハ ラ削、指 サエ	内:Hue 2.5Y 6 / 3 外:Hue 10YR 7 / 3	1号窓 内部が充てている
25	土器部	鉢	口径 底径 高さ	13.8 6.1	約1 / 2	内:圓底ナ ダ、指 サエ 外:ハラ削、ハ ラ削、指 サエ	内:Hue 2.5YR 6 / 6 外:Hue 2.5YR 5 / 6	1号窓
26	土器部	浅鉢	口径 底径 高さ	20.15 10.15	3 / 4	内:ナダ、指 サエ 外:ハラ削、指 サエ	内:Hue 2.5YR 5 / 3 外:Hue 2.5YR 7 / 4	1号窓

図	番号	遺物	種類(器種)	地層(cm)	埋 埋 量	特 性	色 国	出土場所	圖 号
64	27	土器器	甕	口径 底径 高さ	17.5 23.5	ほぼ完形	内:ナマハケ目 外:セサニ 外:ナマ 内:ナマ、磨き 外:ナマ、ハケ 内:ナマ、白 外:ナマ	内:Hue 5.YR 7/8 外:Hue IOYR 7/6	1号窓
	28	土器器	甕	口径 底径 高さ	15.7 20.5	1/2	内:ナマ、磨き 外:ナマ、ハケ 内:ナマ、白 外:ナマ	内:Hue 5.YR 5/6 外:Hue 5.YR 2/1	1号窓
	29	土器器	甕	口径 底径 高さ	15.8 20.5	ほぼ完形	内:ヘラ削り ナマハケ目 外:ナマ、ハケ 内:ナマ、白 外:ナマ	内:Hue IOYR 6/3 外:Hue IOYR 6/2	1号窓 体部下段に入鳥跡の穿孔(後成 後、内側から)
65	30	土器器	二重口縁甕	口径 底径 高さ	16.0	口縁断片	内:四輪ナマ 外:ナマ	内:Hue IOYR 7/4 外:Hue IOYR 6/4	1号窓
	31	土器器	甕	口径 底径 高さ	14.9	1/3	内:四輪ナマ 外:ナマ	内:Hue 2.SYR 5/3 外:Hue 2.SYR 5/8	1号窓
	32	土器器	二重口縁甕	口径 底径 高さ	13.6 27.2	約1/2	内:四輪ナマ 外:ナマ、四輪ナマ 内:ナマ、ハケ目 外:ナマ	内:Hue 2.SYR 6/3 外:Hue IOYR 7/4	1号窓
66	33	土器器	高環	口径 底径 高さ	5.65	环部口縁断片	内:四輪ナマ、ハ ケ目、ナマ 外:四輪ナマ	内:Hue IOYR 8/3 外:Hue IOYR 8/2	1号窓
	34	土器器	高環	口径 底径 高さ	14.8	約1/2	内:四輪ナマ 外:四輪ナマ、ナマ	内:Hue 7.SYR 2/6 外:Hue 7.SYR 2/6	1号窓
	35	土器器	高環	口径 底径 高さ	15.4	1/2	内:四輪ナマ、ハ ケ目、ナマ 外:ナマ	内:Hue 5.YR 3/6 外:Hue IOYR 7/6	1号窓
67	36	土器器	高環	口径 底径 高さ	16.0	环部口縁断片	内:四輪ナマ、ハ ケ目、ナマ 外:四輪ナマ	内:Hue 7.SYR 4/4 外:Hue IOYR 7/4	1号窓
	37	土器器	高環	口径 底径 高さ	16.0 24.0	3/4	内:四輪ナマ、ハ ケ目、ナマ 外:ナマ、磨き	内:Hue 7.SYR 7/6 外:Hue IOYR 6/4	1号窓
	38	土器器	高環	口径 底径 高さ	15.2	約1/2	内:磨き 外:ナマ、磨き	内:Hue 2.SYR 6/6 外:Hue 2.SYR 5/4	1号窓
68	39	土器器	高環	口径 底径 高さ	19.4	环部口縁 断片	内:四輪ナマ、ハ ケ目、四輪ナマ、ハ ケ目	内:Hue IOYR 6/4 外:Hue IOYR 7/4	1号窓
	40	土器器	高環	口径 底径 高さ	12.6	約1/2	内:四輪ナマ、磨 き、四輪ナマ 外:ナマ、磨き	内:Hue 7.SYR 5/6 外:Hue 7.SYR 5/6	1号窓
	41	土器器	甕	口径 底径 高さ	18.0 40.4	ほぼ完形	内:ナマ 外:ナマ	内:Hue IOYR 4/8 外:Hue 2.SYR 5/8	1号窓 赤帯大 丸ふくら
69	42	土器器	甕	口径 底径 高さ	19.0 34.8	完形	内:四輪ナマ、ハ ケ目、ナマ 外:ナマ、ナマ 内:ナマ、白	内:Hue 10.YR 7/4 外:Hue IOYR 2/1	1号窓
	43	土器器	钵	口径 底径 高さ	9.8 3.4 5.0	4/5	内:ナマ 外:ナマ	内: Hue IOYR 6/4 外: Hue IOYR 6/4	19号堅穴住居址 手捏ね
	44	土器器	小鉢	口径 底径 高さ	9.0 3.0 5.7	ほぼ完形	内:四輪ナマ、ナ マ、ハケ目 外:四輪ナマ、磨 き	内: Hue 7.SYR 7/6 外: Hue 7.SYR 7/4	19号堅穴住居址 手捏ね
70	45	土器器	小鉢丸底盤	口径 底径 高さ	10.4 7.5	ほぼ完形	内:ナマ、ハケ目 外:ナマ、ハケ目	内: Hue 7.SYR 7/6 外: Hue 7.SYR 7/6	19号堅穴住居址
	46	土器器	小鉢丸底盤	口径 底径 高さ	9.8 7.1	完形	内:四輪ナマ、ハ ケ目、ナマ 外:四輪ナマ、不 定形	内: Hue IOYR 7/6 外: Hue 7.SYR 7/6	19号堅穴住居址
	47	土器器	小盤	口径 底径 高さ	8.0	口縁断片	内:四輪ナマ、磨 き、ナマ 外:四輪ナマ、磨 き	内: Hue 7.SYR 7/6 外: Hue 7.SYR 8/8	19号堅穴住居址
71	48	土器器	小型九底盤	口径 底径 高さ	16.0 7.3	約1/2	内:四輪ナマ、磨 き、ナマ 外:四輪ナマ、ハ ケ目、磨き	内: Hue IOYR 7/4 外: Hue IOYR 7/4	19号堅穴住居址 外表面に黒斑
	49	土器器	高環	口径 底径 高さ	17.6	1/2	内:ナマ 外:ナマ	内: Hue IOYR 7/6 外: Hue IOYR 6/6	19号堅穴住居址
	50	土器器	高環	口径 底径 高さ	12.4	底部・脚部 1/2	内:ナマ 外:ナマ	内: Hue IOYR 6/4 外: Hue IOYR 6/6	19号堅穴住居址
72	51	土器器	甕	口径 底径 高さ	14.6 25.5	ほぼ完形	内:ナマ 外:ナマ	内: Hue 5.YR 6/2 外: Hue 5.YR 6/2	19号堅穴住居址
	52	埴輪器	坏	口径 底径 高さ	11.3 4.0	1/2	内:ナマ 外:ナマ	内: Hue 2.SYR 6/1 外: Hue K 5/	18号堅穴住居址 結合部4号住居址 基
	53	埴輪器	壺	口径 底径 高さ	10.0 1.7	1/2	内:四輪ナマ 外:四輪ナマ	内: Hue 7.SYR 5/1 外: Hue K 5/	18号堅穴住居址

4. (医病) 医療用ガス供給設備室取扱工事に伴う発掘調査 (0119調査地点)

図	番号	遺物	埋蔵(目録)	法量 (cm)	規 容 量	特 徴	色 調	出土遺物	備考
66	54	土器	碗	口径 12.2 深さ 3.0 厚さ 3.95	約 1 / 2	内: 青磁子・青 外: 青磁子・青 底: 黄褐色	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 5 / 8	26号堅穴住居址	赤色化土 灰瓦
	55	土器	瓶	口径 底径 高さ 8.0 厚さ 4.4	取手付	内: 青磁子・青 外: 青磁子・青 底: 黄褐色	内: Hue 5 YR 7 / 6 外: Hue 5 YR 7 / 4	26号堅穴住居址	
	56	土器	壺	口径 底径 高さ 8.0 厚さ 4.4	1 / 2	内: 青磁子・青 外: 青磁子・青 底: 黄褐色	内: Hue 10YR 8 / 3 外: Hue 10YR 8 / 6	北壁	
	57	土器	壺	口径 底径 高さ 14.2 厚さ 1.45	口縁部片	内: 青磁子・青 外: 青磁子・青	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 5 / 6	焼瓦	「? 瓦 (or 瓶) ...」・根管 赤色化土
	58	土製品	土瓶	長さ 5.1 幅 1.45 厚さ 1.45	111E定形	内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: Hue 5 YR 5 / 6	27号ビット	
	59	陶文土器	漆体削土器 漆器		口縁部片	内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: Hue 2.5Y 6 / 3 外: Hue 10YR 7 / 4	包含層西	
	60	陶文土器	漆体削土器 漆器		口縁部片	内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	包含層北西	
	61	陶文土器	漆体削土器 漆器		口縁部片	内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: Hue 10YR 7 / 6 外: Hue 7.5YR 6 / 6	43号柱穴	
	62	陶文土器	漆体削土器 漆器		脚部片	内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: Hue 10YR 6 / 6 外: Hue 10YR 5 / 4	包含層	
	63	陶文土器	漆体削土器 漆器		口縁部片	内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: Hue 10YR 5 / 4 外: Hue 10YR 4 / 1	北西端包含層	外側に沈線文
	64	陶文土器	漆体削土器 漆器		口縁部片	内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: Hue 10YR 7 / 3 外: Hue 10YR 7 / 3	包含層南東	吹きこぼれ痕?
	65	再生土器	漆体削土器 漆器		脚部片	内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 5 / 3	19号堅穴住居址	外側に刻印表文
	66	陶文土器	漆体削土器 漆器		底部 1 / 3	内: ナチュラル 外: 暗色	内: Hue 2.5Y 6 / 3 外: Hue 10YR 5 / 4	2号堅穴住居址	
	67	土器	鉢	口径 10.0 底径 8.5 厚さ 0.5	1 / 3	内: ナチュラル 外: ナチュラル	内: Hue 10YR 6 / 3 外: Hue 7.5YR 5 / 3	包含層	焼痕?
	68	石器	石器	長さ 3.5 幅 1.6 厚さ 0.5	完形			包含層西半	重量 2.7g サヌカイト
	69	石器	扁平打製石 斧	長さ 11.4 幅 4.4 厚さ 1.5	基部欠損			25号堅穴住居址	重量 91.0g 緑色片岩
	70	武器	不明	長さ 2.0 幅 1.35 厚さ 0.5	ほぼ完形			1号坑	重量 0.6g
	71	武器	不明	長さ 2.5 幅 1.4 厚さ 0.5	ほぼ完形			所持	重量 2.9g
	72	武器	刀子?	長さ 7.4 幅 1.1 厚さ 0.7	先端部欠損			焼瓦	重量 7.1g
	73	武器	劍?	長さ 1.4 幅 1.0 厚さ 0.3	先端部欠損			16号堅穴住居址	重量 6.7g
	74	武器	刀子	長さ 10.2 幅 1.6 厚さ 0.8	基部欠損			包含層	重量 13.4g

写 真 図 版

図版 1 9907調査地点



写真1 調査区全景（南より）



写真2 調査区南隅傾斜部分（北より）



写真3 縄文土器出土状況（北西より）



写真4 遺物出土状況（西より）



写真5 縄文土器出土状況

図版2 9907調査地点



写真6 遺物出土状況（南西部）（西より）



写真7 捩文土器出土状況（北より）



写真8 遺物出土状況（南西部）（西より）



写真9 遺物出土状況（北西部）（西より）



写真10 遺物出土状況（南西部）（北より）



写真11 遺物出土状況（南西部）（西より）

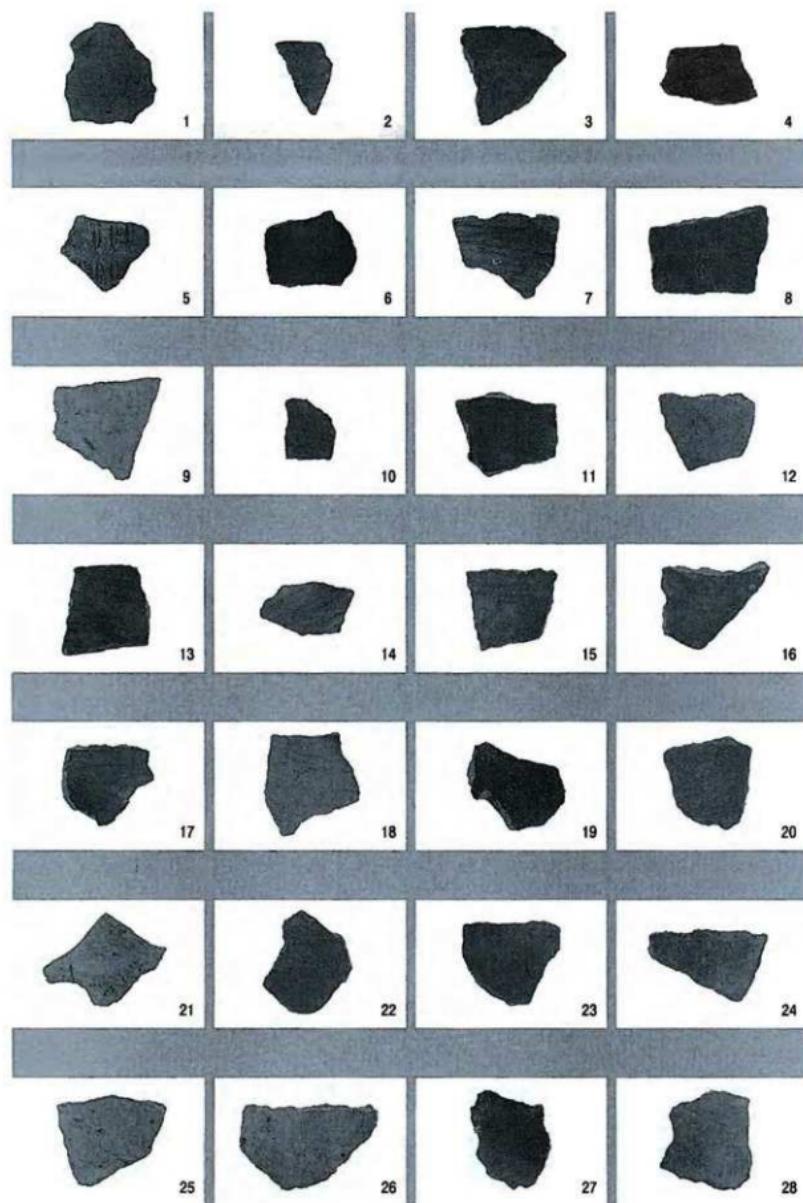


写真12 遺物出土状況（南西部）（南より）

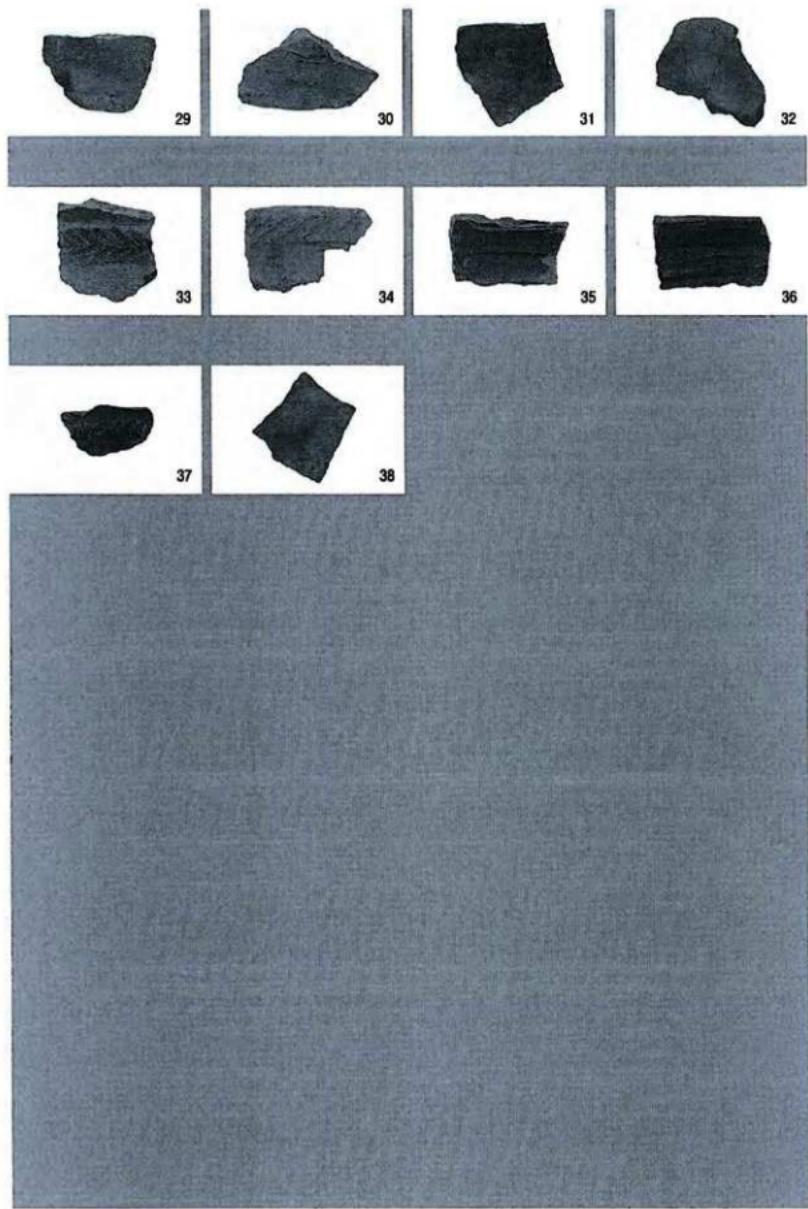


写真13 遺物出土状況（南西部）（南より）

図版3 9907調査地点出土遺物 1



図版4 9907調査地点出土遺物2



図版5 9909調査地点



写真14 調査区全景（北東より）



写真15 調査風景（北東より）

図版6 9909調査地点



写真16 I区全景（東より）



写真17 II区全景（南より）



写真18 II区全景（東より）



写真19 II区全景（北より）



写真20 II区北壁土層断面（南より）



写真21 鉄錢・銅錢出土状況（東より）



写真22 錢（うね入り）近撮（東より）



写真23 トレンチ1土層（西より）

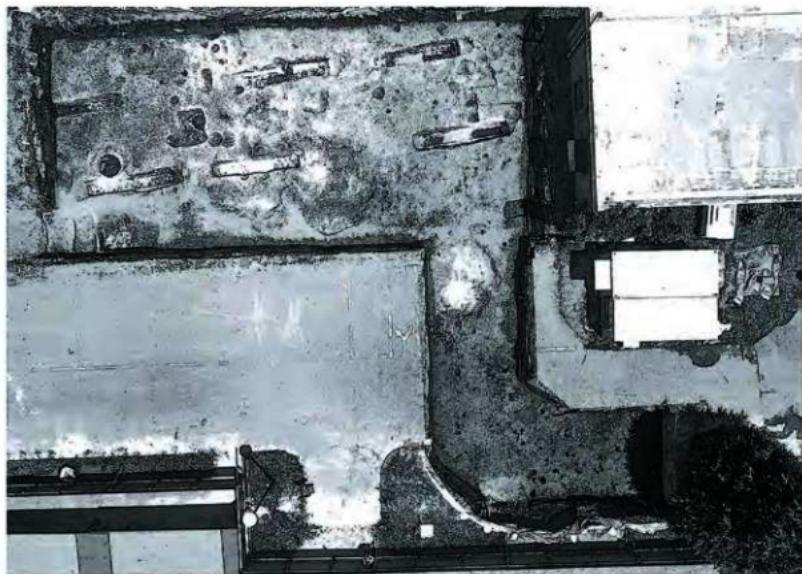


写真24 調査区全景（上空より）

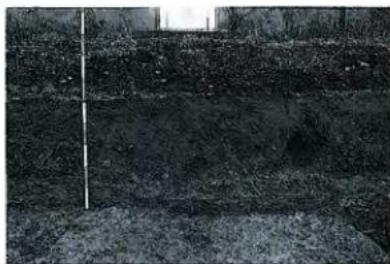


写真25 調査区東壁土層断面（西より）



写真26 風倒木痕1遺物出土状況（東より）

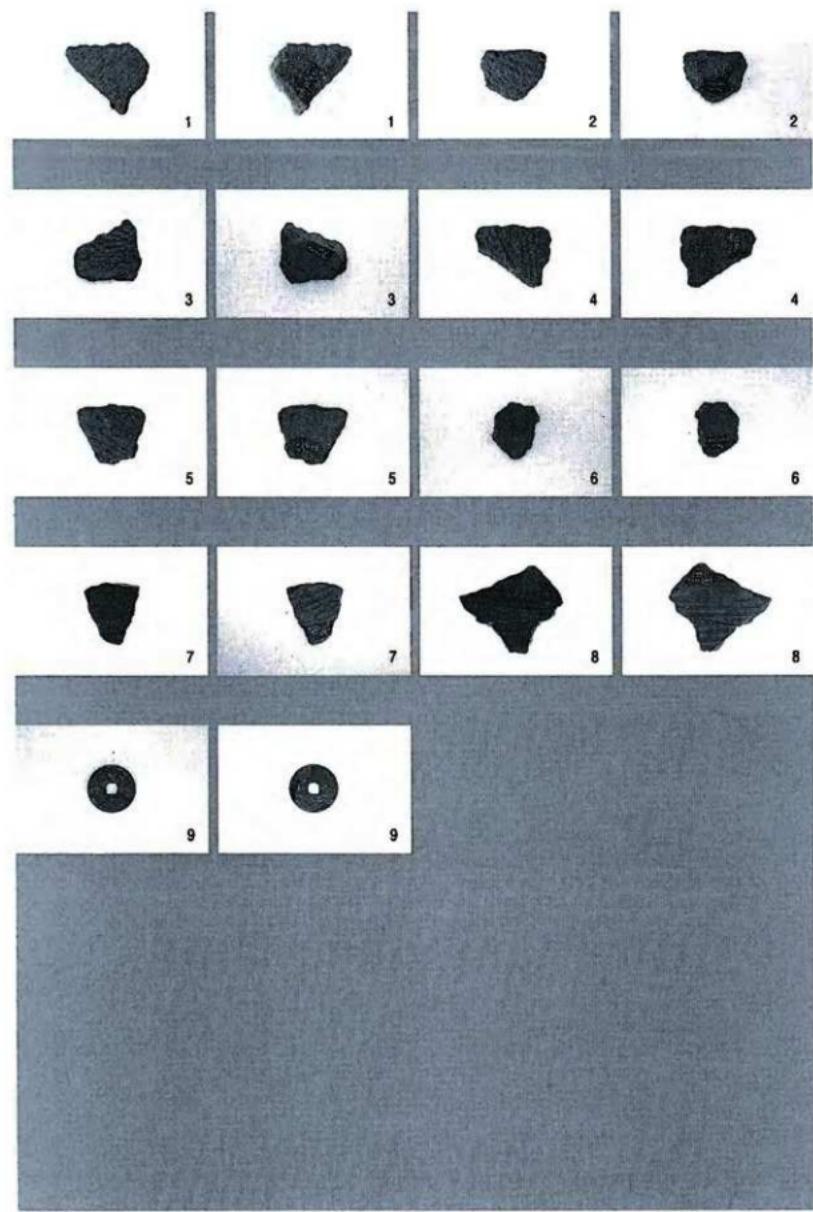


写真27 風倒木痕4（西より）



写真28 風倒木痕5発掘状況（南より）

図版8 0102調査地点出土遺物



図版9 0006調査地点



写真29 I区全景（東より）



写真30 調査区全景（東半）（西より）



写真31 9号竪穴住居址遺物出土状況（南より）



写真32 9号竪穴住居址遺物出土状況（南より）



写真33 9号竪穴住居址遺物出土状況（北より）

図版10 0006調査地点



写真34 9号竪穴住居址土層断面（西より）



写真35 9号竪穴住居址（南より）



写真36 22号竪穴住居址（北より）



写真37 22号竪穴住居址遺物出土状況（北東より）



写真38 28号竪穴住居址（北より）



写真39 29号竪穴住居址（北西より）



写真40 II区1号土坑遺物出土状況（北より）



写真41 II区2号土坑遺物出土状況（東より）

図版11 0006調査地点



写真42 2号土坑遺物出土状況（北より）



写真43 2号土坑遺物出土状況（西より）



写真44 2号土坑遺物出土状況（北より）



写真45 2号土坑遺物出土状況（北より）



写真46 2号土坑遺物出土状況（西より）



写真47 2号土坑遺物出土状況（東より）



写真48 2号土坑遺物出土状況（東より）



写真49 2号土坑土層断面（西より）

図版12 0006調査地点



写真50 II区遺物出土状況・土器群1（北東より）



写真51 II区遺物出土状況・土器群2（西より）



写真52 II区遺物出土状況・土器群3（北より）



写真53 鉄鎌出土状況（南より）



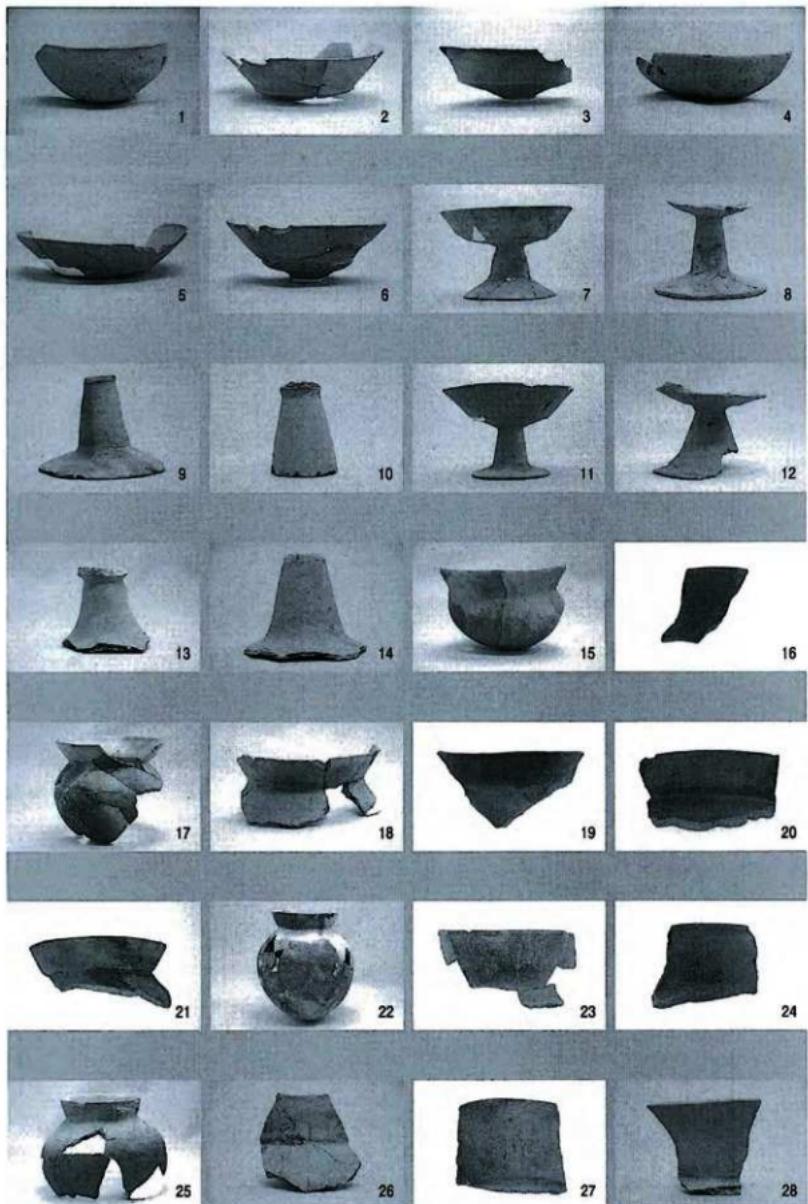
写真54 III区全景（北より）



写真55 造構完掘状況（南より）

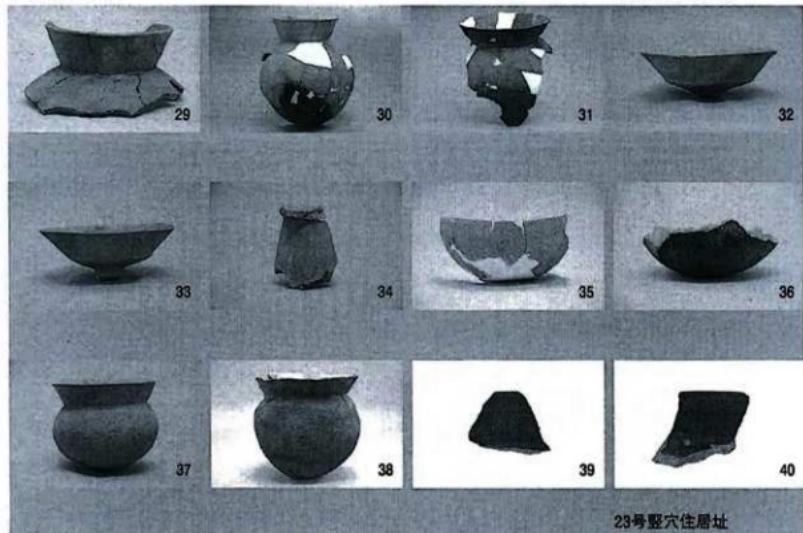
図版13 0006調査地点出土遺物 1

9号竪穴住居址



図版14 0006調査地点出土遺物2

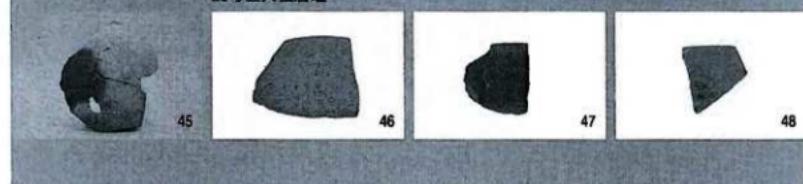
9号竪穴住居址



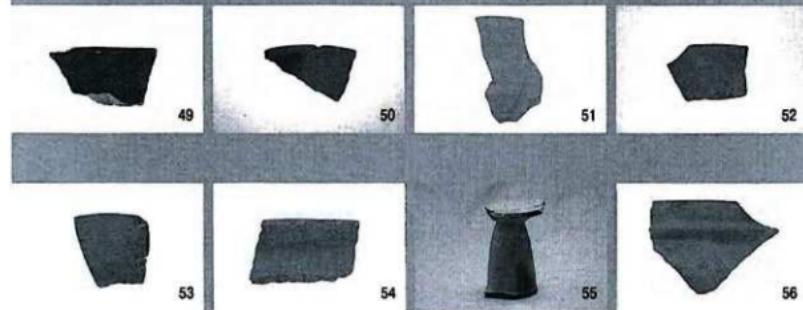
22号竪穴住居址



23号竪穴住居址



28号竪穴住居址



図版15 0006調査地点出土遺物 3

28号竪穴住居址



57



58



59



60

1号土坑



61



62



63



64



65



66



67



68



69



70



71



72



73



74



75



76

2号土坑



77



78



79



80



81



82



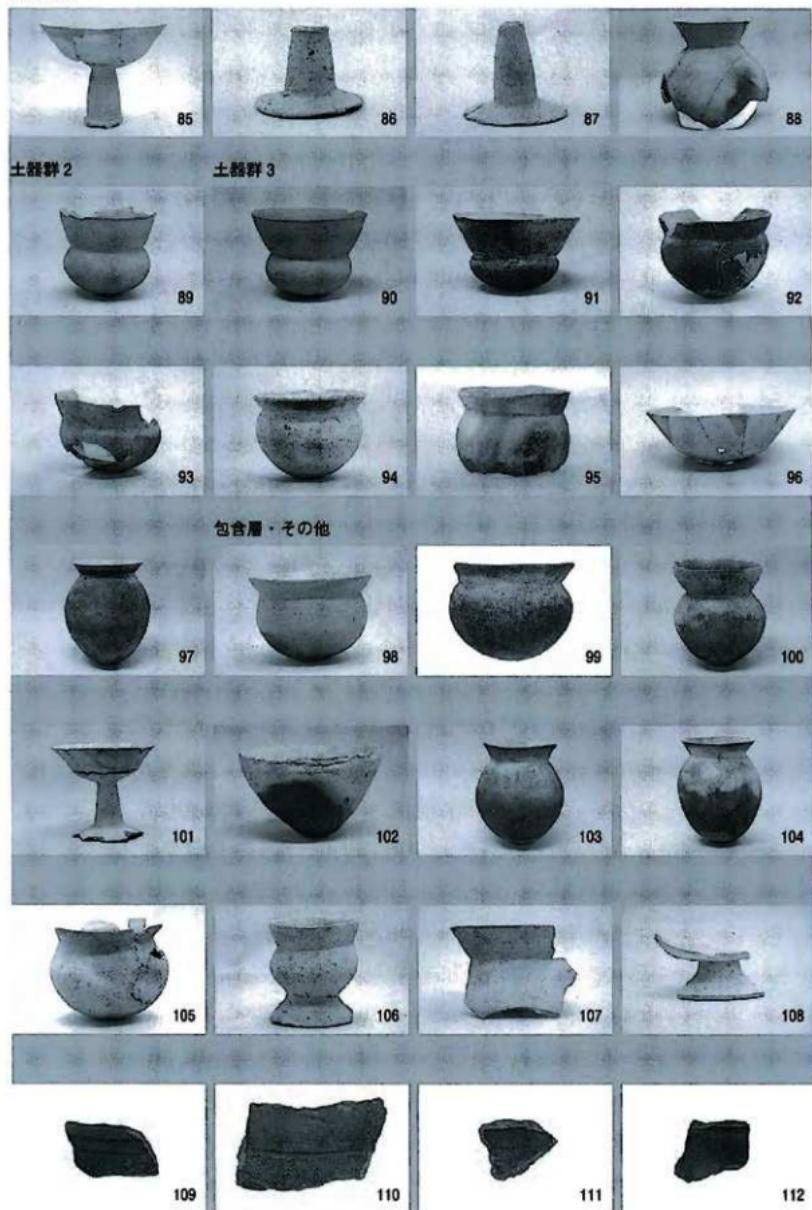
83



84

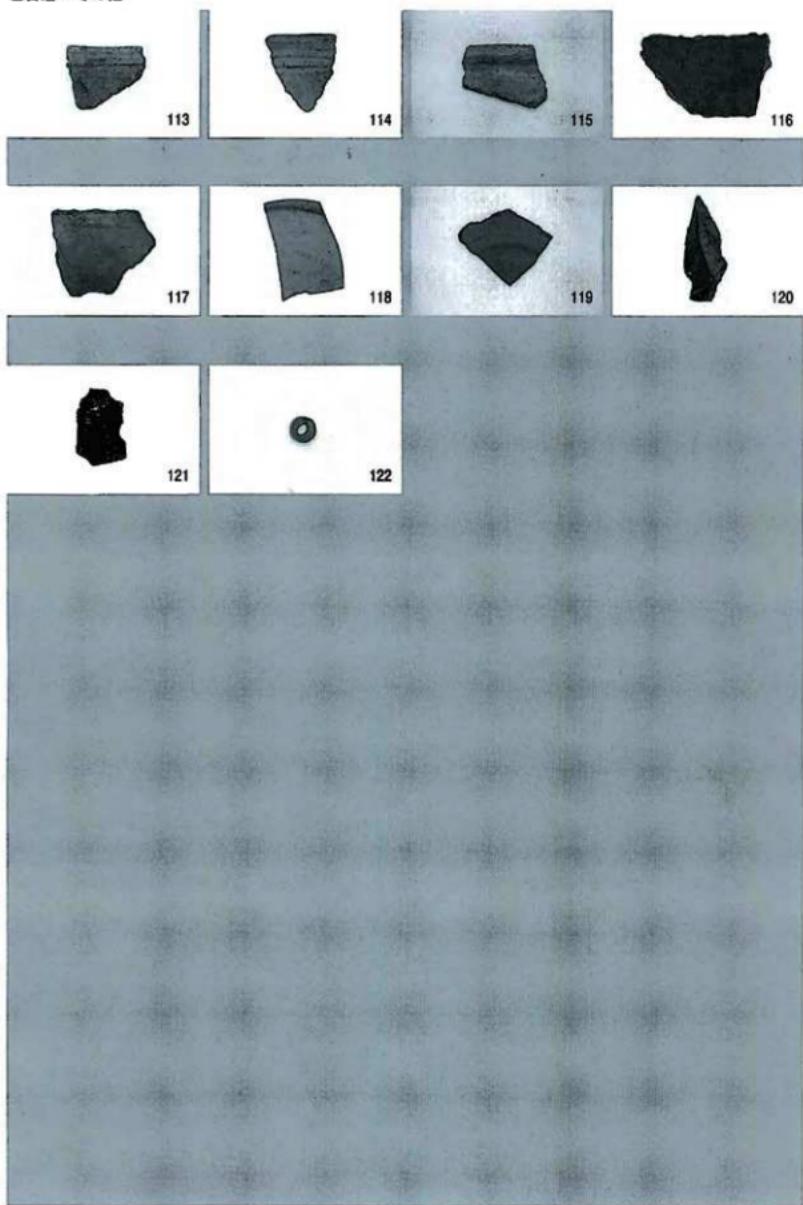
図版16 0006調査地点出土遺物 4

2号土坑



図版17 0006調査地点出土遺物 5

包含層・その他



図版18 0101調査地点

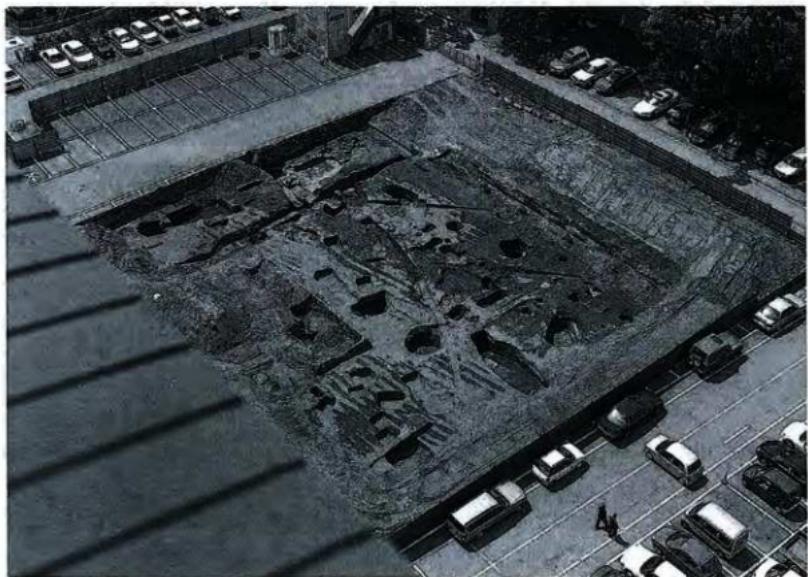


写真56 I面全景（東より）



写真57 I面全景（南西より）



写真58 I面全景（北東より）



写真59 I面全景（西より）



写真60 I面細（西より）

図版19 0101調査地点



写真61 I面烟（北東より）



写真62 II面烟址（西より）



写真63 III面全景（上空より）



写真64 西トレニチ土層断面（西より）



写真65 東壁土層断面（西より）



写真66 東壁南部土層（西より）



写真67 72号土壙墓（北より）



写真68 23号土壙墓（南より）

図版20 0101調査地点



写真69 23号土塚墓出土人骨および副葬品（南東より）



写真70 20号竪穴住居址全景（南東より）



写真71 20号竪穴住居址（西より）



写真72 20号竪穴住居址土層断面（西より）



写真73 20号竪穴住居址遺物出土状況（東より）



写真74 20号竪穴住居址遺物出土状況（西より）



写真75 19号竪穴住居址焼土炭出土状況（北西より）



写真76 19号竪穴住居址鉄錠出土状況

図版21 0101調査地点



写真77 21号竪穴住居址（南より）



写真78 21号竪穴住居址遺物出土状況（南より）

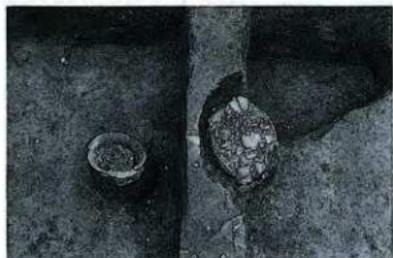


写真79 21号竪穴住居址遺物出土状況（南より）



写真80 21号竪穴住居址遺物出土状況（南より）



写真81 13号満土層（西より）



写真82 15号満土層（西より）



写真83 17号溝（南西より）



写真84 22号水溜状造構遺物出土状況（東より）

図版22 0101調査地点



写真85 22号水槽状遺構出土状況（東より）



写真86 38号焼土平面（東より）



写真87 38号焼土ベルト（西より）



写真88 調査風景（北西より）



写真89 作業風景（東より）

図版23 0101調査地点出土遺物 1

23号土壤墓



1



2



2



3

20号竪穴住居址



4



5

3面包含層（台地上）



6



7

13号溝



8



9



10



11



12



13



14



15



16



17



18



19



20



21



22



23



24



25



26



26

图版24 0101调查地点出土遗物 2

13号溝



27



28



29



30

14号溝



31



32



33



34



35



36



37



38

15号溝



39



40



41



42



43



44



45



46

16号溝



47



48



49



50

17号溝



51



52



53



54

圖版25 0101調查地點出土遺物 3

17号溝



55



56



57



58

72号土塙墓



59



60



61



61

22号水溜状遺構



62



63



64



65



66



67



68



69



70



71



72



73



74



75



76



77



78



79



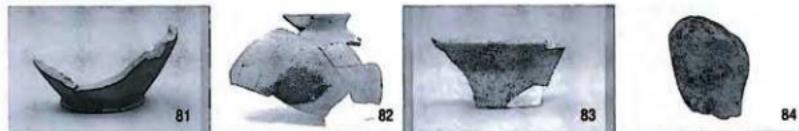
80



80

図版26 0101調査地点出土遺物 4

22号水溜状造構

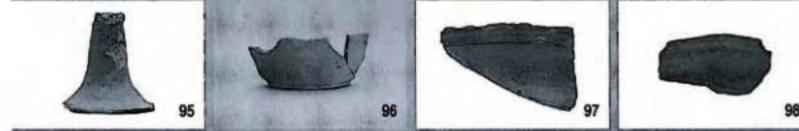
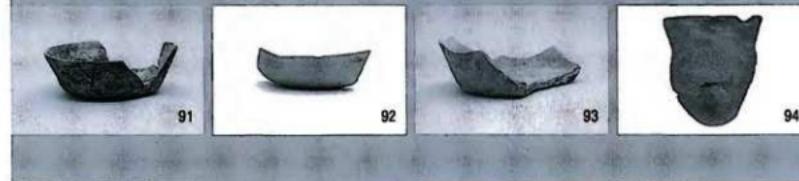


21号竪穴住居址



19号竪穴住居址

包含層・その他



図版27 0104調査地点



写真90 I区発掘状況（北東より）



写真91 II区発掘状況（西部）（南西より）



写真92 II区発掘状況（東部）（南より）



写真93 III区東部全景（南より）



写真94 III区西半（南より）



写真95 III区東半（南より）



写真96 IV区全景（南より）



写真97 V区中部全景（東より）

図版28 0104調査地点

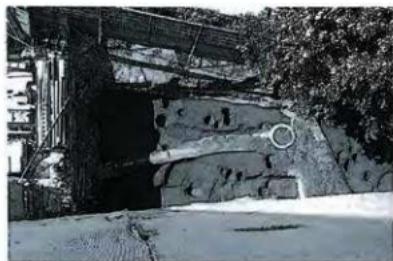


写真98 V区南部全景（東より）



写真99 125号溝（南東より）



写真100 125号溝土層（北より）



写真101 30号溝上面遺物出土状況（北東より）



写真102 30号溝上面南側（南より）



写真103 30号溝上面南側アップ（西より）



写真104 30号溝掘り上げ状況（南より）



写真105 30号溝土層断面（南より）

図版29 0104調査地点



写真106 222号溝土層断面（北西より）



写真107 222号溝遺物出土状況（北西より）



写真108 222号溝遺物出土状況（西より）

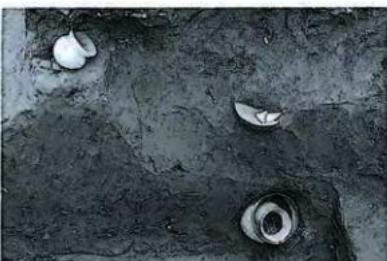


写真109 222号溝遺物出土状況（西より）



写真110 222号溝遺物出土状況（南西より）



写真111 222号溝遺物出土状況（北西より）



写真112 222号溝遺物出土状況（南西より）



写真113 222号溝（北西より）

図版30 0104調査地点



写真114 319号溝全景（北より）



写真115 365号溝（東より）



写真116 365号溝土眉断面（北より）



写真117 14号溝（北西より）



写真118 208号竪穴住居址遺物出土状況（南東より）



写真119 208号竪穴住居址近景（北より）



写真120 208号竪穴住居址発掘状況（南東より）



写真121 223号竪穴住居址遺物出土状況（北東より）

図版31 0104調査地点



写真122 223号竪穴住居址遺物出土状況（北西より）



写真123 223号竪穴住居址床検出状況（南東より）



写真124 223号竪穴住居址炉断面（南西より）



写真125 223号竪穴住居址掘り方完掘状況（南より）



写真126 378号竪穴住居址（東より）



写真127 378号竪穴住居址土層断面（北より）



写真128 385・384号竪穴住居址付近遺物（東より）



写真129 385・384号竪穴住居址付近遺物（北より）

図版32 0104調査地点



写真130 404号竪穴住居址遺物出土状況（北東より）



写真131 404号竪穴住居址土層断面（南より）



写真132 443号床検出状況（東より）



写真133 216号竪穴住居址（南西より）



写真134 216号竪穴住居址完掘状況（東より）



写真135 276号竪穴住居址完掘状況（南東より）



写真136 32号竪穴住居址（南西より）



写真137 32号竪穴住居址掘り上げ状況（南より）

図版33 0104調査地点



写真138 32号竪穴住居址竪土層断面（南より）



写真139 32号竪穴住居址竪掘り上げ状況（南より）



写真140 9号竪穴住居址遺物出土状況（南より）



写真141 9号竪穴住居址床検出状況（南より）



写真142 9号竪穴住居址竪土層断面（東より）



写真143 9号竪穴住居址内破鏡出土状況（南より）



写真144 31号竪穴住居址（南東より）



写真145 31号竪穴住居址堀り上げ状況（南西より）

図版34 0104調査地点



写真146 31号竪穴住居址竪土層断面（西より）



写真147 31号竪穴住居址コーナー遺物出土状況（南より）



写真148 10号竪穴住居址硬化面検出状況



写真149 10号竪穴住居址竪焼土層断面（西より）



写真150 361号竪穴住居址・379号井戸（北より）



写真151 15号竪穴住居址発掘状況（北西より）



写真152 29号竪穴住居址床面検出状況（東より）



写真153 29号竪穴住居址焼土遺物出土状況（西より）

図版35 0104調査地点



写真154 29号竪穴住居址（西より）



写真155 307号竪穴住居址発掘状況（東より）



写真156 377号竪穴住居址遺物出土状況（南より）



写真157 386号竪穴住居址遺物出土状況（東より）



写真158 386号竪穴住居址発掘状況（南西より）



写真159 161号竪穴住居址（南東より）



写真160 161号竪穴住居址発掘状況（西より）



写真161 368号竪穴住居址発掘状況（東より）

図版36 0104調査地点



写真162 368号竪穴住居址完掘状況（東より）



写真163 256号竪穴住居址床検出状況（北東より）



写真164 311号硬化面検出状況（北より）



写真165 321・323号竪穴住居址完掘状況（北より）



写真166 294号竪穴住居址（南より）



写真167 13号竪穴住居址（南東より）



写真168 61号竪穴住居址下面（北より）



写真169 322号竪穴住居址完掘状況（北東より）

図版37 0104調査地点



写真170 159号竪穴住居址と周辺遺物（北より）

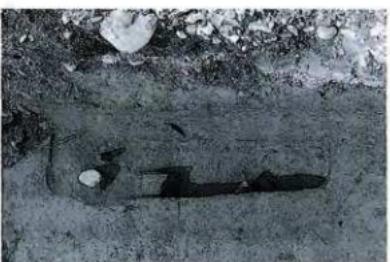


写真171 207号竪穴住居址掘り上げ状況（東より）



写真172 318号竪穴住居址土層断面（南より）



写真173 318号竪穴住居址完掘状況（南より）



写真174 400号竪穴住居址床検出状況（東より）



写真175 400号竪穴住居址完掘状況（東より）



写真176 448号竪穴住居址焼土（東より）



写真177 448号完掘状況（東より）

図版38 0104調査地点



写真178 1号柱立柱建物址（南より）



写真179 144号柱穴内遺物出土状況（南より）



写真180 144号柱穴内地鎮具（北より）



写真181 144号柱穴内土器の中（北より）



写真182 41・42号土壤（東より）



写真183 379号井戸貝層と遺物（東より）



写真184 379号井戸遺物出土状況（北東より）



写真185 379号井戸貝層と遺物（東より）

図版39 0104調査地点



写真186 379号井戸土層断面（東より）



写真187 204(253)号ピット内土錐出土状況（東より）



写真188 鋼帶出土状況



写真189 鉄・鎌出土状況（東より）



写真190 作業風景（南より）

図版40 0104調査地点出土遺物 1

125号溝



図版41 0104調査地点出土遺物 2

30号溝



28



29



30



31

222号溝



32



33



34



35



36



37



38



39



40



41



42



43



44



45



46



47



48



49



50



51



52



53



54



55

图版42 0104调查地点出土遗物 3

225号溝



56



57



58



59

14号溝



60



61



62

365号溝

208号竖穴住居址



63



63



64



65



66



67



68



69

223号竖穴住居址



70



71



72



73



74



75



76



77



78



79



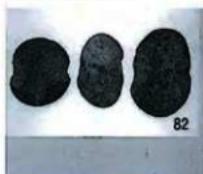
80



81

図版43 0104調査地点出土遺物 4

223号竪穴住居址



378号竪穴住居址



385号竪穴住居址



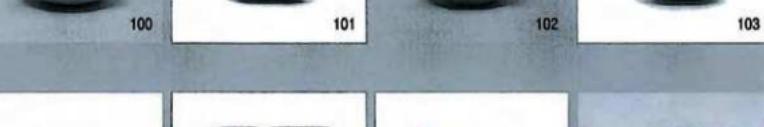
384号竪穴住居址

276号竪穴住居址

325号竪穴住居址

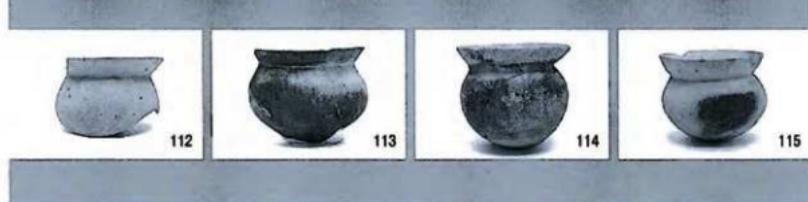
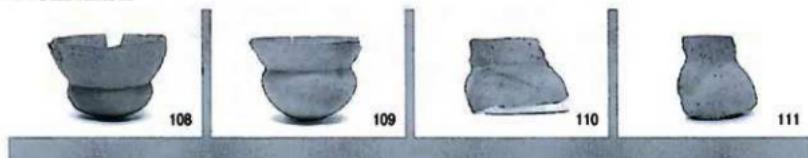


404号竪穴住居址

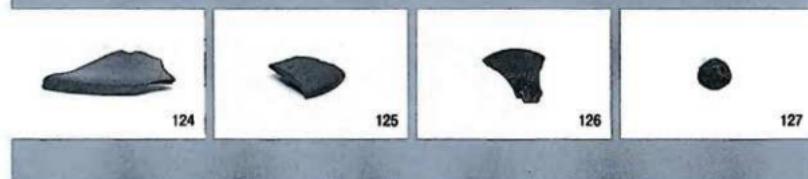
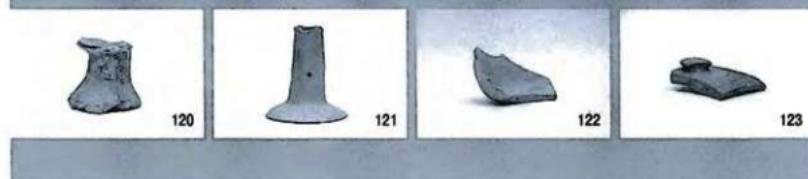


图版44 0104调查地点出土遗物 5

404号竖穴住居址



9号竖穴住居址



15号竖穴住居址



31号竖穴住居址



361号竖穴住居址



図版45 0104調査地点出土遺物 6

361号竪穴住居址



136



137



138

29号竪穴住居址



139

307号竪穴住居址



140



141



142



143

386号竪穴住居址



144

9号竪穴住居址



145

368号竪穴住居址



146

256号竪穴住居址



147



148



149

61号竪穴住居址



150



151



152



153



154



155

157号竪穴住居址

1号掘立柱建物址



156



157



158

41・42号土壙



159



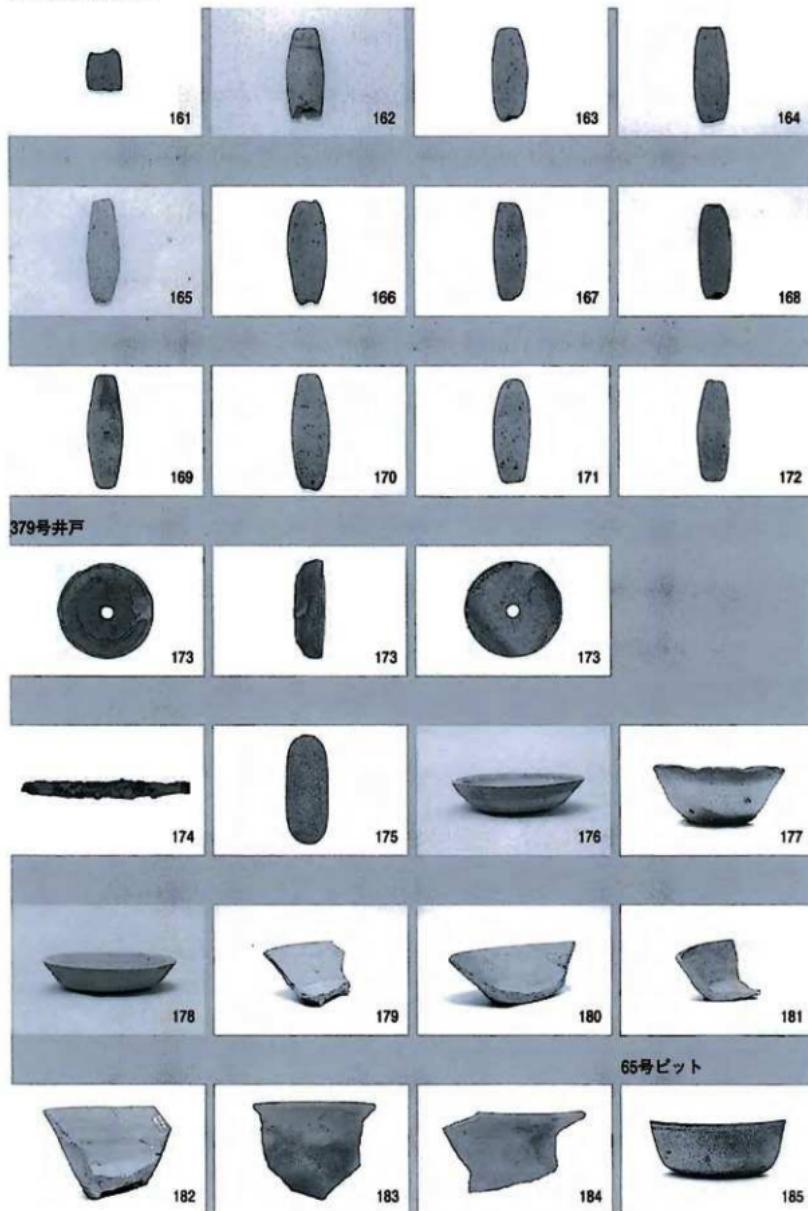
160



161

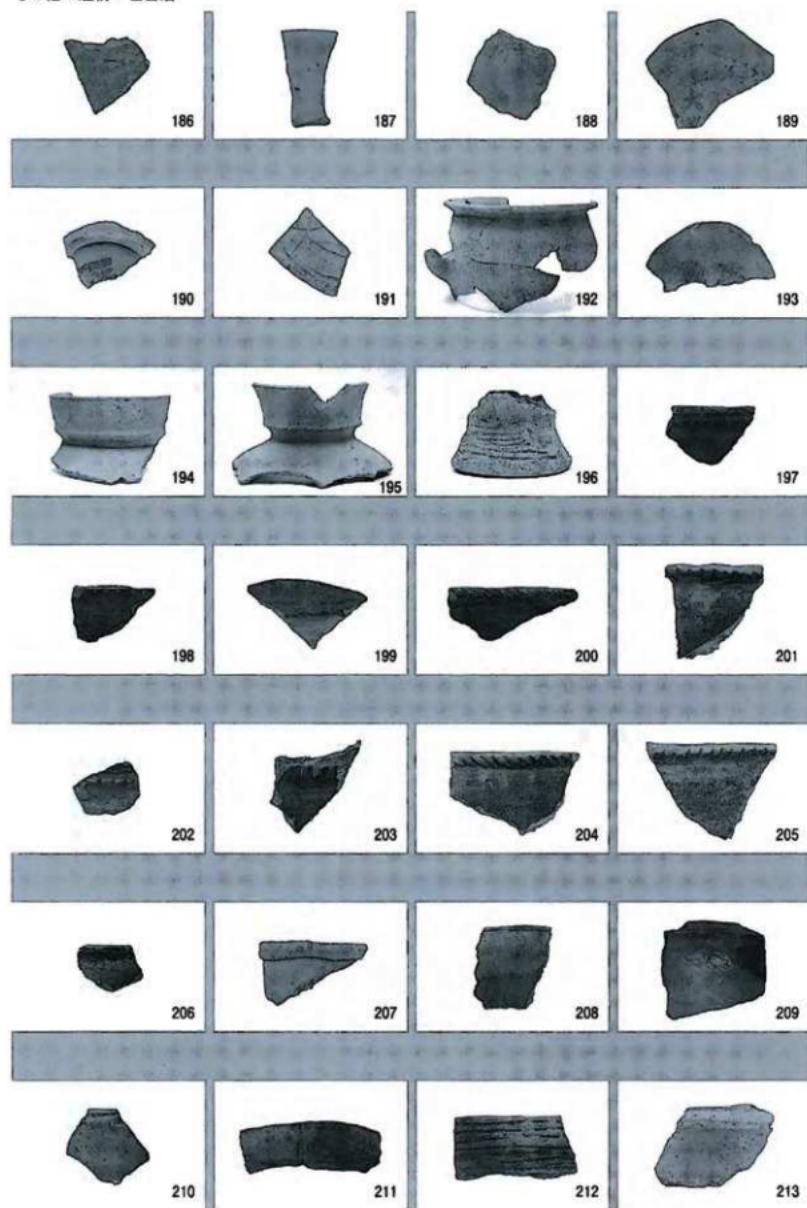
図版46 0104調査地点出土遺物 7

204 (253) 号ビット



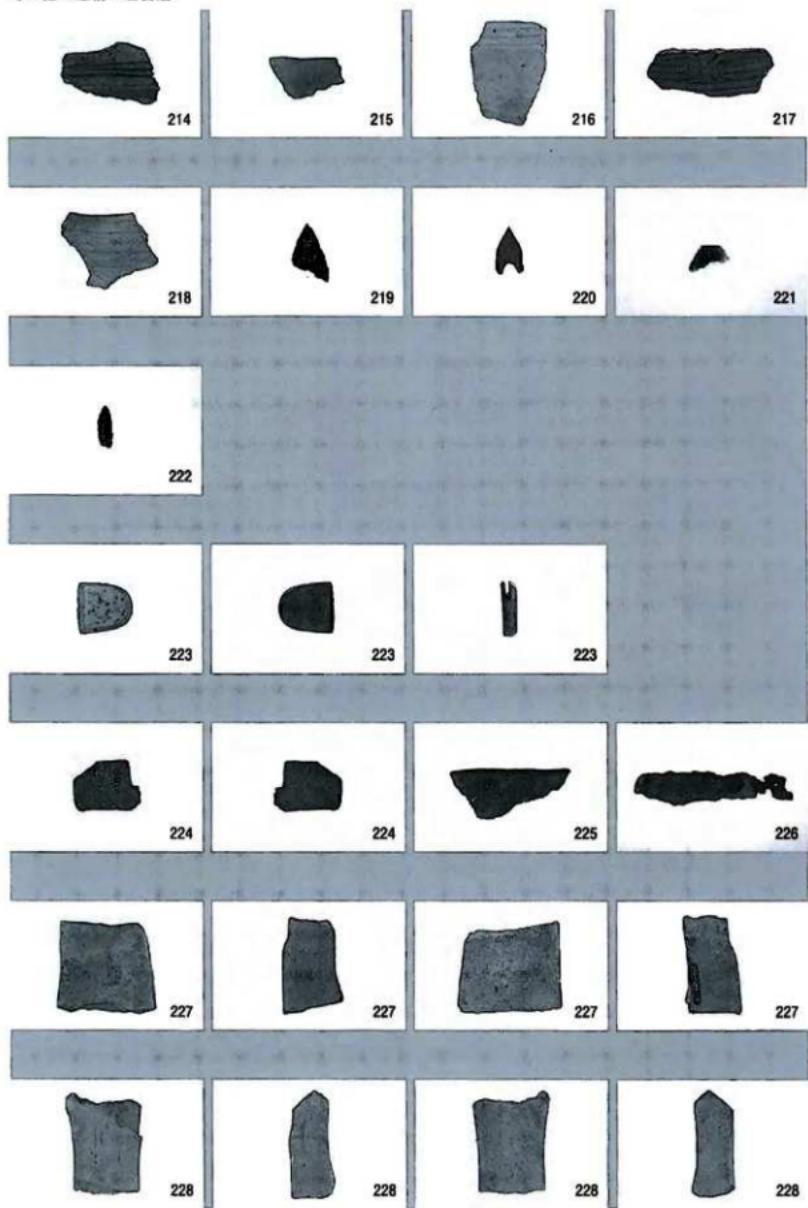
図版47 0104調査地点出土遺物 8

その他の造構・包含層



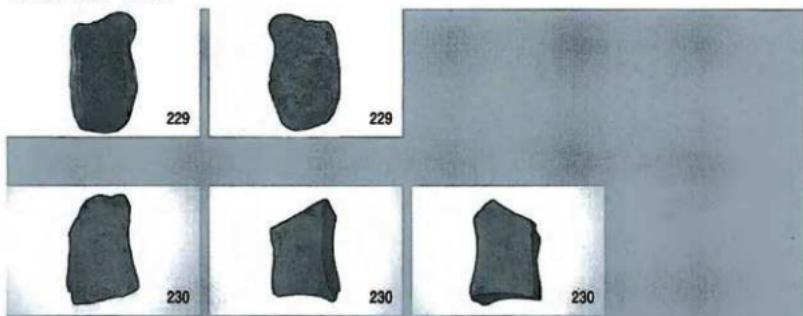
図版48 0104調査地点出土遺物9

その他の造構・包含層



図版49 0104調査地点出土遺物10

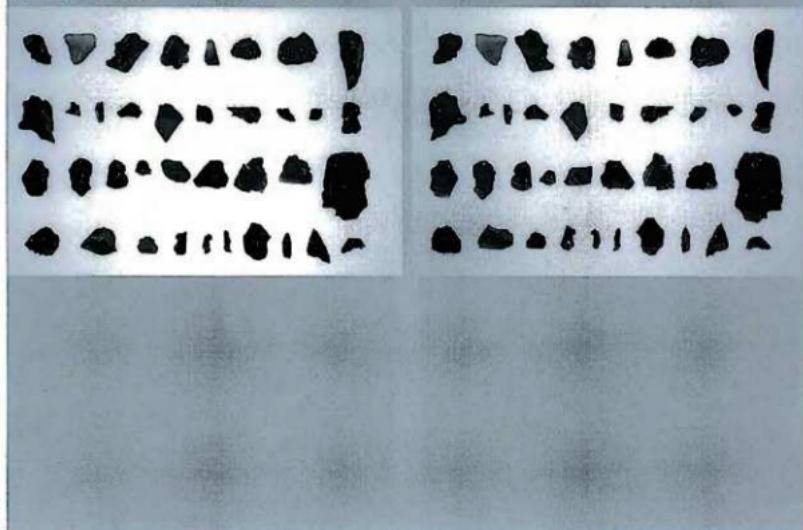
その他の遺構・包含層



1号堀立柱建物144号ピット出土地盤遺構出土砾



各種遺構・包含層出土黒曜石製石器・剥片



図版50 0119調査地点

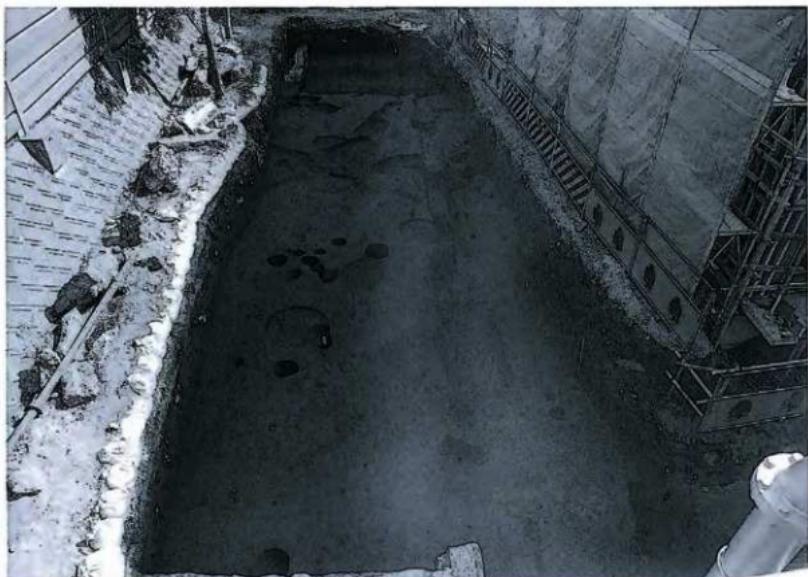


写真191 調査区全景（西より）



写真192 1号溝遺物出土状況（東より）



写真193 1号溝遺物出土状況（南西より）



写真194 1号溝遺物出土状況（西より）



写真195 1号溝完掘状況（北より）

図版51 0119調査地点



写真196 19号竪穴住居址遺物出土状況（西より）



写真197 19号竪穴住居址遺物出土状況（近景）



写真198 19号竪穴住居址遺物出土状況（北西より）



写真199 19号竪穴住居址遺物出土状況（南より）



写真200 19号竪穴住居址発掘状況（西より）



写真201 25号竪穴住居址発掘状況（西より）



写真202 4号竪穴住居址床検出状況（南東より）



写真203 2号竪穴住居址遺物検出状況（西より）

図版52 0119調査地点



写真204 3号竪穴住居址遺物検出状況（南より）



写真205 18号竪穴住居址遺物出土状況（東より）



写真206 26号竪穴住居址遺物出土状況（東より）



写真207 挖立柱建物址（西より）



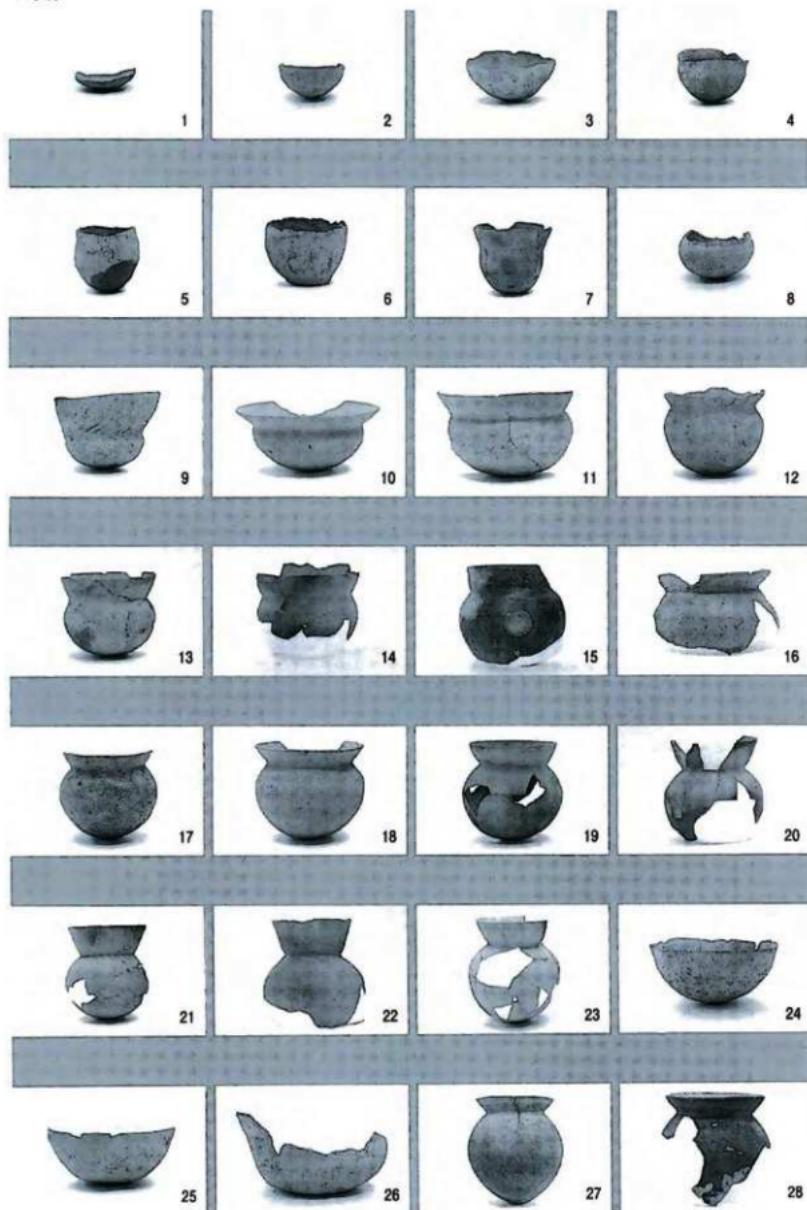
写真208 調査区北壁土層断面（東より）



写真209 作業風景

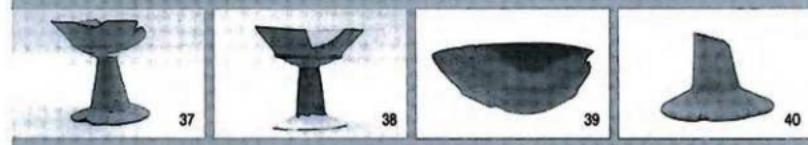
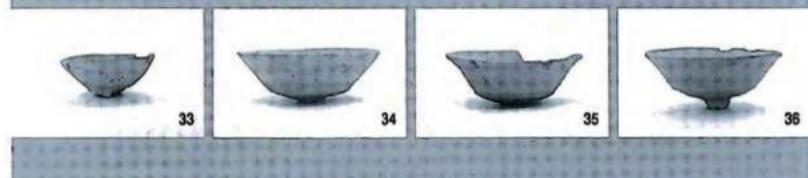
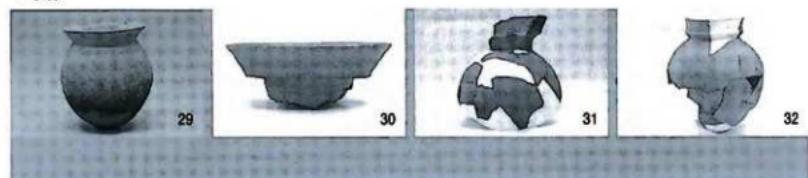
図版53 0119調査地点出土遺物 1

1号溝

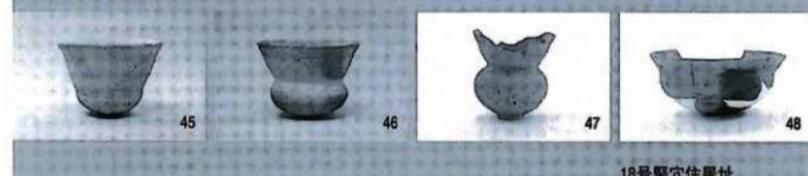


図版54 0119調査地点出土遺物 2

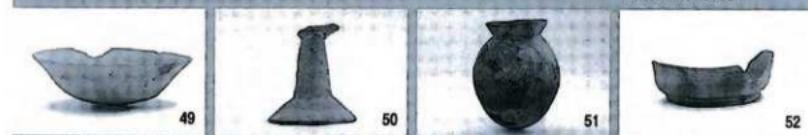
1号溝



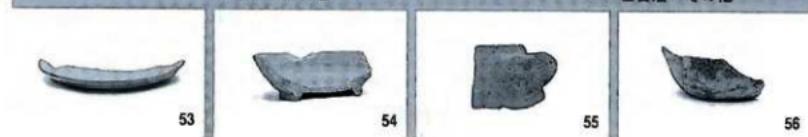
19号竪穴住居址



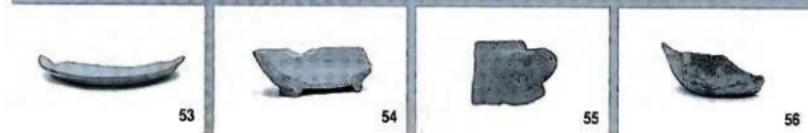
18号竪穴住居址



26号竪穴住居址



包含層・その他



包含層・その他



57



58



59



60



61



62



63



64



65



66



67



68



69



70



71



72



73



74

報告書抄録

ふりがな	くまもとだいがくこうないいせきはくつちょうさほうこくVI							
書名	熊本大学構内遺跡発掘調査報告VI							
副書名								
卷次								
シリーズ名	熊本大学埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ号	VI							
編著者名	小畑弘己・大坪志子・村田知聖							
編集機関	熊本大学埋蔵文化財調査室							
所在地	〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2-39-1 TEL.096-342-3832 FAX.096-342-3832							
発行年月日	2010年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
黒髪町遺跡 (9907地点)	熊本県熊本市黒髪	43201	278	32°48'26"	130°43'57"	19990922 ~ 19991005	136.5m ²	学校敷地内の開発事業に伴う
黒髪町遺跡 (9909地点)	熊本県熊本市黒髪	43201	278	32°48'30"	130°43'44"	20000214 ~ 20000324	1,853m ²	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡 (0006地点)	熊本県熊本市本荘	43201	285	32°47'40"	130°42'38"	20001109 ~ 20010129	171.8m ²	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡 (0101地点)	熊本県熊本市本荘	43201	285	32°47'75"	130°42'47"	20010409 ~ 20010703	1,733.75m ²	学校敷地内の開発事業に伴う
黒髪町遺跡 (0102地点)	熊本県熊本市黒髪	43201	278	32°48'36"	130°43'42"	20010709 ~ 20010726	418.5m ²	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡 (0104地点)	熊本県熊本市本荘	43201	285	32°47'50"	130°42'40"	20010704 ~ 20011029	1023.8m ²	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡 (0119地点)	熊本県熊本市本荘	43201	285	32°47'55"	130°42'40"	20020225 ~ 20020320	205.8m ²	学校敷地内の開発事業に伴う
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
黒髪町遺跡 (9907地点)	散布地	縄文	土壙	10	縄文土器			
黒髪町遺跡 (9909地点)	生産遺跡 墓地	近世	歟 近世墓	約200 54	近世陶磁器片 釘・煙管・銅錢			
本庄遺跡 (0006地点)	集落址	縄文・古墳 古代	堅穴住居址 土壙	4 29	縄文土器 縄文時代石器 古代土器・須恵器 鉄器・ガラス玉			
本庄遺跡 (0101地点)	散布地 集落址 墓地	古墳・古代・近世	住居址・溝・烟		縄文土器・土師器・須恵器			
黒髪町遺跡 (0102地点)	散布地	縄文	風洞木痕・防空壕		縄文早期・晚期土器			
本庄遺跡 (0104地点)	散布地 集落址	縄文・弥生 古墳・古代	住居址・掘立柱 建物・溝・井戸		縄文晩期土器 弥生土器・古代土器 土師器・須恵器・青銅器 鉄器・自然遺物			
本庄遺跡 (0119地点)	集落址	弥生・古墳・古代	住居址・掘立柱 建物・溝		弥生土器 土師器・須恵器・鉄器			

熊本大学埋蔵文化財調査報告書 第6集
熊本大学構内遺跡発掘調査報告書VI
(1999・2000・2001年度)

平成22年3月25日 印刷

平成22年3月31日 発行

編集・発行 熊本大学埋蔵文化財調査室

〒860-8555 熊本市黒髪2丁目39-1

Tel 096(342)3832 FAX 096(342)3832

印 刷 シモダ印刷株式会社

